

令和4年度

主要な施策の成果に関する説明書

伊万里市

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定に基づき、
令和4年度における主要な施策の成果に関する説明書を提出します。

令和5年9月21日

伊万里市長 深 浦 弘 信

目 次

1. 令和4年度決算の概要	1
2. 令和4年度一般会計歳入歳出決算額	3
3. 令和4年度特別会計歳入歳出決算額	6
4. 令和4年度企業会計歳入歳出決算額	7
5. 主要な施策の成果の説明	
(1) 一般会計	
第1款 議会費	8
第2款 総務費	9
第3款 民生費	54
第4款 衛生費	95
第5款 労働費	109
第6款 農林水産業費	110
第7款 商工費	140
第8款 土木費	154
第9款 消防費	181
第10款 教育費	189
第11款 災害復旧費	244
第13款 諸支出金	253
(2) 特別会計	
国民健康保険特別会計	256
介護保険特別会計	259
後期高齢者医療特別会計	264
(3) 企業会計	
水道事業特別会計	265
工業用水道事業特別会計	266
下水道事業特別会計	267
6. 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費	268

令和４年度決算の概要

令和４年度の国の経済動向としては、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、引き続き持ち直しの動きに弱さがみられます。

今後については、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待されており、新型コロナウイルス感染症による内外経済への影響や金融資本市場の変動等の動向に注視しながら、喫緊かつ最優先の課題である新型コロナウイルス感染症対応に万全を期し、躊躇なく必要な対策を講じることとされています。

このような状況下において、本市が活力ある都市として持続的に発展するために、市政の各分野において将来を見据えた施策の展開が望まれ、第６次伊万里市総合計画の将来都市像である「人がいきいきと活躍する 幸せ実感のまち 伊万里」の実現に向けて各種施策を展開しました。

施策の実施に当たっては、小・中学校やコミュニティセンターの建設、老朽化した公共施設の大規模改修など、大型プロジェクトを抱え、それに加えて、新型コロナウイルス感染症対策を緊急的に講じる必要があるなど、厳しい財政状況が続く中で、第４次財政基盤安定化計画に沿って可能な限りの財源確保と徹底した歳出削減に取り組みました。

一方で、国・県等の補助金や交付税措置がある地方債を活用し、伊万里中学校の建設、道路や橋りょうの整備などを行うとともに、新型コロナウイルス感染症に対応するための感染防止対策や経済対策を実施しました。

また、「伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実現に向け、シティプロモーションや、子どもの医療費助成、移住・定住対策の推進など施策全般にわたって事業を厳選し、限られた財源を重点的、効率的に配分することにより、健全な財政運営に努めました。

令和４年度の一般会計の歳入総額は、３４９億１，１１６万円で、前年度に比べて０．５％の増、歳出総額は、３３６億４，２７６万円で、前年度に比べて１．０％の減となりました。また、歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は１２億６，８４０万円、翌年度へ繰り越すべき財源の２，８５０万円を差し引いた実質収支は１２億３，９９０万円の黒字となりました。

歳入について前年度と比較すると、市税については、市内企業の増収による影響で法人市民税が増加したことなどから、市税全体において、１０．４％の増加となりました。地方交付税については、普通交付税、特別交付税を合わせた全体で４．１％の減少となりました。

また、地方消費税交付金（２．３％）、法人事業税交付金（２１．３％）などが増加となりましたが、地方特例交付金（△５９．４％）、利子割交付金（△４８．２％）、株式譲渡所得割付金（△３２．３％）などが減少となりました。

国庫支出金は、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金や住民税非課税世帯等臨時特別給付金などの減少により、全体で１３．３％の減少となりました。

県支出金は、合板・製材・集成材生産性向上・品目転換促進対策交付金、産地パワーアップ事業費補助金などの増加により、全体で41.7%の増加となりました。

寄附金は、ふるさと応援基金寄附金が増加したことから、全体で8.8%の増加となりました。

繰入金は、広域ごみ処理施設建設に係る地域振興基金などからの繰入金が減少したことにより、全体で4.1%の減少となりました。

市債は、臨時財政対策債、体育施設整備事業債などが減少したことから、全体で43.7%の減少となりました。

その他の収入は、分担金及び負担金(3.2%)、使用料及び手数料(1.8%)、繰越金(124.8%)、諸収入(3.8%)が増加したものの、財産収入(△19.2%)が減少しました。

歳出については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている住民生活や地域経済を支援するとともに、感染症の拡大防止や物価高騰対策などを図るため、公共施設感染防止対策事業、介護保健施設等物価高騰対策支援事業、省エネ家電買替え促進事業、肉用牛肥育農家配合飼料高騰対策支援事業、第3次緊急経済対策クーポン券発行事業、プレミアム付商品券発行事業などを実施しました。

また、留守家庭児童クラブ管理運営事業などの子育て支援施策の充実、防災活動事業や防災行政無線施設管理事業などの防災の推進、園芸農業機械・施設等整備支援事業、伊万里梨・牛産地強化支援事業などの産業の振興、中学校建設事業などの学校教育環境の改善に取り組みました。

目的別に前年度と比較すると、農林水産業費(128.8%)、商工費(52.5%)、土木費(21.9%)などが増加しましたが、民生費(△5.8%)、教育費(△18.3%)、災害復旧費(△22.1%)、消防費(△6.5%)などが減少しました。

性質別に見ると、義務的経費は、人件費(1.3%)が増加しましたが、子育て世帯等臨時特別支援事業などの減少により扶助費(△8.8%)が減少しました。投資的経費は、大坪保育園・コミュニティセンター複合施設整備事業、国見台体育施設改修事業、広域ごみ処理施設建設に係る地域振興事業などの減少により普通建設事業費(△10.4%)が減少し、災害復旧費(△28.5%)も減少しました。そのほか物件費(20.9%)や補助費等(5.1%)が増加する一方、積立金(△8.8%)や貸付金(△0.7%)は減少しました。

特別会計については、歳入総額152億6,396万円、歳出総額145億1,685万円となり、前年度と比較すると、歳入で1.8%、歳出で0.4%の増加となりました。

令和4年度 一般会計歳入歳出決算額

(歳入)

(単位:千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増減率 (%)	令和4年度 構成比 (%)
自主財源	15,479,406	14,150,982	9.4	44.3
市 税	7,871,929	7,132,859	10.4	22.5
分担金及び負担金	191,275	197,526	△ 3.2	0.5
使用料及び手数料	346,529	340,389	1.8	1.0
財産収入	27,839	34,445	△ 19.2	0.1
寄附金	2,979,356	2,738,631	8.8	8.5
繰入金	2,427,768	2,531,130	△ 4.1	7.0
繰越金	769,157	342,103	124.8	2.2
諸収入	865,553	833,899	3.8	2.5
依存財源	19,431,755	20,590,918	△ 5.6	55.7
地方譲与税	335,623	332,144	1.0	1.0
利子割交付金	2,354	4,547	△ 48.2	0.0
配当割交付金	19,026	23,600	△ 19.4	0.1
株式等譲渡所得割交付金	16,325	24,125	△ 32.3	0.0
法人事業税交付金	114,802	94,643	21.3	0.3
地方消費税交付金	1,334,080	1,303,813	2.3	3.8
環境性能割交付金	23,358	19,009	22.9	0.1
地方特例交付金	52,147	128,428	△ 59.4	0.2
地方交付税	6,343,350	6,611,279	△ 4.1	18.2
交通安全対策特別交付金	8,344	9,885	△ 15.6	0.0
国庫支出金	6,126,231	7,066,269	△ 13.3	17.5
県支出金	3,743,108	2,642,164	41.7	10.7
市 債	1,313,007	2,331,012	△ 43.7	3.8
合 計	34,911,161	34,741,900	0.5	100.0

(歳出)

(単位:千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増減率 (%)	令和4年度 構成比 (%)
議 会 費	234,396	225,530	3.9	0.7
総 務 費	8,202,463	8,450,358	△ 2.9	24.4
民 生 費	11,556,590	12,267,244	△ 5.8	34.3
衛 生 費	2,445,833	2,956,277	△ 17.3	7.3
労 働 費	70,943	70,978	0.0	0.2
農 林 水 産 業 費	2,114,278	924,005	128.8	6.3
商 工 費	1,131,709	742,253	52.5	3.4
土 木 費	1,122,671	921,195	21.9	3.3
消 防 費	1,066,848	1,141,248	△ 6.5	3.2
教 育 費	2,342,798	2,868,342	△ 18.3	7.0
災 害 復 旧 費	184,708	237,106	△ 22.1	0.5
公 債 費	1,866,949	1,829,420	2.1	5.5
諸 支 出 金	1,302,575	1,338,787	△ 2.7	3.9
合 計	33,642,761	33,972,743	△ 1.0	100.0

(性質別歳出分析)

(単位:千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増減率 (%)	令和4年度 構成比 (%)
義務的経費	13,188,532	13,801,010	△ 4.4	39.2
人件費	4,032,787	3,980,001	1.3	12.0
扶助費	7,288,796	7,991,589	△ 8.8	21.7
公債費	1,866,949	1,829,420	2.1	5.5
投資的経費	3,406,645	3,849,710	△ 11.5	10.1
普通建設事業費	3,244,796	3,623,306	△ 10.4	9.6
補助事業費	2,205,908	1,696,065	30.1	6.5
単独事業費	930,826	1,822,748	△ 48.9	2.8
県営事業負担金	108,062	104,493	3.4	0.3
災害復旧費	161,849	226,404	△ 28.5	0.5
消費的経費	9,501,067	8,423,351	12.8	28.2
物件費	5,116,908	4,233,125	20.9	15.2
維持補修費	112,597	126,000	△ 10.6	0.3
補助費等	4,271,562	4,064,226	5.1	12.7
その他の経費	7,546,517	7,898,672	△ 4.5	22.5
積立金	3,801,232	4,168,859	△ 8.8	11.3
投資及び出資金	929,408	929,732	0.0	2.8
繰出金	2,515,877	2,498,081	0.7	7.5
貸付金	300,000	302,000	△ 0.7	0.9
合 計	33,642,761	33,972,743	△ 1.0	100.0

令和4年度 特別会計歳入歳出決算額

(歳入)

(単位:千円)

区 分	令 和 4 年 度	令 和 3 年 度	増 減 率 (%)
国 民 健 康 保 険	7,189,056	7,150,392	0.5
介 護 保 険	6,551,855	6,375,755	2.8
後 期 高 齢 者 医 療	1,523,053	1,471,300	3.5
合 計	15,263,964	14,997,447	1.8

(歳出)

(単位:千円)

区 分	令 和 4 年 度	令 和 3 年 度	増 減 率 (%)
国 民 健 康 保 険	6,911,143	6,922,918	△ 0.2
介 護 保 険	6,084,935	6,060,017	0.4
後 期 高 齢 者 医 療	1,520,771	1,468,898	3.5
合 計	14,516,849	14,451,833	0.4

※消費税を含む。

令和4年度 企業会計歳入歳出決算額

(単位:千円)

区 分			令和4年度	令和3年度	増減率 (%)
水道事業	収益的収支	収入	1,517,368	1,518,693	△ 0.1
		支出	1,435,200	1,388,157	3.4
	資本的収支	収入	333,692	345,691	△ 3.5
		支出	861,906	851,081	1.3
工業用水道事業	収益的収支	収入	1,017,087	982,308	3.5
		支出	998,226	954,556	4.6
	資本的収支	収入	640,862	637,656	0.5
		支出	802,220	825,036	△ 2.8
下水道事業	収益的収支	収入	1,336,379	1,341,619	△ 0.4
		支出	1,262,995	1,255,017	0.6
	資本的収支	収入	1,094,875	1,065,623	2.7
		支出	1,411,957	1,428,614	△ 1.2

※消費税を含む。

主要な施策の成果の説明

款	01	議会費	項	01	議会費	目	01	議会費
事務事業名	05	議員政務活動支援事業	6つのまちづくり			06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	議会事務局			施策	27	自立した行財政運営の確立		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
5,225	3,896					3,896	1,329	P. 90

【令和4年度における事務事業の概要】

行政運営の多様化・高度化が進む中で、議会運営の充実、審議能力向上及び議会活性化を図るため、議員の調査研究活動等に必要な経費の一部を助成しました。

○政務活動費交付限度額

- ・20人 1人当たり250,000円
 - 内訳 前期(4月) 150,000円
 - 後期(10月) 100,000円
 - ・1人(補選議員) 1人当たり225,000円
 - 内訳 前期(5月) 125,000円
 - 後期(10月) 100,000円
- 250,000円×20人+225,000円×1人=5,225,000円

【令和4年度における事務事業の成果】

令和4年2月末、議員1人の辞職により欠員が2人となりました。4月1日に議員19人中18人から、5月1日に補選議員2人からそれぞれ申請があり、交付しました。

令和5年3月提出の収支報告書により全額返還は0人、一部返還は13人(令和3年度は全額返還4人、一部返還13人)となり、議員の調査研究活動等の活性化を図ることができました。

交付額4,950,000円(250,000円×18人+225,000円×2人)－返還額1,053,601円
 =支出額3,896,399円

○令和4年度 収支報告額等実績

項 目	収支報告額	割合	政務活動費支出額
研究研修・調査旅費	1,538,065円	37%	3,896,399円 79% (交付額に占める割合)
資料作成・購入費	770,725円	18%	
広 報 費	1,306,538円	31%	
事 務 所 費	60,000円	1%	
その他経費(通信費等)	521,200円	12%	
合 計	4,196,528円	100%	

<参考> 令和3年度(交付額 4,700,000円)

項 目	収支報告額	割合	政務活動費支出額
研究研修・調査旅費	92,680円	4%	2,384,013円 50% (交付額に占める割合)
資料作成・購入費	673,273円	28%	
広 報 費	950,503円	39%	
事 務 所 費	60,000円	2%	
その他経費(通信費等)	649,645円	27%	
合 計	2,426,101円	100%	

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費
事務事業名	04	職員研修事業				6つの まちづくり	06	自立と協働のまちづくり
担当部課	総務部 総務課			施 策		27	自立した行財政運営の確立	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
3,411	2,832			53	2,779	579	P. 94	

【令和4年度における事務事業の概要】

少子・高齢化、グローバル化、高度情報化など社会経済情勢が著しく変化する中、地方自治体においては、多様化・複雑化する市民ニーズに対して、限られた人員で的確に対応することが求められています。

このようなことから職員一人ひとりの実務処理能力の向上とともに、社会の要請を敏感に感じ取る能力、新たな分野に柔軟に対応しうる適応力等、総合的な能力を持った職員が求められており、職員個々に目を向けた計画的な能力開発等を推進するために階層別研修や、事務処理スキル向上のための実務研修、様々な課題に対応するための課題研修、さらには自治大学校や県等への派遣研修を実施しました。

特に、令和3年度に続き令和4年度も国土交通省九州地方整備局へ人事交流として職員1名を派遣し、地方自治体とは違う立場での実務経験を通して、港湾振興の知識や港湾事業における幅広い視野の習得を図りました。

課題研修においては、外部講師を招いて人事評価制度基本研修を行い、人事評価制度の目標管理の基本と面談のポイント理解について研修し、個人の成長や組織力の向上を図りました。

実務研修においては、佐賀県市町村振興協会主催による税務や公会計、DX推進研修など、幅広く実務に必要な知識と技能の習得に努めました。接遇研修では、長寿社会課と新型コロナウイルスワクチン接種対策室の職員を対象に、組織接遇力向上研修を実施し、より実践的な接客サービスや組織での接遇意識の向上を図りました。

また、職務の遂行に有益な知識又は技術を自発的に習得しようとする職員に対し、自己啓発研修助成金を交付しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

(1) 研修

令和3年度に引き続き、コロナ禍の影響を受け、受講人数の制限や研修会の中止などもあり、計画どおりに事業を進めることができませんでした。しかし、WEB方式の研修会に参加するなど、工夫しながら事業実施に努めることができました。また、同和問題の解決に向けて、職員の意識を高め、認識を深めることができました。

種類	回数	人数	内容
階層別研修	13回	126人	新規採用職員研修、再任用職員研修、新任課長研修、新任副課長研修、新任係長研修、監督者研修等
課題研修	6回	327人	民間企業体験、人事評価制度基本研修
実務研修	33回	131人	税務、公会計、DX推進研修等
接遇研修	2回	32人	新採職員接遇実践研修、組織接遇力向上研修
派遣研修	13回	14人	国、県、自治大学校、市町村アカデミー、NOMA
同和問題研修	12回	861人	職員同和問題研修、佐賀県人権・同和教育研究大会等
その他	7回	849人	市町行政講演会、交通安全講習会等
計	86回	2,340人	

(2) 自己啓発研修助成金

6人に対し、46,000円を交付し、職員のスキルアップを後押しすることができました。
(給水装置工事主任技術者試験、TOEIC、ITパスポート試験、簿記検定試験、日本図書館協会中堅職員ステップアップ研修)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費
事務事業名	13	庁舎管理事業				6つのまちづくり	06	自立と協働のまちづくり
担当部課	総合政策部 財政課			施策		27	自立した行財政運営の確立	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
50,817	44,954			1,167	43,787	5,863	P. 98	

【令和4年度における事務事業の概要】

庁舎施設の維持管理のための業務委託等を行うとともに、不良箇所の修繕や改修工事等を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

来庁者や職員が安全かつ安心して利用できる施設として修繕等の維持管理に努め、庁舎空調設備（クーリングタワー）の修繕や旧食堂の不要な機器の撤去等を行いました。

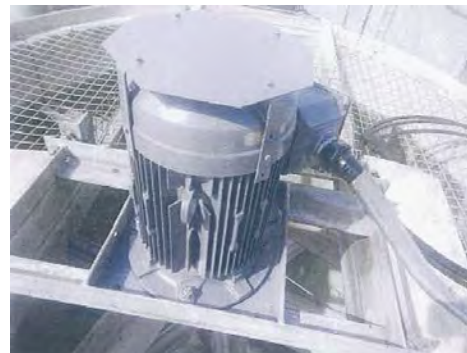
主な決算額

費 目	事業費	内 容
光熱水費	18,661千円	庁舎電気料、水道料
修繕料	2,924千円	庁舎空調設備（クーリングタワー）修繕等
委託料	18,139千円	庁舎宿日直業務委託料外16件
使用料及び賃借料	1,753千円	庁舎下水道料使用料等
工事請負費	818千円	別館1階旧食堂機械室機器撤去工事外4件

【クーリングタワー モーター 修理前】



【クーリングタワー モーター 修理後】



【クーリングタワー 破損箇所 修理前】



【クーリングタワー 破損箇所 修理後】



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費
事務事業名	14	防犯灯設置促進事業			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		総務部 防災危機管理課			施策	23		暮らしの安全・安心の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,500		1,492				1,492	8	P. 100

【令和4年度における事務事業の概要】

夜間における安全を確保するため、行政区が維持管理を行う防犯灯について、設置に要する経費の2分の1を助成しました。

補助内容：補助率2分の1

新設（LED防犯灯）及び

更新（既設の防犯灯が機能せず、軽微な修繕では対応できない場合及びLED化）
上限10,000円

新設（建柱を伴うLED防犯灯）

上限20,000円

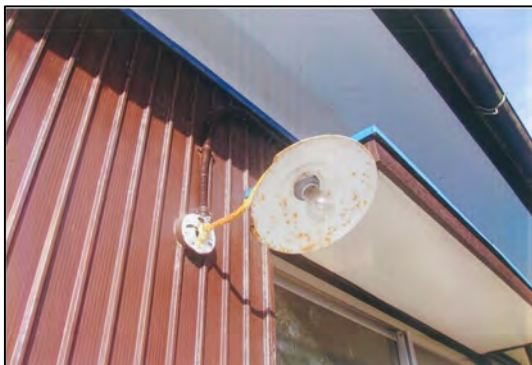
【令和4年度における事務事業の成果】

各行政区で取り組んでいる防犯灯の設置について、80行政区146基に対して補助金を交付し、夜間における安全の確保に努めました。

●過去3年の補助金交付実績

年度	行政区数	補助件数		補助金額
		新規	更新	
令和2年度	78	50	102	1,487,046
令和3年度	74	46	102	1,498,890
令和4年度	80	54	92	1,492,200

●白熱球からLED防犯灯への更新事例



【工事前】



【工事後】

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	02	文書広報費
事務事業名	01	広報広聴事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 情報政策課			施策	24		市政に関する情報共有と市民参画の促進
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
20,483	18,744	1,541		406	16,797	1,739	P. 100	

【令和4年度における事務事業の概要】

市政に関する情報を市民と共有し、市民が主体的にまちづくりに参画できるように、的確でわかりやすい情報発信を目的として、毎月1日に「広報伊万里」、5月1日に「予算特集号」を発行しました。

また、ホームページやケーブルテレビを活用し、多様な手段により、幅広く情報を発信しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

行政情報の広報活動としての「広報伊万里」では、市民に分かりやすい紙面作りを行うとともに、市のホームページの活用や、点字版（毎月6部発行）や声の広報を作成するなど多様な手法による情報発信の充実を図りました。

発行部数 年間254,268部（月平均21,189部）、紙面平均 32ページ

《 令和4年度広報伊万里発行実績 》

（単位：ページ）

発行月	特集の内容	ページ数
5月	5月は消費者月間です	34
6月	備えあれば憂いなし～防災について考える～	38
	6月は環境月間です	
7月	地域学校協働活動～学校を核とした地域づくり～	36
8月	8月は同和問題啓発強調月間です	38
9月	農業を知る	28
10月	人生100年時代 健康で元気に暮らす	32
	令和3年度決算報告	
11月	令和4年度（来年度）から市税の納め方が変わります	32
12月	3市町広域連携企画 鉄道グルメさーいこう	32
1月	人生に寄り添う市民図書館	32
2月	SAGA2024で盛り上がりよう！	30
3月	夫婦で一緒に子育て～男性の育児休業が取りやすくなりました～	28
	SDGs みんなではじめましょう	
4月	GO TO 健診 STOP!!生活習慣病	24

（合計） 384

予算特集号 16 ページ

また、ケーブルテレビ放送を用いての情報発信では、行政情報コーナーとして「こんにちは！市役所です」を毎日放送するほか、市議会開催時の中継や災害時などの緊急放送を行い、情報発信の充実を図りました。

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	05	財産管理費
事務事業名	01	財産管理事業			6つのまちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	総合政策部 財政課			施策	27	自立した行財政運営の確立		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
33,520	32,134			6,785	25,349	1,386	P. 104	

【令和4年度における事務事業の概要】

普通財産の適切な管理のため、施設修繕や各種点検、除草等の委託、使用する予定のない土地等の売却や貸付業務を行うとともに、万が一に備え建物火災保険に加入しました。また、公用車の事故や市所有の施設の瑕疵による損害等に備え、賠償責任保険に加入しました。

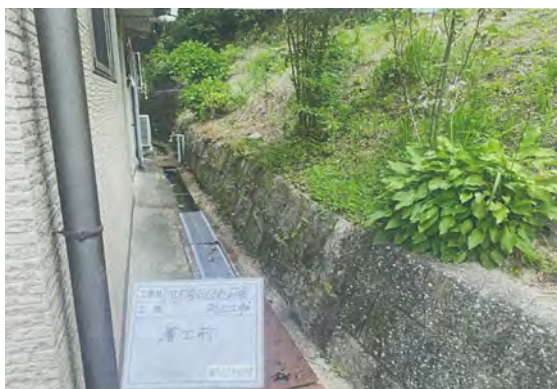
【令和4年度における事務事業の成果】

旧ポリテクセンターをはじめとした普通財産の維持管理に要する光熱水費及び各種保険料等の支払い事務や、市有地崩壊防止工事、管理業務委託等を行いました。また、使用予定のない土地等の売却や貸付、土地開発公社で所有していた土地の一部を買い戻すなど、健全な財政基盤の確立に努めました。公用車については、日々の点検を行い安全運行に努めました。

主な決算額

費 目	事業費	内 容
光熱水費	6,216千円	旧ポリテクセンター等電気料、水道料
火災保険料	4,183千円	市有建物火災保険料
自動車損害賠償責任保険料	2,696千円	公用車損害賠償保険料 公用車自賠責保険料
賠償責任保険料	1,251千円	市民総合賠償補償保険料 公金総合保険料
委託料	4,707千円	旧ポリテクセンター伊万里機械警備業務委託料外3件 市有地法面等除草業務委託料外8件 市有地境界測量業務委託料外1件
工事請負費	869千円	市有地崩壊防止工事（木須町）
用地購入費	10,000千円	伊万里市土地開発公社用地買戻し
備品購入費	1,278千円	公用車購入等

【市有地崩壊防止工事（施工前）】



【市有地崩壊防止工事（施工後）】



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	01	企画政策事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 企画政策課			施策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
2,191		1,840	0	0	0	1,840	351	P. 106

【令和4年度における事務事業の概要】

地域振興を目的として加入している財団法人地域活性化センターや佐賀県電源地域連絡協議会において、Web会議等を活用しながら、政策形成のために必要な情報等の収集を行いました。

また、本市の教育行政に係る施策について、市長と教育委員会が協議・調整を図り、両者が教育政策の方向性を共有するため、「総合教育会議」を開催しました。

さらに、本市の持続可能な発展を図るため、様々な見識を持った伊万里にゆかりがある7名に、伊万里市政策アドバイザーを委嘱するとともに、政策アドバイザーによる「伊万里がんばろう応援団」を創設し、新たな政策助言を受け市政運営の参考としました。

【令和4年度における事務事業の成果】

地域振興を目的とする各種団体への加入やWebの活用等により政策形成に関する情報収集に努めたほか、総合教育会議を2回開催し、教育施策に関する協議・調整を行い次年度の予算確保につなげました。

また、政策アドバイザーを伊万里市内と福岡市内に招聘し「がんばろう応援団会議」を2回開催し、市の課題や政策等について説明を行い、意見交換や政策助言を受け令和5年度の新規事業につなげることができました。

1. 総合教育会議

会議	開催日
第1回総合教育会議	令和4年8月18日
第2回総合教育会議	令和5年2月22日

2. がんばろう応援団会議

会議	開催日
第1回がんばろう応援団会議	令和4年8月19日
第2回がんばろう応援団会議	令和5年3月26日

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	05	第6次総合計画後期基本計画策定事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 企画政策課			施策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
836		598	0	0	0	598	238	P. 108

【令和4年度における事務事業の概要】

第6次総合計画は、平成31年4月に策定し、全体では令和元年度から令和8年度までの8年間の計画ですが、前半4年間の前期基本計画が令和4年度で満了することから、総合計画審議会やまちづくり市民会議を開催し、後半4年間で取り組む内容を示す後期基本計画等を策定しました。



【令和4年度における事務事業の成果】

計画の策定にあたっては、市民参加を前提とし、市民アンケートによる市民ニーズの把握や幅広い市民の参加によるワークショップ「まちづくり市民会議」の開催のほか、審議会による計画の審議により、第6次総合計画後期基本計画を策定するとともに基本構想の一部を改定しました。

第6次総合計画後期基本計画等策定経過

月 日	内 容
5月10日	第1回企画委員会
6月 6日	第1回企画幹事会議、企画主任会議
6月29日	市議会全員協議会説明
7月16日	まちづくり市民会議
8月 1日	第2回企画委員・企画幹事合同会議
8月23日	第1回総合計画審議会（諮問）
8月23日～9月9日	健康福祉部会、教育文化部会、産業振興部会、基盤整備部会、環境安全安心部会、新しい協働創造部会
9月14日	市議会全員協議会説明
9月22日	第2回総合計画審議会
9月22日	答申
10月3日～10月26日	市民意見提出手続（パブリックコメント）
12月21日	定例議会にて議決（第6次総合計画基本構想の変更及び後期基本計画の策定）

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	06	みんなの地域創造拠点形成事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 企画政策課			施策	25		市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
6,142		5,922	0	0	5,900	22	220	P. 108

【令和4年度における事務事業の概要】

この事業は、近隣大学の学生が中心となった伊万里まちなかラボ活動（市内を学習及び実践の場とする活動）により、市内事業者や市民との交流とともに、地域資源を活用した新商品の開発などの取組を通して、大学生を中心とする関係人口の創出を目指しています。

令和4年度は、長崎県立大学の学生が市内事業者との協力によるまちなか活性化に向けたフィールドワークや物産展の開催のほか、民泊ツアー等の観光コンテンツの研究などに取り組みました。

- 地域活性化起業人 馬庭 亜由（派遣元：株式会社GAROO） R4～R6の3年間の予定
- 予算の内容 人件費に相当する額 300万円 活動費に相当する額 292.2万円
- 特別交付税措置 受入に要する経費 上限560万円
・人件費及び公用車借上料 10/10
起業人が提案した事業に要する経費 上限100万円（1/2）

【令和4年度における事務事業の成果】

長崎県立大学生によるフィールドワークや物産展の開催のほか、民泊ツアー等の観光コンテンツの研究などを通して、多くの大学生に本市の魅力を体験してもらうことができ、関係人口の創出につなげることができました。

時期	内容	参加者 (延べ人数)
4月～7月	長崎県立大学経営学科 地域と企業演習フィールドワーク 協力企業：伊万里百貨店、古伊万里酒造、小島食品、ドライブイン鳥、城月堂など	40人
5月～6月	長崎県立大学経営学科 佐世保市での伊万里商品販売実践（選定含む）	30人
6月～10月	長崎県立大ゼミ CarCon（車を持つ学生と持たない学生マッチングプラットフォーム）フィールドワーク	10人
7月～10月	長崎県立大ゼミ 東山代町川内野で6次産業化を見据えた商品企画、マルシェ出店	30人
10月	佐賀大、九州大、長崎県立大、慶応大の有志 市内高校生と大学生のオンライン交流会	10人
10月～3月	長崎県立大ゼミ グリーンツーリズム体験プラン作成・モニターツアー実施	10人
	合 計	130人

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	09	職員提案制度運用事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 企画政策課			施策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)	31	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
	31	31	0	0	0	31	0	P. 110

【令和4年度における事務事業の概要】

職員の業務に関する意識改革を促し、効率的な行政運営を推進するため、市政運営に関する提案や自己の業務改善（カイゼン）を職員から募集し、職員提案審査委員会において、優秀な内容と認められた提案等の表彰を行いました。

また、各課で取り組んだカイゼンについて、職員間で投票を行い、最も獲得票が多かったものについて、部門賞として表彰を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

提案及びカイゼンを募集し、提出された内容について職員間で情報を共有することで、職員の業務に関する意識改革に繋がりました。

- 職員からの提出件数
提案4件、カイゼン52件

- 表彰件数
 - ・提案1件（C賞：1件）
 - ・カイゼン5件（B賞：3件、C賞：2件）
 - ・部門賞1件
 - ※B賞：図書カード7,000円分、C賞：賞状、部門賞：図書カード10,000円分

【主な提案・カイゼン】

- カイゼン名：上下水道部 営業係のDXによる業務効率化
営業係は水道料金等の収納徴収が主な事務である中、水道の開栓・閉栓申し込みなどのお客様対応、検针对応、水道メーター交換対応など、煩雑な多量の日常業務に追われており、残業も恒常的に発生していたため紙帳票の取扱い見直しなど、システム利用の改善により様々な効率化をすることができました。

1. 水道新規開閉栓申込の口頭受付簿の廃止とシステム直接入力化
2. WEB受付の開始
3. GISを利用した検針・停水作業の効率化
4. 水道メーター情報更新作業の自動化
5. ゆうちょ銀行との取引改善による効率化（B賞）



- カイゼン名：ガバメントクラウドファンディングによる伊万里市松浦鉄道駅名標等リニューアル
市内の松浦鉄道の駅構内には風雨にさらされ文字が薄くなった駅名標や、長年の使用による色落ちや割れがみられる待合所いすなどがあったものの、安全対策等が優先され、駅の設備は老朽化したままのものがあつた。松浦鉄道を支える沿線自治体として「できることから」との思いから、駅名標や待合所いすの更新費用として令和4年11月1日～令和5年1月30日の期間で、目標金額180万円としたガバメントクラウドファンディングを実施し、目標金額を達成することができました。（部門賞）



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	10	ファシリティマネジメント推進事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 プロジェクト推進課			施策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,834		1,722				1,722	112	P. 110

【令和4年度における事務事業の概要】

公共施設マネジメントシステムによる施設データの一元管理や業務の効率化を図ることをはじめ、公共建築物の計画的な維持管理を推進するため、制度化した定期点検に取り組みました。

また、公共施設等総合管理計画の「跡地及び未・低利用施設の利活用の方針」に基づき地域や民間事業者等からの意見、提案等を踏まえ利活用に向けた様々な手法の検討を行いました。

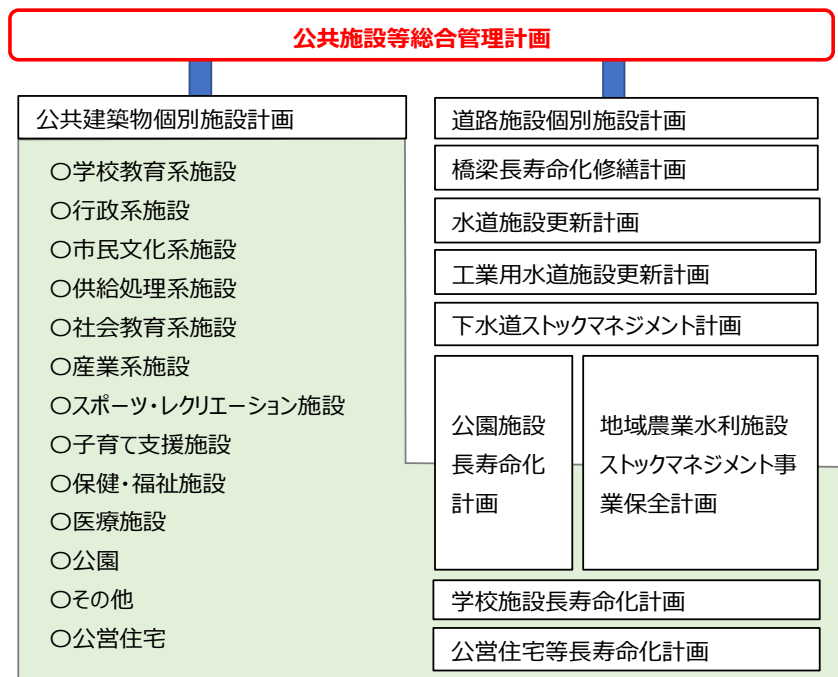
【令和4年度における事務事業の成果】

定期点検の制度化により、施設の予防的な保全と安全確保を図ることができました。

また、点検結果のシステム入力により各施設状況の集約管理が可能となり、今後総合管理計画等を見直す際の資料として活用できるようになりました。

市民会館跡地や周辺の既存施設整備の方向性について、市民との意見交換を目的とした「市街地の新たな公共施設を考える会」の2回目を開催しました。

また、跡地活用や公民連携等による新たな公共施設のあり方について、民間提案制度やサウンディング型市場調査により旧林業研修センターの公募開始や、給食センターの改修についての方向性を示すことができました。



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	11	ふるさと応援寄附募集事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 財政課			施策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,858,817		1,559,809			1,559,809	0	299,008	P. 110

【令和4年度における事務事業の概要】

- 9つのふるさと納税ポータルサイトに、伊万里牛・伊万里梨をはじめとした農産物や伊万里焼、海産物、地酒などのお礼の品を掲載し、ふるさと応援寄附金の募集を行いました。
- ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを実施しました。
松浦鉄道駅名標等リニューアル
◇概要
風雨にさらされて文字が薄くなった松浦鉄道の駅名標や長年の使用による色落ちや割れがみられる待合所いすなどのリニューアルに対し補助するための資金を募りました。（補助は令和5年度事業）
◇寄附の実績
150件 2,517,000円

【令和4年度における事務事業の成果】

- ふるさと納税ポータルサイトでふるさと応援寄附金を募集した結果、寄附金は過去最高額となり、自立した行財政運営の確立につながりました。
- 令和4年度寄附実績

1. 産業振興による「活気あふれるまち」づくり	4億1,643万3,199円
2. 地域資源を活かした「行きたいまち」づくり	2億1,321万 300円
3. 市民みんなで「子育てしやすいまち」づくり	8億9,002万5,320円
4. 時代にあった都市づくりで「安心して住みたいまち」づくり	1億6,576万4,300円
5. 市長お任せコース	12億3,759万6,201円
6. ガバメントクラウドファンディング	251万7,000円

令和4年度合計 29億2,554万6,320円

●令和3年度との比較

令和3年度寄附件数	167,529件	
令和4年度寄附件数	166,107件	0.8%減少
令和3年度寄附金額	26億9,626万 600円	
令和4年度寄附金額	29億2,554万6,320円	8.5%増加

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	12	シティプロモーション推進事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部			シティプロモーション推進課	施策	28	移住・定住の促進
		総合政策部						
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
12,418	11,762	847	0	7,400	3,515	656	P. 112	

【令和4年度における事務事業の概要】

シティプロモーション推進事業では、本市が移住や観光などあらゆる場面で「選ばれるまち」となるため、郷土愛の醸成をはじめとして、情報発信の強化や交流人口の拡大、関係人口の創生につながる取り組みを引き続き行いました。

また、本市在住の現役TVタレントに市公認サポーターを委嘱し、市内外に広く情報を発信していく試みを始めるとともに、所属事務所及び日本航空株式会社の御協力の下、本市を対外的にPRできる動画の制作を行いました。

さらには、これまで把握していなかった人流についての詳細なデータを取得し、その他ビッグデータを活用した本市の交流人口及び関係人口拡大のための調査・分析業務を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

○市シティプロモーション公認サポーター

本市在住タレントと連携しSNSや動画配信による本市のヒト・モノ・コトの魅力を広く伝えるなど、情報発信の強化に取り組みました。

- ・Instagram(市+サポーター) 44,000回再生
- ・TikTok(サポーター) 55,000回再生
- ・JALとの連携によるプロモーション動画の制作

○SNSアンバサダー

市内で多くのフォロワーを獲得している3者にSNSアンバサダーを任命し、3者のフォロワー数の合計約165,000人に向け、定期的な本市の魅力発信に取り組みました。(令和5年1月から月1回以上の配信)



○人流データの取得・分析

各種データの取得による現状分析やコロナ禍前との比較検討など、交流人口の拡大や関係人口の創出を図るための企画立案を行うとともに、本市におけるブランディングの方向性等について、調査研究を行いました。

○副業人材の活用

優秀なスキルとノウハウを有する都市圏の副業人材を市ブランディング向上アドバイザーとして任命し、地域ブランディングに関する企画立案等に専門的なアドバイスをいただきました。

○ロゴマークの制作

本市PRの視覚的フックとなるロゴマークデザインを公募し、全国から応募された99点の作品をもとに、新たなロゴマークが誕生しました。



iMAR!

※財源内訳の「その他」はふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	13	移住・定住促進事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 企業誘致・商工振興課			施策	28		移住・定住の促進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
24,717	11,691	4,299		7,300	92	13,026	P. 114	

【令和4年度における事務事業の概要】

本市のプロモーション映像やガイドブック、リーフレットを活用し、ウェブサイトでの情報発信やオンラインで開催される移住相談会への出展、近県大学訪問によるPR活動など、移住・定住促進のためのプロモーションを推進しました。

また、移住・定住支援員1名を継続配置し、移住希望者への情報提供や相談対応を行い、移住・定住相談窓口の充実を図りました。

更に、市外に居住する若年世代（20代～30代の子育て世代）などを対象とした本市への移住相談会を行うとともに、転入者で市内に住宅の新築や空き家を購入する者に対する奨励金や首都圏及び県外、市外から市内企業への就職者に対する支援金を交付するなど移住の促進を図りました。

【令和4年度における事務事業の成果】

【申請実績】

・新築購入移住奨励金	3世帯	11名
・移住支援金	1世帯	1名
・いまり暮らしスタート支援金	6世帯	12名
合計	10世帯	24名



※移住相談会の様子

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	14	関係人口創出事業			6つの まちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		総合政策部 企業誘致・商工振興課			施策	14		商工業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,657		1,657			1,600	57	0	P. 114

【令和4年度における事務事業の概要】

様々な経営課題を抱える市内企業と、高いスキルを持つ都市部の副業人材をマッチングし、市内企業の課題解決を図ることを目的として、セミナーの開催や地元金融機関による市内企業訪問を行い、副業人材の活用事例等を紹介するとともに、副業人材マッチングシステム「Skill Shift」への登録を勧奨するなど、副業人材活用を促進しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

- 1 市内企業の副業人材マッチングセミナー開催
 日 時：令和4年7月4日（月）14：00～15：30
 場 所：伊万里市民センター 文化ギャラリー
 参加者：市内企業25社25名

セミナーでは、講師から副業人材を活用しての課題解決の事例や副業人材マッチングシステム「Skill Shift」の紹介があったほか、市内企業2者に副業人材活用の取組を紹介いただき、参加企業の副業人材活用の促進に努めました。

- 2 システム活用実績
 Skill Shift掲載数 9社（うちマッチング3社）



提供元：株式会社みらいワークス

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	15	SDGs推進事業			6つのまちづくり		06	自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 企画政策課			施策		25	市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,106		652	0	0	600	52	454	P. 116

【令和4年度における事務事業の概要】

SDGsの推進は、市民や企業・団体等が自発的に取り組むことに大きな意味があるため、SDGsに関する講演や体験を通して、市民や職員の理解度の向上を図りました。

また、本市の持続可能な成長を見据えて、市内企業が実施するインターンシップの支援やスマート農業の体験会の開催に取り組みました。

【令和4年度における事務事業の成果】

子どもから高齢者まで多様な世代を対象としたいまりSDGsスクールを開催し、市民や職員のSDGsに関する認知度や理解度を高めることができました。

また、市内企業と連携し、インターンシップの受け入れやスマート農業の普及に取り組むことで、持続可能なまちづくりや地域の活性化を図りました。



シニアeスポーツ体験会の様子

時期	内容	ゴール	参加者等
8月、2月	インターンシップ受け入れに係る補助 対象：市内企業	G8「働きがいも経済成長も」	8人
9月28日	スマート農業（パワーアシストスーツ）体験会 協力：JA梨部会	G9「産業と技術革新の基盤をつくろう」	16人
2月	見守りGPSシステム 対象：通学時間が長い旧滝野校の児童生徒	G11「住み続けられるまちづくりを」	10人（6世帯）
1月22日	第1回いまりSDGsスクール アート泥団子ワークショップ 協力：西九州大学短期大学部	G12「つくる責任つかう責任」	30人（10組）
2月3日	第2回いまりSDGsスクール リアルスコープ～IMARI株式会社～ 対象：大川内小学校 3、4年生	G12「つくる責任つかう責任」	30人
2月20日	第3回いまりSDGsスクール シニアeスポーツ体験会 協力：佐賀県eスポーツ協会 対象：市老人クラブ連合会	G3「すべての人に健康と福祉を」	15人
3月20日	第4回いまりSDGsスクール 子育てカフェ講座 協力：西九州大学短期大学部	G5「ジェンダー平等を実現しよう（育児、家事）」	12人
3月22日	第5回いまりSDGsスクール 職員向け講座 協力：NPO法人 地球市民の会	G11「住み続けられるまちづくりを（意識改革）」	40人

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	17	個人番号カード利用促進事業	6つのまちづくり	06	自立と協働のまちづくり			
担当部課	総合政策部 企画政策課		施策	24	市政に関する情報共有と市民参画の促進			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
2,578	2,576	2,576	0	0	0	2	P. 116	

【令和4年度における事務事業の概要】

国が実施しているマイナポイント事業の市民への制度周知や市民に対する申込支援を行いました。

《マイナポイント事業》

マイナンバーカードの普及を促進するとともに、消費喚起や生活の質の向上につなげるために、マイナンバーカードを活用して、幅広いサービスや商品の購入などに利用できるポイント（マイナンバーカード新規取得：5,000円分、健康保険証申込：7,500円分、公金受取口座の登録：7,500円分）を付与する事業です。

【令和4年度における事務事業の成果】

●マイナポイント事業に関する全戸配布チラシの作成や、市長メッセージを放送するなど、制度周知のための広報を行いました。

●マイナポイントの申込にはマイナンバーカード読み取りに対応したスマートフォン等が必要であるため、支援用端末を貸借し本庁及び各コミュニティセンター（立花CCを除く）で申込支援を実施しました。

●マイナポイント事業の市民への制度周知や、申込支援を行うことで、マイナンバーカードの申請率向上に寄与することができました。

▶令和4年8月31日 時点の申請率

県 : 56.63%
伊万里市 : 53.36%
※県内18位

▶令和5年3月31日 時点の申請率

県 : 86.71% (+30.09%)
伊万里市 : 89.52% (+36.17%)
※県内5位



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	18	公共施設感染防止対策事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 施設営繕課			施 策	21	生活環境の保全		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
8,442	8,207	7,100		1,100	7	235	P. 116	

【令和4年度における事務事業の概要】

公共施設における手洗い時の新型コロナウイルス感染症対策として、手動の水栓器具を自動水栓に取り替えました。

【令和4年度における事務事業の成果】

次の施設において、自動水栓への取り替えを行いました。

対象施設	施設数	箇所数
国見台公園内管理事務所・体育館・テニスコート・武道場・弓道場	5	17
大川体育館，波多津体育館	2	4
伊万里湾大橋球技場	1	5
南波多ミニスポーツ会館	1	2
牧島運動広場，浦ノ崎運動広場，東山代運動広場	3	8
大川ゲートボール場，二里ゲートボール場，他ゲートボール場	8	19
生涯学習センター	1	13
同和教育集会所	1	1
陶器商家資料館	1	1
伊万里第1児童クラブ，牧島児童クラブ，他留守家庭児童クラブ	21	73
伊万里大川内山鍋島藩窯公園内休憩所	1	4
環境センター	1	2
伊万里ファミリーパーク	1	9
竹の古場公園，東八谷搦新田川河畔公園，川久保公園，他公園施設	9	23
上下水道部庁舎，大川浄水場，浦ノ崎浄水場，他上下水道施設	8	28
大川保育園，松浦保育園	2	2
伊万里コミュニティセンター 他コミュニティセンター	13	18
企業活動支援センター，旧ポリテクセンター	2	15
合 計	81	244

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	19	プロジェクト推進事業	6つのまちづくり			06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	総合政策部 プロジェクト推進課			施策	27	自立した行財政運営の確立		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 116	
189	120				120	69		

【令和4年度における事務事業の概要】

市が掲げる重点政策の実現を目指し、大学など高等教育機関のキャンパス誘致に向けた取組等を進めるため、令和4年10月1日付でプロジェクト推進課が新設されました。

若者の学びの選択肢を広げ、若者の市外流出の抑止や地域が必要とする人材の確保等に寄与する高等教育機関の誘致については、まずは、長崎県や福岡県など近隣の高等教育機関の関係者を中心に、サテライトキャンパスなど大学施設の設置の可能性や学生の確保が見込める分野、立地自治体に求める支援などについて、訪問や電話による聞き取りなどの情報収集に取り組みました。

また、庁内および庁外で誘致を推進するための体制を整備しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

高等教育機関の誘致に関しては、情報収集のため高等教育機関等の関係者（29団体）に聞き取りを行いました。

また、誘致推進体制の整備を目的として、令和4年12月23日付で庁内に「伊万里市高等教育機関誘致推進本部」を設置し、個別案件に応じて庁内連携により包括的に対応する推進体制を整備するとともに、令和5年2月1日には、市と産業界の連携による「伊万里市高等教育機関誘致推進協議会」を設立し、地域全体で大学や高専などの高等教育機関の誘致を強力に推進する体制を整備しました。

加えて、令和5年2月13日には、伊万里市高等教育機関誘致推進協議会による佐賀県立大学への本市への設置を求める要望書を知事宛に提出を行いました。

※伊万里市高等教育機関誘致推進協議会会員数：50団体（令和5年3月31日現在）

伊万里市高等教育機関誘致
推進本部構成員

副市長	本部長
総務部長	
総合政策部長	副本部長
市民交流部長	
健康福祉部長	
建設農林水産部長	
上下水道部長	
教育部長	



伊万里市高等教育機関誘致推進協議会による
知事要望活動の様子

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	07	男女協働参画推進費
事務事業名	01	男女協働参画推進事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 企画政策課			施策	26		男女協働参画社会の形成
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,590		1,132	0	0	0	1,132	458	P. 118

【令和4年度における事務事業の概要】

- ・男女協働参画社会の実現を目指し、市民と行政との協働により推進を図ることを目的として発足した男女協働参画懇話会「いまりプラザ」と連携し、啓発活動を行いました。
- ・各地区と団体から推薦された女性を「いまり女性ネットワーク」に会員として登録し、その会員に審議会等の委員として参画してもらうことで、女性の参画拡大を図りました。
- ・令和5年度から令和9年度までの5年間を計画期間とする「第5次伊万里市男女協働参画基本計画」を策定しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

○男女協働参画懇話会「いまりプラザ」14期委員と連携し、男女協働参画社会の実現のため積極的な啓発活動を行い、男女協働参画意識の市民への浸透を図ることができました。

- ・懇話会開催（10回 延べ119名）
- ・キラめく☆いまりワークショップの開催（参加者32名）
- ・フォーラムやセミナーの開催（3回 参加者96名）
- ・出前講座の実施（4回 参加者56名・委員延べ7名）
- ・「いまりプラザだより」発行（2回）
- ・学習会の開催（3回 参加者28名）
- ・男女共同参画週間啓発パネル展の実施（1回）
- ・DV防止街頭キャンペーンの実施（1回）
- ・パープルライトアップ実施（2事業所）

○「いまり女性ネットワーク」会員により女性の参画拡大を図りました。
（55名が登録、34審議会等に延36名参画）

- ・セミナー参加等（4回 23名）

○市民意識調査（令和3年度実施）を踏まえ、「第5次伊万里市男女協働参画基本計画」（令和5年度～9年度までの5年間）を策定しました。

- ・男女協働参画審議会3回、男女協働参画推進会議2回、ワーキンググループ会議1回、パブリックコメントの実施

○働き方改革等に関する職員研修会を開催しました。

- ・育児休業研修会（管理職47名）
- ・ワークライフバランス実践研修会（係長職32名）
- ・ハラスメント防止研修会（課長職17名）

○市内小中学校及び義務教育学校へ生理用品を配付しました。
（小学校171袋、中学校171袋、義務教育学校（前期）9袋、義務教育学校（後期）18袋）



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	07	男女協働参画推進費
事務事業名	02	女性自立支援相談事業				6つの まちづくり	06	自立と協働のまちづくり
担当部課	総合政策部 企画政策課				施 策	26	男女協働参画社会の形成	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
79	31	0	0	0	31	48	P. 118	

【令和4年度における事務事業の概要】

女性自立支援相談員による女性相談窓口を開設し、DV被害をはじめ女性が抱える家庭や子育てなどの悩みの相談に対応しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

○女性相談窓口を開設し、相談対応、DV被害者支援を行うことができました。

- ・令和4年度相談件数 123件（うちDV相談 64件[52%]）

○DV被害者の的確な支援と二次被害の防止のため、関係職員を対象としたDV被害者支援研修会（22名参加）と庁内関係部署からなる庁内連絡会議を開催し、情報共有を図ることができました。

特に、緊急性が高い事案である二次被害の防止と加害者対応については、関係部署による迅速な対応が必要なため、各担当者と情報を共有し、ケース会議を開催するなど連携して対応しました。

○「伊万里市DV被害者支援マニュアル」については、随時見直しを行い、マニュアルに即して適切な対応の徹底を図ることができました。

伊万里市女性相談対応件数等

(年度別件数)

	相談件数					合計件数	相談者実人数
	電話相談	来庁相談	他機関との連携 /電話連絡	施設への搬送・職 員が行う庁内手続 等			
平成30年度	124	112	52	162	450	81	
（うちDV）	(53)	(58)	(47)	(84)	(242)	(38)	
令和元年度	124	84	88	152	448	66	
（うちDV）	(60)	(59)	(61)	(105)	(285)	(34)	
令和2年度	99	77	102	120	398	67	
（うちDV）	(68)	(60)	(98)	(97)	(323)	(45)	
令和3年度	196	60	15	99	370	64	
（うちDV）	(151)	(40)	(14)	(71)	(276)	(41)	
令和4年度	25	45	2	51	123	63	
（うちDV）	(3)	(31)	(2)	(28)	(64)	(36)	

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	08	市民相談費
事務事業名	01	市民相談事業				6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり
担当部課	市民交流部 まちづくり課			施 策		23	暮らしの安全・安心の確立	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
944	944				944	0	P. 118	

【令和4年度における事務事業の概要】

社会情勢の変化やそれに伴って起こる様々な問題、悩みに市民が直面したときに、手助けになるように各種相談窓口を開設し、弁護士など専門の相談員を配置しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

相談受付件数一覧

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
法律相談	15	14	19	14	11	19	16	16	14	14	19	15	186
司法書士相談	3	3	3	2	3	4	4	4	4	3	1	4	38
公証人相談	2	0	2	4	5	2	4	4	3	1	4	2	33
人権相談	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
行政相談	0	3	1	1	1	0	0	0	0	1	0	1	8
不動産相談	0	2	1	1	0	1	3	0	0	0	0	0	8
合 計	20	22	26	23	20	26	27	24	21	19	25	22	275

相談対応依頼先

	依頼先	相談日
法律相談	佐賀県弁護士会唐津支部	毎月第2,4水
司法書士相談	伊万里市内の司法書士	毎月第3水
公証人相談	唐津公証役場	毎月第3木
人権相談	人権擁護委員	毎月第1,3火
行政相談	行政相談委員	毎月第3金
不動産相談	(一社)佐賀県宅地建物取引業協会	毎月第2木

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	08	市民相談費
事務事業名	02	消費生活相談事業			6つのまちづくり		05	住みよい環境づくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策		23	暮らしの安全・安心の確立
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 118	
3,791	3,722	135			3,587	69		

【令和4年度における事務事業の概要】

複雑多岐にわたる消費者トラブルの相談を迅速かつ的確に処理し、被害を未然に防ぐため、「NPO法人消費生活相談員の会さが」に委託し、相談業務を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

年間243日相談日を開設し、364件の相談がありました。

	商品・役務名	件数	内 容
1	金融・保険サービス	54	借金問題、ヤミ金、生命保険、外国為替証拠金取引(FX)などに関するトラブル
2	土地・建築・設備	37	賃貸借契約、外壁塗装、屋根工事、太陽光発電システム、住宅設備等に関するトラブル
3	運輸・通信サービス	35	携帯電話サービス、光回線やWi-Fi等の通信契約などのトラブル
4	保健衛生品	28	化粧品(白髪染め、基礎化粧品、歯磨き粉、除毛剤など)・医薬品などの定期購入に関するトラブル マスク、オゾン発生器などの契約トラブル
5	教養娯楽サービス	22	アダルトサイト、副業サイト、出会い系サイトなどのトラブル
6	商品一般	25	実在の会社を名乗った迷惑メール、不審な小包の受取りなどの相談
7	被服品	19	子ども服、婦人用服、靴、貴金属、バッグ、補正下着などの契約トラブル
8	教養娯楽品	29	腕時計、スマートフォン、ポケットWi-Fi、釣り具、ゴルフ用品などの契約トラブル
9	住居品	15	敷きマット、浄水器、空気清浄機などの契約に関するトラブル
10	食料品	25	健康食品(ダイエット、筋肉増強サプリなど)の定期購入に関するトラブルなど
11	その他	75	上記以外の相談

年間全相談件数 364件

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	09	公共交通費
事務事業名	01	コミュニティバス等運行事業			6つのまちづくり	04		生活の基盤づくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策	17		道路・交通体系の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
28,281		24,785			24,700	85	3,496	P. 120

【令和4年度における事務事業の概要】

高齢者や学生をはじめとした交通弱者に対して、移動手段を確保するとともに、公共交通機関の充実を図るため、市街地の公共施設や商業施設、病院、住宅地などを循環する「いまりんバス市街地線」、伊万里駅を中心とする半径4km圏内を循環する「いまりんバス郊外線」、山代町内の交通空白地域内を巡回する「いまりんバス地域線」の運行を西肥自動車株式会社に委託しました。

また、松浦町及び二里町においては、デマンドタクシー（予約制乗合タクシー）の運行を西肥亀の井タクシー株式会社に委託しました。

【運行委託料】

いまりんバス 市街地線 13,050,520円
 地域線 2,775,737円
 郊外線 5,496,221円

デマンドタクシー（予約制乗合タクシー）
 松浦町 1,750,310円
 二里町 763,720円



市街地線を運行するいまりんバス車両
(乗客33人乗)

【令和4年度における事務事業の成果】

いまりんバス及びデマンドタクシーの運行委託により、交通弱者の移動手段を確保することができました。利用実績は次のとおりとなりました。

いまりんバス 市街地線 42,949人
 地域線 479人
 郊外線 4,270人
 デマンドタクシー
 松浦町 363人
 二里町 26人

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



郊外線、地域線を運行するいまりんバス車両
(乗客12人乗)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	09	公共交通費
事務事業名	02	バス交通支援事業			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	市民交流部 まちづくり課			施策	17	道路・交通体系の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 120	
90,725	85,388			85,300	88	5,337		

【令和4年度における事務事業の概要】

通学や買い物、通院など市民の日常生活を支える交通手段を確保するため、路線バスの運行費補助金として66,767,000円を支出しました。

また、地域が主体となった新たな交通体系への補助金として下記のとおり支出を行いました。

東山代町「元気バス」	8,372,000円	(平成21年 4月 1日運行開始)
波多津町「波多津ふれあい号」	2,217,000円	(平成28年 1月18日運行開始)
大川町「コミュニティすこやかバス」	3,122,000円	(平成29年10月 2日運行開始)
黒川町「町内巡回バスくろがわ号」	4,857,000円	(平成30年 3月20日運行開始)



東山代町元気バス



波多津ふれあい号

【令和4年度における事務事業の成果】

路線バスの運行経費のほか、地域が主体となって取り組む地域コミュニティバス等に対する運行経費への補助を行い、交通弱者の移動手段を確保することができました。路線バス及び地域コミュニティバスの利用実績は次のとおりとなりました。

路線バス	121,299人
東山代町「元気バス」	5,673人
波多津町「波多津ふれあい号」	6,074人
大川町「コミュニティすこやかバス」	4,083人
黒川町「町内巡回バスくろがわ号」	4,407人

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



大川町すこやかバス



くろがわ号

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	09	公共交通費
事務事業名	03	鉄道交通支援事業			6つのまちづくり		04	生活の基盤づくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策		17	道路・交通体系の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
22,042	21,255	6,880		14,000	375	787	P. 120	

【令和4年度における事務事業の概要】

第三セクター方式により運営される松浦鉄道株式会社を支援するため、「松浦鉄道自治体連絡協議会」に対し負担金60,000円を支出したほか、同社が取り組む、老朽化した鉄道設備等の更新などの安全対策に対し、国庫補助額を除く施設整備事業費として、13,435,000円を補助しました。

また、JR筑肥線の沿線市町で組織している「筑肥線複線化電化促進期成会」に対し、負担金として41,000円を支出しました。期成会では、利用促進に関する事項、利用しやすいダイヤの改正、利用環境に関する事項など、快適な輸送サービスについての要望・提案活動を国やJR九州に対して行いました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛等により影響を受けた松浦鉄道株式会社に対し6,880,000円の公共交通維持確保支援金を支出し、公共交通の維持確保に努めました。

加えて、駅の賑わいづくりや鉄道の利用促進を図るため、絵画コンクール等の取り組みや、イベント鉄道利用案内掲載等奨励金130,000円を支出したほか、伊万里駅ビル開業20周年の記念切符の販売を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

松浦鉄道株式会社への施設整備事業費に対する沿線自治体と協調した補助を通じて、旅客輸送の安全を確保することができました。

また、JR筑肥線沿線自治体で組織する「筑肥線複線化電化促進期成会」による鉄道事業者への要望活動を通じ、利便性の維持に努めるとともに、本市、JR九州、唐津市、県で組織する「筑肥線活用に関する検討会」では、ロマンスing佐賀列車の運行、伊万里駅などへのオリジナル駅名標の設置など、JR筑肥線の利用促進に取り組みました。

加えて、伊万里駅ビル開業20周年にあたり、改めて鉄道に目を向けていただき利用促進のきっかけとするため、JR九州、松浦鉄道株式会社と協力して数量限定の記念切符を販売し、400セットを完売しました。

松浦鉄道利用者数（伊万里市管内駅乗降客数） 546,331人

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



JR九州記念切符



松浦鉄道株式会社記念切符

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	13	交通安全対策費
事務事業名	01	交通安全指導員活動事業			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		総務部 防災危機管理課			施策	23		暮らしの安全・安心の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
5,532		4,860				4,860	672	P. 124

【令和4年度における事務事業の概要】

市内における交通安全活動の推進を図り、市民の交通安全を確保するため、伊万里市交通安全指導員設置条例に基づき、交通安全指導員を配置し、児童・生徒の通学時を中心とした交通安全指導およびイベント等における交通安全確保を行いました。

伊万里地区	3人	黒川町	3人	二里町	3人
牧島地区	1人	波多津町	2人	東山代町	3人
大坪地区	2人	南波多町	2人	山代町	3人
立花地区	3人	大川町	2人	合計	31人
大川内町	2人	松浦町	2人		

【令和4年度における事務事業の成果】

31名の交通安全指導員を委嘱し、児童・生徒の通学時や市内の各種イベント等における街頭指導に取り組み、市内の交通安全運動の推進を図りました。



就退任式の様子

- ◆辞令交付、市長あいさつ、伊万里警察署講話（市内の交通情勢）



交通安全指導員研修会の様子

- ◆応急手当講習（伊万里・有田消防組合）
- ◆交通安全指導要領等講習（伊万里警察署）

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	13	交通安全対策費
事務事業名	02	交通安全啓発事業			6つのまちづくり		05	住みよい環境づくり
担当部課		総務部 防災危機管理課			施策		23	暮らしの安全・安心の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
398		320				320	78	P. 124

【令和4年度における事務事業の概要】

「守ろう交通ルール 高めよう交通マナー」のスローガンのもと、関係機関や団体の協力を得て、市民への交通安全の啓発活動を実施しました。

●交通安全県民運動における主な取り組み

- 【春：4月】・新入学児童を交通事故から守る日キャンペーン（街頭指導）
参加者：市、各地区（町）交通対策協議会、新入児保護者等
- 【夏：7月】・高齢者交通安全指導員講習会
参加者：市、高齢者交通安全指導員、伊万里警察署
・体験 de 交通安全 in 図書館
参加者：市、伊万里警察署、JAF、市民
- 【秋：9月】・Imari Line作戦
参加者：市、松浦町交通対策協議会、伊万里警察署
・交通安全教室
参加者：市、牧島小学校1.2年生、牧島地区交通対策協議会、西肥自動車(株)、伊万里警察署
- 【冬：12月】・交通安全教室
参加者：市、波多津小学校1.2年生、波多津町交通対策協議会、昭和自動車(株)、伊万里警察署

【令和4年度における事務事業の成果】

交通安全運動期間の機会を捉えて、季節ごとに交通安全の課題に取り組んだほか、年間を通して飲酒運転の根絶および子どもと高齢者の事故防止を重点において取組を行いました。

また、高齢者の交通事故を防ぐため、実技指導や踏み間違い防止装置搭載車の乗車体験などを取り入れた高齢者の交通安全教室を実施しました。

このほか、新入学児童を交通事故から守るため、新1年生全員へ黄色いランドセルカバーを贈呈するなど交通安全意識の啓発に努めました。



交通安全県民運動期間の取り組み

- ◆Imari Line作戦
市、松浦町交通対策協議会、伊万里警察署で実施

高齢者交通安全教室

- ◆伊万里警察署による講話
各老人クラブ単位等で実施

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	16	情報管理費
事務事業名	02	全庁ネットワーク運用事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 情報政策課			施策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
119,781	115,107				921	114,186	4,674	P. 126

【令和4年度における事務事業の概要】

高度化する行政事務を円滑に処理するため、全庁ネットワークシステム等の適正な維持管理や、技術部門のCAD・GISシステムの整備と運用に取り組みました。

- ① 全庁ネットワーク用サーバーの新規導入及び維持管理
- ② 全庁ネットワーク用パソコン等の新規導入及び維持管理
- ③ 庁内電話システム機器の維持管理
- ④ CAD・GISシステムの調査研究
- ⑤ 各種情報通信機器の導入に対する調査研究

【令和4年度における事務事業の成果】

- 全庁ネットワークパソコン（50台）については半導体の価格高騰等により端末単価が当初に比べ高価となったため予定の半数の導入になりました。パソコンの導入実績については、下表のとおりです。

〈パソコン導入実績〉

年度	全庁パソコン	技術者用パソコン
H30	100台	6台
R元	100台	6台
R02	100台	6台
R03	60台	6台
R04	50台	-

- ファイルサーバ、インターネットサーバをデータセンターに構築しました。
- 資産管理ソフトを導入しました。
- 全庁ネットワークの無線化を行いました。

資産管理ソフト



無線化アクセスポイント



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	16	情報管理費
事務事業名	03	基幹業務システム管理運営事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 情報政策課			施策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
112,037		110,705			19,696	91,009	1,332	P. 128

【令和4年度における事務事業の概要】

住民記録や税の賦課徴収、国民健康保険、介護保険など住民生活に密接にかかわる情報の管理・運用を行いました。

- | | |
|---------------|-------------|
| ① 住民票・人口統計 | ⑫ 国民年金 |
| ② 印鑑登録 | ⑬ 後期高齢者医療 |
| ③ 選挙人名簿管理 | ⑭ 介護保険 |
| ④ 固定資産税（賦課課税） | ⑮ 児童手当 |
| ⑤ 個人住民税（申告納税） | ⑯ 教育 |
| ⑥ 法人住民税（申告納税） | ⑰ 行政基本 |
| ⑦ 軽自動車税（賦課課税） | ⑱ 公営住宅 |
| ⑧ 総合収納管理 | ⑲ 下水道受益者負担金 |
| ⑨ 総合滞納管理 | ⑳ 住基ネット |
| ⑩ 国民健康保険（資格） | ㉑ 団体内統合宛名 |
| ⑪ 国民健康保険税 | |

【令和4年度における事務事業の成果】

- OCR読取装置の更新を行いました。
- 地方税共通納税システムの改修を行いました。
- 基幹業務システムの契約業者と月1回の定例会を行い、適切なシステム運用と法改正に対応するシステム改修を行いました。
- 基幹業務システムのサービスを、開庁時間内に停止することなく提供することができました。システムの稼働率は、下表のとおりです。

〈システム稼働率〉

(時間単位：分)

システム名	対象システム運用時間	業務停止時間	システム稼働率
住民情報	131,220	0	100.00%
受益者負担金	131,220	0	100.00%
選挙	131,220	0	100.00%
総合福祉	131,220	0	100.00%
健康管理	131,220	0	100.00%
公営住宅	131,220	0	100.00%
滞納管理	131,220	0	100.00%
税務LAN	131,220	0	100.00%

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	16	情報管理費
事務事業名	04	DX推進事業			6つのまちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	総合政策部 情報政策課			施策	27	自立した行財政運営の確立		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 128	
36,027	35,378	11,405	13,700	10,200	73	649		

【令和4年度における事務事業の概要】

デジタル化・DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するために、市民課窓口
にキャッシュレス決済端末を設置するとともに、インターネット上で市内の様々な地図情
報を閲覧できるサイト「いまりんマップ」を導入しました。

また、有事における被災情報の収集、通行規制情報を集約できる「災害情報共有システ
ム」を導入しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

クレジットカードやQRコード決済アプリを決済端末にかざすだけで決済処理ができる
キャッシュレス決済端末を令和4年10月から市民課窓口を導入し、513件の利用がありました。

各種ハザードマップや都市計画図などの地図情報をスマートフォン等から閲覧が可能に
なるとともに、公共施設等の検索や地図上での距離・面積の計測や各種マップの印刷も可
能となる「いまりんマップ」を構築しました。

また、職員が災害現場において即座に被災状況などをモバイル端末を用いて登録するこ
とで、職員間での迅速な情報共有と災害対応が可能となる災害情報共有システムを構築し
ました。

◇キャッシュレス決済



◇いまりんマップ



◇災害情報共有システム



※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	18	国際交流推進費
事務事業名	01	国際交流推進事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施 策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
455	221	31			190	234	P. 128	

【令和4年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症の影響により、友好交流都市の中国大連市との相互訪問をはじめ、海外からの訪問はありませんでしたが、相互に文書やオンラインでの意見交換や友好の確認を行いました。また、市内の在住外国人数についても、海外からの渡航制限の影響により、技能実習生が減少したため、令和2年655人、令和3年578人、令和4年496人と減少に転じましたが、依然総人口の1%弱の外国人が本市に居住しています。このため、在住外国人の幅広い相談に対応することを目的に、まちづくり課と黒川コミュニティセンターにワンストップ型の相談窓口を開設し、専門の相談員等による多言語での相談を受け付けています。

さらに、文化庁の補助事業の採択を受け、「生活者としての外国人」のための地域日本語教室「日本語教室Awesome IMARI（オーサムいまり）」を前年に引き続き実施したほか、市民の国際交流への理解と関心を高めるため、民間レベルでの国際交流を行う2団体（市国際交流協会、市日中友好協会）へそれぞれ支援を行いました。

負担金 市日中友好協会負担金 30,000円 補助金 市国際交流協会補助金 90,000円

【令和4年度における事務事業の成果】

●外国人のための「ワンストップ相談窓口」を開設し、29件の相談を受け付けました。

●「日本語教室Awesome IMARI」を7回開催しました。

- 第1回 9月4日「伊万里の防災について」
外国人参加者20人（黒川コミュニティセンター）
- 第2回 9月25日「伊万里の郵便局について」
外国人参加者16人（生涯学習センター）
- 第3回 10月9日「伊万里の銀行について」
外国人参加者10人（生涯学習センター）
- 第4回 10月30日「日本人との交流①」さが国際フェスタ
外国人参加者12人（武雄市まちなか広場）
- 第5回 11月20日「バスに乗って、買い物に行こう①」
外国人参加者14人（黒川コミュニティセンター）
- 第6回 11月23日「バスに乗って、買い物に行こう②」
外国人参加者9人（黒川コミュニティセンター）
- 第7回 12月18日「日本人との交流②」
外国人参加者25人（立花コミュニティセンター）

●市日中友好協会主催の「餃子会」が開催され、市日中友好協会会長の深浦市長夫妻と大連市中日友好協会の于建軍会長夫妻がオンラインで新年のあいさつを交わしました。



第1回日本語教室「Awesome IMARI」



第6回日本語教室「Awesome IMARI」

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	02	地域づくり推進事業			6つのまちづくり		06	自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策		25	市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
12,478	11,724			11,650	74	754	P. 130	

【令和4年度における事務事業の概要】

人口減少や少子高齢化社会が急進していくなか、住み慣れた地域で将来にわたって元気に安心して暮らせるまちを目指し、地域課題の解決や身近なまちづくりの取組を支援しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

地域づくりサポーター（集落支援員）の活動や地区のコミュニティ運営協議会のまちづくり計画に基づく地域住民の交流を促進する取組を支援しました。

○地域づくりサポーター

- ・波多津コミュニティセンター 1人 (R4.4.1～)
- ・二里コミュニティセンター 1人 (R4.4.1～)
- ・黒川コミュニティセンター 1人 (R4.4.1～)
- ・大坪コミュニティセンター 1人 (R4.4.1～)

＜活動費＞

- ・費用弁償： 39千円
- ・普通旅費： 2千円
- ・消耗品費： 331千円
- ・燃料費： 282千円
- ・使用料及び賃借料： 1,439千円 (公用車4台分)
- ・負担金： 17千円
- 合 計： 2,110千円

○地域づくり交付金

地区名	交付金額	区分	主 な 事 業
伊万里地区	750,000円	継 続	花を植える運動、子ども伊万里塾
牧島地区	750,000円	継 続	カブトガニとホテルの保護事業
大坪地区	750,000円	継 続	大坪の夢プロジェクト、歴史探訪事業
立花地区	750,000円	継 続	たっしゅかネットワーク事業
大川内町	659,896円	新 規	「全町民参加型」まるごと大川内プロモーション大作戦！！
黒川町	750,000円	継 続	家読のすすめ推進事業、外国人実習生との交流事業
波多津町	704,826円	新 規	あぐり山キャンプ場開設・運営事業
南波多町	750,000円	新 規	町民意識調査結果活用検討事業、観光リーフレット作成事業
大川町	750,000円	新 規	交通対策事業
松浦町	750,000円	継 続	松浦ハッピーフェスティバル開催事業
二里町	750,000円	継 続	地域環境整備事業、魅力情報収集提案事業
東山代町	750,000円	継 続	伝統文化教室事業、明星塾活動推進事業
山代町	750,000円	継 続	河川浄化活動（泥だんご大作戦）、はる爛漫桜ウォーク
合 計	9,614,722円		

※全13地区にて新規で高齢者はつらつ事業を実施した。

※財源内訳の「その他」のうち7,150千円はまちづくり基金繰入金、4,500千円はふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	03	婚活推進事業				6つの まちづくり	06	自立と協働のまちづくり
担当部課	市民交流部 まちづくり課			施 策		28	移住・定住の促進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
480	172				172	308	P. 130	

【令和4年度における事務事業の概要】

結婚を希望する男女に対し、①婚活イベントの開催 ②1対1のお引き合わせ ③結婚支援相談員による婚活相談業務 ④婚活応援事業者の婚活イベントの情報提供などの結婚活動支援を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

※数値は、令和5年3月31日現在

○登録者数

男性	女性	合計
788人	742人	1,530人

内、成婚335人、退会660人

○実数

男性	女性	合計
349人	186人	535人

	令和4年度			
	開催回数	参加者数		
		男性	女性	合計
出合いの場のイベント	9回	43人	42人	85人
プロフィール引き合わせ	70回	70人	70人	140人
合 計		113人	112人	225人

	平成22～令和4累計	令和4年度
登録者数	1,530人	51人
成婚報告者 (内、登録者同士)	335人 (120人)	20人 (10人)
イベント回数	132回	9回
カップル数	558組	20組
現在交際中	4組	4組
プロフィールによる引き合わせ	399組	70組
カップル数	227組	40組
現在交際中	8組	8組
相談・問い合わせ件数 (内、メール)	11,233件 (4,712件)	1,065件 (498件)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	07	地域おこし協力隊事業			6つのまちづくり		06	自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策		25	市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,643		1,404			1,400	4	239	P. 134

【令和4年度における事務事業の概要】

人口減少や高齢化が進むなか、平成29年度から「地域おこし協力隊」として市外の人材を採用しており、この隊員により地域活性化や地域コミュニティの維持・強化を図りました。

【令和4年度における事務事業の成果】

令和4年度に採用した隊員1名が、東山代町川内野地区のまちづくり支援活動として、農産物の共同出荷の支援や地域特性を活かしたイベントの企画立案や協議調整などに取り組み、まちづくりの活性化に貢献することができました。

○活動概要

活動拠点：東山代町川内野地区

活動内容：農産物の共同出荷支援、佐賀大学地域資源学研究室との協議調整等イベント運営支援、SNSによる集落の情報発信、地区内でのチラシ等の発行

活動費：住宅借上料（360千円）、公用車燃料費・リース料（408千円）、パソコン、プリンター購入（250千円）など

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



共同出荷の農産物



イノピカコンサート

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	08	東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策	25		市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
3,100		3,100		2,700	400	0	0	P. 136

【令和4年度における事務事業の概要】

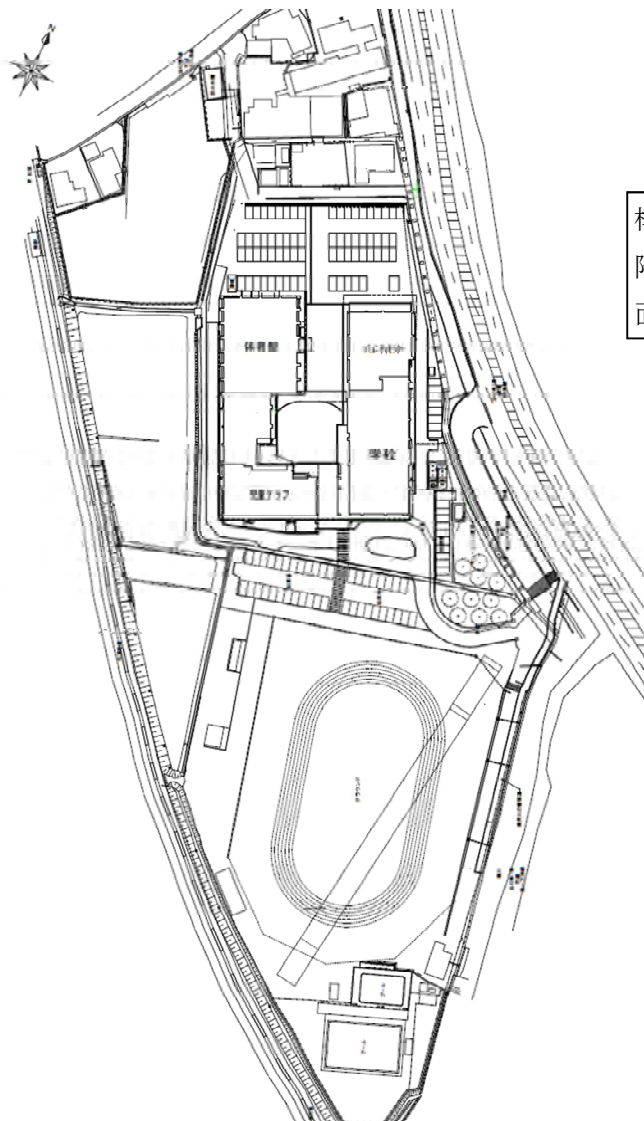
老朽化した東山代小学校、東山代児童クラブ及び東山代コミュニティセンターの3施設を複合施設として整備するため、実施設計を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

令和3年度に、2ヵ年の継続事業として基本・実施設計業務を発注し、令和4年度は実施設計を完了しました。

※財源内訳の「その他」は、まちづくり基金繰入金

◆東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設 計画配置図



構造：鉄筋コンクリート造
階層：3階建
面積：5,950㎡

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	09	市民活動促進事業			6つのまちづくり		06	自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策		25	市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
24,344		23,942	2,294		21,634	14	402	P. 136

【令和4年度における事務事業の概要】

自治総合センターの社会貢献広報事業であるコミュニティ助成事業を活用し、地域のコミュニティ活動に必要な備品の整備や自治公民館の建設に要する経費を助成しました。
また、伊万里市さが未来アシスト事業費補助金事業では、県の補助事業を活用し、地域に存在する自然、人等の地域資源を活かした自発の地域づくりに取組む実施事業主体に対して補助金を交付しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

○コミュニティ助成事業

- 1 申請団体：3団体
- 2 助成金：19,800千円
 - ①真手野区 2,500千円
 - ②藤川内区 2,300千円
 - ③川東区 15,000千円

3 実施内容：

- ①屋外無線放送設備の整備
- ②会議用テーブル等備品整備
- ③川東公民館の建設

○伊万里市さが未来アシスト事業費補助金事業

- 1 申請団体：4団体
- 2 助成金：4,128千円
 - ①大野岳タイワンツバメシジミ保存会 835千円
 - ②黒川町家読連絡会 428千円
 - ③大川内町まちづくり運営協議会 705千円
 - ④波多津町まちづくり運営協議会 2,160千円

3 実施内容：

市天然記念物であるタイワンツバメシジミの保存活動や、「柳田くにおうちどく講演会」による家読推進事業など、市民との協働によるまちづくりに貢献することができました。

※財源内訳の「その他」のうち1,800千円は、ふるさと応援基金繰入金



完成した川東公民館



あぐり山キャンプ場でのデイキャンプ

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	10	自治公民館新改築支援事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策	25		市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
580		580				580	0	P. 136

【令和4年度における事務事業の概要】

各地区の自治公民館は地域住民のまちづくりに係る活動の拠点であることから、地域コミュニティ活動の拠点整備の促進を図るため、自治公民館建設の市補助制度を設けています。補助対象となるのは、自治公民館の新築や増築、改築等です。

令和4年度は1件の補助を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

黒川町塩屋区が実施した自治公民館の改築に対し、財政的な支援を行いました。

- 1 申請者：黒川町塩屋区
- 2 総事業費：2,915千円（補助対象経費）
- 3 補助金額：580千円（補助対象経費の20%、限度額800千円）
- 4 実施内容：外壁塗装改修工事、外部補修工事、左官工事、樋改修工事、電気工事

改築後の塩屋公民館



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	21	市民センター費
事務事業名	01	市民センター管理運営事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		市民交流部 市民センター			施策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
67,629		66,579	700		6,747	59,132	1,050	P. 136

【令和4年度における事務事業の概要】

市民の文化活動の拠点である市民センターの適正な運営と維持管理に努めました。また、新型コロナウイルスワクチン保管場所の確保や洋式トイレ便座除菌液噴霧器具の設置など感染拡大防止対策にも取り組みました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、文化ホールをはじめ貸館施設の利用状況は、令和2年度は利用件数・利用者数ともに減少しましたが、令和3年度から回復傾向がみられ、令和4年度は、利用件数が前年度比プラス13%、利用者数が前年度比プラス28%になりました。これに加えて電気料等の価格高騰の影響もあり、光熱水費は前年度比プラス41%の支出額となりました。

【令和4年度における事務事業の成果】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたものの、施設の利用状況は回復傾向にあり、貸館業務を通じて、市民の文化活動の推進に貢献することができました。

○市民センター利用状況推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用件数	2,297件	2,882件	3,269件
利用者数	53,744人	80,231人	102,851人

○市民センター光熱水費決算額推移

(単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
電気料	3,601	4,034	5,764
ガス代	1,355	1,733	2,530
水道料	438	396	408
合計	5,394	6,163	8,702

※決算額は、総務課人件費等16,162千円を含みます。

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	21	市民センター費
事務事業名	02	市民センター改修事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		市民交流部 市民センター			施策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
36,693	35,739			13,600	22,100	39	954	P. 138

【令和4年度における事務事業の概要】

市民センターは建設から30年が経過し、文化ホールの空調設備をはじめ舞台の吊物設備、音響設備、照明設備等の経年劣化が進み、機器等の不具合も年々増加しています。このため、施設の貸館業務等に支障をきたさないよう、舞台吊物設備の年次的な改修を行い、舞台音響設備の改修はリース方式を取り入れ、費用負担の平準化に努めました。また、利用者の安全を第一に考えながら、文化ホール舞台天井反射板照明のLED化改修を行うとともに、トイレの洋式化を進めることにより、来館者や施設使用者の利便性の向上を図りました。

【令和4年度における事務事業の成果】

市民センターの改修を通じて、より利用しやすい施設の整備を行うことで、市民の文化活動の推進に貢献しました。

○主な改修事業

- ・文化ホール舞台吊物設備改修 11,000千円
- ・文化ホール舞台音響設備機器リース料(R5.3月の1か月分) 454千円[※5年間リース料総額 27,212千円]
- ・文化ホール舞台天井反射板照明LED化改修工事 15,180千円
- ・トイレ洋式化工事 6,526千円



【R4実績（トイレ洋式化15基）和式トイレ⇒温水洗浄便座付洋式トイレ】

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	02	徴税费	目	02	賦課徴收费
事務事業名	01	市税等賦課徴収事業			6つのまちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	総務部 税務課・収納管理課			施策	27	自立した行財政運営の確立		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 140	
211,158	197,751	41,640		67,732	88,379	13,407		

【令和4年度における事務事業の概要】

個人市民税の課税対象となる所得や固定資産などの課税客体の把握による適正な課税に加え、市税の収納率向上のため、現年度分については、初期滞納者に対する催告等による納税勧奨の実施や、預貯金等の差押えなどの早期滞納処分に取り組みました。

【令和4年度における事務事業の成果】

現年度の調定額は、給与所得の増加や感染症対策と経済活動の両立が進んだことによる企業収益の増加などにより、個人市民税と法人市民税ともに増加し、市民税全体では、前年度比514,212千円(18.9%)の増加となりました。固定資産税は、家屋の新築や設備投資の増加などにより、前年度に比べ180,190千円(4.9%)増加したため、市税全体では、前年度に比べ756,342千円(10.6%)の増加となりました。

また、収入未済額は前年より1,135千円増加しましたが、市税の収納率向上を目的として、口座振替やキャッシュレス支払い等の推進により、納税しやすい環境整備に努め、自主納付の推進を図りました。滞納者に対しては、文書・電話催告等による納税勧奨を行い、その後も納付がなければ早い段階で滞納処分(差押等)を実施するなど、滞納の抑制に努めました。加えて、滞納累積事案については、滞納者の実態把握や財産調査を徹底するとともに、預貯金などの債権を中心とした差押などの滞納処分の強化を図りました。

このような取り組みの結果、滞納繰越分を含めた市税全体の収納率は前年度に比べ0.2ポイント増の98.4%となり、健全な財政基盤の確立に寄与しました。

《令和4年度歳入 市税決算の状況》

(単位:千円)

税 目	予算額	調定額	収入済額	収 納 率 (%)		
				現年課税分	滞納繰越分	合 計
個人市民税	2,158,311	2,243,391	2,195,753	99.3	24.3	97.9
法人市民税	337,406	1,036,713	1,035,893	100.0	47.8	99.9
固定資産税	3,828,897	3,944,702	3,871,463	99.4	20.1	98.1
軽自動車税	219,293	233,147	228,285	99.3	25.6	97.9
市たばこ税	465,296	539,268	539,268	100.0	-	100.0
入湯税	37	1,267	1,267	100.0	-	100.0
特別土地保有税	-	-	-	-	-	-
合計	7,009,240	7,998,488	7,871,929	99.5	22.4	98.4

《令和4年度収納率向上の取組実績》

- ・ 差押件数 : 1,196件 (差押金額: 68,981千円、換価金額: 35,900千円)
- ・ 口座振替件数 : 118,050件 (対前年比100%) ※国民健康保険税除く
- ・ 電子決済件数 : 3,762件 (対前年比△5%) ※国民健康保険税除く
- ・ 夜間・休日相談件数 : 292件
- ◎収入未済額 : 113,930千円 (対前年比101%)

款	02	総務費	項	03	戸籍住民基本台帳費	目	01	戸籍住民基本台帳費
事務事業名	01	戸籍住民基本台帳事業			6つの まちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
	03	戸籍住民基本台帳事業 (繰越明許)						
担当部課	市民交流部 市民課			施策	27	自立した行財政運営の確立		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
182,391	171,477	24,113		12,818	134,546	10,914	P. 142 144	

【令和4年度における事務事業の概要】

住民異動届を受付し、住民基本台帳への記録等を適正に行うとともに、住民票に関する証明書、戸籍の附票等の交付、印鑑登録事務を行いました。

戸籍届の審査、受理及び戸籍の記載処理、諸証明書の交付を行うとともに、出生死亡等の人口統計に関する報告を行いました。

国が進めるデジタル化社会に向けたマイナンバーカードの普及促進のため、カードの交付率向上に努めました。また、住民の利便性向上や行政の事務効率化のため、マイナンバーカード所有者の転出・転入手続のワンストップ化や住民票等のコンビニ交付を開始しました。

令和5年度から運用開始の戸籍事務内連携に向けた戸籍システムの改修を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

住民異動等に伴う届出の事務処理及び住民基本台帳法、戸籍法等に基づく諸証明の発行を正確かつ迅速に行いました。

住民基本台帳法の一部を改正する法律に基づき、マイナンバーカード所有者の転出・転入手続ワンストップ化の実現のために住民基本台帳システムの改修を行い、時間短縮化、住民サービスの向上を図ることができました。また、戸籍法の一部を改正する法律に基づき、令和5年度から運用開始予定の戸籍事務内連携に向けた戸籍システムの改修、マイナンバー制度に基づく情報連携の準備作業として情報提供用個人識別符号取得関連業務を実施しました。

マイナンバーカード取得促進については、CATVや広報等により、早期の取得を呼びかけるとともに、土日開庁や平日の窓口延長の実施、市内小中高校や企業、全自治公民館を訪問する出張申請を実施したこと等により、18,393枚を交付できました。

住民票等のコンビニ交付については、令和5年3月から全国のコンビニエンスストア等で休日や夜間にも交付できるようになり、557件を交付しました。

※決算額は、総務課人件費等127,446千円を含みます。

※財源内訳の「その他」のうち1,600千円はふるさと応援基金繰入金

○諸証明

項目	件数
戸籍等	28,253
住民票	21,988
記載事項証明書等	1,379
印鑑証明書	15,491
税証明書	15,601
その他証明書等	1,178
計	83,890

○住民異動届

項目	件数
転入	1,382
転出	1,450
転居	827
年金	1,064
国保	2,164
その他	554
戸籍届	1,794
計	9,235

○マイナンバーカード交付

年度	枚数
H27	1,477
H28	1,827
H29	1,266
H30	1,330
R01	1,706
R02	5,395
R03	8,528
R04	18,393
計	39,922

○コンビニ交付

項目	件数
住民票	377
印鑑証明書	162
税証明書	18
計	557

款	02	総務費	項	04	選挙費	目	03	市長選挙費
事務事業名	01	市長選挙執行业				6つの まちづくり		
担当部課	選挙管理委員会事務局			施策		施策体系外事業		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 146	
18,606	18,599				18,599	7		

【令和4年度における事務事業の概要】

令和4年4月17日執行の市長選挙の管理執行経費として18,599千円を支出しました。

- 告示日 令和4年4月10日
- 投票日 令和4年4月17日

【令和4年度における事務事業の成果】

- 投票率 58.80% (H30市長選 60.16%)

※決算額は、職員人件費8,914千円を含んでいます。



款	02	総務費	項	04	選挙費	目	04	市議会議員選挙費
事務事業名	01	市議会議員選挙執行业			6つの まちづくり			
担当部課	選挙管理委員会事務局			施策	施策体系外事業			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 148	
13,407	10,683				10,683	2,724		

【令和4年度における事務事業の概要】

令和4年4月17日執行の市長選挙に便乗して執行した市議会議員補欠選挙の管理執行経費として3,859千円、令和5年4月23日執行の市議会議員選挙の管理執行準備経費として6,824千円、合計10,683千円を支出しました。

- ・市議会議員補欠選挙
 - 告示日 令和4年4月10日
 - 投票日 令和4年4月17日
- ・市議会議員選挙
 - 告示日 令和5年4月16日
 - 投票日 令和5年4月23日

【令和4年度における事務事業の成果】

- ・市議会議員補欠選挙
 - 投票率 58.78%

※決算額は、職員人件費829千円を含んでいます。

伊万里市長選挙 伊万里市議会議員補欠選挙

令和3年度 明るい選挙優良ポスターコンクール伊万里市審査会
最優秀賞

投票日は4月17日(日)

投票時間 午前7時～午後8時

期日前投票

投票期間 4月11日(月)～4月16日(土)

場所 市役所1階市民ロビー 時間 午前8時30分～午後8時

款	02	総務費	項	04	選挙費	目	05	参議院議員選挙費
事務事業名	01	参議院議員選挙執行业				6つの まちづくり		
担当部課	選挙管理委員会事務局			施策		施策体系外事業		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
20,204	20,197	19,802			395	7	P. 148	

【令和4年度における事務事業の概要】

令和4年7月10日執行の参議院議員通常選挙の管理執行経費として20,197千円を支出しました。

- 公示日 令和4年6月22日
- 投票日 令和4年7月10日

【令和4年度における事務事業の成果】

- 投票率（伊万里市） 52.13%（R元参議院選 49.15%）
- （全国） 52.05%（R元参議院選 48.80%）

※在外投票を含む投票率

※決算額は、職員人件費11,783千円を含んでいます。

**第26回
参議院議員通常選挙**

未来を変える
その一票

**投票日は
7月10日(日)**

投票時間 午前7時～午後8時

令和3年度 両立選挙啓発ポスターコンクール伊万里市審査会
優秀賞 国見中学校 2年 上野 真聖さんの作品

土・日も
投票できる **期日前投票** 6/23☉～7/9☉
投票時間 午前8時30分～午後8時
場所/投票所 1階市民ロビー

款	02	総務費	項	04	選挙費	目	06	県知事県議会議員選挙費
事務事業名	01	県知事選挙執行事業				6つの まちづくり		
担当部課	選挙管理委員会事務局			施策		施策体系外事業		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
18,029	17,332	17,332			0	697	P. 150	

【令和4年度における事務事業の概要】

令和4年12月18日執行の佐賀県知事選挙の管理執行経費として17,332千円を支出しました。

- 告示日 令和4年12月 1日
- 投票日 令和4年12月18日

【令和4年度における事務事業の成果】

- 投票率 (伊万里市) 35.58% (H30県知事選 38.03%)
(佐賀県) 33.28% (H30県知事選 35.26%)

※決算額は、職員人件費9,859千円を含んでいます。

佐賀県知事選挙



投票日は 12月18日(日)

投票時間 午前7時～午後8時

令和4年選 期県知事選挙投票ポスターコンクール伊万里市選管監
賞状賞 国見中学校 2年 平川 琴音さんの作品

伊万里市ホームページ

土・日も投票できる **期日前投票** 12/20～12/17

投票時間 午前8時30分～午後8時
場所/市役所1階市民ロビー

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費
事務事業名	02	社会福祉協議会支援事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課			施 策		01	地域福祉の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 156	
15,455	13,376				13,376	2,079		

【令和4年度における事務事業の概要】

地域福祉の充実を図るため、地域福祉活動の中核的存在である 社会福祉法人 伊万里市社会福祉協議会に対し、人件費の補助を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

伊万里市社会福祉協議会の職員の安定した雇用を維持することにより、地域関係団体等との連携による地域福祉の充実を図ることができました。

(単位：千円)

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	対象人数	金額	対象人数	金額	対象人数	金額
補助金	5	16,492	5	11,892	5	13,376
運営費分	4	14,118	4	9,845	4	11,446
福祉バス分	1	2,374	1	2,047	1	1,930

※人数は、補助対象者人数。

補助対象者 職種		令和2年度	令和3年度	令和4年度
		事務局長	副事務局長兼地域福祉係長	副事務局長兼地域福祉係長
運営費分	総務係長	総務係長	総務係長	
	地域福祉係長	書記	書記	
	書記	書記	書記	
福祉バス分	福祉バス運転手	福祉バス運転手	福祉バス運転手	

※不用額の理由

- ①補助対象職員3名を委託事業（国庫補助対象事業）に配置変更したことによる補助額の減。
- ②職員1名の育児休暇が早まったことによる補助額の減。

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費
事務事業名	03	民生・児童委員活動事業			6つの まちづくり	01		安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施 策	01		地域福祉の充実
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
24,001		23,889	12,959			10,930	112	P. 156

【令和4年度における事務事業の概要】

住民の身近な相談相手となり、関係機関の福祉サービス事業につなげる役割を担い、地域の社会福祉の増進に寄与する民生委員・児童委員の活動の支援を行いました。

●佐賀県民生委員・児童委員活動費等市町交付金

民生委員・児童委員活動費（委員数は4月～11月が163人、12月～R5.3月が161人）

$(60,200円 \times 163人 \times 8カ月 \div 12カ月) + (60,200円 \times 161人 \times 4カ月 \div 12カ月) \div 9,772,460円$

民生委員・児童委員活動費（会長） 11,770円/人 × 11人 = 129,470円

地区民生委員協議会運営費 1,700円/人 × 163人 = 277,100円

地区民生委員協議会活動推進費 250,000円 × 11地区 = 2,750,000円

民生委員推薦会費 30,100円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度※	(単位：人、回)
民生委員・児童委員数	163	163	163(12月以降161)	
推薦会開催回数	4	1	5	※改選の年

【令和4年度における事務事業の成果】

民生委員・児童委員の活動を支援することにより、支援を必要とする地域住民の生活の安定に寄与することができました。令和4年度は、3年ごとの一斉改選並びに委員の欠員補充のため、民生委員推薦会を5回開催しました。

(単位：千円)

費 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度※	備 考
報 酬	188	36	229	推薦会5回開催(委員12人:延44人)
報 償 費	6	0	76	一斉改選による感謝状経費
旅 費	16	4	40	推薦会5回開催(委員12人:延44人)
委 託 料	18,778	19,679	19,592	民生委員児童委員活動委託料 19,592千円
使用料及び賃借料	0	0	2	一斉改選退任式での会場使用料
負担金、補助金 及び交付金	3,950	3,950	3,950	全国児協負担金・共助負担金 424千円 佐賀県民児協負担金 380千円 運営費補助金 396千円 活動推進費補助金 2,750千円
計	22,938	23,669	23,889	

○財源内訳

※推薦会委員のうち公務の者は報酬・旅費無し

財源	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般財源	9,974	10,700	10,930
県補助金	12,964	12,969	12,959
民生委員・児童委員活動費	9,808	9,813	9,773
民生委員・児童委員会長活動費	129	129	129
地区民生委員協議会運営費	277	277	277
地区民生委員協議会活動推進費	2,750	2,750	2,750
民生委員推薦会費	-	-	30

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費
事務事業名	05	避難行動要支援者支援事業			6つの まちづくり	01		安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施 策	01		地域福祉の充実
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
820		762				762	58	P. 158

【令和4年度における事務事業の概要】

災害時に円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、避難等に支援を要する避難行動要支援者のうち、地域の避難支援関係者（駐在員、民生委員・児童委員、防災会長、消防署、警察署、社会福祉協議会）への情報提供に同意された人の名簿及び個別避難計画を作成し提供しました。

また、この名簿及び個別避難計画は年に2回更新を行っていますが、実用性のある個別避難計画となるよう避難支援関係者（特に民生委員・児童委員）に、本人や家族との内容確認や新規登録・施設入所などの現状報告をいただくことで見直しを行っています。

なお、対象者のうち返答がなく状況が確認できていない人については、登録申請用紙とともに、避難時に支援が必要と思われる人にとって、この制度が有用であることの周知を図る文書を同封するなど、一人でも多くの対象者に同意いただくことを促すための業務も行いました。

《対象者》

生活の基盤が自宅にある人のうち、次のいずれかに該当する人。

- ・要介護認定を受けている人（要介護1～5）
- ・身体障がい者手帳の1, 2級（総合等級）で第一種の人
（心臓、腎臓機能障がいのいずれかのみで該当する人は除きます）
- ・療育手帳Aの人
- ・精神障がい者保健福祉手帳1～2級で単身世帯の人
- ・市が実施する生活支援サービスを受けている難病患者
- ・上記以外で市が支援の必要を認めた人

このほか、「避難行動要支援者管理システム」用端末について更新を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

同意者名簿を駐在員、民生委員・児童委員、防災会長、消防署、警察署、社会福祉協議会に提供し、地域における支援体制の推進を図ることができました。

随時、名簿登録情報の追加・修正・削除を行うことで、最新の状況を反映した名簿と個別避難計画の提供を行いました。

名簿登録者数（年度末現在の人数）

	令和4年度
避難行動要支援者名簿登録者数	1,939人
同意者数	1,005人
その他	217人
未回答	717人

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	国民年金取扱費
事務事業名	01	国民年金取扱事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	市民交流部 市民課			施 策		02	高齢者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
11,045	10,941	10,941			0	104	P. 158	

【令和4年度における事務事業の概要】

国民年金事業のうち適用関係届や免除申請、給付請求書の受付等を、市が「法定受託事務」として行いました。また、日本年金機構との協力・連携を図りながら保険料の口座振替や納付等の相談を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

国民年金業務の法定受託事務及び協力・連携の実施により、被保険者の年金受給権を確保することで生活の維持、向上を図ることができました。

(受付件数)

適用関係届

区分	件数
被保険者資格取得届	739
被保険者種別変更届	98
被保険者資格取得申出	4
被保険者資格喪失届	62
被保険者資格喪失申出	3
付加納付・辞退申出	13
付加該当・非該当届	2
保険料免除理由該当届	34
保険料免除理由消滅届	10
基礎年金番号再交付申請	24
産前産後免除該当届	16
その他	102
合計	1,107

免除申請

区分	件数
R元年度申請免除	2
R2年度申請免除	4
R3年度申請免除	49
R4年度申請免除	96
R元年度学生納付猶予	0
R2年度学生納付猶予	0
R3年度学生納付猶予	12
R4年度学生納付猶予	40
合計	203

給付請求

区分	件数
老齢基礎年金	11
未支給年金	476
その他請求	124
合計	611

(相談件数) 2,658件

※決算額は、総務課人件費等10,761千円を含みます。

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	03	障がい者(児)介護・訓練等給付事業			6つのまちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策		03	障がい者支援の充実
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 160	
1,555,541	1,480,415	1,074,282			406,133	75,126		

【令和4年度における事務事業の概要】

障がい者(児)が利用する障がい福祉サービス(訪問系、日中活動系、施設系、訓練・就労系など)の利用に要する費用を支給しました。

[根拠規定] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

[特定財源] 障がい者自立支援給付費負担金《負担割合:国1/2、県1/4》

<決算額(支出済額)の推移>

歳出(節以下)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
役員費(支払事務手数料)	1,791千円	1,866千円	1,808千円
扶助費(自立支援給付費等)	1,418,827千円	1,484,852千円	1,432,375千円
返還金(国庫支出金等精算返納金)	-千円	20,197千円	46,232千円

【令和4年度における事務事業の成果】

障がい福祉サービスの提供を通じて、障がい者の充実した生活や地域における社会参加を支援することができました。

支援の種類(主なもの)		区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
訪問系	居宅介護	決定者数	92人	83人	87人
		延べ利用者数	880人	854人	861人
日中活動系	療養介護	決定者数	21人	21人	21人
		延べ利用者数	252人	252人	252人
	生活介護	決定者数	172人	169人	167人
		延べ利用者数	2,009人	1,988人	1,941人
短期入所	決定者数	94人	95人	97人	
	延べ利用者数	217人	278人	298人	
施設系	施設入所支援	決定者数	98人	97人	94人
		延べ利用者数	1,190人	1,153人	1,136人
訓練・就労系	就労移行支援	決定者数	12人	9人	7人
		延べ利用者数	139人	140人	79人
	就労継続支援	決定者数	274人	287人	296人
		延べ利用者数	2,945人	3,107人	2,995人
居住系	共同生活援助	決定者数	108人	108人	110人
		延べ利用者数	1,166人	1,271人	1,237人
相談系	計画相談支援	決定者数	546人	552人	554人
		延べ利用者数	1,725人	1,782人	1,726人

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	04	障がい者（児）自立支援医療等給付事業			6つのまちづくり	01		安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策	03		障がい者支援の充実
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
124,005	116,730	84,978			31,752	7,275	P. 160	

【令和4年度における事務事業の概要】

【更生医療】

18歳以上の身体障がい者に対し、障がいの除去や軽減を図るための医療に要した費用を支給しました。

【育成医療】

身体に障がいをもつ18歳未満の児童、又は現在の状況をそのままにすると将来的に身体に障がいを残すと認められる児童に対し、原則手術により、将来、生活能力を得させるための医療に要した費用を支給しました。

【療養介護医療】

医療が必要かつ常時介護を必要とする障がい者に対し、医療機関での機能訓練、療養上の管理、看護、介護、日常生活の世話などに要する費用を支給しました。

[根拠規定] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

[特定財源] 障がい者自立支援医療費負担金《負担割合：国1/2、県1/4》

<決算額（支出済額）の推移>

歳出（節以下）	令和2年度	令和3年度	令和4年度
役務費（支払事務手数料）	218 千円	219 千円	220 千円
扶助費（医療給付費）	114,443 千円	113,993 千円	113,304 千円
返還金（国庫支出金等精算返納金）	256 千円	4,918 千円	3,206 千円

【令和4年度における事務事業の成果】

【更生医療】 ※主な事業として抜粋

給付の種類	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人工透析	決定者数	221 人	211 人	226 人
	延べ支給件数	4,582 件	4,561 件	4,447 件
心臓	決定者数	49 人	51 人	66 人
	延べ支給件数	89 件	75 件	97 件
整形	決定者数	6 人	5 人	10 人
	延べ支給件数	16 件	17 件	15 件
肝臓	決定者数	2 人	3 人	3 人
	延べ支給件数	12 件	18 件	24 件
免疫	決定者数	5 人	5 人	7 人
	延べ支給件数	42 件	40 件	63 件

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	05	障がい者(児)補装具等給付事業			6つのまちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策		03	障がい者支援の充実
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 162	
14,640	13,604	10,140			3,464	1,036		

【令和4年度における事務事業の概要】

身体障がい者(児)に対し、日常生活及び社会生活をより容易にするための補装具の購入・修理、補聴器の購入・修理・更新等に要する費用を支給しました。

○補装具交付

[対象者] 身体障がい者等(対象品目に応じて身体障がい者手帳が一定の等級以上、難病患者等)

[対象品目] 義肢(義手・義足)、装具、補聴器、車椅子など

[特定財源] 障がい者自立支援給付費負担金《負担割合：国1/2、県1/4》

○軽度・中度難聴児補聴器給付事業

[対象者] 身体障がい者手帳の交付対象外の軽度・中度難聴児、又は人工内耳を装着する難聴児

[対象品目] 補聴器の購入・修理・更新、人工内耳体外機の更新

[特定財源] 佐賀県難聴児補聴器購入費助成事業補助金《補助率：県1/2以内》

<決算額(支出済額)の推移>

歳出(節以下)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
扶助費	11,387千円	13,164千円	13,604千円
(補装具費)	(11,236千円)	(13,087千円)	(13,352千円)
(軽度・中度難聴児補聴器給付費)	(151千円)	(77千円)	(252千円)

【令和4年度における事務事業の成果】

補装具の購入や修理、補聴器の購入や修理、更新等に要する費用を給付し、身体障がい者(児)の日常生活と社会生活の利便性の向上を図ることができました。

○補装具

装具等の種類(主なもの)	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
装具	決定者数	21人	40人	44人
	延べ支給件数	21件	42件	50件
補聴器	決定者数	24人	33人	26人
	延べ支給件数	24件	33件	26件
車椅子	決定者数	47人	54人	42人
	延べ支給件数	61件	63件	53件

○軽度・中度難聴児補聴器、人工内耳

補聴器等の種類(主なもの)	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
重度難聴用耳かけ型	決定者数	-人	-人	1人
	延べ支給件数	-件	-件	1件
耳あな型(オーダーメイド)	決定者数	-人	-人	1人
	延べ支給件数	-件	-件	1件

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	06	障がい者（児）相談支援事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課			施 策		03	障がい者支援の充実	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 162	
1,715	1,020	247			773	695		

【令和4年度における事務事業の概要】

- 障がい者相談事業
 [根拠規定] 身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、伊万里市障がい者相談員設置要綱
 [事業内容] 障がい者の更生援護に関する相談支援、関係機関の業務協力 等
 [委嘱先] 身体障がい者相談員10人、知的障がい者相談員2人
- 精神保健相談事業
 [根拠規定] 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律
 [事業内容] 精神に障がいがある人の相談支援（平成14年4月権限移譲事務）等
 [対応人員] 精神保健福祉相談員1人 ※課内配置
- 自殺対策（自殺予防啓発）事業
 [根拠規定] 自殺対策基本法
 [事業内容] 自殺予防に関する啓発（3月自殺対策強化月間に合わせた有線テレビでの啓発番組の放送）
- 障がい者相談支援事業（基幹相談支援）
 [根拠規定] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律
 [事業内容] 障がい者やその家族等からの相談対応、サービスの情報提供や手続の支援など
 [対象地域] 原則として伊万里市
 [特定財源] 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1/2、県1/4》

【令和4年度における事務事業の成果】

○障がい者相談、精神保健相談

支援の種類	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
障がい者相談事業	延べ対応件数	70 件	96 件	41 件
精神保健相談事業	延べ対応件数	72 件	60 件	30 件

○障がい者相談支援事業（基幹相談支援）

支援の種類	令和4年度
相談者数	355 人
延べ相談・支援件数	2,158 件

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	07	手話通訳者・要約筆記者派遣養成事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課			施策		03	障がい者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,275	1,264	474			790	11	P. 162	

【令和4年度における事務事業の概要】

○手話通訳者・要約筆記者派遣事業

〔根拠規定〕 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

伊万里市手話通訳者・要約筆記者派遣事業実施要綱

〔対象者〕 ・聴覚障がい者又は音声・言語機能障がい者等で、コミュニケーションの手段として手話又は要約筆記を使用する者

・聴覚障がい者等が参加する大会、講演、講習会等の主催者

〔派遣条件〕 ・届出、相談等のため、公的機関に赴く場合

・受診、相談等のため、医療機関等に赴く場合

・就業等の職業に関することで、事業所等に赴く場合 など

〔基準単価〕 ・派遣活動費：最初の1時間まで2,600円、以降30分ごと800円加算

・コーディネート費：申請1回当たり1,000円

※手話通訳者等の交通費、入場料その他の実費は、派遣対象者の負担

〔委託先〕 一般社団法人 佐賀県聴覚障害者協会

〔特定財源〕 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1/2、県1/4》

○手話奉仕員養成事業

〔根拠規定〕 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

伊万里市手話奉仕員養成事業実施要綱

〔対象者〕 手話の学習経験がなく、聴覚障がい者等の福祉増進に理解と熱意がある者

〔事業内容〕 『手話奉仕員及び手話通訳者養成カリキュラム』に基づく講習

※受講者数は25名を上限、講座は1回当たり2時間・全47回

〔受講料〕 無料

※講師料(1人1時間当たり2,500円)、テキスト代(3,300円)等は公費負担

〔委託先〕 一般社団法人 佐賀県聴覚障害者協会

〔特定財源〕 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1/2、県1/4》

＜決算額（支出済額）の推移＞

歳出（節以下）	令和2年度	令和3年度	令和4年度
需用費（消耗品費）	※ 0 千円	88 千円	85 千円
役務費（郵送料）	※ 0 千円	4 千円	4 千円
委託料 (手話通訳者・要約筆記者派遣事業委託料)	193 千円 (193 千円)	1,023 千円 (228 千円)	1,175 千円 (346 千円)
(手話奉仕員養成講座開催業務委託料)	※ (0 千円)	(795 千円)	(829 千円)
負担金、補助及び交付金 (手話研修会参加負担金)	※ 0 千円	※ 0 千円	※ 0 千円

※新型コロナウイルス感染拡大に伴い不用

【令和4年度における事務事業の成果】

支援の種類	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
手話通訳者・要約筆記者派遣事業	延べ派遣回数	40 回	96 回	79 回
手話奉仕員養成事業(講座開催)	受講修了者数	※ - 人	7 人	19 人

※新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	08	障がい者(児)等日常生活用具給付事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課			施 策		03	障がい者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
12,034	10,313	3,839			6,474	1,721	P. 162	

【令和4年度における事務事業の概要】

在宅の重度障がい者に対して、日常生活をより便利にするための日常生活用具を給付しました。

○重度障がい者等日常生活用具給付事業

[根拠規定] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

伊万里市重度障がい者等日常生活用具給付等事業実施要綱

[対象者] 在宅の重度障がい者(児)(身体障がい者手帳が概ね2級以上、療育手帳A、難病患者等)

[対象品目] 日常生活用具(入浴補助用具、ストーマ装具、紙おむつ等)

[特定財源] 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1/2、県1/4》

○小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業

[根拠規定] 厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知(「小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業の実施について」)

伊万里市小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業実施要綱

[対象者] 在宅の小児慢性特定疾病(788疾病、R5.3.31現在)医療の給付対象児童

[対象品目] 日常生活用具(入浴補助用具、ストーマ装具、紙おむつ等)

[特定財源] 佐賀県小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業費補助金
《補助率：県1/2》

<決算額(支出済額)の推移>

歳出(節以下)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
扶助費	11,770千円	11,523千円	10,249千円
(日常生活用具給付費)	(11,650千円)	(11,523千円)	(10,249千円)
(小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付費)	(120千円)	(0千円)	(0千円)
返還金(国庫支出金等精算返納金)	118千円	-千円	64千円

【令和4年度における事務事業の成果】

介護・訓練支援用具などの日常生活用具を給付し、在宅の重度障がい者の生活支援を図ることができました。

○日常生活用具給付事業

用具の種類 ※内訳は主なもの	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護・訓練支援用具	4件	-件	2件
自立生活支援用具	6件	7件	1件
在宅療養等支援用具	7件	3件	3件
情報・意思疎通支援用具	3件	13件	6件
排泄管理支援用具	1,113件	1,069件	1,037件
居宅生活動作補助用具(住宅改修費)	2件	2件	1件

○小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業

用具の種類 ※内訳は主なもの	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人工鼻	1件	-件	-件

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	09	障がい者（児）移動支援事業			6つのまちづくり	01		安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策	03		障がい者支援の充実
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
6,834		6,700	1,353			5,347	134	P. 164

【令和4年度における事務事業の概要】

- 移動支援事業
 [対象者] 在宅の障がい者（児）で身体介護や見守り等が必要な者
 [事業内容] 社会生活上又は余暇活動など社会参加のために、障がい者（児）が公共交通機関を利用して外出する場合（原則として佐賀県内）に実施する。
 [特定財源] 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1/2、県1/4》
- タクシー利用料金助成（福祉タクシー利用券発行）事業 ※市単独事業
 [対象者] 在宅の障がい者のうち、身体障がい者手帳（1・2級）所持者、療育手帳（障がい程度A）または精神障がい者保健福祉手帳（1・2級）所持者
 [事業内容] 福祉タクシー利用券（1枚当たり500円×20枚）を年間に1冊交付する。
- 自動車運転免許取得費補助金 ※市単独事業
 [対象者] 市内に住所を有する障がい者
 [事業内容] 障がい者の自動車運転免許の取得に要した経費のうち100,000円を上限として交付する。
- 身体障がい者用自動車改造補助金 ※市単独事業
 [対象者] 身体障がい者手帳1級又は2級の上肢、下肢又は体幹機能障がい者
 [事業内容] 自動車の操向装置及び駆動装置等の改造に要する経費のうち100,000円を上限として交付する。

<決算額（支出済額）の推移>

歳出（節以下）	令和2年度	令和3年度	令和4年度
委託料 （障がい者移動支援事業委託料） （福祉タクシー券共通利用精算等業務委託料）	3,286 千円 (3,246 千円) (40 千円)	3,410 千円 (3,370 千円) (40 千円)	3,655 千円 (3,615 千円) (40 千円)
障がい者自動車運転免許取得費補助金	障がい者自動車運転支援事業		400 千円
身体障がい者用自動車改造等補助金	障がい者自動車運転支援事業		200 千円
扶助費（福祉タクシー利用料金助成費）	2,702 千円	2,493 千円	2,445 千円

【令和4年度における事務事業の成果】

支援の種類	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
移動支援事業	利用者数	24 人	25 人	26 人
	延べ利用回数	562 回	558 回	549 回
タクシー利用料金助成事業 （福祉タクシー利用券交付）	交付者数	379 人	367 人	366 人
	使用枚数	5,404 枚	4,986 枚	4,890 枚
運転免許取得費補助金	補助件数	3 件	0 件	4 件
自動車改造補助金	補助件数	1 件	0 件	2 件

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	11	障がい者（児）日中生活支援事業			6つのまちづくり	01		安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策	03		障がい者支援の充実
予算現額 （千円）		決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
7,068	4,347	1,696				2,651	2,721	P. 164

【令和4年度における事務事業の概要】

障がい者支援施設等において、障がい者の日中における活動の場を提供しました。
また、居宅における訪問入浴車での入浴介助サービスを提供しました。

○日中一時支援事業

〔根拠規定〕 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

伊万里市障がい者等日中一時支援事業実施要綱

〔対象者〕 在宅の障がい者（児）で、日中に監護者がおらず一時的な見守りが必要な者

〔事業内容〕 障がい者支援施設等において、障がい者（児）の日中活動の場の提供や一時的な見守り、社会に適応するための日常的な訓練等を実施する。
※宿泊を伴うものを除く。

〔基準単価（1回）〕 4時間以下：1,220円～5,970円

4時間超8時間以下：2,440円～11,950円

8時間超：3,660円～17,920円

送迎加算：550円（特別支援学校から施設までの区間）

入浴加算：2,000円（重度心身障がい児が入浴を利用する場合）

〔特定財源〕 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1/2、県1/4》

○訪問入浴サービス事業

〔根拠規定〕 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

伊万里市障がい者等訪問入浴サービス事業実施要綱

〔対象者〕 在宅の障がい者（児）で、当該事業を利用しなければ入浴が困難な者

※本事業に相当する他のサービス給付が受給可能な者を除く。

〔事業内容〕 居宅を訪問し、浴槽を提供して行われる入浴介護（訪問入浴車など）

※利用回数は、1週間のうち3回以内

〔基準単価（1回）〕 12,500円

〔特定財源〕 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1/2、県1/4》

＜決算額（支出済額）の推移＞

歳出（節以下）	令和2年度	令和3年度	令和4年度
委託料	3,894 千円	4,276 千円	3,806 千円
（障がい者等日中一時支援事業委託料）	(1,412 千円)	(1,489 千円)	(1,393 千円)
（障がい者等訪問入浴サービス事業委託料）	(2,482 千円)	(2,787 千円)	(2,413 千円)
重度障がい者地域生活重点支援事業費補助金		重度障がい者地域生活重点支援事業	541 千円

【令和4年度における事務事業の成果】

障がい者（児）の日中における活動の場を提供するとともに、家族等の介護者の一時的な休息を確保することができました。

また、訪問入浴サービスを提供し、障がい者（児）の身体の清潔の保持を図ることができました。

支援の種類	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
日中一時支援事業	利用者数	18 人	21 人	21 人
	延べ利用回数	229 回	585 回	558 回
訪問入浴サービス事業	利用者数	3 人	3 人	3 人
	延べ利用回数	231 回	223 回	182 回

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	13	重度障がい者(児)医療給付事業			6つのまちづくり	01		安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策	03		障がい者支援の充実
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
98,322		91,352	46,664			44,688	6,970	P. 164

【令和4年度における事務事業の概要】

重度の心身障がい者(児)が診療を受けた場合に要する医療費を助成しました。

[根拠規定] 伊万里市重度心身障がい者の医療費の助成に関する条例

[対象者] 精神又は身体に重度の障がいを持つ者(児)で、公的保険(国民健康保険、社会保険、後期高齢者医療制度等)の被保険者又は被扶養者

- ・知的障がい：療育手帳(知能指数35以下)所持者
- ・身体障がい：身体障がい者手帳(障がい等級1・2級)所持者
- ・精神障がい：精神障がい者保健福祉手帳(障がい程度1級)所持者
- ・重複障がい：身体障がい者手帳(障がい等級3級)かつ療育手帳(知能指数50以下)の所持者

※生活保護費受給者を除く、対象者を含む世帯の所得制限あり

[助成額] 医療機関等での診療(入院を含む)に要した1月当たりの医療費(保険適用分)の自己負担額から、その他の医療給付や保険給付等を控除し、かつ500円(最終自己負担額)を差し引いた額

[助成方式] 償還払い方式

[特定財源] 佐賀県重度心身障がい者医療助成事業費補助金《補助率：県1/2》

<決算額(支出済額)の推移>

歳出(節以下)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
扶助費(重度心身障がい者医療費助成金)	96,687 千円	97,339 千円	91,352 千円

【令和4年度における事務事業の成果】

医療費の自己負担額を助成することで、重度の心身障がい者(児)の福祉の増進を図ることができました。

給付の対象	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
重度心身障がい者医療費助成	受給資格者数	1,081 人	1,084 人	1,087 人
	延べ支給件数	26,278 件	26,375 件	26,239 件
	(通院)	(24,653 件)	(24,797 件)	(24,773 件)
	(入院)	(1,625 件)	(1,578 件)	(1,466 件)

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	14	障がい児通所給付事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課			施 策		03	障がい者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 164	
327,616	295,635	218,475			77,160	31,981		

【令和4年度における事務事業の概要】

○障がい児やその保護者が利用する児童通所サービス（児童発達支援、放課後等デイサービスなど）の利用に要する費用を給付しました。

〔根拠規定〕 児童福祉法

〔特定財源〕 障がい児通所給付費等負担金 《負担割合：国1/2、県1/4》

<決算額（支出済額）の推移>

歳出（節以下）	令和2年度	令和3年度	令和4年度
役務費（支払事務手数料）	514 千円	616 千円	630 千円
補助金（特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援等事業費補助金）	11 千円	- 千円	- 千円
扶助費	217,454 千円	277,757 千円	291,443 千円
返還金（国庫支出金等精算返納金）	408 千円	6,398 千円	3,562 千円

【令和4年度における事務事業の成果】

障がい児や保護者に対し、日常生活における基本的動作や知識技能の習得、集団生活への適応訓練などの機会を提供することができました。

○障がい児通所給付費等

支援の種類	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
児童発達支援	決定児童数	68 人	67 人	72 人
	延べ利用児童数	701 人	635 人	674 人
放課後等デイサービス	決定児童数	111 人	135 人	144 人
	延べ利用児童数	1,189 人	1,513 人	1,584 人
保育所等訪問支援	決定児童数	5 人	10 人	17 人
	延べ利用児童数	5 人	8 人	19 人
障がい児相談支援	決定児童数	186 人	211 人	236 人
	延べ利用児童数	502 人	622 人	633 人

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	15	障がい児生活適応施設（ひまわり園）管理運営事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課				施策	03	障がい者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
29,363	29,363			16,867	12,496	0	P. 166	

【令和4年度における事務事業の概要】

指定児童発達支援事業所「伊万里市こどもハートフルセンターひまわり園」（療育施設）を指定管理者制度により運営しました。

〔根拠規定〕 児童福祉法

伊万里市こどもハートフルセンターひまわり園条例

〔事業所概要〕

- ・場所：伊万里市立花町（木造平屋建）
- ・開園日：月曜日～土曜日 午前9時～午後5時
- ・受入対象地域：伊万里市、有田町
- ・職員数：管理者（園長）1人、児童発達支援管理者1人、指導員4人
- ・定員：1日当たり概ね10人

〔指定管理者〕 社会福祉法人 伊万里福祉会（指定期間：令和3年度～令和5年度）

〔特定財源〕 障がい児通所給付費（伊万里市・有田町）、運営費負担金（有田町）

※無償化対象外児童の使用料（利用者負担額）は全額減免措置

<決算額（支出済額）の推移>

歳出（節以下）	令和2年度	令和3年度	令和4年度
需用費（修繕料）	17 千円	- 千円	20 千円
委託料（指定管理料）	25,829 千円	27,066 千円	29,343 千円

【令和4年度における事務事業の成果】

心身の発達に支援を要する児童とその保護者に対し、1人ひとりの成長に合わせた訓練や指導を行うことができました。

支援の種類	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
児童発達支援	在園児童数[月最大]	33 人	37 人	36 人
	（うち新規入園）	(13 人)	(16 人)	(19 人)
	伊万里市	29 人	33 人	35 人
	（うち新規入園）	(13 人)	(16 人)	(18 人)
	有田町	4 人	4 人	1 人
	（うち新規入園）	(- 人)	(- 人)	(1人)
	延べ利用日数	1,294 日	1,256 日	1,308 日

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	16	特別支援学校留守家庭児童クラブ運営事業			6つのまちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策		04	子育て支援の充実
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
24,051	23,362	11,268			2,000	10,094	689	P. 166

【令和4年度における事務事業の概要】

就労等により保護者が昼間家庭にいない特別支援学校の児童生徒を預かり、適切な遊びや生活の場として学校の余裕教室を提供しました。

[根拠規定] 伊万里市特別支援学校留守家庭児童クラブ条例

[施設概要] ・場所 : 伊万里市大坪町 (伊万里特別支援学校内のプレイルーム棟ほか)

・開所日 : 月曜日～土曜日 (祝日を除く)

学校が授業日の場合 午後1時30分～午後6時

学校が休業日の場合 午前8時～午後6時

・職員数 : 基準指導員6人、介助補助員3人

・定員 : 1日当たり20人

[対象者] 伊万里特別支援学校に就学する者で、保護者が労働等により昼間不在の家庭の児童 (小学部) 又は生徒 (中学部・高等部)

[利用料] 1人当たり日額300円 (月額3,000円を上限)

※同一世帯に2人以上が利用する場合は、2人目以降は1人当たり日額150円 (月額1,500円を上限)

[委託先] はってんクラブ運営協議会 (構成団体 : 伊万里特別支援学校保護者会、社会福祉法人 桑梓舎)

[特定財源] 佐賀県特別支援学校放課後児童健全育成事業費補助金 《補助率 : 県1/2》
運営費負担金 (対象者の居住市町)

<決算額 (支出済額) の推移>

歳出 (節以下)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
委託料 (特別支援学校留守家庭児童クラブ運営事業委託料)	24,125 千円	23,822 千円	23,362 千円

【令和4年度における事務事業の成果】

特別支援学校留守家庭児童クラブ (はってんクラブ) を利用する児童・生徒の健全な育成と、保護者の子育ての両立を支援することができました。

事業の内容	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
特別支援学校留守家庭児童クラブ運営事業	登録児童・生徒数 [月最大]	38 人	42 人	50 人
	伊万里市	32 人	38 人	44 人
	有田町	3 人	3 人	5 人
	武雄市	2 人	1 人	1 人
	大町町	1 人	- 人	- 人
	延べ利用日数	4,008 日	3,884 日	3,692 日
	平均利用者数 (1日当たり)	16 人	16 人	17 人

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	18	障がい福祉施設物価高騰対策支援事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策	03	障がい者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 166	
6,356	6,218	5,800		400	18	138		

【令和4年度における事務事業の概要】

電気・ガス・食糧及び燃料費等の価格高騰の影響を受けている、障がい福祉サービス事業所等に対し、価格高騰の影響による負担軽減を図ることを目的として、令和4年9月1日時点の定員数に応じた「物価高騰対策支援金」を交付しました。

[根拠規定] 伊万里市医療機関等物価高騰対策支援金交付要綱

<決算額（支出済額）の内訳>

歳出（節以下）	決算額
需用費（消耗品費）	11 千円
役務費（通信運搬費）	20 千円
使用料及び賃借料（複写機使用料）	3 千円
負担金、補助及び交付金（支援金）	6,184 千円

<対象施設区分、単価等>

対象施設区分	支援単価	1施設当たりの支援金交付額
入所系施設 ※サービス内容 共同生活援助、施設入所支援 短期入所等	16,000円	16,000円 × 定員数
通所系施設 ※サービス内容 児童発達支援、放課後等デイサービス 就労移行支援、就労継続支援（A型） 就労継続支援（B型）、生活介護等	8,500円	8,500円 × 定員数
訪問系施設 ※サービス内容 居宅介護、計画相談支援、自立生活援助 就労定着支援、障がい児相談支援等	30,000円	30,000円 × 事業所数

【令和4年度における事務事業の成果】

支援金の支給により、障がい福祉サービス事業所等の電気・ガス、食糧及び燃料の価格高騰による影響を軽減することができました。

▶支援実績

対象施設区分	支援施設数	支援金交付額
入所系施設	12施設	2,240,000円
通所系施設	25施設	3,583,500円
訪問系施設	12施設	360,000円
合計	49施設	6,183,500円

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

2. 認知症高齢者等の損害保険への加入

【令和4年度における事務事業の概要】

認知症高齢者（若年性認知症を発症した者を含む）又は療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳を持っている人が、第三者に対して法律上の損害賠償責任を負う場合に備えて、認知症高齢者等を被保険者とする個人賠償責任保険に、市が保険契約者として加入し、保険加入料の全額を市が負担しました。

※令和3年9月に対象者を拡大（療育手帳又は精神障がい者保健福祉手帳を持っている人を追加）しました。

(1) 保険が適用されるとき

- ・日常生活で他人のものを壊してしまった
- ・自転車に乗っていて歩行者にぶつかり、けがをさせた
- ・線路内に立ち入り電車に接触し、鉄道会社に車両損壊や遅延損害を与えた など

(2) 保険加入の対象者

次の（ア）又は（イ）のいずれか、かつ（ウ）及び（エ）のいずれにも該当する人が対象

（ア）在宅の認知症高齢者で「日常生活自立度」がⅡa（※1）以上相当である人

（イ）療育手帳、又は精神障がい者保健福祉手帳（てんかん、中毒性精神病、器質性精神障がいがある、もしくは認知症に起因して日常生活能力のうち身の安全保持又は危機対応ができないものに限る。）の交付を受けている在宅の人

（ウ）市税、介護保険料及び後期高齢者医療保険料の滞納がない人

（エ）他に同種の保険に加入していない人

※1 日常生活の中で、たびたび道に迷う、買い物や金銭管理等にミスが目立つなどの症状や行動が見られる。意思疎通の困難さが多少見られるが、誰かが注意していれば自立できる状態。

【令和4年度における事務事業の成果】

保険に加入することで、本人や家族の不安を解消し、生活の安全・安心を確保することができました。

1. 保険への加入状況（令和2年8月事業開始）

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
加入者数※1	25人	35人	34人
うち加入※2	25人	40人	50人
うち廃止※3	0人	5人	16人

（加入者数は年度末の数）

※1 うち、令和3、4年度の障がい者（児）は0人

※2 前年度継続分も含む

※3 廃止理由 令和3年度 施設入所4人、死亡1人
令和4年度 施設入所7人、死亡5人、長期入院5人

2. 保険契約内容

保 険 会 社	インズパークス株式会社（伊万里市新天町77番地1）
年 間 保 険 料	1,810円／年

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	04	高齢者福祉費
事務事業名	04	敬老行事支援事業			6つの まちづくり	01	安いで健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 長寿社会課				施 策	02	高齢者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 168	
5,821	5,675				5,675	146		

【令和4年度における事務事業の概要】

高齢者に敬意を表し長寿を祝うために、敬老の日を中心に市内各地で実施される敬老行事を支援しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

敬老行事を実施することにより、長寿の節目を迎えた高齢者に敬意を表し、長寿を祝福することができました。

※令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、各町（区）の公民館等に集う祝賀会は中止し、対象者にお祝いの品を配付しました。

1. 実施状況

		町	実施主体	町	実施主体
13町 (区長会等)		伊万里地区	区	南波多町	町
		牧島地区	町	大川町	町
		立花地区	区	松浦町	町
		大坪地区	区	二里町	町
		大川内地区	区	東山代町	区
		黒川町	町	山代町	区
		波多津町	町	町主体:7町 / 区主体:6町	
施設	特別養護老人ホーム	長生園(伊万里市立花町2703番地2)			
		敬愛園(伊万里市黒川町2201番地)			
		グランパランいまり(伊万里市大坪町1579番地2)			
	養護老人ホーム	伊万里向陽園(伊万里市立花町2404番地10)			

2. 対象者

10月1日時点で77歳以上の高齢者

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
対象者数	7,575人	7,632人	7,566人

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	04	高齢者福祉費
事務事業名	05	公共老人施設管理運営事業			6つのまちづくり	01	安いで健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 長寿社会課			施策	02	高齢者支援の充実		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 168	
35,586	33,260		19,200		14,060	2,326		

【令和4年度における事務事業の概要】

伊万里市老人福祉センターの管理運営は、指定管理者制度により指定管理者が行い、管理運営費として指定管理料を支払いました。また、令和3年度末に閉館した、旧大川老人憩の家の解体工事を行いました。

対象施設	施設名称 (住所)	指定管理者
	伊万里老人福祉センター (松島町73番地1)	伊万里市社会福祉協議会
主な利用内容	健康麻雀、囲碁、大正琴、手芸、舞踊など 大浴場：月～金曜日 午前11時～午後3時まで	
開館日	月～土曜日 午前9時～午後4時30分まで	
休館日	日曜日、祝日、年末年始 (12月29日～31日、1月2日～3日)	
使用料	市内：1日20円／市外：1日50円 ※特別利用券：半年500円	

【令和4年度における事務事業の成果】

(1) 伊万里市老人福祉センターの管理運営

高齢者の教養の向上やレクリエーション活動のための場など、総合的なサービスを提供することにより、健康増進や社会参加活動を促進することができました。また、指定管理者制度を導入し、民間事業者の創意工夫による質の高いサービスを行うことができました。

対象施設	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
老人福祉センター	利用者数	13,419人	15,696人	16,302人
	1日平均利用者数	52人	59人	56人
	年開館日	257日	268日	292日
	指定管理料	7,805,926円	7,859,000円	7,859,000円

※令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休館や利用制限あり

(2) 旧大川老人憩の家に係る解体工事等

委託料：1,932,370円

(内訳) 解体設計業務委託 1,023,000円
解体に伴う各種環境調査業務委託 909,370円

工事請負費：20,638,200円

(内訳) 解体工事 19,451,300円
空調設備移設工事 691,900円
外構工事 495,000円

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	04	高齢者福祉費
事務事業名	11	介護保険施設等物価高騰対策支援事業			6つのまちづくり	01	安いで健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 長寿社会課				施 策	02	高齢者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 170	
29,355	29,344	27,800		1,500	44	11		

【令和4年度における事務事業の概要】

電気・ガス・食糧及び燃料の価格高騰の影響を受けている介護保険施設等に対し、価格高騰の影響による負担軽減を図ることを目的として、令和4年9月1日時点の定員数に応じた「物価高騰対策支援金」を交付しました。

[根拠規定] 伊万里市医療機関等物価高騰対策支援金交付要綱

1. 決算額（支出済額）の内訳

歳出（節以下）	決算額
需用費（消耗品費）	29 千円
役務費（通信運搬費）	20 千円
使用料及び賃借料（複写機使用料）	20 千円
負担金、補助及び交付金（負担金・支援金）	29,275 千円
合計	29,344 千円

2. 対象施設区分、支援単価等

対象施設区分	支援単価	1施設当たりの支援金交付額
入所系施設 ※サービス内容 介護老人福祉施設、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）等	16,000円	16,000円 × 定員数
通所系施設 ※サービス内容 通所介護、通所リハビリテーション等	8,500円	8,500円 × 定員数
訪問系施設 ※サービス内容 訪問介護、居宅介護支援事業所等	30,000円	30,000円 × 事業所数

【令和4年度における事務事業の成果】

支援金を交付することにより、介護保険施設等の電気・ガス・食糧及び燃料の価格高騰による影響を軽減することができました。

1. 支援金交付実績

対象施設区分	支援施設数	支援金交付額
入所系施設	32施設	15,884,938円
通所系施設	55施設	11,930,500円
訪問系施設	49施設	1,460,000円
合計	136施設	29,275,438円

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	05	社会福祉施設費
事務事業名	02	人権意識啓発事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		市民交流部 人権・同和対策課			施策	11		人権教育と啓発の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
593	562	560				2	31	P. 172

【令和4年度における事務事業の概要】

誰もが差別されることのない社会の実現をめざし市民の人権意識の高揚を図るため、「人権の花」運動や人権啓発番組「ハートフルタイム2022」の制作に取り組むとともに、人権啓発映画上映会「伊万里じんけんシアター」を開催しました。また、のぼり旗や懸垂幕等々の掲示による啓発を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

コロナ禍においても新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮し、工夫を凝らしながら人権意識について啓発活動を行いました。主な事業は下記のとおりです。

○「人権の花」運動

山代西小学校の全児童(44名)が取り組み、6月9日に花苗贈呈式、11月25日に観賞会を行いました。観賞会では、1,2年生が取り組みを通じて感じたことを「花への手紙」として発表したほか、友だちや先生への感謝の気持ちを綴ったカード「ありがとうの花」を紹介しました。

児童へのアンケートでは、「命の大切さに気づいた」、「思いやりの気持ちを持つことができた」、「協力することや感謝の気持ちを持つことの大切さが分かった」などの回答があり、児童にこの事業のねらいを体得してもらうことができました。

○人権啓発番組「ハートフルタイム2022」

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から従来の参集型のイベントを中止し、伊万里高等学校の生徒や人権擁護委員などが出演し制作した人権啓発番組を、12月の人権週間に合わせてケーブルテレビで放映しました。

番組では、「これって愛？気付こうデートDV」と題しデートDVについて紹介するとともに、「校則と人権について考えよう」というテーマで、伊万里高校の校則の見直しの取り組みや、校則と人権について生徒が考えたことなどを発表しました。

番組視聴者からは、「人権問題は、とても身近な問題であることを改めて感じた」、「校則や人権問題について家族で話し合う機会を持つことができた」などの意見をいただき、幅広い世代への効果的な啓発となり、人権意識の向上に寄与できました。

○人権啓発映画上映会「伊万里じんけんシアター」

様々な人権課題について市民の意識を高めるとともに、あらゆる差別やマイノリティに対する理解を深めるため、令和4年度から新たに、人権問題に関連する映画の上映会「伊万里じんけんシアター」を開催しました。

令和4年度は、北朝鮮の拉致問題をテーマとした映画「めぐみへの誓い」の上映会を北朝鮮人権侵害啓発週間に合わせて12月10日に市民図書館で開催しました。

映画鑑賞者へのアンケートでは、84%の方が、拉致問題についての理解や関心が「大変深まった」、「ある程度深まった」と回答しており、効果的な人権啓発となりました。



伊万里じんけんシアターチラシ

○のぼり旗などによる啓発

8月の同和問題啓発強調月間や12月の人権週間において、市の公共施設等に、のぼり旗、懸垂幕、横断幕を掲示するなど、市民への啓発を行いました。

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	05	社会福祉施設費
事務事業名	03	同和问题研修参加促進・地区活動支援事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		市民交流部 人権・同和対策課			施策	11		人権教育と啓発の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
8,475		8,072				8,072	403	P. 172

【令和4年度における事務事業の概要】

同和问题の正しい理解と早期解決を実現するための活動を実施する2つの運動団体に対して、補助金を交付し活動を支援しました。

○交付額

部落解放同盟佐賀県連合会伊万里支部	5,309,835円
全日本同和会佐賀県連合会伊万里支部	2,762,209円
合 計	8,072,044円

【令和4年度における事務事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の影響で、ここ数年は、各種大会への参加の見合わせや、大会自体の中止、オンラインでの開催となるなど活動が制限されてきました。

令和4年度は、制限が緩和され、従来の形態で大会が再開されるなど活動が活発になりましたが、一部の大会では中止や規模が縮小され当初の計画どおりの活動ができなかったものもありました。

そのような中においても、同和问题の早期解決の実現をめざし、関係機関と連携して各種事業を行うとともに、会員や地区住民が自主的・自発的意思に基づく運動を展開するなど、行政の補完的な役割を果たすことができました。

わたしたちに ちゃんと伝えてね。

差別や偏見をなくしたいという気持ちはみんな同じ。
でも、「思っているだけ」では何も解決しません。
未来の子どもたちの笑顔のために、あなたは何を伝えますか？



みんなで考えよう

同和问题

同和问题（部落差別）への正しい知識と理解を。
「部落差別の解消の推進に関する法律」が
平成28年（2016年）12月16日に施行されました。

http://www.moj.go.jp/jhr/en/jkaen04_00127.html

佐賀県 佐賀県 人権・同和対策課
TEL 0952-25-7063 FAX 0952-25-7332 メール jinken-douwataisaku@pref.saga.lg.jp

佐賀県作成の同和问题啓発ポスター

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	05	社会福祉施設費
事務事業名	04	隣保館管理運営事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	市民交流部 人権・同和対策課			施策	11	人権教育と啓発の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 172	
2,295	1,859	846		13	1,000	436		

【令和4年度における事務事業の概要】

福祉の向上や人権啓発の住民活動及び地域交流の拠点として、生活上の各種相談事業や人権教育と啓発推進のための各種事業を行いました。主な事業は下記のとおりです。

- 地域福祉事業
 - ・相談受付
 - ・高齢者あいさつ声かけ巡回(毎週水曜日)
- 地域交流事業
 - ・大川・松浦小学校6年生交流事業
 - ・はつらつサロン
- 啓発・広報活動
 - ・隣保館だより(月1回発行)
 - ・研修団体受入

【令和4年度における事務事業の成果】

各種相談事業では、必要があるときは関係行政機関に連絡や紹介を行い適切な支援を行うことができました。また、地域住民の新型コロナウイルスワクチン接種予約の支援を行いました。

研修の受講を希望する団体に対しては積極的な受け入れを行い、参加者の人権意識の高揚を図ることができました。

- 地域福祉事業
 - ・相談受付 …73件
 - ・高齢者あいさつ声かけ巡回(毎週水曜日) …49回
- 地域交流事業
 - ・大川・松浦小学校6年生交流事業(2月4日開催) …70名参加
 - ・はつらつサロン …10回33名参加
- 啓発・広報活動
 - ・隣保館だより(月1回発行) …12回発行
 - ・研修団体受入 …12団体178名

コロナ禍においても、感染対策を講じながら各種事業を進めることができました。



伊万里市隣保館

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	07	子どもの医療費助成事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課				施 策	04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 182	
172,400	172,117	39,520		89,500	43,097	283		

【令和4年度における事務事業の概要】

疾病の早期発見・早期治療を促進し、子どもの健康増進と福祉の増進を図るため、子どもの医療費の一部を助成しました。

◇保護者負担額

(就学前児童)

通院：1医療機関1月1回あたり上限500円×2回(3回目以降負担なし)

入院：1医療機関1月1,000円

調剤：負担なし

(小・中学生)

通院及び入院：1医療機関1月1,000円

調剤：負担なし

【令和4年度における事務事業の成果】

子どもの医療費の自己負担額の一部を助成することにより、子どもの健康増進と福祉の増進を図りました。

○令和4年度の助成実績

就学前児童実績額	75,539千円	財源：県1/2 市1/2
小・中学生実績額	89,546千円	財源：市10/10
合 計	165,085千円	前年比104%

●助成実績の推移

	令和2年度	令和3年度
就学前児童実績額	66,076千円	78,889千円
小・中学生実績額	71,403千円	79,750千円
合 計	137,479千円	158,639千円

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	09	ひとり親家庭等医療費助成事業			6つのまちづくり	01	安心して健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課			施 策		04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 182	
22,362	22,362	14,967			7,395	0		

【令和4年度における事務事業の概要】

ひとり親家庭等（母子家庭、父子家庭及び父母のいない児童の養育者家庭）の生活の安定と福祉の向上を図るため、医療費の個人負担分の一部を助成しました。

（医療費の助成）

医療を受けた日の翌月から起算して1年以内の医療費（保険診療分）について申請を受け付け、申請月の翌月末に助成しました。

◇受給者自己負担上限月額 500円（1人あたり）

【令和4年度における事務事業の成果】

ひとり親家庭等の医療費の個人負担分の一部を助成することで、その生活の安定と福祉の向上を図ることができました。

○令和4年度の助成実績

		受給対象者	助成件数	助成実績額	財源
母子家庭	母	522人	5,718件	16,092,093円	県1/2 市1/2
	児童	746人	3,890件	4,468,008円	県1/2 市1/2
父子家庭	父	32人	342件	1,460,632円	県1/2 市1/2
	児童	39人	222件	338,983円	県1/2 市1/2

●令和3年度の助成実績

		受給対象者	助成件数	助成実績額	財源
母子家庭	母	554人	5,683件	16,452,271円	県1/2 市1/2
	児童	770人	4,023件	5,229,873円	県1/2 市1/2
父子家庭	父	37人	297件	1,117,914円	県1/2 市1/2
	児童	53人	291件	380,553円	県1/2 市1/2

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	11	幼児インフルエンザ予防接種費助成事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課			施 策		04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
2,785	1,391			1,300	91	1,394	P. 184	

【令和4年度における事務事業の概要】

幼児のインフルエンザの発病や重症化を予防するため、インフルエンザの予防接種を受けた幼児の保護者に対して、子育て支援の観点から接種費用の一部を助成しました。
 (対象者) 幼児を養育している保護者
 (内 容) 幼児の2回目のインフルエンザ予防接種費
 ※2回目接種に要した費用(自己負担額)のうち幼児1人に対して2,000円を助成

【令和4年度における事務事業の成果】

予防接種費用の一部を助成することで、子育て世帯の経済的負担の軽減を図りました。

○令和4年度の助成実績

助成件数	695件
助成額	1,390千円

●過去の実績

	令和2年度	令和3年度
助成件数	1,288件	1,033件
助成額	2,576千円	2,066千円

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	15	特別保育促進事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課			施策	04	子育て支援の充実		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 186	
17,930	13,964	8,390		235	5,339	3,966		

【令和4年度における事務事業の概要】

保育所における障がい児保育事業、延長保育事業、一時預かり事業の実施を支援し、保育サービスの充実を図りました。

また、保育所において、医療的ケア児の受入れを可能とするための体制を整備し、医療的ケア児の地域生活支援の向上を図りました。

【令和4年度における事務事業の成果】

○障がい児保育事業実績

心身に障がい又は発達遅滞のある児童を受け入れている施設に補助を行い、保育施設における障がい児の受入体制を整えました。

種別	対象園	対象者	補助金額	
重度障がい児	1園	1名	544,560円	※重度障がい児：45,380円/月
軽度障がい児	11園	24名	6,050,000円	※軽度障がい児：30,250円/月

○延長保育事業実績

保護者の多様化する就労形態に対応するため、認定区分を超えて延長保育を行う保育施設に補助を行い、子育て期の保護者の負担軽減と延長保育の実施体制の充実を図りました。

種別	対象園	補助金額
標準時間認定分	17園	5,100,000円
短時間認定分	4園	329,366円

○一時預かり事業実績

保育所等を利用していない子どもの保護者の突発的な理由により一時的に子どもを預かる一時預かり事業を行う保育施設に補助を行い、保護者の負担軽減と一時保育の受け入れ体制を整えました。

種別	対象園	補助金額
一時保育	2園	400,000円

○医療的ケア児保育事業実績

医療的ケアを必要とする児童の保育施設への入所について、伊万里市医療的ケア児入園検討会を開催し、集団保育の可否の確認及び保育施設における医療的ケアの安全かつ円滑な実施を図りました。

- ・ 医療的ケア児入園検討会 2回
- ・ 対象児童 2名
- ・ 対象園 2園（公立1園、私立1園）

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	18	保育対策総合支援事業			6つの まちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 子育て支援課			施 策		04	子育て支援の充実
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
58,569		53,607	37,491			16,116	4,962	P. 186

【令和4年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症対策用の消耗品や備品等を購入した保育施設に対し、購入経費を補助しました。

保育士等の業務負担の軽減を図るため、保育に関する計画・記録や保護者との連絡、子どもの登降園管理等の業務のICT化を行った保育施設に対し、システムの導入費用等の一部を補助しました。

また、保育士確保策として、保育士資格を持たない保育補助者や保育の周辺業務を行う保育支援者を雇用した私立保育園等に対し、雇用経費の一部を補助しました。

●新型コロナウイルス感染症対策

保育環境改善等事業（認可外以外） 負担割合：国1/2・市1/2

保育環境改善等事業（認可外） 負担割合：国1/2・県1/2

●保育所等におけるICT化推進

保育所等における業務効率化推進事業 負担割合：国1/2・市1/4・施設1/4

●保育士確保策

保育補助者雇上強化事業 負担割合：国3/4・県1/8・市1/8

保育体制強化事業 負担割合：国1/2・県1/4・市1/4

【令和4年度における事務事業の成果】

●新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として、マスクや消毒液、空気清浄機等の備品を購入する経費を助成することで、保育施設における感染拡大防止に努めました。

補助事業名	施設数	事業費	補助金額
保育環境改善等事業	36	14,730,053	12,780,000

●保育所等におけるICT化推進

ICT化を推進することにより、保育士等の業務負担の軽減を図り、保育士等が働きやすい環境を整備することに努めました。

補助事業名	施設数	事業費	補助金額
保育所等における業務効率化推進事業	5	5,464,537	3,750,000

●保育士確保策

保育士資格を持たない保育補助者を雇用した私立保育園9園と、保育の周辺業務を行う保育支援者を雇用した私立保育園9園に対し、雇用経費を助成することで、保育士の離職防止を図るとともに、保育士が働きやすい職場環境を整備しました。

補助事業名	施設数	雇用人数	事業費	補助金額
保育補助者雇上強化事業	9	11	25,526,673	22,630,000
保育体制強化事業	9	11	11,211,380	9,818,000

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	21	留守家庭児童クラブ管理運営事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	教育委員会 教育総務課				施策	04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
185,108	183,591	83,546		58,918	41,127	1,517	P. 188	

【令和4年度における事務事業の概要】

就労等により、保護者が昼間家庭にいない児童を対象に安全な生活の場や適切な遊びの場を提供することにより、児童の健全な育成と保護者の仕事と子育ての両立を支援しました。

また、支援体制の充実として、クラブを利用する児童の中に支援を要する児童が増加しているため、各ブロックに1名、計3名の支援員を令和3年度からさらに増員し、児童の受入れを行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

市内13小学校区に25の児童クラブを開設し、年間283日間の運営を行い、1,363人の児童の受入れと516人の児童を時間を延長して受入れを行うことにより、児童の健全な育成と子育て支援に貢献することができました。

支援を要する児童の増加に伴い、支援員を増員したことにより、児童の受け入れ体制の強化ができました。

- ・ 開所時間 小学校の授業がある日：授業終了後から午後7時まで
土曜日、長期休業日：午前8時から午後7時まで
※午後6時から延長利用、1日100円。
- ・ 休所日 日曜日、祝日、8月13日～8月15日、12月29日～1月3日
- ・ 利用料 月額3,500円（8月のみ5,000円）
長期休業期間のみ利用の場合、日額300円
※2人目以降、半額。 非課税世帯、半額。

児童クラブ名	利用児童	延長利用者	定員	児童クラブ名	利用児童	延長利用者	定員
伊万里第1	91	40	70	大川内	54	28	45
伊万里第2	92	25	50	黒川第1	32	3	35
伊万里第3	57	24	50	黒川第2	14	6	23
牧 島	35	16	35	波多津	59	16	80
大坪第1	59	29	55	南波多	41	5	45
大坪第2	41	21	40	松 浦	64	19	50
大坪第3	31	14	31	二 里	105	43	85
大坪第4	84	16	40	東山代第1	131	51	100
立花第1	83	47	70	東山代第2	32	6	34
立花第2	47	20	40	若楠第1	31	12	35
立花第3	39	21	35	若楠第2	26	9	34
立花第4	45	21	40	山代西	20	9	25
立花第5	50	15	40	合 計	1,363	516	1,187

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	22	東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	教育委員会 教育総務課				施 策	04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
994	993			993		1	P. 190	

【令和4年度における事務事業の概要】

東山代小学校内に開設している東山代第1児童クラブ及び東山代コミュニティセンターの和室を借用して受入れを行っている東山代第2児童クラブについて、東山代小学校及び東山代コミュニティセンターと一体的に新たな施設の整備を行うため、複合施設の実施設計を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

東山代小学校、東山代コミュニティセンター及び東山代児童クラブの複合施設を整備するための実施設計を行いました。

※財源内訳の「その他」は、福祉基金繰入金

◆ スケジュール（予定）

- ・ 令和3年度 基本設計
- ・ 令和4年度 実施設計
- ・ 令和5・6年度 建設工事
- ・ 令和7年度 開所

◆ 東山代児童クラブ概要（予定）

- ・ 支援単位数 4部屋
- ・ 定員 160名（40名×4部屋）
- ・ 開所時間 小学校の授業がある日 授業終了後から午後7時まで
土曜日、長期休業日 午前8時から午後7時まで
- ・ 休所日 日曜日、祝日、8月13日～8月15日、12月29日～1月3日

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	25	私立保育園整備促進事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課				施 策	04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 190	
90,622	90,622	60,415			30,207	0		

【令和4年度における事務事業の概要】

施設の老朽化等に伴い、大規模改修等を行った保育施設に対し、経費の一部を補助しました。

補助金名：保育所等施設整備事業費補助金
負担割合：国1/2・市1/4・事業者1/4

【令和4年度における事務事業の成果】

老朽化した倉庫を乳児室とするために一部改築・大規模修繕を行った1施設に対し、補助金を交付し、保育環境の改善を図りました。

施設名	鳴石保育園
内 容	倉庫の解体、園舎の一部改築
対象事業費	120,831千円
補助金額	90,622千円（国60,415千円、市30,207千円）
負担割合	国1/2・市1/4・事業者1/4

○過去の実績

年度	施設名	内容	事業費	補助金額
R1	立花保育園	トイレ改修	7,920千円	5,940千円
	大里保育園	トイレ改修	10,956千円	8,217千円
R2	川東保育園	ホール改修、医務室・職員室増築	13,604千円	10,203千円
	愛育園	施設内外部改築	4,890千円	3,667千円
R3	大川内保育園	屋根瓦の交換、塗装	5,720千円	4,290千円
	久原保育園	屋根瓦、外壁塗装	6,159千円	4,618千円

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	26	多子世帯給食費助成事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課			施 策	04	子育て支援の充実		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 190	
3,256	2,946			2,900	46	310		

【令和4年度における事務事業の概要】

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、平成27年度より小学1年生から満18歳に達する学年までに4人以上の兄弟姉妹がいる多子世帯の保護者に対して、小中学校に通う4人目以降の給食費全額を補助しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

令和4年度は、77世帯88人に対して補助を行い、多くの多子世帯の負担軽減を図ることができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

【年度別支給者数】

年 度	対象者数	支給者数	支給率
平成28年度	60人	45人	75.0%
平成29年度	74人	59人	79.7%
平成30年度	75人	61人	81.3%
令和元年度	93人	77人	82.8%
令和2年度	102人	91人	89.2%
令和3年度	104人	94人	90.4%
令和4年度	96人	88人	91.7%

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	27	保育所等物価高騰対策支援事業			6つのまちづくり	01	安心して健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課			施 策		04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 190	
6,627	6,612			6,000	612	15		

【令和4年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の長期化及びコロナ禍における物価高騰により、電気、ガス、燃料費価格高騰の影響を受けた保育施設に対し、運営を支援するため、支援金を支給しました。

○支援金の額

- ・ 支援金単価：3,260円
- ・ 1施設当たりの支援金交付額 支援金単価×定員数
- ・ 送迎を実施している保育施設については、定員に基づき燃料費を上乗せ。

【令和4年度における事務事業の成果】

●医療機関等物価高騰対策支援金

電気・ガス・燃料費価格高騰分に対し、支援金を交付することにより、私立保育園等の保育サービス提供の維持と事業継続を図ることができました。

(令和4年度実績) 支援金額合計 6,592,220円

<内訳>

- 私立保育園 (19園) ※送迎実施施設2園
- 認定こども園 (2園) ※送迎実施施設1園
- 事業所内保育事業所 (1園)
- 小規模保育事業所 (6園)
- 私立幼稚園 (1園) ※送迎実施施設1園
- 認可外保育施設 (7園)

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	02	児童手当給付費
事務事業名	01	児童手当支給事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課			施 策	04	子育て支援の充実		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 190	
917,721	912,293	762,660			149,633	5,428		

【令和4年度における事務事業の概要】

次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的として、父、母、その他児童を養育している者に対し、児童手当を支給しました。

(支給月額)

- ・3歳未満(一律) 15,000円
- ・3歳以上小学校修了前
第1子、第2子 10,000円
第3子 15,000円
- ・中学校修了前(一律) 10,000円
- ・所得制限限度額以上所得上限限度額未満(一律) 5,000円
- ・所得上限限度額以上 支給なし(令和4年10月支給分から)

(支給時期)

2月・6月・10月(それぞれの前月分までを支給)の15日

【令和4年度における事務事業の成果】

対象児童を養育する父、母、養育者に対して児童手当を支給することにより、児童の健全育成を図りました。

○令和4年度の支給実績

支 給 額	900,710千円
延児童数	79,511人

●過去の実績

	令和2年度	令和3年度
支 給 額	948,955千円	929,285千円
延児童数	83,806人	82,225人

※決算額は、総務課人件費等10,140千円を含みます。

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	03	児童措置費
事務事業名	01	私立保育園等支援事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課				施 策	04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 192	
2,534,465	2,408,688	1,666,935		107,826	633,927	125,777		

【令和4年度における事務事業の概要】

市内にある私立保育園19園、私立認定こども園2園、私立幼稚園1園、私立小規模保育事業所6園、私立事業所内保育事業所1園、市外の保育所等に入所している児童の分の運営に必要な経費を、保育園の規模、児童の年齢、人数に応じた額（公定価格）で支払いました。

また、保育現場の最前線で働く、保育所や幼稚園、認定こども園等の保育士、幼稚園教諭等の処遇の改善を図るため、各保育所等に対し、人件費の一部を補助しました。

物価高騰による子育て世帯の負担増の回避を図るため、給食を提供する保育所に係る給食の材料費等の高騰分に対して補助を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

●子どものための教育・保育給付交付金

子どもを安心して預け、育てることが出来る体制を整えることができました。

延入所者数	内 訳	施設数	延入所者数
22,127人	市内私立	29	20,944人
	市外公立・私立	35	1,183人

○過去の実績

年度	延入所者数	内 訳	施設数	延入所者数
R2	20,968人	市内私立	26	19,620人
		市外公立・私立	43	1,348人
R3	19,813人	市内私立	26	18,504人
		市外公立・私立	35	1,309人

●保育所等給食材料費高騰対策事業費補助金

給食材料費の高騰分を補助することにより、子育て世代の負担軽減と給食の質・量を維持することができました。

(令和4年度実績) 補助金額合計 7,006,000円
 <内訳>
 市内私立 (17園)

款	03	民生費	項	03	生活保護費	目	01	生活保護総務費
事務事業名	02	生活保護レセプト点検・指導事業			6つのまちづくり	01		安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策	05		低所得者支援の推進
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
2,770	2,057	1,192			865	713	P. 198	

【令和4年度における事務事業の概要】

生活保護費の約6割を占める医療扶助費について、適正な運営を図るためレセプト(診療報酬明細書)の点検を専門の業者に委託しました。

令和4年度は単月点検14,398件と縦覧点検13,301件を行いました。また、医療扶助相談・指導員が被保護世帯へ年間278回の同行訪問を行い、後発医薬品の使用促進や健康管理指導を行いました。令和5年度よりマイナンバーを利用したオンライン資格確認が導入予定であり、システム改修等の準備を進めました。

- ・生活困窮者自立相談支援事業等国庫負担金 負担率：3/4
 - ・社会保障・税番号制度システム整備費等補助金 補助率：10/10
 - ・生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(国) 補助率：3/4
- ※補助対象経費：報償費、共済費、需用費(印刷製本費、消耗品費)
役務費(通信運搬費)、委託料

◆レセプト点検の内容

1. 資格審査

職員において医療券交付処理簿との照合を行うことにより、診療月、受給者名、指定医療機関名及び診療別等が医療券と一致するか、また、指定医療機関における医療券等の公費負担番号、受給者番号、氏名及び本人支払額の記載内容のレセプトの転記が正確であるかを確認する。

2. 単月点検(業者委託)

毎月、全てのレセプトについて、その内容の点検を行う。

- (1) 診療報酬、調剤報酬等の算定方法、算定点数の点検
 - ・診療日数、初診料、再診料、乳幼児加算、指導料、入院料、調剤レセプト
- (2) 重複請求の点検
- (3) 重複受診の点検
- (4) 診療報酬明細書と調剤報酬明細書の突合

3. 縦覧点検(業者委託)

複数月のレセプトを審査することにより、単月のレセプトの点検では確認できない項目等について点検・確認する。

・単月点検により特異な診療傾向が認められる指定資料機関、連続月あるいは一定期間内に重複算定できない診療内容、単月ではその適否が判断できない診療内容等に係るレセプトについて、4ヶ月に1回レセプトを縦覧し点検する。

【令和4年度における事務事業の成果】

レセプト点検による過誤調整204件を医療費請求に反映させるとともに、後発医薬品の使用促進により医療費を抑制することができました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
過誤調整件数(全体)	392件	360件	282件	204件
過誤調整件数(委託分)	108件	141件	91件	157件
過誤調整効果額(委託分)	141,940円	237,644円	159,774円	118,720円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
後発医薬品使用率(平均)	82.4%	85.9%	86.1%

款	03	民生費	項	03	生活保護費	目	01	生活保護総務費
事務事業名	03	生活困窮者自立支援事業			6つの まちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施 策		05	低所得者支援の推進
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
42,871	37,494	33,039			4,455	5,377	P. 198	

【令和4年度における事務事業の概要】

生活困窮者自立支援法の施行に伴い、生活困窮者に対する相談支援体制を整えるため、社会福祉協議会に自立相談支援事業、また令和4年度より就労準備支援事業を委託しました。同じく令和4年度よりグリーンコープに家計改善支援事業を委託し、連携して一体的に実施しました。併せて住居確保給付金を給付する相談窓口も設置しました。また、物価高騰の影響等によって予想される緊急的な支援策としてプラットフォーム設置を自立相談支援機関に委託し、支援に注力できる環境整備を図りました。新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に困窮する世帯に対して自立支援金を支給しました。

- ・生活困窮者自立相談支援事業等国庫負担金 負担率：3/4
- ・自立相談支援事業費国庫負担基準額 10,600,000円（人口区分4万人以上～5.5万人未満）
- ・住居確保給付金 負担率：3/4 ※支給期間：3ヶ月間（3ヶ月間の延長及び再延長可能）
（月額）単身世帯：29,000円 2人世帯：35,000円 3人～5人世帯：38,000円
- ・新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化事業補助金 補助率：3/4・10/10
- ・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金 補助率：10/10
（月額）単身：60,000円 2人世帯：80,000円 3人以上世帯：100,000円
※支給期間：3ヶ月間（受給期間が終了した世帯に対し3ヶ月再支給が可能）

【令和4年度における事務事業の成果】

令和4年度は相談件数延べ360件を受け付け、うち5人が就労による自立につながりました。また、生活困窮者自立支援調整会議を毎月1回開催し、生活困窮者の情報共有と支援計画等について検討を行いました。※会議メンバー：収納管理課1名、まちづくり課1名、消費生活センター1名、包括1名、長寿社会課1名、人権・同和対策課1名、都市政策課1名、上下水道部1名、学校教育課1名、社協4名、家計改善支援員1名、福祉課4名計18名

社会福祉協議会への相談数（生活困窮者自立相談支援事業）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談件数（新規相談数）	695件（270人）	530件（148人）	360件（86人）
新規就労者	15人	3人	5人
委託料	12,485,000円	13,250,000円	10,426,000円

就労準備支援事業 委託先：伊万里市社会福祉協議会

（令和4年4月～）委託料：3,108,000円 相談件数：278件 支援者数：1名

家計改善支援事業 委託先：グリーンコープ生活協同組合さが

（令和4年6月～）委託料：3,144,852円 新規面談：33件（継続86件）支援件数：16件

住居確保給付金実績

令和2年 申請 7件 決定 5件 給付額 625,800円

令和3年 申請 1件 決定 1件 給付額 348,000円（※令和4年 申請 0件）

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金実績

令和3年 支給世帯 29世帯 支給額 5,640,000円

令和4年 支給世帯 48世帯 支給額 11,840,000円（再支給含む）

生活困窮者自立支援事業機能強化プラットフォーム整備事業 補助率：10/10

委託料：3,229,651円 実施団体：NPO法人等3団体・市内13地区社会福祉協議会

生活困窮者自立相談支援機関体制強化事業 補助率：3/4

委託料：1,051,000円 委託先：自立相談支援機関（伊万里市社会福祉協議会）

款	03	民生費	項	03	生活保護費	目	01	生活保護総務費
事務事業名	04	生活保護扶養義務調査事業			6つの まちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施 策		05	低所得者支援の推進
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
759	755	566			189	4	P. 200	

【令和4年度における事務事業の概要】

生活保護法第4条に定める保護の補足性の要件を充足させるため、扶養義務者の資産能力等を十分に調査するとともに親子関係等、人間的連携を基に自立援助を促しました。

生活保護受給者の扶養義務者の実態を把握し文書による援助照会を行うとともに、遠隔地に居住する扶養義務者に対して訪問面接により援助要請を行いました。

- ・生活困窮者就労準備支援事業費等補助金（国） 補助率：3/4
- ・補助対象経費：報償費、共済費、需用費（印刷製本費、消耗品費）
役務費（通信運搬費）、委託料

【令和4年度における事務事業の成果】

新型コロナウイルス感染症対策のため、2年間中止していましたが、令和4年度は（関東方面）東京都に5件、埼玉県に1件、神奈川県に1件、合計7件訪問しました。また、生活保護受給者の扶養義務者の実態を把握するため、随時文書による援助照会を行いました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実地調査件数	8件	0件	0件	7件
経済的援助	0人	0人	0人	0人
精神的援助	3人	0人	0人	6人

款	03	民生費	項	03	生活保護費	目	02	扶助費
事務事業名	01	生活保護費支給事業			6つのまちづくり	01	安いで健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課			施 策		05	低所得者支援の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,029,448	1,011,831	753,711			258,120	17,617	P. 200	

【令和4年度における事務事業の概要】

生活に困窮する低所得者の最低限度の生活を維持し自立を支援するため、生活保護法に基づき生活保護費等を支給しました。

- ・生活保護費等国庫負担金 負担率：3/4

【令和4年度における事務事業の成果】

生活扶助、医療扶助等の支給により最低限度の生活の維持が可能となりました。

令和4年度は、令和3年度と同じく、生活保護世帯数の減少により、全体的に扶助費の支給額が減少しました。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
月平均保護世帯数	513世帯	487世帯	480世帯
月平均保護人員	684人	640人	620人
保護相談件数	115人	151人	146人
保護申請件数	31人	41人	46人

【生活保護費の推移】

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年比
生活扶助	231,472,812	219,190,095	213,777,114	▲ 5,412,981
住宅扶助	90,533,269	87,441,466	87,702,577	261,111
教育扶助	4,203,643	3,866,540	2,924,436	▲ 942,104
介護扶助	32,376,251	32,487,252	24,957,601	▲ 7,529,651
医療扶助	663,890,582	633,934,700	641,411,426	7,476,726
出産扶助	744,250	421,500	0	▲ 421,500
生業扶助	2,351,256	2,444,801	3,220,483	775,682
葬祭扶助	1,593,432	1,550,106	1,695,129	145,023
進学準備給付金	300,000	1,200,000	300,000	▲ 900,000
就労自立給付金	466,235	140,537	198,749	58,212
保護施設事務費	34,932,053	28,721,645	35,643,046	6,921,401
合 計	1,062,863,783	1,011,398,642	1,011,830,561	431,919

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	01	保健衛生総務費
事務事業名	13	伊万里・有田地区医療福祉組合運営負担金			6つのまちづくり		01	安心して健やかな暮らしづくり
担当部課		市民交流部 市民課			施 策		06	保健医療体制の充実
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
212,352	212,352				212,352	0	P. 208	

【令和4年度における事務事業の概要】

市民が安心して暮らせるまちづくりを推進するために、救急医療や高度医療など伊万里・有田地区医療福祉組合が行っている伊万里有田共立病院事業に対し、繰出基準に基づいた負担金及び当福祉組合の運営経費に対する負担金を支出しました。
(負担割合：伊万里市55%、有田町45%)

【令和4年度における事務事業の成果】

伊万里・有田地区医療福祉組合に対し、病院事業に対する繰出基準に基づく負担金及び当福祉組合の運営経費に対する負担金212,352千円を支出することにより、佐賀県西部医療圏において中核的役割を有する伊万里有田共立病院に対し財政支援を行いました。

○病院事業に対する繰出基準に基づく負担金 (単位：千円)

区 分	繰出額
病床数割	77,040
救急医療の確保に要する経費	11,879
病院の建設改良に要する経費	51,259
不採算地区に所在する中核病院の運営に要する経費	37,498
感染症医療に要する経費	591
小児医療に要する経費	3,767
院内保育所の運営に要する経費	1,052
病院事業会計に係る共済追加費用の負担に要する経費	524
医師の派遣等に要する経費	2,159
地方公営企業職員に係る児童手当に要する経費	16,038
会計年度任用職員期末手当	10,360
合 計	212,167

○伊万里・有田地区医療福祉組合の運営経費に対する負担金 (単位：千円)

区 分	繰出額
議会費	78
総務費等	107
合 計	185

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	01	保健衛生総務費
事務事業名	15	医療機関等物価高騰対策支援事業			6つのまちづくり	01		安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 健康づくり課			施策	06		保健医療体制の充実
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
24,985		24,615			24,548	67	370	P. 208

【令和4年度における事務事業の概要】

電気・ガス・食糧及び燃料費等の価格高騰の影響を受けている医療機関等に対し、価格高騰の影響による負担の軽減を図ることを目的として、令和4年9月1日時点の病床数等に応じた「物価高騰対策支援金」を交付しました。

[根拠規定] 伊万里市医療機関等物価高騰対策支援金交付要綱

<決算額（支出済額）の内訳>

歳出（節以下）	決算額
需用費（消耗品費）	30 千円
役員費（通信運搬費）	17 千円
使用料及び賃借料（複写機使用料）	20 千円
負担金、補助及び交付金（支援金）	24,548 千円

<対象施設区分、単価等>

対象施設区分	支援単価	1施設当たりの支援金交付額
無床診療所	65,000円	65,000円
歯科診療所	65,000円	65,000円
保険薬局	65,000円	65,000円
有床診療所	16,000円	16,000円×病床数
病院	16,000円	16,000円×病床数
伊万里看護学校	—	350,000円

【令和4年度における事務事業の成果】

支援金の支給により、医療機関等の電気・ガス、食糧及び燃料の価格高騰の影響による負担を軽減することができました。

▶支援実績

対象施設区分	支援施設数	支援金交付額
無床診療所	20施設	1,300,000円
歯科診療所	25施設	1,625,000円
保険薬局	24施設	1,560,000円
有床診療所	11施設	1,761,000円
病院	9施設	17,952,000円
伊万里看護学校	1施設	350,000円
合計	90施設	24,548,000円

※財源内訳の「その他」のうち500千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	02	予防費
事務事業名	01	予防接種事業				6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課	健康福祉部 健康づくり課			施 策		06	保健医療体制の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
158,344	148,720	1,571			147,149	9,624	P. 210	

【令和4年度における事務事業の概要】

予防接種は15種類で、全て、かかりつけ医のもとで実施する個別接種とし、安全な接種体制で感染症による疾病や重症化予防に努めました。

また、過去に風しんの公的予防接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を対象に、抗体検査と予防接種を行う「風しん第5期予防接種」を、妊娠を希望する女性や妊婦の同居者を対象に、佐賀県風しん予防接種事業（任意接種）を実施し、大人の風しんの流行の防止に努めました。（令和元年度からの3ヵ年事業が令和6年度まで延長）

【令和4年度における事務事業の成果】

出生届時に予防接種の説明書と予診票を配付し、赤ちゃん訪問時にお母さんに対して保健師等から予防接種の意義や効果について説明を行いました。

また、幼児期以降の接種については、園長会や養護部会での接種勧奨文書の配布依頼や個人通知（麻疹風しん、ジフテリア破傷風、日本脳炎、高齢者の肺炎球菌、ヒトパピローマウイルス感染症）を行い、適切な情報提供と接種勧奨を行いました。

<予防接種接種者数>

(単位：人)

予防接種名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
4種混合	1,558	1,504	1,382
麻疹風しん	859	778	796
日本脳炎	2,764	1,041	2,259
ジフテリア破傷風	413	412	431
ロタウイルスワクチン	346	846	828
結核 (BCG)	394	373	371
ヒトパピローマウイルス感染症	95	239	428
ヒブ感染症	1,608	1,495	1,392
小児の肺炎球菌感染症	1,572	1,490	1,394
水痘	800	691	604
B型肝炎	1,183	1,112	1,057
高齢者の肺炎球菌感染症	960	498	320
高齢者等インフルエンザ	11,600	10,200	10,368
【国】風しん第5期定期接種	120	95	60
【県】風しん予防接種	59	51	42

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	02	予防費
事務事業名	03	新型コロナウイルスワクチン接種事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 新型コロナウイルスワクチン接種対策室			施策	06	保健医療体制の充実		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 210	
423,865	380,832	323,804		7	57,021	43,033		

【令和4年度における事務事業の概要】

国の方針のもと、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び重症化予防を目的として、市が実施主体となり、ワクチン接種のための体制確保を図るとともに、令和3年度から接種を開始した、初回（1、2回目）接種及び追加接種（3回目）のワクチン接種を継続実施しました。また、令和4年度から追加接種として、4回目接種及び令和4年秋開始接種（オミクロン株対応ワクチンの接種）を実施しました。

(1) 接種実施医療機関 32カ所

(2) 実施内容 12歳以上を対象とした接種に加え、小児接種（5歳～11歳以下）、乳幼児接種（6ヵ月～4歳以下）を実施

区分（12歳以上）	令和3年度	令和4年度
初回接種（1、2回目）	実施	実施
追加接種（3回目）	実施（R3.12月～）	実施
追加接種（4回目）	-	実施（R4.6月～）
令和4年秋開始接種	-	実施（R4.9月～）

【令和4年度における事務事業の成果】

ワクチン接種を実施することで、市民の新型コロナウイルス感染症に対する感染予防、重症化リスクの軽減を図ることができました。

(1) 体制確保

予約システムの構築及びコールセンターの運營業務を民間事業者へ委託するとともに、医療機関及び地元医師会と連携することで、接種希望者が予約から接種まで円滑に行うことができる体制を構築することができました。

また、市役所窓口や市民に身近なコミュニティセンターで予約支援を行うとともに、予約者が多かった7月、10月及び11月にはコールセンターを増設し、利用者の負担軽減と利便性の向上を図ることができました。

(2) 接種者数

区分（12歳以上）	人数
初回接種（1、2回目）	1,013人
追加接種（3回目）	10,567人
追加接種（4回目）	27,155人
追加接種（5回目）	15,224人

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費
事務事業名	02	伊万里・有田地区衛生組合 運営負担金			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課		市民交流部 環境政策課			施 策	21	生活環境の保全	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 214	
203,876	203,876				203,876	0		

【令和4年度における事務事業の概要】

し尿等の処理及び火葬場事業を行う伊万里・有田地区衛生組合に対して負担金を支出し、一部事務組合による適正かつ効率的な事業運営を図りました。

【令和4年度における事務事業の成果】

衛生センターと火葬場（やすらぎ斎苑）の適正かつ効率的な事業運営を図ることができました。

■伊万里・有田地区衛生組合運営負担金の内訳

(単位：千円)

区 分	組合運営事務	し尿等の処理事業		火葬場事業		合 計
		管理運営	施設建設	管理運営	施設建設	
伊万里市	17,120	138,429	4,490	43,837	0	203,876
有田町	7,780	71,796	3,282	19,922	0	102,780
合 計	24,900	210,225	7,772	63,759	0	306,656

■し尿・浄化槽汚泥の搬入量（前処理）

(単位：kℓ)

区 分	し尿	浄化槽汚泥	合 計
伊万里市	27,838	7,359	35,197
有田町	14,350	349	14,699
合 計	42,188	7,708	49,896

■やすらぎ斎苑（火葬場）での火葬件数

(単位：件)

区分	12歳以上	12歳未満 死産時	身体一部	改葬	合計
伊万里市	809	5	3	26	843
有田町	276	2	4	15	297
地区外	35	0	0	25	60
合 計	1,120	7	7	66	1,200

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費
事務事業名	08	浄化槽設置促進事業				6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり
担当部課	上下水道部 管理課			施 策		18	上下水道の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
22,902	22,590	15,134			7,456	312	P. 216	

【令和4年度における事務事業の概要】

公共下水道など集合処理の整備が困難な地域において、公共下水道と同等の浄化能力を有する合併処理浄化槽の普及促進を図るため、一般家庭用住居に浄化槽を設置する市民に対し、設置整備補助金として22,560千円を交付しました。

(補助内訳)

5人槽 332千円×48基＝15,936千円
 7人槽 414千円×16基＝ 6,624千円
 10人槽 548千円× 0基＝ 0千円

※別途、佐賀県浄化槽普及促進協議会会費及び負担金として、30千円を支出。

【令和4年度における事務事業の成果】

生活排水に起因する環境の悪化及び公共用水域の水質汚濁を防止するため、汚水処理施設の整備を促進することができました。



(引用)
 環境省作成「快適な生活と美しい環境を守る合併処理浄化槽」リーフレット

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費
事務事業名	09	省エネ家電買替え促進事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 環境政策課				施 策	21	生活環境の保全	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
25,991	25,342	25,300			42	649	P. 216	

【令和4年度における事務事業の概要】

エネルギー価格高騰に直面する市民生活の負担を軽減するため、古いエアコン、冷蔵庫を省エネ性能の高い製品に買替える市民に対し、補助金を交付しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

統一省エネラベルにおける省エネ基準達成率100%以上の製品を対象としたことで、563台の省エネ家電の買替えが進むとともに、市内の一般家庭における省エネへの啓発を図りました。

■補助の概要

(1) 補助対象

市内の販売店で購入した統一省エネラベルにおける省エネ基準達成率100%以上のエアコン、冷蔵庫

(2) 補助率（1世帯1台限り 補助上限5万円）

①非課税世帯：購入金額（税抜）の1/3（千円未満切り捨て）

②非課税世帯以外の世帯：購入金額（税抜）の1/4（千円未満切り捨て）

(3) 募集期間

令和4年12月5日（月）～令和5年2月20日（月）

■補助の実績

(1) 補助交付件数 563件

内訳 エアコン167件 冷蔵庫396件

(2) 補助金総額

24,301千円

(3) 1世帯あたりの補助額（平均）

43,163円

(4) 二酸化炭素削減効果

91,372kg

※環境省の省エネ製品買替ナビゲーション「しんきゅうさん」で積算

(5) 商品購入における経済効果

102,889千円（本体価格の税抜額）

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	04	健康増進費
事務事業名	03	健康診査事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 健康づくり課				施策	06	保健医療体制の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
40,426	34,878	1,271		617	32,990	5,548	P. 218	

【令和4年度における事務事業の概要】

健康増進法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、伊万里市前立腺がん検診実施要領、伊万里市30歳代健康診査実施要綱に基づき、がん検診（胃・肺・大腸・子宮・乳・前立腺）、骨粗しょう症検診、肝炎ウイルス検診、生活保護受給者を対象とした健康増進健診、30歳代健康診査を実施し、市民の健康増進・疾病の早期発見に努めました。

また、大腸がん検診を医療機関でも実施できる体制を整えるとともに、集団健診や医療機関以外でも健康診査やがん検診が実施できるよう、佐賀県健診・検査センターで行われている毎日健診を受けられる体制を整えました。

さらに、集団健診予約専用電話を設置しました。

〔佐賀県子宮頸がん撲滅事業〕（県の事業）

市の子宮頸がん検診と併用し、子宮頸がんの約90%に関係しているHPV（ヒトパピローマウイルス）感染の検査を30～44歳を対象に実施しました。

〔胃がん内視鏡検診〕（佐賀県広域化）

佐賀県広域化に伴い、市町が共同で設置した運営委員会での決定に基づき、受診年齢の対象を50～64歳偶数から50～68歳偶数に拡大して実施しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

広報や市民健康カレンダー、個人通知等により周知を行い、医療機関での個別健診は5月から3月まで、市民センターでの集団健診は、感染予防と待ち時間を短縮するため予約制にて18日間実施しました。

令和3年度から前立腺がん検診を、令和4年度から大腸がん検診を医療機関でも実施できるようにしたことで、令和3年度より受診者が増加しました。また、市民課窓口モニターによる健診受診勧奨や対象者別に分けた3種類のチラシの作成、生活保護受給者への受診勧奨強化により、健康増進健診や30代健診についても受診者が増加しました。

検診名	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
胃がん検診(2年に1回)	120人	11.3%	464人	6.9%	317人	9.1%
肺がん検診	2,033人	12.6%	2,063人	15.0%	2,300人	16.1%
大腸がん検診	1,341人	8.4%	1,247人	9.9%	1,818人	13.4%
子宮頸がん検診	1,833人	59.9%	1,698人	57.6%	1,795人	53.3%
HPV検査数	514人	—	314人	—	393人	—
乳がん検診(2年に1回)	793人	39.5%	1,004人	39.3%	933人	40.2%
前立腺がん検診	119人	—	264人	—	329人	—
30歳代健康診査	114人	—	114人	—	133人	—
健康増進健診	30人	—	71人	—	77人	—
肝炎ウイルス検診	21人	—	64人	—	92人	—
骨粗しょう症検診	86人	—	81人	—	65人	—

※受診率は公的な報告がある40～69歳（子宮頸がんは20～69歳）を対象とした率を掲載。

※胃がん・子宮頸がん・乳がん検診は、2年に1回の受診として、受診率は以下の算定式により算定。

（前年度受診者数＋当該年度受診者数－2年連続受診者数）/佐賀県推計対象者数×100

※受診者数は年齢に関わりなく全数を掲載。

款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	01	清掃総務費
事務事業名	05	資源ごみ回収促進事業			6つの まちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		市民交流部 環境政策課			施 策	21		生活環境の保全
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,548		1,323			1,300	23	225	P. 222

【令和4年度における事務事業の概要】

リサイクルの推進及びごみ減量化対策の一環として、資源ごみの集団回収活動（リサイクルサンデー）に取り組んだ地区（団体）に対し、資源ごみの回収量に応じて補助金を交付しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

リサイクルサンデーに取り組んだ地区（団体）に対し、資源ごみの回収量に応じた補助金を交付することにより、リサイクル活動を推進し、ごみの減量化を図ることができました。

○実施団体数 174 団体（うち行政区 164 区）

○資源ごみ回収量 496.3 トン（前年比 △109.1 トン）

○回収量の内訳 (単位：トン)

	紙類 (新聞、雑誌等)	金属類 (スチール缶、アルミ缶)	ビン類 (ビール瓶、一升瓶)	計
R4	438.1	46.0	12.2	496.3
R3	543.6	47.8	14.0	605.4
増減	△ 105.5	△ 1.8	△ 1.8	△ 109.1

○補助金等の単価 (kgあたり)

区 分	紙 類	スチール缶	アルミ缶	ビール瓶	一升瓶
市費補助金	2円	2円	10円	—	—
業者買取額	—	—	30円	5円	10円
計	2円	2円	40円	5円	10円

※計・・・実施地区、団体の収入額単価

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	01	清掃総務費
事務事業名	06	ごみ集積所整備促進事業			6つのまちづくり		05	住みよい環境づくり
担当部課		市民交流部 環境政策課			施策		21	生活環境の保全
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
320		320				320	0	P. 222

【令和4年度における事務事業の概要】

家庭から排出されたごみの散乱や小動物による被害を防ぎ、ごみ集積所を衛生的に管理するため、地区が行うごみ集積所の設置や整備に対し、事業費の3分の1（上限20千円）を補助金として交付しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

地区が行うごみ集積所の設置や整備に要する経費を補助し、ごみ集積所の衛生管理を良好に保つことができました。

○補助対象数 15 地区 17 基 （新設 8基・増設 8基、改修 1基、前年比+1基）



ごみ集積所

款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費
事務事業名	01	一般廃棄物収集運搬事業			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 環境政策課			施策		21	生活環境の保全	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 222	
192,472	192,116			97,767	94,349	356		

【令和4年度における事務事業の概要】

ごみの資源化と適正な分別収集を推進するため、ごみの態様に応じた市指定のごみ袋等を作製し、市内の小売店で販売しました。

また、市内に約1,470か所あるごみ集積所に排出される一般廃棄物を収集運搬業者2社に委託し、衛生的かつ適正に収集運搬するとともに、一般廃棄物処理施設であるさが西部クリーンセンター及び環境センターで処理しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

市指定のごみ袋等を作製するとともに、ごみ集積所に排出されるごみを収集運搬業者2社に委託して、9,192.5トンのごみを衛生的かつ適正に収集運搬処理することができました。

○指定ごみ袋等の作製

- ・ 枚数 2,537,800 枚
- ・ 作製費 24,581,601 円

ごみ袋：2,535,000枚
ステッカー：2,800枚

○指定ごみ袋等の販売

- ・ 枚数 2,418,400 枚
- ・ 塵芥処理手数料 97,314,000 円 (歳入：指定ごみ袋の販売料)
- ・ 塵芥処理手数料徴収業務委託料 14,752,239 円 (歳出：指定ごみ袋の販売手数料)

○一般廃棄物の収集運搬委託料

- ・ (有)水興社 79,055,900 円
- ・ (有)河原産業 73,535,000 円 計 152,590,900 円

○一般廃棄物の収集運搬実績

(単位：トン)

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	ペットボトル等	計
	青袋	黄袋・赤袋	ステッカー	緑袋・橙袋	
R4	8,502.4	562.6	1.0	126.5	9,192.5
R3	8,790.0	580.1	1.5	114.5	9,486.1
増減	△ 287.6	△ 17.5	△ 0.5	12.0	△ 293.6

※不燃ごみ(赤袋)及びペットボトル等(緑・橙袋)は環境センターリサイクル施設で処理した後の排出量を計上しています。

款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費
事務事業名	02	環境センター管理運営事業			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 環境政策課			施 策		21	生活環境の保全	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
49,348	48,749			40,089	8,660	599	P. 222	

【令和4年度における事務事業の概要】

市内から排出されたごみ（一般廃棄物）のうち、ビン類やペットボトル、発泡スチロール製トレイ等の資源ごみをリサイクルするための前処理を行い、ごみの再資源化に取り組みました。

また、最終処分場の適正管理を行うとともに、環境センター周辺の各種環境調査を実施しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

家庭から出たビン類やペットボトル等の資源ごみについては、環境センター内のリサイクルセンターに集約し、品目ごとにリサイクルの前処理を行い、リサイクル業者へ搬出することでごみの再資源化を図ることができました。

○主な支出内容

- ・光熱水費 1,794 千円
- ・修繕料 1,781 千円
- ・手数料 12,263 千円 （県シルバー人材センター派遣手数料等）
- ・環境センター施設運転管理業務委託料外5件
28,579 千円 （重環オペレーション(株) 他）
- ・発泡スチロールトレイ再商品化業務委託料外5件
1,736 千円 （(有)佐賀資源開発 他）
- ・工事請負費 276 千円 （エアコン移設、最終処分場ガス抜き管改修）

○再資源化（リサイクル）の状況

（単位：トン）

品 名	処理量		
	R4	R3	増減
ビン類	216.6	205.9	10.7
ペットボトル	125.6	113.3	12.3
発泡スチロール製トレイ	0.9	1.2	△ 0.3
乾電池	9.4	11.6	△ 2.2
蛍光灯	3.2	2.9	0.3
合 計	355.7	334.9	20.8

※財源内訳の「その他」のうち30,300千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費
事務事業名	03	佐賀県西部広域環境組合運営負担金			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		市民交流部 環境政策課			施 策	21		生活環境の保全
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
785,976		785,976				785,976	0	P. 224

【令和4年度における事務事業の概要】

市内から排出されたごみ（一般廃棄物）を衛生的かつ適正に処理するため、さが西部クリーンセンターを運営する佐賀県西部広域環境組合に対し、その経費に係る負担金を支出しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

さが西部クリーンセンターを運営する佐賀県西部広域環境組合に対し、その運営経費に係る負担金を支出し、市内から排出されたごみ（一般廃棄物）を衛生的かつ適正に処理することができました。

○負担金明細

(単位：千円)

管理運営負担金	施設整備負担金	長期債元利償還金交付税措置額負担金※	合 計
298,167	144,793	343,016	785,976

※4市5町全体の交付税措置分を伊万里市で受入れています。

○構成市町のごみ処理量及び負担金額・割合

市町名	ごみ処理量 (トン)	負 担 金		
		金 額 (千円) ()は交付税除く額	割合 (%)	交付税除く 割合 (%)
伊 万 里 市	14,037.18	785,976 (442,960)	34.43	22.84
武 雄 市	12,461.18	467,869	20.50	24.12
鹿 島 市	6,997.86	219,204	9.61	11.30
嬉 野 市	6,435.12	226,267	9.91	11.67
有 田 町	4,923.87	177,888	7.79	9.17
大 町 町	1,626.23	62,035	2.72	3.20
江 北 町	2,377.96	86,591	3.79	4.46
白 石 町	5,152.10	186,335	8.16	9.61
太 良 町	1,714.87	70,495	3.09	3.63
合 計	55,726.37	2,282,660 (1,939,644)	100.00	100.00

※表中のごみ処理量はさが西部クリーンセンターでの処理量で、災害ごみは除きます。

款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費
事務事業名	05	環境センター適正管理事業			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 環境政策課			施策	21	生活環境の保全		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 224	
54,960	31,304		28,100		3,204	23,656		

【令和4年度における事務事業の概要】

平成28年に廃止した環境センター焼却棟及び関係施設を令和4年度から令和5年度までの継続事業として解体工事を行います。

【令和4年度における事務事業の成果】

令和4年度は、解体工事に伴い電気設備、水道設備の切替工事を行いました。

○継続費の内訳

(単位：千円)

年度	事業費			財源内訳	
	委託料	工事請負費	計	地方債	一般財源
令和4年度	6,460	48,500	54,960	49,400	5,560
令和5年度	15,071	436,500	451,571	406,400	45,171
計	21,531	485,000	506,531	455,800	50,731

○通次繰越額

(単位：円)

令和4年度 予算額	執行額	残額	翌年度 通次繰越額	繰越財源内訳	
				地方債	一般財源
54,960,000	31,303,800	23,656,200	23,656,200	21,300,000	2,356,200

○解体施設

- ①焼却棟
- ②灰固化棟
- ③オイルタンク
- ④煙突
- ⑤活性炭サイロ棟
- ⑥循環水浄化装置
- ⑦粗大ごみ焼却炉



※不用額は、令和5年度への継続費通次繰越23,656千円を含みます。

款	05	労働費	項	01	労働諸費	目	01	労働諸費
事務事業名	03	伊万里の“いい職”説明会 開催事業			6つの まちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		総合政策部 企業誘致・商工振興課			施策	14		商工業の振興
予算現額 (千円)	326	決算額 (千円)	178	財 源 内 訳			不用額 (千円)	148
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
								P. 226

【令和4年度における事務事業の概要】

伊万里市への就職を希望する大学等卒業予定者やUIJターン希望者等と地元企業とのマッチングを行うために、一時帰省が見込まれるお盆の時期、8月13日に合同企業相談会（企業面談会）を開催しました。

また、卒業後に就職を希望する高校2年生及び大学生等に対し、就職先の選択肢として市内企業を知ってもらうために、3月22日に合同企業説明会（企業説明会）を開催しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

就職希望者と市内企業とのマッチングの機会を設けることができました。

説明会から雇用まで至った人数 4名

伊万里の“いい職”相談会（企業面談会）

日時	対象者	参加企業数	参加者数
8月13日（土）	大学生、UIJターン希望者等	19社	31名

伊万里の“いい職”説明会（企業説明会）

日時	対象者	参加予定企業数	参加者数
3月22日（火）	高校生向け	20 社	95 名
	大学生等向け	19 社	14 名



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	01	農業委員会費
事務事業名	01	農業委員会事務局運営事業			6つのまちづくり		03	活気あふれる産業づくり
担当部課		農業委員会事務局			施策		13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
42,785	42,301	6,473			3,357	32,471	484	P. 226

【令和4年度における事務事業の概要】

農業委員、農地利用最適化推進委員を配置し、農地法に基づく農地の権利移動の許可等の審議や、農用地利用計画の審査など、優良農地の確保と農地の効率的利用の促進を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

農業委員（14名）、農地利用最適化推進委員（20名）を配置し、地域ごとに情報共有を行い、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消等の活動を推進することができました。

また、毎月1回の農業委員会会議において、農地法、農業経営基盤強化促進法等に基づき農地の権利移動等の各種申請について審議を行い、適正な農地の権利移動を行うことができました。

その他、農業委員会だよりを発行し（全戸配布）、無許可による農地転用の禁止や農地管理についての啓発を行うことができました。

○農地法等に基づく許認可申請の状況

申請の種類	件数	筆数	面積
農地法 3 条	59	109	9.3ha
農地法 4 条	24	41	2.3ha
農地法 5 条	65	163	7.4ha
基盤強化法による利用権設定	129	322	44.8ha

※決算額は、総務課人件費等30,217千円を含みます。

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	01	農業委員会費
事務事業名	04	遊休農地調査事業			6つの まちづくり		03	活気あふれる産業づくり
担当部課		農業委員会事務局			施 策		13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
531	447	447				0	84	P. 228

【令和4年度における事務事業の概要】

農地法に基づき、農地の有効利用や遊休農地解消のため、市内全域の農地を対象に利用状況調査を実施しました。

調査結果を基に農地台帳の整理を行うとともに、遊休農地の所有者に対して利用意向調査を実施しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

利用状況調査及び利用意向調査を行い、遊休農地の解消及び農地の貸借の推進を図ることができました。

○遊休農地面積（令和4年度）

	面 積
当 初	36.2ha
新規発生	6.2ha
非 農 地	12.5ha
解 消	16.5ha
年 度 末	13.4ha

（うち利用意向調査 13.0ha/147筆）

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	01	農業委員会費
事務事業名	05	農地中間管理事業推進事務			6つの まちづくり		03	活気あふれる産業づくり
担当部課		農業委員会事務局			施 策		13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
357		341			341	0	16	P. 228

【令和4年度における事務事業の概要】

農業経営の規模拡大や所得向上のため、経営農地の拡大を希望する農家に対して農地中間管理機構（佐賀県農業公社）が行う農地中間管理事業を活用した農地の貸借を推進しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

農地中間管理事業推進員を1名配置し、農地中間管理事業による貸借を推進することができました。

また、農業委員会だより（全戸配布）や、農業委員会窓口及び伊万里市農業協同組合各支所に中間管理事業による貸借の情報を掲示し、農地に関する貸借情報等を配信することで、制度の周知を図ることができました。

○農地中間管理事業による貸借実績（令和4年度）

貸付申出者数	10名
貸付希望面積	7.3ha
貸借成立面積	2.3ha

※貸借成立面積累計（H26～R4） 134.0ha

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事務事業名	03	中山間地域農業集落活動支援事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農業振興課			施策	13		農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
161,435	161,049	120,756			150	40,143	386	P. 230

【令和4年度における事務事業の概要】

中山間地域における農業生産条件の不利を補うとともに、耕作放棄地の発生防止や農地の多面的な機能（水源かん養・洪水防止等）の維持向上を図るため、集落単位で協定を締結し、面積に応じて、協定集落に交付金を交付しました。令和4年度は第5期対策の3年目になります。

○中山間地域等直接支払交付金

- ・交付単価（通常）10aあたり

田	急傾斜（1/20以上）	21,000円	緩傾斜（1/100～1/20未満）	8,000円
畑	急傾斜（15度以上）	11,500円	緩傾斜（8～15度未満）	3,500円
- ※「集落戦略の作成」を行わない集落は、上記交付単価が8割になります。

- ・負担割合 直接支払交付金 県3/4（国1/2、県1/4）、市1/4
推進事業費（事務費） 県10/10（国10/10）

【令和4年度における事務事業の成果】

協定集落に交付金を交付し、中山間地域における農業生産活動の維持を図るとともに、集落における共同活動を推進することができました。

○中山間地域等直接支払交付金 160,107千円（うち県費120,080千円）

- ・協定集落 61集落（通常単価 54集落 8割単価 7集落）
- ・対象農地 田 835.5ha 畑 7.0ha 合計 842.5ha
- ・加算措置

棚田地域振興活動加算	2集落
超急傾斜農地保全管理加算	1集落
集落協定広域化加算	1集落
生産性向上加算	3集落
- 推進事業費 830千円（県費676千円・市費154千円）※市費の支出は国の予算配分による
- 返還金 112千円（令和2・3年度分）

□中山間地域等直接支払交付金の推移

年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
期	第4期対策	第4期対策	第5期対策	第5期対策	第5期対策
協定集落	66	66	61	61	61
協定農地(ha)	911	913	843	843	842
交付金額(千円)	159,308	159,718	159,410	159,457	160,107

※協定農地（ha）は、1ha未満を四捨五入しています。
 ※交付金額（千円）は、千円未満を四捨五入しています。
 ※第5期対策から4集落が取り組みを断念（役員のなり手不足等）、2集落が統合し1集落になったため、第5期対策の協定集落は61集落になりました。

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事務事業名	05	新規就農者支援事業				6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農業振興課				施 策	13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
13,792	13,405	10,705		1,500	1,200	387	P. 232	

【令和4年度における事務事業の概要】

新規就農者の就農時における初期負担の軽減等を行い、就農意欲の喚起や就農後の定着を図りました。

- 農業次世代人材投資資金（経営開始型）※新規採択は令和3年度で終了
 - ・令和2年度までの採択者
交付金額 1,500千円/年（最長5年間）
 - ・令和3年度の採択者
交付金額 1,500千円/年（経営開始1年目～3年目）
1,200千円/年（経営開始4年目～5年目）
 - ・負担割合 農業次世代人材投資資金及び推進事業費（事務費） 県10/10（国10/10）
- 経営開始資金（令和4年度新規事業）
 - ・交付金額 1,500千円/年（最長3年間）※夫婦の場合は1.5倍
 - ・負担割合 経営開始資金及び推進事業費（事務費） 県10/10（国10/10）
- 経営発展支援事業費補助金（令和4年度新規事業）
 - ・補助対象事業費上限 5,000千円 ※経営開始資金の交付を受けない者は10,000千円
 - ・負担割合 経営発展支援事業費補助金 県3/4（国2/4） 本人1/4
- 親元就農等給付金
 - ・給付金額 300千円/年（最長3年間）
 - ※新規採択は令和2年度で終了
 - ・負担割合 市10/10

【令和4年度における事務事業の成果】

新規就農者に対し資金の交付等の支援を行い、就農意欲の喚起及び就農後の定着を図ることができました。

- 農業次世代人材投資資金（経営開始型）6,000千円
 - ・対象者 5名 平成29年度採択1名（半期分）、平成30年度採択1名、令和元年度採択1名（半期分）、令和2年度採択1名、令和3年度採択1名
 - ・推進事業費 133千円
- 経営開始資金 3,375千円
 - ・対象者 5名（うち夫婦1組） 750千円（半期分）×3名、1,125千円（半期分）×1組
 - ・推進事業費 105千円
- 経営発展支援事業費補助金 1,092千円
 - ・対象者 3名（うち夫婦1組）
- 親元就農等給付金 2,700千円（うち基金繰入金1,500千円）
 - ・対象者 9名

※財源内訳の「その他」は、まちづくり基金繰入金

□新規就農者数、資金及び給付金の交付等件数の推移

年 度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
新規就農者数	16	12	19	13	19
農業次世代人材投資資金交付件数	7	3	5	5	5
親元就農等給付件数	8	9	15	10	9
経営開始資金交付件数					4
経営発展支援事業交付件数					2

※新規就農者数は、法人に就農した者を含みます。

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事務事業名	07	有害鳥獣対策事業				6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課	建設農林水産部 農業振興課				施 策	13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
15,148	13,447				13,447	1,701	P. 232	

【令和4年度における事務事業の概要】

イノシシなどの有害鳥獣による農作物被害を軽減し農業経営の安定を図るため、駆除や被害防止対策を行う「伊万里有田地区有害鳥獣対策協議会」や市猟友会に委嘱する「伊万里市有害鳥獣捕獲隊」の活動を支援しました。

また、新規に狩猟免許を取得し、有害鳥獣駆除に従事した者に対して免許取得に係る経費の一部を助成しました。

○捕獲報償金 イノシシ(幼・成獣) 2,500円 アライグマ 1,000円

【令和4年度における事務事業の成果】

有害鳥獣の駆除や被害防止対策に要する経費の補助を行い、農作物被害を軽減し農業経営の安定を図ることができました。

○補助金支出実績

- ・イノシシ捕獲 3,655頭 (補助金 9,138千円) ※R4.2月～R5.1月
- ・アライグマ捕獲 491頭 (補助金 491千円) ”
- ・捕獲わな導入 40基 (補助金 1,232千円)
- ・わな狩猟免許取得 3人 (補助金 150千円)
- ・伊万里市有害鳥獣捕獲隊活動費助成 1,000千円
- ・駆除委託経費 1,426千円

○伊万里有田地区有害鳥獣対策協議会負担金 10千円

有害鳥獣捕獲頭数の推移

年度	イノシシ (頭)	アライグマ (頭)	アナグマ (頭)	タヌキ (頭)	カラスなど (羽)
H30	3,244	178	67	44	330
R元	3,219	295	78	31	155
R2	4,757	533	139	81	1,073
R3	3,812	511	113	108	820
R4	3,724	491	149	124	999

※駆除期間は5月～2月 (R2より5月～3月)

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事務事業名	08	人・農地プラン推進事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農業振興課			施 策		13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
592	134	85			49	458	P. 234	

【令和4年度における事務事業の概要】

地域内の人と農地の問題について、一体的に解決するための「人・農地プラン」を平成25年3月に当時のJA支所単位の11地区で策定しました。しかし、全国的にプランが有効に機能していなかったため、地域の将来について十分な話し合いができる単位で、「地域農業の担い手確保等の将来の方針」の策定（人・農地プランの実質化）が国により求められたことから、令和元年度に将来の営農意向に関するアンケート調査と農地利用の現状についての地図の作成を行いました。令和2年度と令和3年度は、地図の作成のほか、アンケート調査の結果と作成した地図を利用して、集落での話し合いとプラン作成（公表）を行い、令和4年度においても、引き続き集落での話し合いとプラン作成（公表）を行いました。

○人・農地プラン推進事業

- ・負担割合 推進事業費（事務費） 県10/10（国10/10）

【令和4年度における事務事業の成果】

令和3年度までに145集落の全てでプランの作成（公表）を行う計画でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、集落で話し合う機会が十分に得られなかったため、進捗が遅れています。しかし、このプランの作成が各種補助事業の採択要件とされているため、令和4年度においても、農業者に不利益が生じないように補助事業等を活用する可能性が高い認定農業者等が営農している集落を中心に、優先順位を決め推進を図りました。

○人・農地プラン推進事業 134千円

- ・集落との話し合い 19集落（延べ53回）
- ・プランの作成（公表） 16集落

※令和5年4月に農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律の施行により、人・農地プランが法定化され「人・農地プラン」が「地域計画」となり、令和7年3月末までに「地域計画」を策定することになりました。

※一般財源49千円については補助対象外経費

□人・農地プラン実質化の取組

①アンケート調査（R元年度実施）

- ・各集落における人や農地の現況、将来の農地利用の意向調査（実績：145集落）

②地図化による現況把握（R元～2年度実施）

- ・アンケートの回答をもとに、年齢階層や後継者のいない農地等を地図上に示した地図の作成（R元～2年度実績 145集落）

③集落での話し合い（R2～4年度）

- ・アンケート調査の回答や地図を活用し、将来の農地を誰が担っていくのか等の話し合い（R2実績 37集落（延べ46回）、R3実績 39集落（延べ64回）、R4実績 19集落（延べ53回））

④検討会の実施、プランの公表（R2～4年度）

- ・農業者の代表者等で構成する検討会を経て、計画を公表（R2実績 3集落、R3実績 31集落、R4実績 16集落）

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事務事業名	10	水稻営農燃料等高騰対策支援事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農業振興課			施策	13		農林水産業の振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
29,809	29,795	29,020		700	75	14	P. 234	

【令和4年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、原油価格や物価の高騰及び新型コロナウイルス感染拡大による米価格の下落など、農業経営に影響を受けている水稻農家の経営回復を図るため、燃料等の購入にかかる経費の支援を行いました。

- 水稻営農燃料等高騰対策支援金
 - ・令和4年度主食用米の作付面積に対し、10a当たり3,000円（上限額10万円）
- 交付要件
 - ・令和4年度の営農計画書を伊万里市農業再生協議会に提出していること。
 - ・令和4年産主食用米を11a以上作付けしていること。
 - ・水稻営農燃料等高騰対策支援金の交付を受けた後においても農業経営を継続する意思があること

【令和4年度における事務事業の成果】

原油価格や物価の高騰及び新型コロナウイルス感染拡大による米価格の下落など、農業経営に影響を受けていた水稻農家の生産意欲を維持することができました。

- 水稻営農燃料等高騰対策支援金（29,795千円）
 - ・交付農家：1,460戸

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	04	園芸振興費
事務事業名	02	伊万里梨産地強化支援事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農業振興課			施 策		13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 234	
12,995	2,271	1,481		700	90	10,724		

【令和4年度における事務事業の概要】

伊万里梨は、生産者の高齢化・後継者不足による栽培面積の減少、老木化による生産量の減少等の問題を抱えていることから、梨園を守るための取組や就農希望者の研修期間中の生活費等の支援、老木化による生産量減少の改善を図るための改植支援など、梨産地の強化・維持を図るためのさまざまな支援を行いました。

- 就農フェア
 - ・就農相談会（福岡市）ブース出展料等
- 伊万里市梨園を守る会支援事業費補助金
 - ・新規設立支援（200千円/1団体）、研修生受入団体（150千円/1団体）
- 伊万里市梨栽培研修給付金
 - ・単身：100万円/年、夫婦：150万円/年
- 伊万里市梨園地若返り推進事業費補助金
 - ・借受補助（3千円/1a）
- 伊万里市果樹園地改植支援事業費補助金（10/10県費）
 - ・改植等の促進費（170千円/10a）
- 樹園地整備継承促進事業費補助金（R4～）（10/10県費）
 - ・園地集積支援 常緑果樹（5千円/1a）、落葉果樹（10千円/1a）

【令和4年度における事務事業の成果】

梨産地の維持・強化のために意欲的に改植等に取り組む梨生産者、団体等を支援し、伊万里梨の産地維持を図ることができました。

- 就農フェア（119千円）
 - ・マイナビ農林水産FEST福岡会場出展料等
- 伊万里市梨園を守る会支援事業費補助金（88千円）
 - ・梨園を守る会への支援 1団体（7か月分：4月～10月）
- 伊万里市梨栽培研修給付金（583千円）
 - ・対象者 1名（7か月分：4月～10月）
- 果樹園地改植支援事業費補助金（1,241千円）
 - ・9農家 約76.6a
- 樹園地整備継承促進事業費補助金（240千円）
 - ・対象者 1名 落葉果樹 24a



※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	04	園芸振興費
事務事業名	03	園芸農業機械・施設等整備支援事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農業振興課			施策	13		農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
110,688	103,777	86,474			17,300	3	6,911	P. 234

【令和4年度における事務事業の概要】

収益性の高い園芸農業を確立するため、収量・品質の向上や経営規模の拡大、経営コスト削減などの取組に必要な機械・施設等の整備に対して支援しました。

- さが園芸生産888億円推進事業費補助金（県単事業）
補助率 県1/2（1/3）、市1/10

【令和4年度における事務事業の成果】

農業所得の向上に向けた経営規模の拡大や先進的技術の導入などに取り組む農家を支援し、農業経営の強化を図ることができました。

- さが園芸生産888億円推進事業費補助金（総事業費174,141千円 補助金103,777千円）
 - ・事業実施主体 3団体、10個人
 - ・事業内容 パイプハウス、高設栽培施設等
 - ・対象品目 きゅうり、いちご、アスパラガス、梨、キウイフルーツ

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金。

○事業実績

年度	取組主体数	総事業費（千円）	補助金（千円）
R元	11 (10)	307,932 (99,152)	147,075 (52,175)
R2	9	105,577	58,554
R3	13	111,709	64,337
R4	13	174,141	103,777

※R元年度は産地パワーアップ事業費補助金分を含む

（ ）内がさが園芸生産888億円推進事業費補助金分の数字



さが園芸888運動

チャレンジ!活気あふれるさが園芸へ

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	04	園芸振興費
事務事業名	04	施設園芸等燃料高騰対策支援事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農業振興課			施策		13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
8,231	7,530	7,500			30	701	P. 236	

【令和4年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、原油価格・物価高騰の影響により、A重油等の価格が高騰し、農業経営に影響を受けている施設園芸等農家の経営回復を図るため、燃料費の購入にかかる経費の支援を行いました。（園芸：令和3年10月から令和4年3月分、茶：令和4年4月から10月分）

- 施設園芸等燃料高騰対策支援金
 - 国のセーフティネット支援単価×購入量×1/4（A重油・灯油）
 - 県の園芸生産燃料費支援事業の支援単価×購入量×1/2（LPガス）
- 交付要件
 - ・市内に居住する個人又は市内に事業所を置く法人であって農業を営むもの
 - ・市内の園芸施設等で農産物を栽培し、施設内の農業用機械等でA重油、灯油又はLPガスを使用していること
 - ・施設園芸等燃料高騰対策支援金を交付後において、園芸施設等で農産物の栽培を継続する意思を有していること

【令和4年度における事務事業の成果】

原油価格・物価高騰の影響により、A重油等の価格が高騰し、農業経営に影響を受けている施設園芸等農家の生産意欲を維持することができました。

- 園芸農家 144件 7,402,692円
- 茶農家 4件 127,713円
- 合計 7,530,405円

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	04	園芸振興費
事務事業名	05	第2次施設園芸等燃料高騰対策支援事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農業振興課			施策		13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
8,302	3,419	3,400			19	4,883	P. 236	

【令和4年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、原油価格・物価高騰の影響により、A重油等の価格が高騰し、農業経営に影響を受けている施設園芸等農家の事業継続を図るため、燃料費の購入にかかる経費の支援を行いました。

(園芸：令和4年10月から令和5年1月分)

- 施設園芸等燃料高騰対策支援金
 - 国のセーフティネット支援単価×購入量×1/4 (A重油・灯油)
 - 県の園芸生産燃料費支援事業の支援単価×購入量×1/2 (LPガス)
- 交付要件
 - ・市内に居住する個人又は市内に事業所を置く法人であって農業を営むもの
 - ・市内の園芸施設等で農産物を栽培し、施設内の農業用機械等でA重油、灯油又はLPガスを使用していること
 - ・施設園芸等燃料高騰対策支援金を交付後において、園芸施設等で農産物の栽培を継続する意思を有していること

【令和4年度における事務事業の成果】

原油価格・物価高騰の影響により、A重油等の価格が高騰し、農業経営に影響を受けている施設園芸等農家の生産意欲を維持することができました。

- 園芸農家 76件 3,418,858円

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	04	園芸振興費
事務事業名	06	園芸農業機械・施設等整備 支援事業（繰越）			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農業振興課			施 策		13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
436,428	423,315	408,652		14,600	63	13,113	P. 236	

【令和4年度における事務事業の概要】

きゅうりの供給体制の強化や安定した生産の確保といった課題に対応するため、国庫事業の「産地生産基盤パワーアップ事業」を活用し、伊万里市農業協同組合が計画している低コスト耐候性ハウスの整備に対して、支援しました。

- 産地生産基盤パワーアップ事業費補助金（国庫事業）
補助率 国1/2、県1/5、市1/20

【令和4年度における事務事業の成果】

きゅうりの供給体制の強化や安定した生産の確保といった課題に対応する農家を支援し、農業経営の強化を図ることができました。

- 産地生産基盤パワーアップ事業費補助金（総事業費770,000千円 補助金423,315千円）

- ・事業実施主体 9個人（うち1名有田町）
- ・事業内容 低コスト耐候性ハウス
- ・対象品目 きゅうり

○事業実績

年度	取組主体数	総事業費（千円）	補助金（千円）
R4	1	770,000	423,315

※財源内訳の「その他」のうち11,600千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	05	畜産業費
事務事業名	03	伊万里牛産地強化支援事業			6つの まちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農業振興課			施 策	13		農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
28,950	14,194				14,100	94	14,756	P. 236

【令和4年度における事務事業の概要】

肉用牛の農家や飼養頭数が減少し、ブランド牛としての産地維持が危惧される中で、産地強化・維持を図るため、肥育農家の経営規模拡大や、生産基盤の向上に要する経費等を補助しました。

- ・肉用牛サポートセンター利用料(補助率1/3以内、最長2年、上限3頭/戸)
- ・空き牛舎の賃借料(補助率1年目:10/10以内、2年目:3/4以内、3年目:1/2以内、上限480千円/年)
- ・空き牛舎の改修費(補助率1/3以内、上限1,000千円/年)
- ・肥育素牛の導入促進費(補助率50千円/頭、上限80頭/戸)
- ・肥育素牛の預託費(補助率1/2以内、上限1,500千円/年)
- ・IoT機器等の導入費(補助率購入:1/3以内、リース:1/2以内、上限1,000千円/年)
- ・作業従事者の雇用費(補助率1/2、上限1回/戸 158千円)
- ・牛舎施設等改修費(補助率1/3以内、上限1,000千円)
- ・伊万里産素牛導入費(補助率100千円/頭、上限10頭/戸)

【令和4年度における事務事業の成果】

飼料費の高止まりにより、経営がひっ迫した肥育農家が多いなか、牛舎施設等の改修や伊万里産素牛の導入等に取り組む肥育農家を支援し、生産基盤の向上に貢献することができました。

○伊万里牛産地強化支援事業費補助金

・肉用牛サポートセンター利用料	3頭	207千円
・空き牛舎の賃借料	3件	515千円
・空き牛舎の改修費	0件	0千円
・肥育素牛の導入促進費	71頭	3,550千円
・肥育素牛の預託費	1頭	1,240千円
・IoT機器等の導入費	2件	138千円
・作業従事者の雇用費	2件	316千円
・牛舎施設等改修費	5件	3,228千円
・伊万里産素牛導入費	50頭	5,000千円
	計	14,194千円



※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	05	畜産業費
事務事業名	06	肉用牛肥育農家配合飼料高騰対策支援事業			6つのまちづくり		03	活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農業振興課			施 策		13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
58,170	58,170	57,899		200	71	0	P. 236	

【令和4年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、配合飼料価格の急激な上昇に伴い、コロナ禍における経営悪化からの脱却途上にある肉用牛肥育農家の生産体制の維持を図るため、緊急に飼料代にかかる経費の支援を行いました。

- 肉用牛肥育農家配合飼料高騰対策支援事業
 - ・令和4年2月1日飼養頭数1頭あたり7,500円

【令和4年度における事務事業の成果】

飼料代の急激な高騰により、経営が悪化している肉用牛肥育農家に対して支援を行い、肥育農家の生産体制の維持に貢献することができました。

- 肉用牛肥育農家配合飼料高騰対策支援事業
 - ・対象農家数：38戸
 - ・補助頭数：7,756頭
 - ・交付額：58,170千円

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	05	畜産業費
事務事業名	07	畜産物生産費高騰対策支援事業			6つのまちづくり		03	活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農業振興課			施策		13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
32,557		32,557	32,000		500	57	0	P. 238

【令和4年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、配合飼料価格や電力・ガス等の高騰の影響を受けている畜産農家に対し、経済的負担の軽減を図るため、畜産物の生産にかかる経費の支援を行いました。

- 畜産物生産費高騰対策支援事業
 - ・飼養頭羽数×単価＋飼養規模単価

【令和4年度における事務事業の成果】

配合飼料価格高騰の長期化や電力・ガス等の価格高騰に伴い、畜産物の生産にかかるコストが増大し窮地に陥っている畜産農家に対し、生産費上昇分の一部支援を行い、経済的負担を軽減することができました。

- 畜産物生産費高騰対策支援事業
 - ・対象農家数：77戸
 - ・補助頭数
 - ：肥育牛 7,756頭
 - ：繁殖雌牛 518頭
 - ：育成牛 257頭
 - ：採卵鶏 57,994羽
 - ：肉養鶏 582,024羽
 - ・交付額：32,557千円

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費
事務事業名	03	農地・水保全管理支援事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施策	13	農林水産業の振興		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 240	
143,511	143,511	107,347		641	35,523	0		

【令和4年度における事務事業の概要】

農地農村が有する多面的機能を維持していくために、農業者をはじめとした住民等の組織が行う農地や農業用施設の適正な維持管理活動に対し協定農地面積に応じた補助金を交付することで平成19年度から5ヵ年事業として創設され、令和元年度で3期目に入っている。

【令和4年度における事務事業の成果】

令和4年度は、77組織に活動費として補助金142,091千円を支出するとともに、活動組織からの相談に対する援助や適正な活動推進のための検査確認などを行うことにより農地、農業用施設の維持管理や長寿命化及び農村環境の良好な保全を図ることができました。

活動内容	組織数	協定面積 (ha)	
		田	畑
農地維持活動	77	1,576.6	306.7
資源向上活動（共同活動）	77	1,576.6	306.7
資源向上活動（長寿命化）	63	1,332.5	280.3

区分	内容	事業費 (円)
多面的機能支払補助金		142,090,976
事務費	負担金、旅費、消耗品費、燃料費、通信運搬費、使用料及び賃借料	779,000
計		142,869,976

支出内容	補助率		
	国	県	市
多面的機能支払補助金	50%	25%	25%
事務費	100%	—	—

「資源向上活動（共同活動）状況」



「資源向上活動（長寿命化）状況」



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費
事務事業名	06	農業用排水路施設等整備事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
	16	農業用排水路施設等整備事業(繰越明許)						
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課				施策	13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
117,574	70,662	43,972	12,600	3,885	10,205	46,912	P. 240 244	

【令和4年度における事務事業の概要】

競争力ある農業を実現するため、用排水路等の基盤整備を実施するとともに、ため池の老朽化による被害を未然に防止するため、ため池改修工事や浚渫工事を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

東山代町脇野地区他の用排水路整備等の基盤整備、大川内町岩谷地区の大山口ため池の浚渫工事の実施及び大坪町古賀地区の梅ノ木谷ため池等の改修工事により、自然災害を未然に防止し、農業施設の維持及び農業生産の安定を図りました。

区分	内容	事業費(円)
山田ため池改修工事(繰越)	堤体工 L=46m	9,317,000
新堤第1ため池外廃止工事(繰越)	堤体土工 L=28m、水路工 L=47.2m	7,260,000
基盤整備工事 (伊万里西、西第Ⅱ地区)	区画整理A=0.2ha、暗渠排水A=0.7ha、湧水処理 L=1465m(東山代町脇野、大川町川西他)	40,205,000
長尾地区暗渠排水管布設工事	暗渠排水 A=3.4ha (R4前払金のみ)	1,800,000
ため池浚渫工事	大山口ため池(大川内町岩谷) V=272m ³ 新堤ため池(東山代町浦川内)他2地区(R4前払金のみ)	7,040,000
梅ノ木谷ため池改修工事	堤体工 L=33.7m(R4前払金のみ)	3,700,000
事務費	燃料費、修繕料、複写機使用料等	1,339,500
計		70,661,500

○決算額内訳 (千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳				不用額
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
117,574	70,662	43,972	12,600	3,885	10,205	46,912

R4繰越 16,577 16,577 16,575 0 0 2 0

R4現年 100,997 54,085 27,397 12,600 3,885 10,203 46,912

※不用額は、令和5年度への繰越明許費44,427千円を含みます。

基盤整備工事 着工前



基盤整備工事 完了後



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費
事務事業名	08	ため池整備促進事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
	15	ため池整備促進事業 (繰越明許)						
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課				施策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
229,575	153,187	108,367	1,800	2,140	40,880	76,388	P. 242 244	

【令和4年度における事務事業の概要】

ため池は灌漑用水源として重要な役割を果たしているが、堤体は老朽化により脆弱化し、洗掘されていることから維持管理に努めている。そこで災害の未然防止、危険度を図るためハザードマップ作成を行いました。また、付近住民へため池の周知を図るため、防災看板制作を実施しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

ため池ハザードマップ作成N=7箇所ソフト対策と県営事業ため池改修N=3箇所のハード対策を行い、住民の安全確保を図りました。

区分	内容	事業費 (円)
ハザードマップ作成 (繰越)	N=10箇所	64,575,500
防災看板制作 (繰越)	N=22箇所	7,260,000
計画概要書作成 (繰越)	丹花地区、原地区	21,115,000
劣化及び耐震性等評価	劣化・豪雨評価 N=31箇所、耐震評価N=1箇所	47,300,000
県営事業負担金	市+地元 (鞍谷、田代、越差)	12,936,000
計		153,186,500

○決算額内訳

(千円)

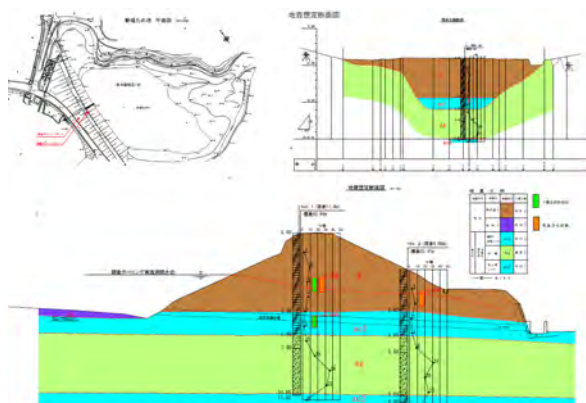
予算現額	決算額	財 源 内 訳				不用額
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
229,575	153,187	108,367	1,800	2,140	40,880	76,388

R4繰越 93,839 92,951 92,951 0 0 0 888

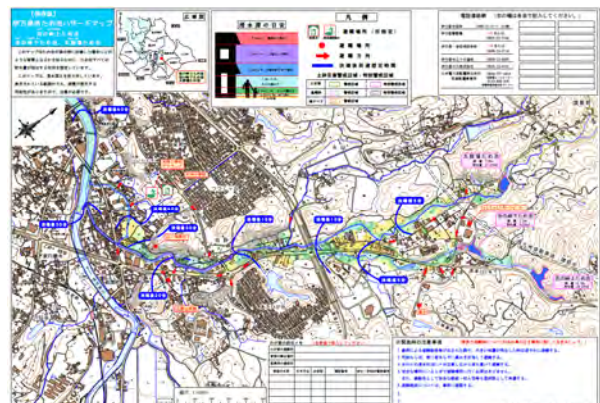
R4現年 135,736 60,236 15,416 1,800 2,140 40,880 75,500

※不用額は、令和5年度への繰越明許費75,500千円を含みます。

「新堤ため池耐震性評価」



「池の峠上ため池ハザードマップ」



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費
事務事業名	10	中山間地域農業基盤・環境整備促進事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課				施策	13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 242	
24,277	24,276		9,500	5,229	9,547	1		

【令和4年度における事務事業の概要】

中山間地域の実情を踏まえ、その地域の特性を活かした農業と活力ある農村づくりに意欲があるエリアを対象に、農業生産基盤及び農村生活環境基盤の整備を行うことで、農業農村の活性化を図りました。

【令和4年度における事務事業の成果】

県営事業（伊万里東部地区中山間地域総合整備事業）に対して負担金24,276千円を納入し、中山間地域の特性を活かした農業の展開と豊かで活力のある農村づくりに貢献することができました。

区分	内容	事業費 (円)	負担金 (円)
農業生産基盤	大黒井堰用水路外11件	105,700,000	15,798,864
生活環境基盤	市道東分1号線、石坂表防火水槽	44,300,000	8,477,244
計		150,000,000	24,276,108

○負担割合

農業生産基盤 国55%、県30%、市10%、地元5%

生活環境基盤 国55%、県25%、市10% (20%)、地元10% (0%)

※生活環境基盤の農道整備のうち、市道と重複している路線は（ ）書きの割合を適用します。

市道東分1号線 着工前



市道東分1号線 完成後



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費
事務事業名	11	経営体育成基盤整備事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施 策	13	農林水産業の振興		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 242	
27,475	27,475		12,300	13,737	1,438	0		

【令和4年度における事務事業の概要】

東山代干拓地区の農地（A=49.9ha）は、湿田が多く麦作や畑作物など裏作の振興が図れない状況であり、また狭小の区画が点在しているため大型機械の導入が困難な状況である。

このことから農業機械は個人利用及び作業委託が行われているため、今回の整備により担い手による農地集積を進め、農業経営の安定化を図ることとしている。

【令和4年度における事務事業の成果】

県営事業（東山代干拓地区経営体育成基盤整備事業）に対して負担金27,475千円を納入し、担い手による農地集積が進み、農業経営の安定化を図ることができました。

区分	内容	事業費（円）	負担金額（円）
農地整備	農地整地、農業用排水路、暗渠排水	157,000,000	27,475,000
計		157,000,000	27,475,000

○負担割合

農地整備（経営体育成基盤整備事業） 国55%、県27.5%、市8.75%、地元8.75%

東山代干拓計画平面図



暗渠配水管整備状況



水路現況



ほ場現況



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費
事務事業名	13	特定鉱害復旧事業		6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり		
	17	特定鉱害復旧事業（繰越明許）						
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施策	13	農林水産業の振興		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P.	
43,278	6,536	0	0	6,536	0	36,742	242	244

【令和4年度における事務事業の概要】

本事業は、東山代町大久保地区において道路陥没が発生し、現地を確認したところ、石炭採掘に起因した浅所陥没であったことから、特定鉱害復旧事業の事業認定を受けました。

営農に必要な道路であり、復旧を早急に行う必要があるため、令和4年度は測量設計を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

石炭採掘が原因となることから、原型復旧による農道の復旧を早急に実施するため、測量設計を実施しました。

区分	内容	事業費(円)
委託費	測量設計費	3,960,000
事務費	印刷製本費、消耗品費等	2,576,130
計		6,536,130

○決算額内訳

(千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳				不用額
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
43,278	6,536	0	0	6,536	0	36,742

R4繰越 3,960 3,960 0 0 3,960 0 0

R4現年 39,318 2,576 0 0 2,576 0 36,742

※不用額は、令和5年度への繰越明許費36,741千円を含みます。

大久保地区農道陥没状況



大久保地区擁壁被災状況



款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
事務事業名	01	林業後継者育成等支援事業			6つの まちづくり		03	活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課			施 策		13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
3,126		2,710	0	0	1,343	1,367	416	P. 246

【令和4年度における事務事業の概要】

伊万里西松浦森林組合に対し、森林整備に関する担い手の確保や育成及び通年雇用を促進するため、森林整備担い手育成事業として技術・技能の向上や安全衛生対策及び福利厚生費等に対し補助を行いました。

また、伊万里・有田町管内において地域林業の担い手たる林業後継者の育成、確保を図る目的で結成された「伊万里有田地区森林・林業協議会」に負担金を支払うことで、林業経営研修会等の開催へと繋げることが出来ました。

【令和4年度における事務事業の成果】

伊万里西松浦森林組合に対し、技術・技能の向上や安全衛生対策及び福利厚生費等に対する補助を行うことで、林業基盤の整備と経営の安定化を図ることが出来ました。

また、伊万里有田地区森林・林業協議会に対し負担金を支払い、協議会が行う林業経営研修会等に参加し、森林・林業に関する新たな知識の習得が出来ました。

項目	支出額 (円)	備考
森林整備担い手育成事業費補助金	2,633,983	内訳 ・基金助成(その他)1,343,473円 ・市(一般財源) 1,290,510円
伊万里有田地区森林・林業協議会 先進地(大分県別府市)視察旅費	4,400	・市(一般財源) 4,400円
伊万里有田地区森林・林業協議会 負担金	72,000	・市(一般財源) 72,000円
合計	2,710,383	

款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
事務事業名	02	森林経営管理事業				6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課				施 策	13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
32,933	14,458				14,458	0	18,475	P. 246

【令和4年度における事務事業の概要】

荒廃した森林の管理を促進するために平成31年4月1日に施行された森林経営管理制度に基づき、令和3年度に作成した経営管理権集積計画を基に間伐を実施しました。
また、他地区の経営管理の意向調査や経営管理権集積計画の作成を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

令和3年度に作成した経営管理集積計画を基に黒川町花房地区の間伐を12.02ha実施し、今後の森林整備につなげることができました。
また、南波多町高瀬・大曲地区、大川原地区、井手野地区の制度対象森林42.85ha、185筆の意向調査結果や林業経営に関する経営管理権集積計画の作成を行いました。

集積計画に基づく間伐実績（黒川町花房）

所有者	面積	筆数
13人	12.02ha	73

集積計画案作成実績（南波多町高瀬・大曲、大川原、井手野）

所有者	面積	筆数
61人	42.85ha	185

▼地元説明会



▼間伐後の森林



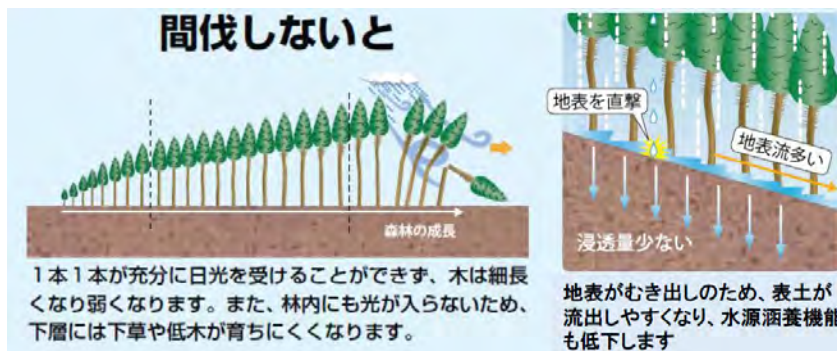
※財源内訳の「その他」は、まちづくり基金繰入金

※不用額は、令和5年度への繰越明許費16,896千円を含みます。

款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
事務事業名	05	森林経営管理事業 (繰越明許)			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施策	13	農林水産業の振興		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 248	
7,760	7,282	0	0	7,282	0	478		

【令和4年度における事務事業の概要】

令和3年度に定めた経営管理権集積計画に基づく経営管理権を設定した市内の森林（私有林）について、間伐を実施しました。



【令和4年度における事務事業の成果】

間伐により、林内に日光が届くようになり、下層植生の繁茂に必要な環境を整えることができ、水源涵養や土砂流出の防止等、森林が持つ公益的機能の維持・回復を図ることができました。

地区名	委託料決算額	間伐面積	間伐筆数	森林所有者数
黒川町傘田	7,282,000円	8.96ha	44筆	9人

●業務着工前（間伐前）



●業務完了後（間伐後）



※財源内訳の「その他」は、まちづくり基金繰入金

款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
事務事業名	07	木材加工流通施設等整備支援事業（繰越明許）			6つのまちづくり		03	活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課			施策		13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 248	
490,770	490,770	490,770	0	0	0	0		

【令和4年度における事務事業の概要】

合板・製材・集成材等の国際的な競争力を高めることに加え、今般の木材不足や価格高騰に対応するため、木材加工施設の効率化及び競争力のある製品への転換が求められていることから、中国木材株式会社に対し、新たなプレカット加工施設装置一式の整備にかかる経費を補助しました。

【プレカット加工施設内訳】

- ・横架材加工機
- ・柱加工機
- ・集じん装置
- ・自動四面鉋盤
- ・羽柄加工機
- ・超大断面加工機

【令和4年度における事務事業の成果】

横架材加工機の導入により、輸入木材製品の代替として需要が求められる横架材や羽柄材の供給増大へと繋がりました。また、超大断面加工機の導入により、大型非住宅や大手ビルダーからのニーズとして求められる金物工法や特殊加工にも対応可能となりました。これらのプレカット加工施設整備により、生産量の向上へ繋げることができ、かつ、省人化への体制整備を整えることができました。

▼超大断面加工機



▼横架材加工機



款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	04	治山事業費
事務事業名	02	農林地崩壊防止事業（林地）（繰越明許）			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課				施策	22	防災体制の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
18,430	18,223	9,887	0	3,770	4,566	207	P. 248	

【令和4年度における事務事業の概要】

令和3年5月20日の梅雨前線豪雨並びに令和3年8月11日～14日の秋雨前線豪雨により崩壊した林地び復旧工事を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

3地区の工事により、崩壊した林地の復旧保全をすることができ、地域住民の安全確保が図れました。

地区名	工事場所	工事決算額	工事延長	主な工法
善道	東山代町川内野	3,941,300円	9.2m	ブロック積工
一本谷	大川内町小石原	4,934,600円	13.5m	抑え盛土工
平野	脇田町脇田	10,917,500円	34.0m	のり切工
計		19,793,400円		

※善道地区の工事決算額は、令和3年度執行額1,570,000円（前払金）を含みます。

●工事着工前（善道）



●工事完了後（善道）



●工事着工前（一本谷）



●工事完了後（一本谷）



●工事着工前（平野）



●工事完了後（平野）



款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	01	水産業振興費	
事務事業名	02	海域環境・生態系保全管理支援事業			6つのまちづくり		03	活気あふれる産業づくり	
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課			施策		13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	731	決算額 (千円)	584	財 源 内 訳				不用額 (千円)	147
				国・県支出金	0	地方債	0	その他	0
						一般財源	584		
									P. 252

【令和4年度における事務事業の概要】

水産多面的機能支払補助金では、漁業者等で構成された活動組織が行う海底清掃及び海面清掃に要する経費の一部を補助しました。

沿岸漁業振興特別対策事業費補助金では、漁業者が行うアオナマコの種苗放流（25,000尾）に要する経費の一部を補助しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

水産多面的機能支払補助金では、経費の一部を補助することで、活動組織が行う水産業・漁村の多面的機能を発揮するための地域活動を支援することができ、環境・生態系の維持回復や安心して活動ができる海域の確保などを図ることができました。

補助金交付先	佐賀県環境・生態系保全対策地域協議会 (協議会が国費、県費、市費をとりまとめ、活動組織へ一括交付)
活動組織	波多津地区海環境を守る会
補助対象経費	3,667,000円
補助率	市15% (国70%、県15%)
補助金額	550,050円

沿岸漁業振興特別対策事業費補助金では、経費の一部を補助することで、定着性の高い魚介類の放流を支援することができ、安定的な漁獲量の確保が図ることができました。

補助金交付先	佐賀玄海漁業協同組合 波多津支所
補助対象経費	137,500円
補助率	1/4以内
補助金額	34,000円

●実施状況（海底清掃）



●実施状況（アオナマコの種苗放流）



款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	01	水産業振興費	
事務事業名	03	漁業燃料高騰対策事業			6つの まちづくり	03		活気あふれる産業づくり	
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課			施 策	13		農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	480	決算額 (千円)	385	財 源 内 訳				不用額 (千円)	95
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
				380			5		
								P. 252	

【令和4年度における事務事業の概要】

原油価格の影響で、燃料の価格が高騰し漁業経営に影響を受けている漁業者に対し、漁業経営を継続していくため、燃費向上効果が期待される漁船の船底清掃作業にかかる経費を補助しました。

【補助内容】

佐賀玄海漁業協同組合波多津支所を通じ、漁業者が行う漁船の船底清掃に係る経費（上架費用、塗装等材料費用）を補助しました。

【補助事業者】

佐賀玄海漁業協同組合波多津支所

【補助率】

10/10（上限額：5トン未満の漁船15,000円、5トン以上の漁船30,000円）

【令和4年度における事務事業の成果】

佐賀玄海漁業協同組合波多津支所の正準組合員(20名)が実施した船底清掃作業経費に対して、補助を行うことで、原油価格高騰の影響緩和が図ることができました。

〔船底清掃に係る実績〕

漁船のトン数	船数	補助金額(円)
5トン未満	14隻	205,060
5トン以上	6隻	180,000
合計	20隻	385,060

○作業前



○作業後



款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	漁港管理費
事務事業名	01	波多津漁港管理事業				6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課				施 策	13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
30,040	7,291	1,446	0	5,507	338	22,749	P. 252	

【令和4年度における事務事業の概要】

漁港利用者等の安全を確保するために波多津漁港内の施設の工事を行いました。
波多津漁港施設の機能保全計画の策定及び海岸保全施設の長寿命化計画の策定のため、
現況調査及び健全度の判定に取り組みました。

【令和4年度における事務事業の成果】

転落防止柵設置工事により漁港利用者の安全確保、係船環更新工事により係留船舶の安全確保を図ることができました。
波多津漁港施設及び海岸保全施設の現況調査及び健全度の判定ができました。

科目	決算額	内容
消耗品費	14,208円	係留使用許可ラベルシール、トイレトペーパー
光熱水費	538,411円	漁港内照明電気料、漁港内トイレ電気料・水道料
修繕料	190,498円	係船棧橋歩廊修繕 外3件
手数料	144,990円	漁港内トイレし尿汲取料
賠償責任保険料	640円	道路賠償責任保険料
委託料	414,900円	漁港管理業務委託料、広場管理業務委託料
工事請負費	5,789,300円	転落防止柵設置工事、係船環更新工事
原材料費	144,290円	補修用資材
負担金	54,000円	佐賀県漁港漁場協会負担金
計	7,291,237円	

●転落防止柵設置



●係船環更新



※不用額は、令和5年度への繰越明許費22,295千円を含みます。

※財源内訳の「その他」のうち、4,300千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
事務事業名	08	工場等設置奨励事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課			施 策		14	商工業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
2,802	2,687			2,600	87	115	P. 258	

【令和4年度における事務事業の概要】

市内に工場等の新設や増設を奨励することにより、産業の振興や新たな雇用の場を確保するため、新たな設備投資を行った事業者に対し、工場等設置奨励金を交付しました。

- ・対象要件：投下固定資産額が2,000万円を超えること
- ・交付期間：3年間

【令和4年度における事務事業の成果】

新たな設備投資が行われた7事業所に対し、工場等設置奨励金2,687千円を交付することにより、企業の安定的な経営を支援するとともに、市内において新たな雇用の場を確保することができました。

○交付期間

- ・1年目分 1件 301千円
- ・2年目分 3件 971千円
- ・3年目分 3件 1,415千円

○製造業の場合

※課税された固定資産税相当額を奨励金として交付

1年目分	不均一課税(90%免除)	10%
2年目分	不均一課税(75%免除)	25%
3年目分	不均一課税(50%免除)	50%

■ 奨励金

- ・七ツ島工業団地（黒川町）



※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
事務事業名	12	産業DX推進事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課		総合政策部 企業誘致・商工振興課			施策	14	商工業の振興	
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
2,342		2,267				2,267	75	P. 258

【令和4年度における事務事業の概要】

昨今のコロナ禍による大きな社会変化に伴い、企業活動においてもICTを活用した業務改善、効率化など、新たな視点を持ったビジネス改革（DX：デジタルトランスフォーメーション）への取組が重要視されていることから、DXを推進するフェアやセミナーを開催し市内企業のDXへの取組を促進しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

1 DXセミナー開催

日 程：令和4年10月12日（水）～令和5年1月11日（水）で全5回開催
場 所：伊万里商工会館
参加者：市内事業所18社延べ80名

各回では、企業が取り組むDXとは何か、中小企業が取り組んできたDX事例の紹介のほか、各種ツールの紹介や課題抽出のワークショップ、業務改善ツールの体験など、DXについて基礎から学べるセミナーを実施し、参加企業のDXへの取組を促進しました。



2 DX推進フェア開催

日 時：令和5年2月16日（木）10:00～16:00
場 所：ロイヤルチェスター伊万里
来場者：101名
出展者：15社

ITツールや商材・サービスに直接触れることができる機会を提供するDX推進フェアを初めて開催し、出展企業と来場者のビジネスマッチングの機会創出と市内企業のDXへの取組を促進しました。



款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
事務事業名	13	まちなか賑わい創出事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課				施 策	14	商工業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
800	773				773	27	P. 260	

【令和4年度における事務事業の概要】

企業委託型地域おこし協力隊制度を活用し、まちなかの賑わい創出を目的として、空き店舗、空き家や遊休地の調査及び物件オーナーへの意向調査を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

令和4年9月1日に、株式会社RURAL（本社：東京都）と企業等委託型地域おこし協力隊運営業務委託契約を締結し、同社が採用した地域おこし協力隊員1名に対し令和5年2月1日付けで委嘱状を交付しました。

地域おこし協力隊員は、中心市街地の空き店舗等の現状調査に着手し、47件の空き店舗等を確認しました。

また、権利者を調査した空き店舗等のうち、4件のオーナーに接触し意向調査を実施しました。

●活動概要

- ・活動地域 市内中心市街地
- ・活動内容 地域協力活動
 - ①遊休物件の調査による活用可能な物件の抽出
 - ②遊休物件の活用策に係る企画立案
 - ③新商品やサービスの開発などの企画立案 など



※地域おこし協力隊への委嘱状交付式の様子

款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
事務事業名	14	第2次経営改善チャレンジ支援事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課				施策	14	商工業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
50,200	48,665	48,000		600	65	1,535	P. 260	

【令和4年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症による産業経済の変化に対応するため、新商品開発や販路開拓、新分野への展開など、経営改善のための新たな取組や、省エネによるコスト削減の取組に挑む中小事業者等を支援しました。

対象者	市内に事業所を有する中小企業（個人事業主含む）	
対象事業	生産性向上に係る取組 ①新商品（新役務）の開発又は提供 ②販路の開拓・売上向上 ③デジタル化による生産性向上 ④事業再構築 ⑤その他、経営改善	省エネによるコスト削減の取組 ①既存設備の省エネルギー設備への切り替え（照明、空調設備、業務用温水器、冷凍冷蔵設備） ②自家消費用太陽光パネル、蓄電池の導入
補助金額	下限5万円～上限100万円 補助率2/3以内 ※デジタル化による生産性向上は上限150万円 ※団体による取組は上限200万円	下限5万円～上限150万円 補助率2/3以内

【令和4年度における事務事業の成果】

補助金交付実績

対象事業	支援事業者数	補助金交付額
生産性向上に係る取組	22事業者	18,947,000円
省エネによるコスト削減の取組	48事業者	29,518,000円
合 計	70事業者	48,465,000円

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
事務事業名	15	第3次緊急経済対策クーポン券発行事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		総合政策部 企業誘致・商工振興課			施策	14		商工業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
278,130	270,432	253,846			16,500	86	7,698	P. 260

【令和4年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症による影響の長期化及び原油高騰により、深刻な影響を受けている地域経済及び市民生活を支援するため、緊急経済対策クーポン券を発行しました。

- ・対象者 全市民（52,912人）
※基準日（令和4年9月1日）現在で、住民基本台帳に記録されている者
- ・金額 1人につき5,000円（500円券×10枚）
- ・使用期間 10月1日（土）～1月31日（火）
- ・使用方法 1,000円以上の買い物等でクーポン券が利用できる。
（例：1,000円⇒1枚、1,500円⇒1枚、2,000円⇒2枚 等）
- ・取扱店 市内で営業している事業者で、市に登録したもの（412店舗）

【令和4年度における事務事業の成果】

- （使用実績）
- ・対象者数 52,912人
 - ・配布枚数 529,120枚
 - ・使用枚数 514,123枚
 - ・使用金額 257,061,500円
 - ・使用率 97.2%



※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
事務事業名	16	プレミアム付商品券発行事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		総合政策部 企業誘致・商工振興課			施策	14		商工業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
213,330		212,383	52,100		160,200	83	947	P. 260

【令和4年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症による影響の長期化及び原油高騰により、深刻な影響を受けている地元店舗を消費促進を通じて応援するため、プレミアム付商品券を発行しました。

- ・商品券 1冊5,000円分の商品券を4,000円で販売（プレミアム率25%）
※1冊当たりの構成：500円券×10枚
- ・発行数 40,000冊（額面総額 2億円）
- ・販売対象 伊万里市民
- ・使用期間 10月1日（土）～1月31日（火）
- ・取扱店 市内に本社を有する事業者が市内で営業している店舗で市に登録したもの（337店舗）

【令和4年度における事務事業の成果】

- ・販売数
40,000冊（400,000枚）
※発行数すべて完売
- ・使用枚数
398,272枚
- ・使用金額
199,136,000円
- ・使用率
99.6%



※財源内訳の「その他」のうち200千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
事務事業名	17	第3次経営改善チャレンジ支援事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課			施策		14	商工業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
52,840	42,365	42,194		100	71	10,475	P. 262	

【令和4年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症及び物価高騰による産業経済の変化に対応するため、新商品開発や販路開拓、新分野への展開など、経営改善のための新たな取組や、省エネによるコスト削減の取組に挑む中小事業者等を支援しました。

対象者	市内に事業所を有する中小企業（個人事業主含む）	
対象事業	生産性向上に係る取組 ①新商品（新役務）の開発又は提供 ②販路の開拓・売上向上 ③デジタル化による生産性向上 ④事業再構築 ⑤その他、経営改善	省エネによるコスト削減の取組 ①既存設備の省エネルギー設備への切り替え（照明、空調設備、業務用温水器、冷凍冷蔵設備） ②自家消費用太陽光パネル、蓄電池の導入
補助金額	下限5万円～上限100万円 補助率2/3以内 ※デジタル化による生産性向上は 上限150万円 ※団体による取組は上限200万円	下限5万円～上限150万円 補助率2/3以内

【令和4年度における事務事業の成果】

補助金交付実績

対象事業	支援事業者数	補助金交付額
生産性向上に係る取組	28事業者	20,985,000円
省エネによるコスト削減の取組	30事業者	21,040,000円
合 計	58事業者	42,025,000円

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
事務事業名	18	経営改善チャレンジ支援事業（繰越明許）			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課			施策		14	商工業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
20,020	19,612	14,000			5,612	408	P. 262	

【令和4年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症による産業経済の変化に対応するため、新商品開発や販路開拓、新分野への展開など、経営改善のための新たな取組に挑む中小事業者等を支援しました。

対象者	市内に事業所を有する中小企業（個人事業主含む）
対象事業	①新商品（新役務）の開発又は提供 ②販路の開拓・売上向上 ③デジタル化による生産性向上 ④事業再構築 ⑤その他、経営改善
補助金額	下限5万円～上限100万円 補助率2/3以内 ※デジタル化による生産性向上は上限150万円 ※団体による取組は上限200万円

【令和4年度における事務事業の成果】

補助金交付実績

支援事業者数	補助金交付額
26事業者	19,592,000円

款	07	商工費	項	01	商工費	目	03	企業誘致推進費
事務事業名	02	企業立地勸奨事業				6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課				施 策	14	商工業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
2,930	2,714				2,714	216	P. 264	

【令和4年度における事務事業の概要】

市内において新たな雇用機会を創出するため、企業訪問等による積極的な立地勸奨を行うとともに、既存企業の事業拡張を促進するためフォローアップ活動に取り組みました。

【令和4年度における事務事業の成果】

令和4年度立地企業

企 業 名	立地協定締結	主な事業内容
テラサキ伊万里（株）	令和4年6月	電気機器製造業
西九州木材事業協同組合	令和4年8月	一般製材業

既存企業のフォローアップ活動の成果として、当該立地（工場の増設）により、計66名の新規雇用が見込まれており、市内における新たな雇用の場を創出することができました。

テラサキ伊万里（株）との協定締結式



西九州木材事業協同組合・中国木材（株）
・伊万里市との協定締結式



款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 企業誘致推進費	
事務事業名	03	ビジネス支援サービス業等 立地促進事業	6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課		施策	14	商工業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳			不用額 (千円)	決算書
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
52,338	52,024			51,989	35	314 P. 264

【令和4年度における事務事業の概要】

企業誘致の推進に取り組む中で、大学新卒者やUIJターン希望者等の就職先となる事務系企業の誘致を図るため、誘致の受け皿となるオフィススペースの確保が必要なことから、拠点オフィスとしてバンリビルを賃借しました。

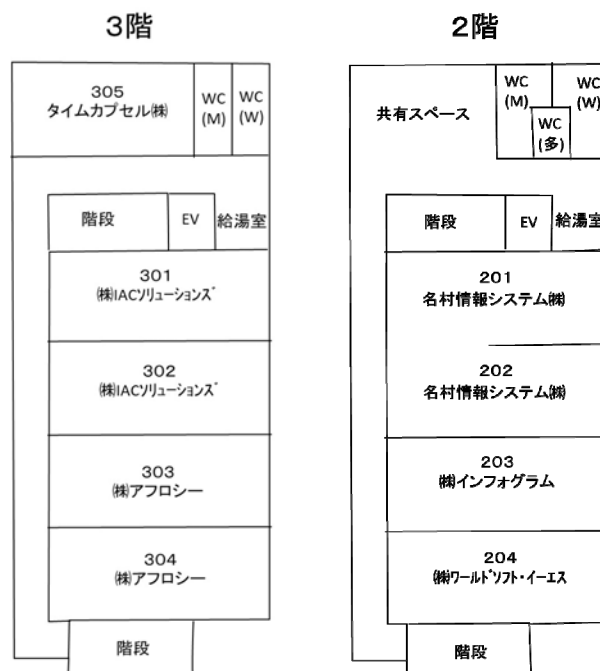
また、バンリビル等に進出した企業に対し、ビジネス支援サービス業等立地奨励金を交付しました。

- ・拠点オフィス借上料 18,889千円（月額1,574,100円）
- ・ビジネス支援サービス業等立地奨励金
交付要件：新規地元雇用者等3人以上（バンリビル）
新規地元雇用者等5人以上（上記以外）

【令和4年度における事務事業の成果】

新たな雇用等を行われた6事業所に対し、ビジネス支援サービス業等立地奨励金33,135千円を交付することにより、企業の安定的な経営を支援するとともに、市内において新たな雇用の場を確保することができました。

○伊万里市ビジネス支援オフィス（バンリビル）への入居状況（令和5年3月末現在）



※財源内訳の「その他」のうち、33,100千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光費
事務事業名	02	観光PR事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		市民交流部 シティプロモーション推進課・情報政策課			施策	15		観光の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
12,618	11,432				11,400	32	1,186	P. 266

【令和4年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少した交流人口及び観光消費の回復を図るため、本来のターゲット層である本物志向の強い「シニア層」に加え、情報発信力の高い「若者層」へ本市の魅力を実践するため、インスタグラムの市公式アカウント「ぐるっと伊万里散歩」(saga_imari)を立ち上げ積極的な情報発信を行いました。

また、「新丸の内ビルディング」(東京都)や「西鉄グランドホテル」(福岡県)、「ホテルオークラJRハウステンボス」(長崎県)において「伊万里フェア」を実施しました。

このほか、大川内山で開催された「風鈴まつり」と時期を合わせ、福岡空港国内線ターミナルビルや都内、福岡県内のホテルなどで伊万里焼風鈴を掲出し、イベントを通じた本市の魅力発信にも注力しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

以下のとおり観光PRを実施し、本市の魅力を実践しました。

- ・インスタグラム市公式アカウント「ぐるっと伊万里散歩」(saga_imari)の立ち上げ
令和4年9月に運用を開始し、令和5年3月までに110本の記事を投稿しました。その結果、フォロワー数は、2,566にのぼり、投稿を見た人の数を示すリーチ数は30万を超えました。(フォロワー数、リーチ数ともに令和5年3月時点)
- ・大川内山風鈴祭りの開催時期に合わせた伊万里焼風鈴の掲出
首都圏、福岡都市圏のホテルや飲食店など市内外9ヶ所、556個を掲出しました。このことにより、「伊万里焼風鈴」を通じた本市の魅力の発信ができました。
- ・伊万里フェアの開催
伊万里焼の器で伊万里産の食材を提供する「伊万里フェア」を以下のとおり開催し、特産品を通じた本市の魅力発信を行いました。
○西鉄グランドホテル 「伊万里牛vs伊万里湾の恵み」(令和5年3月26日)
○新丸の内ビルディング「HOUSE JOURNEY 伊万里」(令和5年1月20日～2月17日)
○ホテルオークラJRハウステンボス (令和4年10月1日～12月31日)

(主な支出内容)

- ・印刷製本費：観光パンフレット「旅伊万里」の増刷 1,098千円
- ・広告料：「HOUSE JOURNEY 伊万里」開催にかかる広告制作等 4,663千円
- ・委託料：インスタグラム市公式アカウントの立ち上げ、運用 3,883千円

※ 財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光費
事務事業名	03	観光振興団体支援事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課		市民交流部 シティプロモーション推進課			施策	15	観光の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
24,996	23,886			1,000	22,886	1,110	P. 266	

【令和4年度における事務事業の概要】

物産観光振興協議会では、本市特産品の認知度向上を図るため、JA伊万里等と連携してイオンマリナタウン店（福岡県）で物産展を行ったほか、市内においても伊万里牛を取り扱う飲食店でのイベントを支援するなど物産観光PRの取組により誘客の拡大を図りました。

また、観光協会においては、PRポスターの新規作成などによる情報発信媒体の充実に取り組むとともに、旅行会社との連携による募集型企画旅行によりコロナ禍で落ち込んだ誘客の回復を図ったほか、第3種旅行業の免許を取得し運営を強化することで、自走する観光協会に向けての歩みをスタートさせました。

そのほか、総務省の「地域活性化起業人」制度による人材の派遣元企業への負担金を支払いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

以下のとおり各種団体と連携した事業を行うことにより、誘客の促進及び消費額の向上を図ることができました。

- ・イオンマリナタウンでの物産展…（7月15日～8月28日）

伊万里焼風鈴の展示、絵付け体験、農産物の即売会を行うことで、本市の魅力を発信し認知度の向上を図りました。（絵付け体験：86名（上限90名）、農産物売上：661,000円）

- ・女子旅EXP02023への出展…（2月9日）

福岡市内で行われた女性限定の物産展「女子旅EXP02023」に出展しました。市シティプロモーション公認サポーター 石本愛氏のステージ上での本市PRや「くすきの杜」の耳つぼ体験など大変な好評を博し、参加者アンケートでは10を超えるブースの中で最高の評価を受けました。

- ・伊万里GYUGYUバル開催支援（2月26日）

伊万里GYUGYUバル実行委員会との共催により、伊万里牛を使用した回遊型の飲食イベントを行うことで、伊万里牛のPRと飲食店の消費喚起を図りました。また、SNSを活用した抽選会を同時開催し、本市の情報発信も併せて行いました。（チケット（1枚900円）売上枚数916枚）

- ・募集型企画旅行助成の受入実績…2,429名

（支出内容）

- ・地域活性化企業人受入負担金 11,200千円
- ・物産観光振興協議会補助金 359千円
- ・観光協会補助金 9,537千円
- ・観光振興強化事業費補助金 2,790千円

※財源内訳の「その他」はふるさと応援基金繰入金



款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光費
事務事業名	06	いまり秋祭り開催支援事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	市民交流部 シティプロモーション推進課			施策	15	観光の振興		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
4,875	4,812			4,800	12	63	P. 268	

【令和4年度における事務事業の概要】

郷土色豊かな伝統を織りなす市民総参加の祭りとして昭和55年に第1回が開催され、毎年10月下旬に2日間行われるいまり秋祭りについて、開催に要する補助金をいまり秋祭振興会へ支出しました。



【令和4年度における事務事業の成果】

以下のとおり観光イベントを実施することにより、交流人口の拡大を図ることができました。

恒例のわっしょいパレードや市民総踊りをはじめ、伊万里市シティプロモーション公認サポーターの石本愛氏による来場者参加型のスペシャルトークショーの開催、市内事業者による物産展など大いに盛り上がりました。

- ・開催日：令和4年10月22日(土)、23日(日)
- ・主なイベント：わっしょいパレード、観光大使オンステージ、伊万里太鼓の演奏、伊万里高校書道パフォーマンス、伊万里小学校コーラス部歌唱、ブラスバンドフェスティバル、カラオケ★トンテントン、愛とメタルのいまりマッチ、花火
- ・人出：約100,000人
- ・振興会決算額：5,363千円

(支出内容)

- ・手数料：32千円 (総踊り用浴衣クリーニング代)
 - ・補助金：4,780千円
- ※ 財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	07 商工費	項	01 商工費	目	04 観光費	
事務事業名	07 市内周遊観光券発行支援事業		6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	市民交流部 シティプロモーション推進課		施策	15	観光の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳			不用額 (千円)	決算書
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
6,325	4,688			4,600	88	1,637 P. 268

【令和4年度における事務事業の概要】

本市への宿泊者を対象に旅行予約サイト上での宿泊割引に加えて、周遊観光券（食事や土産、体験等を補助する割引券）を発行することで、さらなる誘客の拡大と市内における観光客の消費額増大を図りました。



【令和4年度における事務事業の成果】

【事業内容】

- (1) 名 称 『伊万里まるごと周遊観光券』
- (2) 構 成 宿泊者1名対象 : 宿泊割引1,000円、観光券2,000円分
宿泊者2名以上対象 : 宿泊割引2,000円、観光券4,000円分
- (3) 取扱冊数・方法 1名対象 : 700予約分
2名以上対象 : 150予約分
- (4) 助成率 100%以内（食事・土産・体験にかかった料金を割引）
- (5) 利用期間 令和5年1月5日～令和5年2月28日
- (6) 対象施設 市観光協会会員で、
 - ① 宿泊 伊万里旅館組合所属施設、その他宿泊施設など
 - ② 食事 伊万里牛メニュー提供店、伊万里駅付近飲食店
 - ③ 土産 伊万里市観光協会、市菓子組合所属店など
 - ④ 体験 伊万里市伝統産業会館、くすきの杜などのべ91施設
- (7) 事業費 4,688,004円

【事業実績】

市内企業の工場増設などによる宿泊対象施設におけるビジネス需要の拡大のため、旅行者を受け入れる部屋が不足し、想定よりも執行率は伸びませんでしたが、宿泊を伴う誘客の拡大と消費の増大という観点において一定の成果を得ました。

- (1) 利用件数 本事業を利用した宿泊は、1名対象分289件、2名以上対象分150件
- (2) 観光券の利用額 992千円（利用率 84.2% : 992千円/1,178千円(2,000円×589冊)）
- (3) 旅行予約サイト、市特集ページの閲覧数
旅行予約サイト上で展開した市特集ページの閲覧数は、2か月間の掲載期間の中で78,206回となりました。

※ 財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金。

款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	02	道路維持費
事務事業名	02	道路管理事業（単独）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策		17	道路・交通体系の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
108,040	101,118	6,865	8,600		85,653	6,922	P. 276	

【令和4年度における事務事業の概要】

身近な生活道路である市道について、歩行者や車両が安全に利用できるよう、市内全域の側溝整備、舗装、路肩等の維持補修工事や街路樹等の維持管理を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

側溝や舗装など道路施設の維持補修や街路樹管理などを行い、道路の機能維持や歩行者及び車両の通行における安全性を確保することができました。

(千円)

工 種	事業費	事業内容
側溝整備	16,735	31路線 L=247m (改修含む)
一般補修	2,292	21路線 n=37箇所 (側溝補修、路肩補修等)
法面対策	1,222	5路線 A=80㎡
舗装補修	17,684	37路線 A=2,388㎡
局部改良	9,814	6路線 L=135m
道路照明灯修繕	9,975	2路線 n=14基
小計	57,722	
委託料	28,003	26件 (街路樹管理業務、草刈業務、 用地測量業務、市道維持管理計画策定業務)
使用料及び賃借料	209	市道補修用モーターグレーダー借上料
原材料費	10,000	生コン、側溝、アスファルト合材等
用地購入費	350	1件
物件移転補償費	0	
事務費	4,834	消耗品費、光熱水費、修繕料、通信運搬費
小計	43,396	
合計	101,118	

(令和4年度における市道に関する要望・通報件数状況)

	件数	採択件数	採択率
要 望 書	218件	74件	33.90%
通報(電話、来庁等)	410件	282件	68.80%
LINE 通 報	18件	18件	100%
合 計	646件	374件	57.90%

※不用額は、令和5年度への繰越明許費5,622千円を含みます。

款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	02	道路維持費
事務事業名	03	道路管理事業（社会資本整備総合交付金）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策		17	道路・交通体系の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 278	
43,944	7,042	3,488	3,500		54	36,902		

【令和4年度における事務事業の概要】

道路防災・付属物点検結果に基づき、老朽化した法面の補修工事を行い、適切な市道の維持管理に努めました。

【令和4年度における事務事業の成果】

市道白野・原屋敷線の法面工事をを行い、歩行者や車両の通行における安全性の確保を図ることができました。

また、市道中山上・井野尾線の法面補修調査設計業務に取り組みました。

(千円)

路線名	事業費	事業内容
市道中山上・井野尾線	2,300	法面補修調査設計業務委託 L=184m A=3280㎡ (1工区 L=42m A=630㎡ 2工区 L=104m A=2080㎡ 3工区 L=38m A=570㎡)
市道白野・原屋敷線	4,676	法面補修工事 L=30m 簡易法枠工 A=168㎡ 排水構造物 L=20m
事務費	66	消耗品費、燃料費、通信運搬費、使用料及び賃借料
合計	7,042	

【市道白野・原屋敷線】



※不用額は、令和5年度への繰越明許費36,902千円を含みます。

款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	02	道路維持費
事務事業名	04	道路管理事業（単独）（繰越明許）			6つのまちづくり	04		生活の基盤づくり
担当部課		建設農林水産部 道路河川課			施策	17		道路・交通体系の整備
予算現額 （千円）		決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
4,950		4,950				4,950	0	P. 278

【令和4年度における事務事業の概要】

身近な生活道路である市道について、歩行者や車両が安全に利用できるよう、市内全域の側溝整備、舗装路肩等の維持補修工事や街路樹等の維持管理を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

側溝や舗装など道路施設の維持補修を行い、道路の機能維持や歩行者及び車両の通行における安全性を確保することができました。

(千円)

路 線 名	事業費	事業内容
市道上分6号線	1,705	道路改良工事 L=9.0m
市道小石原1号線	858	道路改良工事 L=33.9m
市道水留・重橋線	1,012	側溝整備工事 L=12.5m
小麦原5号線	1,375	舗装補修工事 A=174m ²
合 計	4,950	

【市道上分6号線】



【市道小石原1号線】



【市道水留・重橋線】



【市道小麦原5号線】



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	02	道路維持費
事務事業名	05	道路管理事業（社会資本整備総合交付金）（繰越明許）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策		17	道路・交通体系の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
10,500	10,500	5,000	5,500		0	0	P. 278	

【令和4年度における事務事業の概要】

道路防災・付属物点検結果に基づき、老朽化した法面の補修工事を行い、適切な市道の維持管理に努めました。

【令和4年度における事務事業の成果】

市道みどりが丘1号線の法面調査、地質調査及び解析業務並びに市道白野・原屋敷線の法面工事を行い、歩行者や車両の通行における安全性の確保を図ることができました。

(千円)

路 線 名	事 業 費	事 業 内 容
市道みどりが丘1号線	9,352	L=135m A=4,700㎡ 道路法面補修調査設計業務委託
市道白野・原屋敷線	648	法面補修工事 L=30m 簡易法枠工 A=168㎡ 排水構造物 L=20m
事 務 費	500	消耗品費、燃料費、通信運搬費、複写機使用料
合 計	10,500	

【市道白野・原屋敷線】



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路新設改良費
事務事業名	02	市道改良事業（道整備交付金）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策	17	道路・交通体系の整備		
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
10,140	7,020	3,450	3,500		70	3,120	P. 278	

【令和4年度における事務事業の概要】

道整備交付金を活用し、市道讃岐・古場線の設計業務委託を実施しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

地域再生計画の目標として、市道と林道を一体的に整備することよりの森林施業や治山事業などを円滑に進め、利便性の向上や安全性の確保を進めることができました。

(千円)

路線名	事業費	事業内容
市道讃岐・古場線	5,012	測量業務 A=0.02km ² 設計業務 L=500m
	1,900	道路改良工事 L=44.0m（排水工 44m As舗装工 143m ² ）
事務費	108	通信運搬費、複写機使用料
合計	7,020	

【測量設計業務委託】



※不用額は、令和5年度への繰越明許費3,120千円を含みます。

款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路新設改良費
事務事業名	03	市道改良事業（社会資本整備総合交付金）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策		17	道路・交通体系の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
14,764	6,898	3,372	3,600		△ 74	7,866	P. 280	

【令和4年度における事務事業の概要】

社会資本整備総合交付金を活用し、市道重橋・中山線の用地測量業務委託、用地購入及び物件移転補償を実施しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

市道の利便性向上や安全性の確保を図るため、道路拡幅の改良工事に必要な用地取得及び物件補償を行うことができました。

(千円)

路 線 名	事 業 費	事 業 内 容
市道重橋・中山線	5,977	用地測量業務 A=1.59km ²
用 地 購 入 費	475	土地 1式 (12筆)
物 件 移 転 補 償 費	294	立竹木 1式 (6筆)
事 務 費	152	燃料費、通信運搬費、複写機使用料
合 計	6,898	

【用地測量業務委託】



※不用額は、令和5年度への繰越明許費7,866千円を含みます。

款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路新設改良費
事務事業名	04	市道改良事業（単独）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策	17	道路・交通体系の整備		
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 280	
9,000	8,999				8,999	1		

【令和4年度における事務事業の概要】

地域に密着した生活道路の整備を進めるために、市単独事業により集落内の道路3路線の改良工事を実施しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

道路拡幅の改良工事を行うことで、利便性の向上や安全性の確保を図ることができました。

(千円)

路 線 名	事 業 費	事 業 内 容
市道東田代9号線	4,857	道路改良工事 L=41.0m (ブロック積 37㎡ Con舗装 112㎡)
市道戸石川4号線	2,102	道路改良工事 L=72.2m (盛土工 39㎡ As舗装工 213㎡)
市道提川・笠椎線	1,669	道路改良工事 L=69.0m (盛土工 23㎡ As舗装工 162㎡)
物件移転補償	371	
合 計	8,999	

【市道東田代9号線】



【市道戸石川4号線】



【市道提川・笠椎線】



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	04	交通安全施設整備費
事務事業名	02	交通安全施設整備事業（単独）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策	17	道路・交通体系の整備		
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 282	
13,563	13,534				13,534	29		

【令和4年度における事務事業の概要】

道路利用者の安全を確保するため、ガードレール等の防護柵設置や路面標示の区画線設置及び道路反射鏡等の交通安全施設を整備しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

交通安全施設の整備を行うことにより、歩行者及び車両の通行における安全性の確保をすることができました。

(千円)

工 種	事 業 費	事 業 内 容
防護柵設置	11,277	7路線 L=189.0m
区画線設置	1,482	27路線 L=13,134.6m
原 材 料 費	775	道路反射鏡、支柱等
合 計	13,534	

【市道大坪・松島線】 区画線（外側線）



【市道川東22号線】 防護柵



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	04	交通安全施設整備費
事務事業名	03	交通安全施設整備事業（社会資本整備総合交付金）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策		17	道路・交通体系の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 282	
2,789	2,789	1,512	1,200		77	0		

【令和4年度における事務事業の概要】

社会資本整備総合交付金を活用し、歩行者や高齢者、障がいのある人たちに配慮した道路環境をつくるため市道の歩道拡幅の測量を実施しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

道路拡幅に伴う基準点測量業務を行い、供用に向けて事業の進捗を図ることができました。

(千円)

路 線 名	事 業 費	事 業 内 容
市道提川・川西線	2,785	基準点測量業務
事 務 費	4	通信運搬費
合 計	2,789	

【測量業務委託】



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	04	交通安全施設整備費
事務事業名	04	交通安全施設整備事業（単独）（繰越明許）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策	17	道路・交通体系の整備		
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 282	
5,449	5,445				5,445	4		

【令和4年度における事務事業の概要】

道路利用者の安全を確保するため、ガードレール等の防護柵設置や路面標示の区画線設置及び道路反射鏡等の交通安全施設を整備しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

交通安全施設の整備を行うことにより、歩行者及び車両の通行における安全性を確保することができました。

(千円)

工 種	事 業 費	事 業 内 容
防護柵設置	816	2路線 L=55.0m
区画線設置	4,629	15路線 L=9,912.8m
合 計	5,445	

【市道上伊万里・松島線】 防護柵



【市道上白幡・長浜線】 区画線（外側線）



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	04	交通安全施設整備費
事務事業名	05	交通安全施設整備事業（社会資本整備総合交付金） （繰越明許）			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策	17	道路・交通体系の整備		
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 282	
37,800	37,800	19,800	17,900		100	0		

【令和4年度における事務事業の概要】

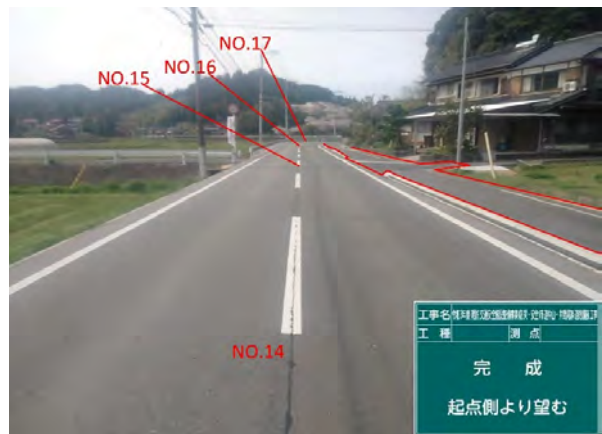
社会資本整備総合交付金を活用し、市道の歩道拡幅を行い、歩行者や高齢者、障がいのある人たちに配慮した道路環境を整備しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

歩道拡幅工事に伴う車道部の舗装工事等を行い、歩行者及び車両の通行における安全性を確保することができました。

(千円)

路線名	事業費	事業内容
市道中山・井野尾線	36,095	道路舗装工事 (L=390m、A=1,776.7㎡)
事務費	1,705	消耗品費、燃料費、通信運搬費、複写機使用料
合計	37,800	



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	05	橋りょう維持費
事務事業名	02	橋りょう管理事業（補助）	6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり			
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策	17	道路・交通体系の整備		
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
95,776	72,980	39,638	28,600		4,742	22,796	P. 284	

【令和4年度における事務事業の概要】

国の補助金を活用し、平成25年度に作成した伊万里市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、幸橋、讃岐橋、楠久跨線橋及び松浦跨線橋の補修工事を実施しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

補修工事を行う事により老朽化した橋りょうの健全度が高まり、歩行者及び車両の通行における安全性を確保することができました。

また、定期点検を行い、橋りょうの健全性を把握することができました。

(千円)

橋りょう名	事業費	事業内容
市道橋定期点検	20,232	詳細設計業務（重橋、鷹の巣橋） 定期点検業務（提川橋ほか24橋） 長寿命化計画改定業務
幸 橋 (市道平尾・脇田線)	33,682	橋りょう補修工事 L=62.6m As舗装工 967.2㎡ 橋面防水工 962.3㎡ 伸縮装置取替工 31.0m
讃 岐 橋 (市道讃岐・古場線)	1,874	橋りょう補修工事 L=11.6m 上部工補修 1式 橋面工 1式 塗装工 1式
楠 久 跨 線 橋 (市道楠久・辻の堂線)	6,332	橋りょう補修工事 L=17.0m 塗替え塗装工 111.6㎡ 橋面改良工 55.3㎡
負 担 金	9,950	松浦跨線橋の下部工補修工事に係るJR九州への負担金
事 務 費	910	普通旅費、燃料費、通信運搬費、使用料及び賃借料
合 計	72,980	

【幸橋】



【讃岐橋】



※不用額は、令和5年度への繰越明許費22,796千円です。

款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	05	橋りょう維持費
事務事業名	03	橋りょう管理事業（補助） （繰越明許）			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課				施 策	17	道路・交通体系の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
36,984	36,984	20,204	15,100		1,680	0	P. 284	

【令和4年度における事務事業の概要】

国の補助金を活用し、平成25年度に作成した伊万里市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、幸橋、讃岐橋、楠久跨線橋及び松浦跨線橋の補修工事を実施しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

補修工事を行う事により老朽化した橋りょうの健全度が高まり、歩行者及び車両の通行における安全性の確保ができました。

(千円)

橋りょう名	事業費	事業内容
重 橋 (市道重橋・中山線)	1,000	詳細設計（重橋）
幸 橋 (市道平尾・脇田線)	1,134	橋りょう補修工事 L=62.6m As舗装工 967.2㎡ 橋面防水工 962.3㎡ 伸縮装置取替工 31.0m
讃 岐 橋 (市道讃岐・古場線)	4,000	橋りょう補修工事 L=11.6m 上部工補修 1式 橋面工 1式 塗装工 1式
楠 久 跨 線 橋 (市道楠久・辻の堂線)	1,000	橋りょう補修工事 L=17.0m 足場工 1式
負 担 金	29,600	松浦跨線橋の下部工補修工事に係るJR九州への負担金
事 務 費	250	普通旅費、消耗品費、使用料及び賃借料
合 計	36,984	

【幸橋】



【讃岐橋】



款	08	土木費	項	03	河川費	目	03	河川改良費
事務事業名	01	河川局部改修事業				6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策		22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
8,535	8,051		8,200		△ 149	484	P. 288	

【令和4年度における事務事業の概要】

治水安全度の低い普通河川永山川、普通河川岳坂川の護岸の整備及び測量設計業務を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

普通河川永山川の護岸の整備により、周辺の宅地や農地の洪水被害の危険度が低減し、地域住民の安心安全な生活を確保することができました。

また、普通河川岳坂川の測量設計業務が完了し、事業を推進することができました。

(事業内容)

河 川 名 普通河川永山川 (大坪町永山地内)

工事内容 L=34.0m 護岸工 (護岸築堤)

着工前



成 工



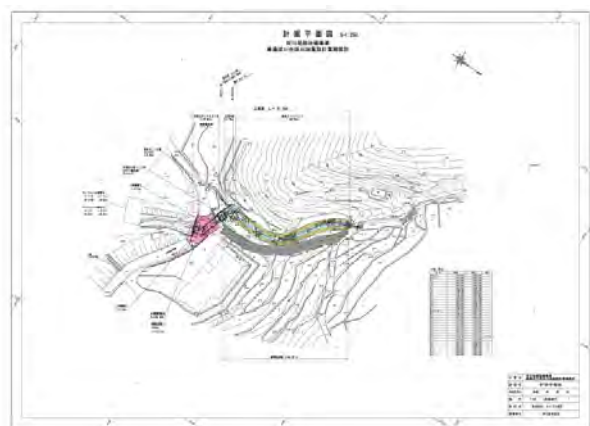
河 川 名 普通河川岳坂川 (松浦町岳坂地内)

業務内容 L=60.0m 測量設計業務

成果品



計画平面図



款	08	土木費	項	03	河川費	目	03	河川改良費
事務事業名	02	浦分地区浸水対策事業				6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり
担当部課		建設農林水産部 道路河川課				施策	22	防災体制の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
5,830	5,830	2,915				2,915	0	P. 288

【令和4年度における事務事業の概要】

浸水常襲地区である黒川町浦分地区の浸水対策のために内水解析業務を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

内水解析業務により浸水被害発生メカニズムや原因の特定、対策工法の検討を行い事業を推進することができました。

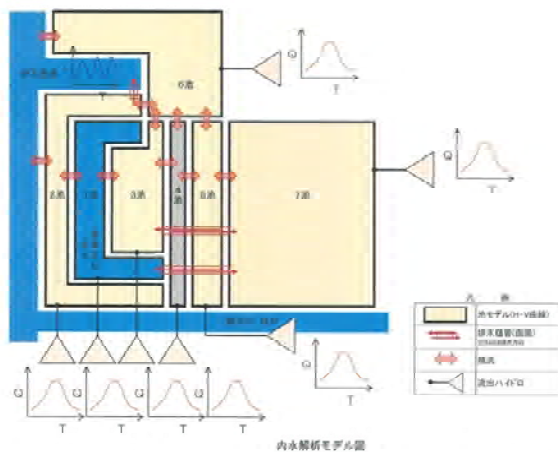
(事業内容)

浦分地区浸水対策事業 内水解析業務委託 (黒川町浦分地内)

成果品



内水解析モデル図



氾濫源池分割図



款	08	土木費	項	03	河川費	目	03	河川改良費
事務事業名	03	河川局部改修事業 (繰越明許)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策		22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
2,256	1,771		1,700		71	485	P. 288	

【令和4年度における事務事業の概要】

治水安全度の低い普通河川原川の護岸の整備を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

普通河川原川の護岸の整備により、周辺の宅地の洪水被害の危険度が低減し、地域住民の安心安全な生活を確保することができました。

(事業内容)

河 川 名 普通河川原川 (山代町浦ノ崎地内)

工事内容 L=12.0m 護岸工

着工前



成 工



款	08 土木費	項	03 河川費	目	03 河川改良費	
事務事業名	04 楠久津地区浸水対策事業 (事故繰越)	6つの まちづくり		05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課		施 策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳			不用額 (千円)	決算書
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
171,700	171,600		171,600		0	100 P. 288

【令和4年度における事務事業の概要】

浸水被害軽減を目的とした楠久津排水機場の整備に必要な機械設備工事、電気設備工事、土木工事を実施しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

楠久津排水機場の整備により、周辺の宅地の浸水被害の危険度が低減し、地域住民の安心安全な生活を確保することができました。

(千円)

費 目	事業費	事業内容
工事請負費	170,722	機械設備工事、電気設備工事、土木工事
事務費	878	普通旅費、消耗品費、燃料費、使用料及び賃借料
合 計	171,600	

着工前



成 工



成 工(正 面)



成 工(側 面)



款	08	土木費	項	04	港湾費	目	01	港湾管理費
事務事業名	03	港湾整備促進事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 伊万里湾総合開発課			施策	16	港湾の活用		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 290	
39,500	39,500		36,700		2,800	0		

【令和4年度における事務事業の概要】

伊万里港沿岸において、海岸管理者である佐賀県が実施する海岸保全施設の補修等を行う事業及び伊万里港の港湾施設の機能回復等を行う事業に対し、その経費の一部を負担しました。

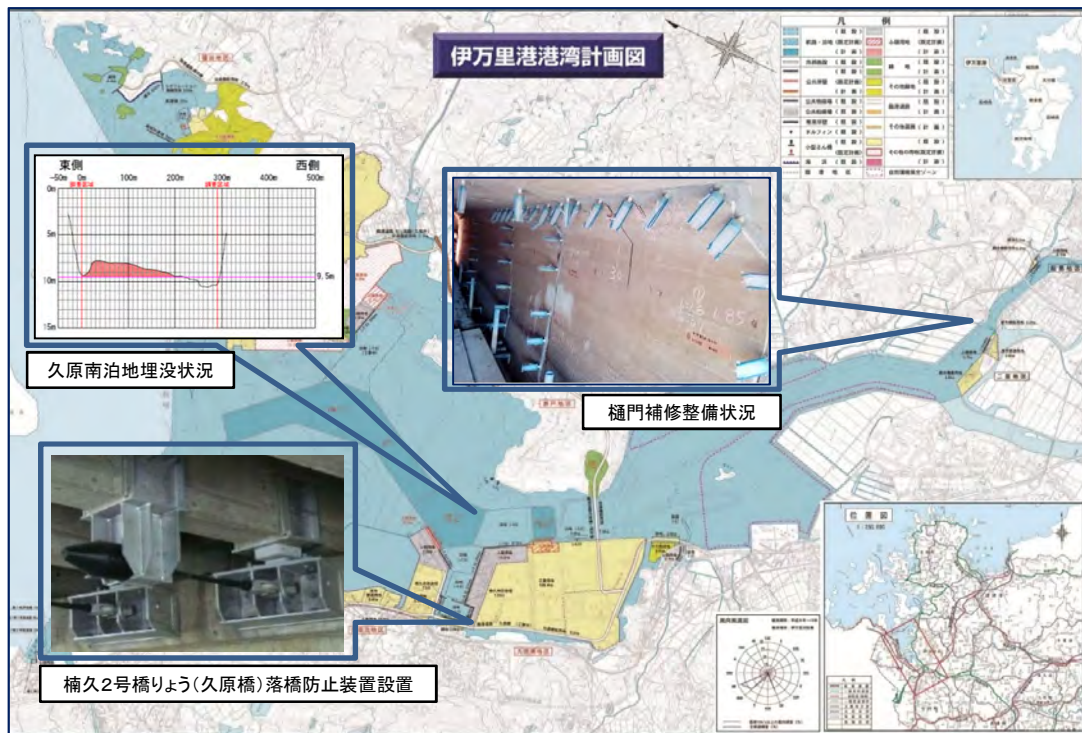
(千円)

事業内容	事業期間	事業費	市負担率	市負担額
楠久2号橋りょう落橋防止装置設置工事	R4-R8	51,000	1/6	8,500
久原南泊地埋没浚渫	R3-R6	90,000	1/6	15,000
海岸保全施設（樋門）補修	R4-R6	80,000	0.5/10	4,000
久原南泊地埋没浚渫（国2次補正）	R3-R7	72,000	1/6	12,000
合 計		293,000	-	39,500

【令和4年度における事務事業の成果】

海岸保全施設（護岸・樋門）補修の実施及び橋りょうの耐震補強工事により、伊万里湾沿岸の海岸保全施設の機能が回復され防災機能の向上に貢献することができました。

なお、海岸保全施設補修は事業費ベースで全体計画の約4割、橋りょうの耐震補強工事は全体計画の約2割が完了しました。久原南泊地の浚渫については、令和4年度に事業が一旦完了し、次年度からは、継続して発生する土砂の堆積に対応するための新たな事業が計画されています。



款	08	土木費	項	04	港湾費	目	02	港湾振興費
事務事業名	01	伊万里港ポートセールス推進事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		総合政策部 伊万里港総合開発課			施策	16		港湾の活用
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 290
19,911		16,981			15,600	1,381	2,930	

【令和4年度における事務事業の概要】

平成9年度に伊万里港国際コンテナターミナル（黒川町七ツ島地区）が供用開始されたことに伴い、平成11年8月に佐賀県、伊万里市、民間物流業者、関係団体により設立された「佐賀県伊万里港振興会」を推進母体として、官民一体で国内外の荷主や船社に対し、集荷と航路誘致の両面から伊万里港のポートセールスを行いました。

《主な取組内容》

- ・国際物流総合展への出展
- ・輸出入のバランス改善を目的とした「輸出コンテナ助成」
- ・新規航路開拓を目的とした「東南アジア・台湾輸出入コンテナ助成制度」の創設

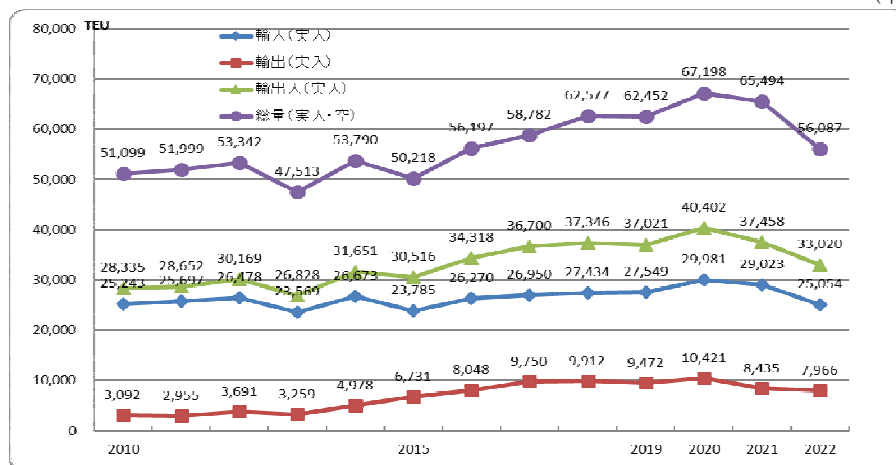
【令和4年度における事務事業の成果】

令和4年の伊万里港のコンテナ貨物取扱量は、コロナ禍に伴う世界的な港湾混雑や中国・上海市のロックダウンなどの影響により、実入の輸出貨物は7,966TEU、また輸入貨物は25,054TEUで、輸出入合計で33,020TEUとなり、前年より4,438TEU減少（△11.8%）したものの、「東南アジア・台湾輸出入コンテナ助成制度」の効果により、東南アジア・台湾の貨物については、前年の9,154TEUから令和4年は9,772TEUと618TEU増加しており、コンテナ貨物の減少を抑制することができました。

※TEU・・・20フィート（コンテナの長さ）換算のコンテナ取扱個数の単位

伊万里港コンテナ貨物取扱量

(単位：TEU)



令和4年 品目別コンテナ貨物取扱量

順位	輸 出	TEU	前年比	輸 入	TEU	前年比
1	ロール紙	4,163	▲ 18.0%	家具・家具装備品	7,642	▲ 13.6%
2	原木・木材製品	1,140	18.4%	日用品雑貨(衣類を除く)	4,585	▲ 34.0%
3	古紙	1,136	21.4%	機械・機械部品	2,429	8.5%
4	機械・機械部品	383	6.1%	動物性飼料原料	1,908	▲ 4.9%
5	鉱物製品	107	35.4%	船舶用部品	1,213	3.5%
6	水産品	76	▲ 52.2%	わら	1,174	▲ 31.7%
7	鉄鋼製品	65	44.4%	鉄鋼製品	855	3.6%
8	窯業製品	45	▲ 10.0%	寝具	820	▲ 7.6%
9	日用品雑貨(衣類を除く)	42	▲ 19.2%	原木・木材製品	805	10.6%
10	化学製品・化学原料	30	36.4%	食品・食品原料(果実缶詰を含む)	638	13.7%
	その他	779	12.6%	その他	2,985	▲ 3.6%
	計	7,966	▲ 5.6%	計	25,054	▲ 13.7%

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	08	土木費	項	05	都市計画費	目	01	都市計画総務費
事務事業名	01	都市計画総務事業			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課			施策		19	都市空間の形成	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
108,175	93,726	7,074			86,652	14,449	P. 292	

【令和4年度における事務事業の概要】

都市での活動や生活を円滑にする動脈的な役割を果たす都市計画道路の計画について、長期間未着手となっている4路線の見直しを検討し、その素案を作成しました。
また、大地震等が発生した場合に滑動崩落等のおそれがある大規模盛土造成地として佐賀県が抽出（第一次スクリーニング）した55箇所について、安全性把握を行う優先順位を決めるための現地踏査等（第二次スクリーニング）を実施しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

都市計画道路八谷搦駅前線外3路線について、将来的な必要性を検討し、計画を見直すことにより、適正な都市計画道路の整備計画の素案を作成することができました。
近年のゲリラ豪雨、線状降水帯の発生等により盛土造成地の崩落が発生するなか、調査を実施したことで、安全性把握を行う優先順位を決める計画の作成と盛土の現状が確認できました。

決算額内訳

(千円)

費 目	事 業 費	事 業 内 容
光熱水費	46	蓮池跨線橋電気代
委 託 料	19,476	都市計画道路見直し検討業務委託 八谷搦駅前線、大坪小学校線、六仙寺立花台地線、上伊万里駅前線 大規模盛土造成地変動予測調査業務委託 55箇所
負 担 金	123	都市計画協会会費
補 助 金	149	「22世紀に残す佐賀県遺産」支援事業（里地区）
合 計	19,794	

※決算額は、総務課人件費等73,932千円を含みます。

※不用額は、令和5年度への繰越明許費6,550千円を含みます。

款	08	土木費	項	05	都市計画費	目	01	都市計画総務費
事務事業名	02	都市計画総務事業（繰越明許）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課			施策	19	都市空間の形成		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 294	
4,998	4,326	2,000		0	2,326	672		

【令和4年度における事務事業の概要】

地域の歴史や観光資源をはじめ、文化や風土に根ざした美しいまちなみや良好な景観に囲まれた安らぎと潤いのあるまちづくりを形成する目的で、22世紀に残す佐賀県遺産に指定されている2地区（里地区、大川内地区）について、地区ワークショップでの合意形成、更には庁内ワーキンググループ、策定委員会での検討等を重ねながら、景観計画（案）を作成しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

22世紀に残す佐賀県遺産に指定された2地区（里地区、大川内地区）の長い歴史と風土に育まれた特色ある美しい良好な景観を保全し、次世代へと引き継ぐために重要となる景観計画（案）を作成することができました。

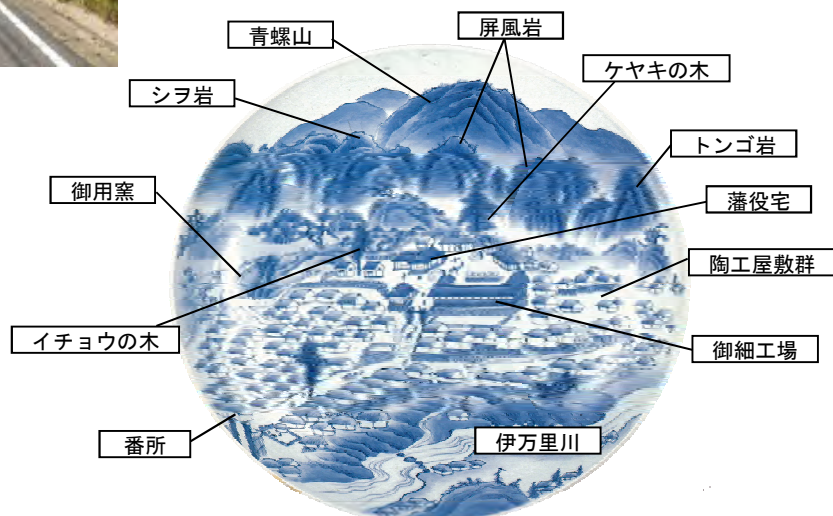
決算額内訳

(千円)

費 目	事 業 費	事 業 内 容
報 償 費	31	景観計画策定委員会委員謝礼
旅 費	29	景観計画策定委員会委員旅費
委 託 料	4,266	景観計画策定業務委託料
合 計	4,326	



【矢竹生垣通り】



【染付鍋島藩窯絵図大皿】

(1830年代～1870年代/佐賀県立博物館所蔵)

款	08	土木費	項	05	都市計画費	目	02	公園事業費
事務事業名	01	都市公園管理事業			6つのまちづくり		04	生活の基盤づくり
担当部課		建設農林水産部 都市政策課			施策		19	都市空間の形成
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
80,204		79,648	19,217	18,300	17,996	24,135	556	P. 294

【令和4年度における事務事業の概要】

市内の都市公園38か所のうち36か所の都市公園と公園緑地5か所について、定期的な巡回や遊具の点検、草刈、樹木管理を行うなど、適正な管理に努めました。

令和4年度は、国の公園施設長寿命化対策支援事業を活用し、都市公園5公園の複合遊具等を更新しました。このうち、ファミリーパークについては、幼児用複合遊具をインクルーシブ複合遊具に更新するとともに、第2駐車場内に身体障がい者用駐車場5台分をアスファルト舗装し、インクルーシブエリアとして整備しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

適正な維持管理や遊具の更新、公園整備により、利用者に安心安全な休憩やレクリエーション、緑と触れ合う場を提供することができました。

決算額内訳

(千円)

費 目	事 業 費	事 業 内 容
委 託 料	17,891	公園管理業務・樹木管理業務・清掃業務
工事請負費	52,661	公園施設長寿命化対策工事、 ファミリーパーク駐車場舗装工事等
事 務 費	9,096	旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料、 原材料費、備品購入費、負担金、公課費
合 計	79,648	

【公園施設長寿命化対策支援事業】

- ・ファミリーパーク 複合遊具更新（インクルーシブ複合遊具へ更新）
- ・東八谷搦新田川河畔公園 複合遊具更新
- ・川久保公園 複合遊具更新
- ・国見台公園 東屋更新
- ・円造寺公園 滑り台更新

【業者委託】

- ・樹木管理 14公園

【地元委託】

- ・トイレ清掃 9公園
- ・公園清掃 2公園
- ・トイレ、公園清掃 2公園
- ・草刈 1公園

【シルバー人材センター委託】

- ・除草、トイレ、公園清掃 23公園

伊万里ファミリーパーク



※財源内訳の「その他」のうち17,800千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	08	土木費	項	06	住宅費	目	01	住宅管理費
事務事業名	02	市営住宅管理事業				6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり
担当部課		建設農林水産部 都市政策課				施 策	20	住宅施策の推進
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
62,121	61,984			26,705	35,279	137	P. 298	

【令和4年度における事務事業の概要】

住宅に困窮する低額所得者に対し、低廉な家賃で住宅を賃貸することで、生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的に、市営住宅を9団地に706戸設置しています。
市営住宅の入居申し込み受付や入居及び退去の手続き、家賃の算定、家賃等の納付書発送及び収納処理、滞納者への窓口相談や納付指導を行う等、公営住宅法に基づき、管理・維持・運営を行っています。
また、現入居者や新たな入居者に安全で安心な住宅を提供するため、施設管理業務の委託と住宅内の経年劣化等による破損個所の修繕や器具の取替工事を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

修繕を251件、施設管理業務委託を6件、器具取替等工事を8件行い、市営住宅入居者に安全で安心な住宅を提供しました。

決算額内訳

(千円)

費 目	事 業 費	事 業 内 容
需用費 修繕料	12,071	市営住宅(9団地)修繕 251件
需用費 その他	1,348	市営住宅の管理運営に要する経費 消耗品費、印刷製本費、光熱水費(浄化槽電気代)
役務費	1,136	市営住宅の管理運営に要する経費 通信運搬費、手数料(コンビニ収納等)、 賠償責保険料(火災共済)
委託料	9,772	貯水槽清掃業務委託 汚水処理施設管理業務委託 樹木管理等業務委託 市営住宅管理人業務委託外2件
使用料及び賃借料	61	建築工事標準単価表使用料
工事請負費	7,612	住宅用火災警報器取替工事 立花市営住宅水道メーター取替工事 鳩除けネット設置工事(立花、立岩) 久原市営住宅解体工事外4件
原材料費	10	住宅補修資材
負担金、補助及び交付金	20	市営住宅駐車場等管理組合補助金
合 計	32,030	

※決算額は、総務課人件費等 29,954千円を含みます。

款	08	土木費	項	06	住宅費	目	01	住宅管理費
事務事業名	03	空家等管理促進事業 (社会資本整備総合交付金)			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課			施策		20	住宅施策の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
801	680	250			430	121	P. 300	

【令和4年度における事務事業の概要】

平成26年11月に空家等対策の推進に関する特別措置法が制定され、市では、平成29年3月に空家等の適正管理に関する条例を改正すると共に、同年12月に伊万里市空家等対策計画を策定し、空家等の適正な管理に関して必要な事項を定め、倒壊等の事故、犯罪及び火災の未然防止並びに生活環境の保全を図り、市民の安全で安心な暮らしの実現のために事業に取り組んでいます。

市内に点在する空き家の状況把握に努め、老朽化が進み危険な空き家については、所有者等に対し必要な措置(適切な管理の指導や解体依頼)を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

市が把握している空き家等1,648件について、職員による現況確認を行い、老朽化に応じた区分作業を行うとともに、老朽化が進み危険な空家等の所有者等に対して、空家等の適正管理の依頼及び指導を行い、周辺住民の良好な生活環境と安全を確保することができました。

また、第2次伊万里市空家等対策計画を策定し、空き家等対策の方針や取組を示すことができました。

決算額内訳

(千円)

費 目	事 業 費	事 業 内 容
報酬 委員報酬	78	空家等対策協議会委員報酬 延べ15名分(2回開催)
報償費 相談員謝礼	21	空き家相談会相談員謝礼 8名分(1回開催)
旅費 費用弁償	8	空家等対策協議会委員旅費
需用費 消耗品費	17	空家所有者への通知用消耗品(用紙代)
役務費 通信運搬費	12	空家所有者等への通知及び他市戸籍請求(郵便料)
委託料	44	空き家安全措置作業委託
負担金、補助及び交付金 補助金	500	特定空家等除却事業費補助金
合 計	680	

過去の実績

区 分	H30	R元	R2	R3	R4
依頼及び指導件数	延べ10件	延べ46件	延べ40件	延べ51件	延べ34件
除却補助件数	0件	2件	0件	1件	1件

款	08	土木費	項	06	住宅費	目	01	住宅管理費
事務事業名	05	実家に帰ろう住宅改修等支援事業			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課			施策	20	住宅施策の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 300	
8,600	2,571			2,500	71	6,029		

【令和4年度における事務事業の概要】

本市で生まれ育った人が進学や就職などのきっかけで市外へ移住した後、再び本市に戻るUターンの促進と将来の空き家化を未然に防ぐため、市外在住者等がUターンするために実家の改修又は解体・新築を行う場合に、費用の一部を補助しました。

①改修事業

- ・改修補助金 500千円(改修費の1/2)
- ・子育て加算 200千円/人(18歳未満)
- ・地域指定加算 10千円

②解体・新築事業

- ・解体補助金 1,000千円(解体費の1/2)
- ・新築補助金 300千円
- ・子育て加算 200千円/人(18歳未満)
- ・地域指定加算 10千円

【令和4年度における事務事業の成果】

令和4年度は4件(7人)のUターン者に補助を行い、Uターン促進と空き家化の未然防止を図ることができました。

決算額内訳

(千円)

区分	実家の所在	交付額	補助内容等	Uターン者		
				前住所地	家族構成	勤務先
改修	大坪町	500	改修 ガス給湯器、雨樋取替、 居室のクロス張替等	川崎市	30代 男性 (単身)	アプリ開 発会社 (市内)
改修	大坪町	500	改修 システムバス改修	千葉市	20代 女性 (単身)	半導体関 連企業 (市内)
改修	二里町 大里	338	改修 サッシ取替工事等	福岡市	60代 男性 (単身)	無職
解体・ 新築	二里町 大里	1,233	解体・新築 実家の離れを解体・新築	武雄市	4人世帯 本人 妻 保育園児 2人	社会保険 労務士法 人 (市内)
合 計		2,571	実家に帰ろう住宅改修等補助金 実家改修補助 3件 実家解体・新築補助 1件			

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	08	土木費	項	06	住宅費	目	02	住宅建設費
事務事業名	01	市営住宅改修事業（社会資本整備総合交付金）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 施設営繕課			施 策		20	住宅施策の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
58,779	56,575	26,828	28,500		1,247	2,204	P. 300	

【令和4年度における事務事業の概要】

伊万里市公営住宅等長寿命化計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用しながら老朽化が進んだ市営住宅を改修し、市営住宅の長寿命化を図りました。

【令和4年度における事務事業の成果】

立花市営住宅と大久保市営住宅の改修を行うことにより、建物の長寿命化を図ることができました。

また、大坪市営住宅の改修工事に係る実施設計を行い、居住環境の改善等に向けて事業の進捗を図ることができました。

(千円)

市営住宅	事業費	事業内容
立花市営住宅	15,628	排水管改修工事 屋外埋設部の排水管の更新
大久保市営住宅	38,924	排水管及びガス管改修工事 屋外埋設部の排水管及びガス管の更新
大坪市営住宅	1,610	給水管・排水管・ガス管・浴室改修実施設計 建物内外及び屋外埋設部の給水管・排水管・ガス管の更新、及び浴室改修のための実施設計
その他	413	公用車等に係る費用
合 計	56,575	

【立花市営住宅】



【大久保市営住宅】



【大坪市営住宅】



款	08	土木費	項	06	住宅費	目	02	住宅建設費
事務事業名	02	一般住宅耐震改修等促進事業			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課			施策		20	住宅施策の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
900	898	673			225	2	P. 302	

【令和4年度における事務事業の概要】

平成17年11月に建築物の耐震改修の促進に関する法律が一部改正されたことにより、平成19年3月に佐賀県耐震改修促進計画が策定され、また、平成25年5月に同法律が一部改正されたことにより、平成30年3月に伊万里市耐震改修促進計画を策定しました。

これに基づき、住宅の耐震化等を推進することを目的として、建築基準法の旧耐震基準(昭和56年5月31日)以前に建てられた木造一戸建て住宅の耐震性を確認する耐震診断を実施するための登録建築士を派遣しました。また、既存耐震不適格建築物である一戸建て住宅等に対する耐震改修工事や避難道路沿いに存する地震等で倒壊の危険性があるブロック塀等の撤去を実施するための耐震改修事業費について、住宅・建築物の所有者に直接的な補助を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

木造一戸建ての耐震診断派遣事業として、7件の診断を実施しました。また、避難道路沿いに存するブロック塀3件に対して、撤去費用の補助を行い、住民の安全と安心を確保することができました。

決算額内訳 (千円)

費 目	事 業 費	事 業 内 容
委託料	640	木造住宅耐震診断派遣事業業務委託料 耐震診断 7件(図面なし5件、図面あり2件)
負担金、補助 及び交付金	258	耐震改修事業費補助金 耐震改修費用補助 0件 0円 ブロック塀等撤去補助 3件 258,000円
合 計	898	

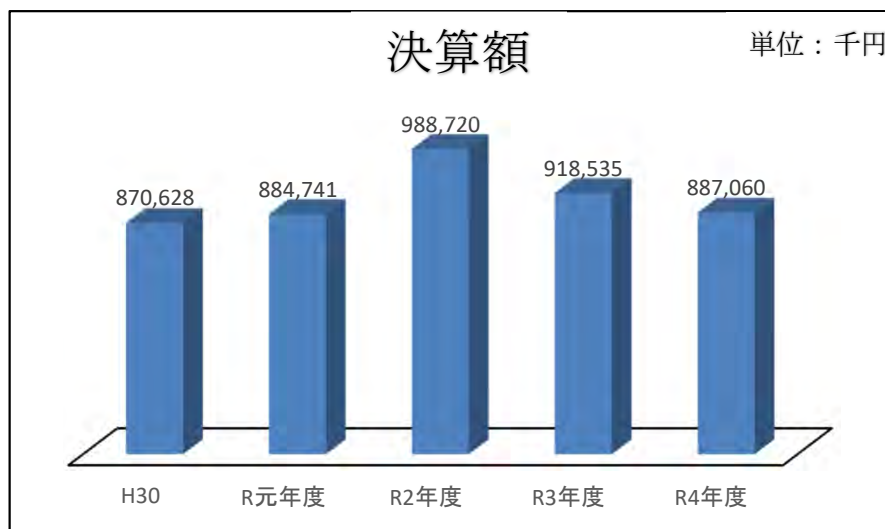
過去の実績

区 分	H29	H30	R元	R2	R3
耐震診断補助	10件	8件	1件	3件	2件
耐震改修費用 補助	1件	0件	0件	0件	1件
ブロック塀等 撤去補助	0件	0件	0件	1件	2件

款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費
事務事業名	01	伊万里・有田消防組合運営負担金			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		総務部 消防調整課			施策	22		防災体制の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
887,060	887,060					887,060	0	P. 302

【令和4年度における事務事業の概要】

市民が安全・安心に暮らせるまちづくりを推進するために、火災予防や消火、救急、救助活動などの消防事務を行っている伊万里・有田消防組合に対し、その運営経費に係る負担金を支出しました。



【令和4年度における事務事業の成果】

伊万里・有田消防組合において、市内で発生した各種災害に迅速に対応し、市民の安全・安心の確保に貢献することができました。



感染防止対策施設整備事業として実施された伊万里消防署の増築工事

款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費
事務事業名	02	佐賀県防災航空隊運営負担金			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		総務部 消防調整課			施策	22		防災体制の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
3,835		3,786				3,786	49	P. 302

【令和4年度における事務事業の概要】

消防組織法第30条により、県は市町の長の要請に応じ、航空機を用いて市町の消防を支援するために佐賀県防災航空隊を設置し、各消防本部から派遣されている職員を隊員として充てています。その人件費に相当する額を県内20市町が定められた負担割合に基づき支出しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

佐賀県防災航空隊に係る市町負担金を負担し、市民の安全・安心の確保に貢献することができました。



佐賀県消防防災ヘリ「かちどき」

款	09	消防費	項	01	消防費	目	02	非常備消防費
事務事業名	01	消防団運営事業			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		総務部 消防調整課			施策	22		防災体制の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
78,203	76,470	49,530			20,317	6,623	1,733	P. 302

【令和4年度における事務事業の概要】

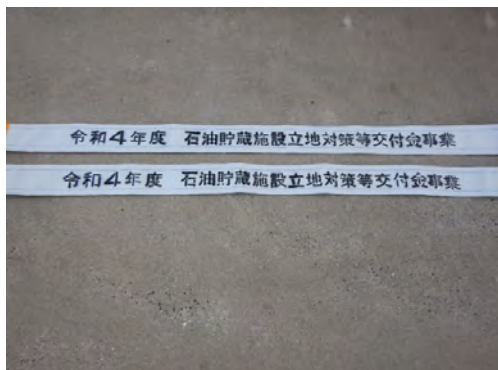
大規模複雑化、多様化する災害に対応する非常備消防組織としての役割を果たす消防団が、現場活動に必要な装備品の整備と併せて、団員の福利厚生の実現を図ることで、消防団の円滑な活動・運営の環境づくりを行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

消防団の装備品として、消防用ホース134本及び雨衣83着を整備し、円滑な現場活動及び団員の安全な活動のためのサポートをすることができました。また、消防団員の福利厚生のため、消防団員報酬及び出動報償金の個人支給を行うとともに、消防団員退職報償金掛金、佐賀県市町総合事務組合消防補償事務負担金及び消防団員福祉共済制度加入補助金を支出し、福利厚生を充実させることができました。

・消防団員報酬	11,905,333円
・出動報償金	3,336,000円
・消防用ホース等	4,586,120円
・消防団員退職報償金掛金	17,817,600円
・佐賀県市町総合事務組合消防補償事務負担金	2,986,760円
・消防団員福祉共済制度加入補助金	899,000円
・消防団運営交付金等	5,959,000円
・その他	28,980,187円
合計	76,470,000円

※決算額は総務課人件費2,024千円を含みます。



款	09	消防費	項	01	消防費	目	02	非常備消防費
事務事業名	02	消防団車両管理事業			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	総務部 消防調整課			施策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
16,366	16,268		15,700		568	98	P. 304	

【令和4年度における事務事業の概要】

消防団活動を充実させるため、経年により劣化が見られる小型動力ポンプ付積載車を年次計画に基づいて更新整備しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

小型動力ポンプ付積載車2台を更新整備したことにより、消防団の災害現場に対する活動能力を向上することができました。



東山代分団第2部

波多津分団第2部

款	09	消防費	項	01	消防費	目	02	非常備消防費
事務事業名	03	消防団施設整備支援事業			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	総務部 消防調整課				施策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 304	
3,405	3,405				3,405	0		

【令和4年度における事務事業の概要】

消防団施設の整備、強化促進を図るため、行政区が所有する小型動力ポンプ積載車格納庫の新設及び補修に要する経費に対して補助金を交付しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

行政区が所有する消防団施設の新設及び補修に要する経費を補助したことにより、消防団施設を早急に整備することができました。

- ①小型動力ポンプ積載車格納庫新設費補助
 - ・伊万里町立町区（伊万里分団第6部）1,500,000円 ※部の再編・統合により50万円引上げ
 - ②小型動力ポンプ積載車格納庫補修費補助
 - ・波多津町井野尾区（波多津分団第5部）161,000円
 - ③小型動力ポンプ積載車格納庫補修費補助
 - ・波多津町木場区（波多津分団第7部）244,000円
 - ④小型動力ポンプ積載車格納庫新設費補助
 - ・南波多町水留区（南波多分団第5部）1,500,000円 ※部の再編・統合により50万円引上げ
- 3,405,000円

過去5年間の補助事業の件数

		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
件数		1件	2件	3件	1件	4件
内 訳	新設	0件	1件	0件	0件	2件
	補修	1件	1件	3件	1件	2件

款	09	消防費	項	01	消防費	目	03	消防施設費
事務事業名	01	消防用設備管理事業			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	総務部 消防調整課			施策		22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
9,877	8,633				8,633	1,244	P. 306	

【令和4年度における事務事業の概要】

消防用設備の整備、強化促進を図るため、老朽化した防火水槽、消火栓の改修を行いました。また、行政区が所有する防火水槽の補修費に対して補助金を交付しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

防火水槽、消火栓の改修を行うと共に、行政区が所有する防火水槽の補修に要する経費を補助したことにより消防用設備を整備したことで、有事の際には迅速かつ効果的な活動ができる環境を構築することができました。

○有蓋防火水槽改修工事	2,297,900円
○その他（消防水利維持管理用原材料費等）	43,905円
○消火栓工事負担金	3,532,100円
○防火水槽補修費補助 （東山代町大久保区、波多津町辻区・中山区、黒川町干潟区、 大川町戸石川区、二里町中田区）	2,759,000円
合計	8,632,905円

過去5年間の補助事業の件数

		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
件数		2件	5件	1件	3件	6件
内 訳	新設	0件	0件	0件	0件	0件
	補修	2件	5件	1件	3件	6件

款	09	消防費	項	01	消防費	目	05	災害対策費
事務事業名	02	防災活動事業				6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり
担当部課	総務部 防災危機管理課			施策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 306	
7,803	6,075	368			5,707	1,728		

【令和4年度における事務事業の概要】

伊万里市地域防災計画に基づき、国や県など関係機関との連携を図り、防災体制の充実に取り組みました。

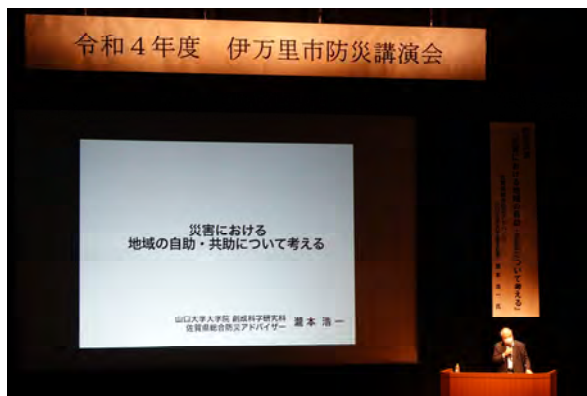
【令和4年度における事務事業の成果】

自然災害の対策については、国の防災基本計画、県の防災計画の修正を踏まえた上で伊万里市地域防災計画の修正を行いました。

地区防災会活動の活性化と防災委員の防災意識の向上を図るため、佐賀地方気象台や佐賀県総合防災アドバイザーを招いて防災講演会を開催しました。

また、土砂災害警戒区域や浸水想定区域、地区で把握されている危険箇所などを網羅した「わがまち・わが家の防災マップ」を最新の情報に更新し、令和5年3月に全戸配布しました。

原子力災害の対策については、佐賀県原子力防災訓練において、武雄市への住民避難訓練等を実施し、関係機関の相互連携の強化と住民の防災意識の啓発に努めました。



・防災講演会の講演の様子



・防災講演会の会場の様子



・原子力防災訓練の一般住民避難訓練の様子



・放射線の基礎知識についての講演の様子

款	09	消防費	項	01	消防費	目	05	災害対策費
事務事業名	03	防災行政無線施設管理事業	6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり			
担当部課	総務部 防災危機管理課		施策	22	防災体制の整備			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
17,951	17,820	17,153			667	131	P. 308	

【令和4年度における事務事業の概要】

災害時や緊急時に市民へ情報を迅速に伝達する防災行政無線施設の維持管理を行いました。

【市役所親局】



操作卓



J-ALERT
(全国瞬時警報システム)

【屋外拡声子局】



【令和4年度における事務事業の成果】

防災行政無線の適切な維持管理をはじめ、関係するシステム等の適切な運用を行い、防災体制の充実に努めることができました。

1. 委託料
保守点検業務委託、戸別受信機設置業務委託
2. 電気料
181局の電気料（中継局 1局、再送信局 2局、屋外拡声子局 178局）
3. ASP利用料
防災行政無線やJアラートと防災ネットあんあん、緊急速報メール、市ホームページ、ケーブルテレビ、電話・FAX配信サービス、職員・駐在員連絡メールシステムを連携するための利用料
4. IP無線機利用料
市役所と町コミュニティセンター（波多津、南波多、大川、松浦）の停電時における連絡用無線機の回線利用料
5. 防災ネットあんあん利用料
佐賀県が運用する防災ネットあんあんの県内市町が負担する利用料
6. 防災行政無線（固定局）電波利用料
親局 1局、中継局 1局、再送信局 2局、可搬型親局 1局 の電波利用料
7. 簡易無線局電波利用料
市役所と地区・町コミュニティセンター（伊万里、牧島、大坪、立花、大川内、黒川、二里、東山代、山代）間の停電時における連絡用無線機の電波利用料

款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費
事務事業名	03	いじめ・教育相談事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課			施 策		07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
4,705	4,339	1,172			3,167	366	P. 314	

【令和4年度における事務事業の概要】

平成27年3月の伊万里市いじめの防止等に関する条例制定に伴い、いじめ防止対策を実効的に行うための専門機関として、市に伊万里市いじめ問題対策委員会を、全学校にいじめ対策委員会を設置しています。

教育相談の専門的な知識や経験を有するスクールカウンセラー3名を拠点校に配置し、全小学校で巡回相談を行っており、不登校やいじめなど子どもや保護者が抱える悩みについての相談や診断等の適切なカウンセリングを行いました。

令和4年度は1日4～8時間、1か月に1～3日程度実施しました。

必要に応じ、いじめ防止等緊急スクールカウンセラーを派遣する等の支援を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

カウンセラーの助言を受けたことで学校に登校できるようになったなど、児童や保護者などの抱える問題を改善することができました。

○拠点校：伊万里小、大坪小、二里小学校

・相談件数：461件

・相談人数：延べ 624人

また、些細なことでも早い段階から対応を行い、いじめに対して適切な指導をしたことで、解消に向かった事例もありました。

市いじめ問題対策委員会では、実際にあつたいじめの事例を共有するなど、児童生徒が安心して生活し、健やかに成長することができる環境づくりに努めるとともに、諮問事案について審議を行いました。

【スクールカウンセラー年度別相談件数】

年 度	相談件数
平成29年度	869件
平成30年度	456件
令和元年度	459件
令和2年度	458件
令和3年度	408件
令和4年度	461件

款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費
事務事業名	04	教育研究事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課			施策	07	学校教育の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
4,759	4,002			2,400	1,602	757	P. 314	

【令和4年度における事務事業の概要】

児童生徒の基礎学力の定着・向上と教員の指導力の向上を図るため及び人権同和問題の啓発を行うために事業委託を行うとともに、小中連携による学力向上や帰国・外国人児童生徒に対する支援について、県からの委託を受け、事業を実施しました。

また、市内小学生を対象にプログラミングコンテスト、中学生を対象にしたプログラミングワークショップ、及び中学・高校生向けの無料プログラミングスクール「伊万里プログラミングスクール」を開催しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

各教科ごとに部会を設置し各教科・領域の研究や指導方法・指導技術の開発、改善等を行うとともに、人権・同和教育に係る研修会等の実施を行いました。

国見中学校区において小中連携による学力向上事業を行いました。

プログラミングコンテストについては、小学生3人の応募があり11月23日に表彰式を行いました。

プログラミングワークショップについては、新型コロナウイルス感染症対策のため中学校1校及び教育支援センターせいらでの実施となりましたが、ロボットをつかったワークショップを開催しました。

市在住の中学生・高校生を対象にした伊万里プログラミングスクールでは、WEBプログラミングコースとスマホアプリプログラミングコースの二つのコースでそれぞれ各12回開催しました。

WEBプログラミングコースでは、延べ44人の参加者が基礎知識を身につけ、WEBサイトの作成を実施しました。

スマホアプリプログラミングコースでは、延べ65人の参加者がスマホアプリの作成までの流れを学び、実際にアプリの開発に取り組みました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費
事務事業名	07	教科書購入事業				6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 学校教育課			施 策		07	学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
9,229	8,151				8,000	151	1,078	P. 314

【令和4年度における事務事業の概要】

令和4年度は、小学校の国語・算数・社会・理科の4教科、中学校の国語・数学・社会・理科のデジタル教科書を購入するとともに、特別支援学級で使用される教員用教科書の購入を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

デジタル教科書を主要教科で整備し、児童生徒の学習への興味や関心を高め、多くの資料や情報を素早く提供できるようになったことで、その学力向上を図るとともに、電子黒板を効果的に活用することができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費
事務事業名	08	学びの保障対策事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課			施 策	07	学校教育の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
21,221	21,220	2,940		18,200	80	1	P. 316	

【令和4年度における事務事業の概要】

ICT支援員を5名配置し、1人1台端末を活用した授業やオンライン授業などを行うため教職員のICT活用支援を行いました。また、使用される端末の故障等の対応に関する支援を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

ICT活用支援、ICT機器のトラブル対応、教職員向けの研修等を行うことにより、授業における1人1台端末を活用したICT環境の活用推進を図ることができました。

また、コロナ禍における非常時の学びの保障として、オンライン授業の推進ができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費
事務事業名	10	公立幼稚園運営交付金事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 教育総務課				施 策	07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
104	102				102	2	P. 316	

【令和4年度における事務事業の概要】

公立幼稚園長の裁量による特色ある幼児教育を推進するとともに、幼稚園で発生する様々な課題に迅速に対応するため、黒川幼稚園に対し、交付金を交付しました。

- ・基礎配分額 100,000円
 - ・比例配分額 2,000円
- (令和4年4月1日現在の園児数8人×240円=1,920円。千円未満の端数は切り上げる。)

【令和4年度における事務事業の成果】

交付金を活用し、子どもや地域の特徴に応じた幼児教育を推進することができ、幼児の豊かな心の醸成と健康な体を育成することができました。

- ・リズム遊び 7回
- ・お話どんぐりさんコンサート 1回
- ・卒園小学生との交流会 1回
- ・老人会との交流会 1回
- ・クリスマス会交流 1回
- ・家読の推進等

(黒川幼稚園での様子)



款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費
事務事業名	13	私立高等学校物価高騰対策 支援事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課		教育委員会 学校教育課			施 策	07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
2,320	2,320				2,300	20	0	P. 316

【令和4年度における事務事業の概要】

エネルギー価格等の物価高騰の影響を受けた市内の私立高等学校に対し、運営に係る経費の物価高騰分に対し補助を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

市内の私立高等学校1校に対し、運営に係る経費のうち「電気」、「ガス」、「燃料」に係る令和4年度の事業費に対し、令和3年度からの伸び率を乗じた物価上昇分について補助を行うなど、学校運営に対する支援ができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
事務事業名	01	小学校管理事業				6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課	教育委員会 教育総務課			施 策		07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
197,537	191,470		39,900	1,324	150,246	6,067	P. 316	

【令和4年度における事務事業の概要】

小学校13校及び義務教育学校（前期）1校において、児童の安全の確保と良好な学習環境を維持するため、日常的な施設の維持管理に要する経費と学校運営に必要な備品等の整備費用として191,470千円を支出しました。

令和4年5月1日現在

学校名	児童数	学級数	学校名	児童数	学級数	学校名	児童数	学級数
伊万里小	533	25	黒川小	110	8	二里小	230	14
牧島小	65	6	波多津小	85	8	東山代小	383	17
大坪小	501	24	南波多郷学館 (前期課程)	108	8	山代東小	132	9
立花小	554	23	大川小	115	8	山代西小	46	5
大川内小	91	8	松浦小	104	8	合 計	3,057	171

【令和4年度における事務事業の成果】

各学校施設の適正な維持・管理をはじめ、教材備品、図書備品等の購入・充実により、児童の安心・安全の確保と、学習環境の維持に努めることができました。

また、牧島小学校及び大坪小学校の校舎屋根の防水工事を行い、雨漏りを解消いたしました。

※決算額は、総務課人件費等18,322千円を含みます。

【主な工事】

- ・牧島小、大坪小屋上防水改修工事
- ・プールろ過装置改修工事
- ・小中学校消防用設備改修工事

大坪小 屋上防水改修工事



款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	01	小学校遠距離児童通学支援事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 学校教育課			施策	07		学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
39,137		37,408				37,408	1,729	P. 320

【令和4年度における事務事業の概要】

通学距離4Km以上の児童及び学校統合により遠距離通学となった児童に対し、定期券などの通学費の補助を行いました。

また、黒川小学校と波多津小学校にスクールバス、南波多郷学館に通学用タクシーをそれぞれ運行しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

通学距離4Km以上及び学校統合により遠距離通学となる児童23名に対して定期券・ガソリン代を補助したほか、児童123名に対してスクールバス・タクシーの運行を通じて、通学に係る費用の保護者の負担の軽減を図ることができました。



款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	03	小学校要保護・準要保護児童就学援助事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 学校教育課			施策	07		学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
23,371		20,333	25			20,308	3,038	P. 320

【令和4年度における事務事業の概要】

経済的理由により就学困難な児童の保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行等の経費の一部を援助しました。
また、令和5年度入学者（新1年生）の保護者へ、入学前に新入学学用品費の支給を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

要保護児童16名、準要保護児童394名（うち48名は令和5年度入学者）へ就学に係る費用の一部を援助することで、保護者の経済的負担を軽減し、就学機会を確保することができました。

小学校就学援助率 (準要保護)	H29	H30	R元	R2	R3	R4
割合 (%)	9.83	9.68	9.93	9.70	10.79	11.29
伊万里市の就学援助 受給者数 (人)	317	314	319	308	342	345
児童数 (人)	3,224	3,244	3,214	3,176	3,171	3,057

新入学学用品費対象者及び市外学校除く

※年度末時点の人数

※市外1名

款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	04	小学校パソコン管理事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 学校教育課			施 策	07		学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
55,206	52,368				500	51,868	2,838	P. 320

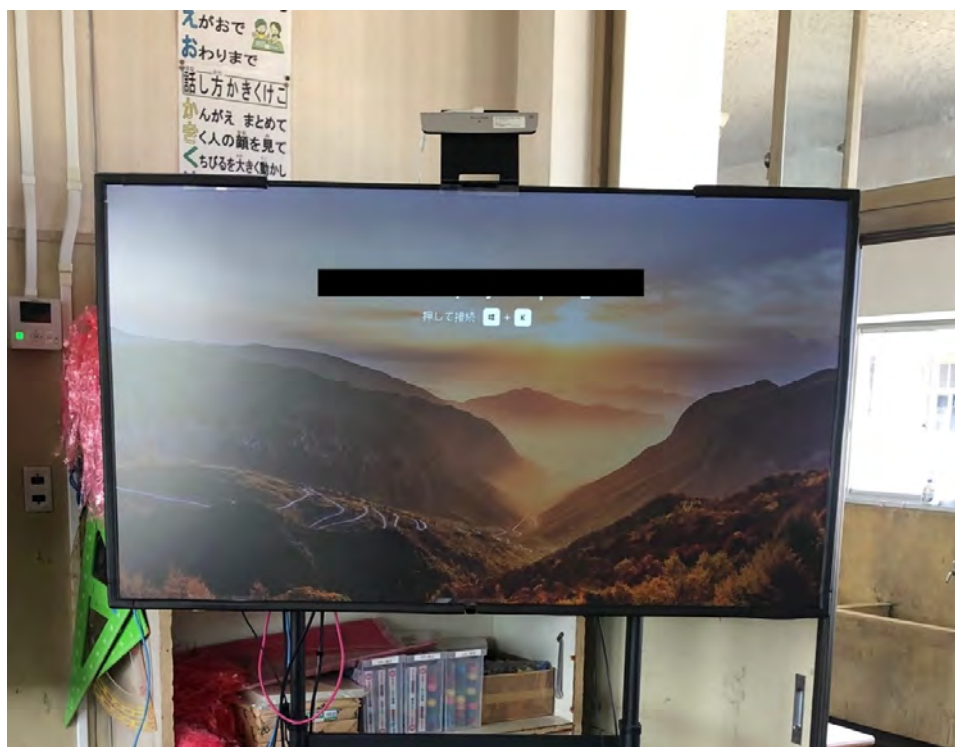
【令和4年度における事務事業の概要】

情報化社会に対応する能力を養うために、タブレットパソコンや電子黒板等のICT機器の整備、教職員の校務処理に必要な校務用パソコンの整備を行いました。
令和4年度は、校務用パソコン、校務用サーバー及び学校の教室で使用する電子黒板の整備を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

経年劣化した電子黒板等を更新することで、学習指導要領で目標とされるICT機器を整備し、児童生徒の学習活動の充実を図るとともに、教職員の業務負担軽減を図ることができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	02	小学校費	目	03	学校建設費
事務事業名	01	東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業		6つのまちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 教育総務課			施策		07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財源内訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
31,448	31,378			28,300	3,078	0	70	P. 320

【令和4年度における事務事業の概要】

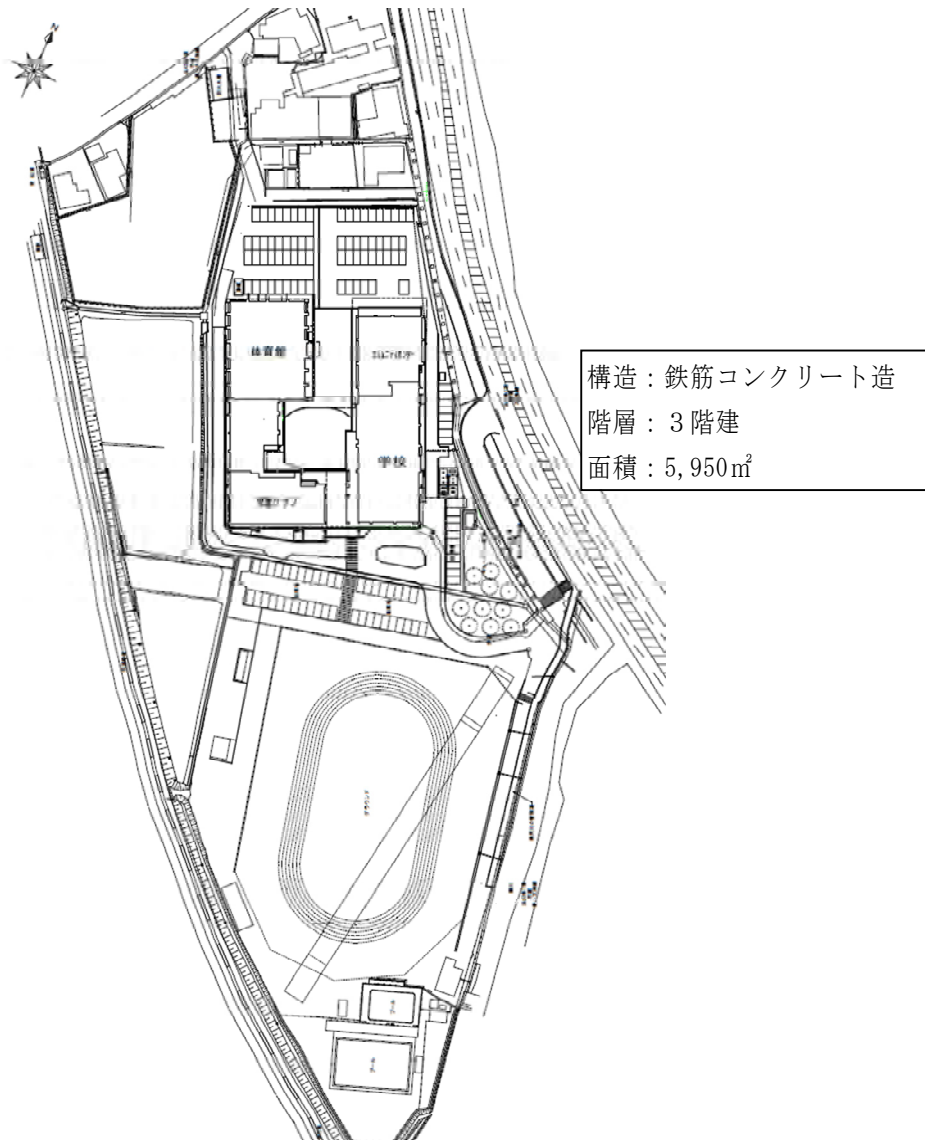
老朽化した東山代小学校、東山代児童クラブ及び東山代コミュニティセンターの3施設を複合施設として整備するため、実施設計を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

令和3年度に、2ヵ年の継続事業として基本・実施設計業務を発注し、令和4年度は実施設計を完了いたしました。

※財源内訳の「その他」は、公共施設整備基金繰入金

◆東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設 計画配置図



款	10	教育費	項	03	中学校費	目	01	学校管理費
事務事業名	01	中学校管理事業				6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課	教育委員会 教育総務課			施 策		07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳					不用額 (千円)	決算書
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
128,826	124,927			758	124,169	3,899	P. 320	

【令和4年度における事務事業の概要】

中学校6校及び義務教育学校（後期）1校において、生徒の安全の確保と良好な学習環境を維持するため、日常的な施設の維持管理に要する経費と学校運営に必要な備品等の整備費用として124,927千円を支出しました。

令和4年5月1日現在

学校名	生徒数	学級数	学校名	生徒数	学級数
伊万里中	543	24	東陵中	98	5
啓成中	286	12	国見中	324	13
青嶺中	100	5	山代中	99	5
南波多郷学館 (後期課程)	71	5	合 計	1,521	69

【令和4年度における事務事業の成果】

各学校施設の適正な維持・管理をはじめ、教材備品、図書備品等の購入・充実により、児童の安心・安全の確保と、学習環境の維持に努めることができました。

また、トイレの洋式化率が低い啓成中学校、東陵中学校及び山代中学校においてトイレの洋式化工事を行いました。

※決算額は、総務課人件費等37,485千円を含みます。

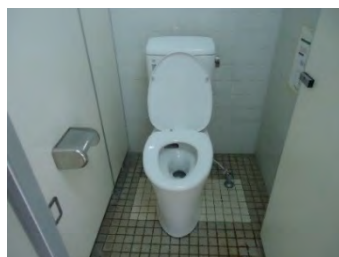
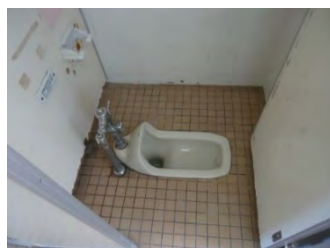
【主な工事】

- ・啓成中、東陵中、山代中トイレ洋式化改修工事
- ・山代中学校プール附属棟解体工事
- ・プールろ過装置改修工事

山代中プール附属棟解体



トイレの洋式化



款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	01	中学校遠距離生徒通学支援事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 学校教育課			施策	07		学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
24,232		20,979				20,979	3,253	P. 324

【令和4年度における事務事業の概要】

通学距離6Km以上の生徒及び学校統合により遠距離通学となった生徒に対し、定期券等の通学費の補助を行うとともに、青嶺中学校にスクールバス、東陵中学校と国見中学校に通学用タクシーをそれぞれ運行しました。

また、自転車通学を行う要保護及び準要保護生徒に対し、ヘルメット購入に係る費用を補助しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

通学距離6Km以上及び学校統合により遠距離通学となる生徒10名に対して定期券・ガソリン代・自転車購入費を補助したほか、生徒41名に対してスクールバス・タクシーの運行を通じて、通学に係る費用の負担軽減を図ることができました。

また、自転車通学を行う要保護及び準用保護生徒12名に対し、ヘルメット購入に係る費用の補助を行い、通学に係る費用の保護者の負担の軽減を図ることができました。



款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	03	中学校要保護・準要保護生徒就学援助事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 学校教育課			施策	07		学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
22,737	19,643	45				19,598	3,094	P. 324

【令和4年度における事務事業の概要】

経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行等の経費の一部を援助しました。
また、令和5年度入学者（新1年生）の保護者へ、入学前に新入学学用品費の支給を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

要保護生徒9名、準要保護生徒262名（うち57名は令和5年度入学者）へ就学に係る費用の一部を援助することで、保護者の経済的負担を軽減し、就学機会を確保することができた。

中学校就学援助率 (準要保護)	H29	H30	R元	R2	R3	R4
割合 (%)	14.27	14.19	14.58	13.28	14.00	13.41
伊万里市の就学援助 受給者数 (人)	217	203	209	192	208	204
児童数 (人)	1,521	1,431	1,433	1,446	1,486	1,521

新入学学用品費対象者及び市外学校除く

※年度末時点の人数

※市外3名

款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	04	中学校パソコン管理事業				6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 学校教育課				施 策	07	学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
32,052	30,561				100	30,461	1,491	P. 324

【令和4年度における事務事業の概要】

情報化社会に対応する能力を養うために、タブレットパソコンや電子黒板等のICT機器の整備、教職員の校務処理に必要な校務用パソコンの整備を行いました。
令和4年度は、校務用パソコン、工務用サーバー及び学校の教室で使用する電子黒板の整備を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

経年劣化した電子黒板・サーバーを更新することで、学習指導要領で目標とされるICT機器を整備し、児童生徒の学習活動の充実を図るとともに、教職員の業務負担軽減を図ることができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	03	中学校費	目	03	学校建設費
事務事業名	01	中学校建設事業				6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 教育総務課				施 策	07	学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
503,254	503,246	137,057	311,000	55,189	0	8	P. 326	

【令和4年度における事務事業の概要】

伊万里中学校の耐震化に伴う校舎の全面的な改築工事を令和元年度から令和4年度まで4ヵ年の継続事業として実施しました。

《工事概要》

- ・鉄筋コンクリート造 4階建て
- ・校舎面積 6,798㎡
- ・工事期間 令和元年9月～令和4年11月

第一期工事 管理・普通教室棟

第二期工事 特別教室棟（体育館床改修、連絡橋含む。）

工事名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
①新校舎南側工区				
②既存3棟舎解体				
③新校舎北側工区				
④既存1・2棟舎解体				

【令和4年度における事務事業の成果】

校舎改築工事において、令和4年度は特別教室棟が完成し、既存の校舎解体を行いました。令和元年度から着工した校舎改築の全工事を完了いたしました。

※不用額は、継続費逡次繰越2千円を含みます。

※財源内訳の「その他」は、公共施設整備基金繰入金



校舎完成

工 事 年度割	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	9%	36%	36%	19%

款	10	教育費	項	04	幼稚園費	目	01	幼稚園費
事務事業名	01	公立幼稚園管理運営事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 教育総務課			施策	07	学校教育の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 326	
26,082	23,934			95	23,839	2,148		

【令和4年度における事務事業の概要】

黒川幼稚園では、集団生活や自然体験等を取り入れるなど、幼児が身近な人たちとの関わりを深め、愛情や信頼感を育むための教育を進めるとともに、放課後や長期休業中の預かり保育事業、入園児副食費助成を実施するなど、保護者の子育て支援に努めました。また、令和4年度末の閉園に向け、黒川幼稚園閉園事業協議会へ補助金を支出しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

黒川幼稚園で9名の園児に幼稚園教育を実施し、幼稚園の運営・維持管理の経費として、23,304千円を支出し、幼児教育の推進と子育て支援に努めることができました。
また、黒川幼稚園閉園事業協議会へ、閉園に伴う記念事業の経費として630千円を支出し、令和4年度末に黒川幼稚園を閉園しました。

・令和4年度黒川幼稚園園児数

年齢	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
人数	1	1	1	6	9

- ・平常保育 月曜日から金曜日 9時から14時
- ・預かり保育 月曜日から金曜日 平日 14時から17時
長期休業 9時から17時
- ・預かり保育料 平日 1回400円、長期休業 1回500円
- ・預かり保育事業の利用者 8名
- ・入園児副食費助成金対象者 4名

※決算額は、総務課人件費等21,524千円を含みます。

(閉園式)



(除幕式)



款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	02	カブトガニ保護促進事業	6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり			
担当部課	教育委員会 生涯学習課		施策	12	文化財の保護			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,476	1,476			1,400	76	0	P. 328	

【令和4年度における事務事業の概要】

カブトガニの保護活動を充実させるため、その活動の拠点施設である「伊万里湾カブトガニの館」を運営する『牧島のカブトガニとホテルを育てる会』に対し、施設運営費の補助金として1,444千円を支出しました。

ほかに、カブトガニ研究調査業務委託として『佐賀県立伊万里高等学校理化・生物部』に対し16千円を、伊万里市カブトガニを守る会補助金として『伊万里市カブトガニを守る会』に対し16千円を支出しました。



伊万里湾カブトガニの館

【令和4年度における事務事業の成果】

令和4年度の伊万里湾カブトガニの館の入館者数は4,200名でした。コロナ禍の令和2年度を除く平成30年度から令和3年度（3年間）までの平均入館者数3,679名を超える入館者数となりました。また、新たな情報発信として令和3年3月末から始めた、インターネットによる水槽飼育カブトガニのライブ配信も引き続き行いました。

伊万里市カブトガニを守る会を中心に、カブトガニの産卵地清掃を行いました。守る会の会員だけでなく、民間企業などのボランティアからの参加を含め、延べ62名の参加者がありました。今回の清掃では、2トントラック2台分のゴミを回収することができました。

「カブトガニの産卵を観る会」を開催し、約70名の参加者がありました。当日は、伊万里高校理化・生物部によるカブトガニの解説が行われ、参加者の方々は興味深げに耳を傾けていました。また、産卵を観る会と同日に、カブトガニ増殖のために館や伊万里高校、牧島小学校で約1年間飼育した幼生3,130匹を約10年後、産卵に戻ってくることを願って放流を行いました。

カブトガニの産卵つがい数は、ここ数年600～700つがいの間を推移していましたが、令和3年度の1,512つがいに引き続き、通常の2倍以上の1,443つがいを確認しました。増加の理由は不明ですが、今までの海岸清掃活動や幼生の飼育放流などの保護活動成果の可能性も推察されます。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



「産卵を観る会」の状況



「幼生放流」の状況

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	05	市美術展開催事業			6つのまちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策		10	文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
137		137				137	0	P. 330

【令和4年度における事務事業の概要】

市民や市内クラブに所属している人等から創作意欲に溢れる作品を公募し、絵画、書、写真・工芸の部門別に「伊万里市美術展」を開催しました。

- 主催：市美術展実行委員会（絵画2人、書5人、写真1人、工芸3人、計11人で組織）
市教育委員会
- 会場：市民図書館

【令和4年度における事務事業の成果】

令和3年度に続き市民図書館で開催し、感染対策のため作品の解説や席書会は見合わせましたが、作品発表の場を提供するとともに、市民に美術鑑賞の機会を提供し、市民参加型の文化芸術の振興を図ることができました。

- 部門ごとの開催期日、出品数
 - ・前期（8/23～8/28）：書 出品数 201点（一般31点、小中学生170点）
 - ・中期（9/ 6～9/11）：写真・工芸 出品数 写真 45点・工芸 42点
 - ・後期（9/13～9/18）：絵画 出品数 45点
- ※会場の都合により出品点数や規格を変更した。
- 出品者数：262人
- 入場者数：延べ約952人

過去の部門別出品点数

部門	絵画	書（一般）	書（学生）	写真	工芸	計	出品者数
H28	54	57	195	74	41	421	327
H29	60	70	220	72	37	459	354
H30	57	65	251	65	42	480	377
R元	47	66	250	70	46	479	379
R3	52	49	196	45	41	383	314

※R2年度は中止

年度別入場者数

年度	H27	H28	H29	H30	R元	R3
人数	1, 182	1, 284	1, 244	1, 333	1, 481	1, 071

※R2年度は中止

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	08	同和問題講演会開催事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施 策	11		人権教育と啓発の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
516	401	378				23	115	P. 330

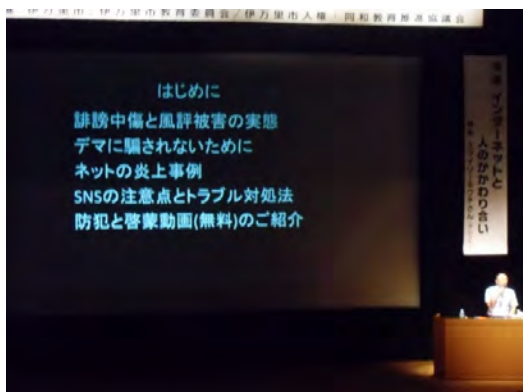
【令和4年度における事務事業の概要】

同和問題に対する市民の意識高揚を図るため、8月の同和問題啓発強調月間において同和問題講演会を開催しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しながら同和問題講演会を実施し、市民への同和教育の推進・向上に努めることができました。

- 期 日 令和4年8月30日（火）
- 会 場 市民センター文化ホール
- 講 師 タレント スマイリーキクチ 氏
- 参加者 160人



同和問題講演会の様子

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	09	同和教育集会所管理運営事業			6つのまちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策		11	人権教育と啓発の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
2,140	2,110	542				1,568	30	P. 332

【令和4年度における事務事業の概要】

同和問題解決の拠点施設である同和教育集会所の管理運営を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しながら人権啓発交流事業「粘土教室」「料理教室」を実施するなど、市民への同和教育の推進・向上に努めることができました。

	施設利用者数
平成30年度	806
令和元年度	784
令和2年度	636
令和3年度	635
令和4年度	647



粘土教室



同和問題研修



料理教室

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	11	社会人権・同和教育団体支援事業	6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり			
担当部課	教育委員会 生涯学習課		施策	11	人権教育と啓発の推進			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,440	1,440	480			960	0	P. 332	

【令和4年度における事務事業の概要】

同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の早期解決を図るため、「市人権・同和教育推進協議会」と協働し、地域に密着した教育・啓発を実施しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

各種研修講座を開催し、市民の人権意識の向上に努めることができました。
特に、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮した新たなスタイルの住民啓発として、職員出演・制作によるオリジナル人権啓発動画「じんけんかわらばん」をYouTubeで配信したことで、これまでの課題であった若い世代への啓発を促進することができました。

事業名	実施回数	参加者数
指導者育成講座	5	96
地区巡回講座	31	735
PTA等研修講座	16	703
企業・事業所研修講座	14	1,721
住民啓発事業	81	1,563
啓発動画じんけんかわらばん	4	3,306
計	151	8,124

※動画視聴回数（令和3年度以前に配信した動画の令和4年度中の視聴回数を含む）



PTA研修



幼稚園保護者研修

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費	
事務事業名	14	放課後子ども教室開催事業			6つのまちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策		09	青少年の健全育成の推進	
予算現額 (千円)	594	決算額 (千円)	402	財 源 内 訳			不用額 (千円)	192	決算書 P. 334
				国・県支出金	268	地方債		その他	
						一般財源	134		

【令和4年度における事務事業の概要】

地域住民等の協力・参画を得ながら、文化・芸術の分野ではミニ門松づくりや書き方教室のほか茶道教室など、スポーツの分野では陸上教室やバスケットボール教室など、様々な学習や体験、交流の機会を提供する「放課後子ども教室」を開催しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

子どもたちの社会性、自主性、創造性を育むとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、子どもたちが安心して過ごせる環境（居場所）づくりを推進することができました。

○実施教室数等

7コミュニティセンター7教室

○実施内容（参加子ども人数）

- ・伊万里地区 お菓子作り、ミニ門松作り、茶道体験、親子料理教室、ニュースポーツ体験（71人）
- ・牧島地区 陸上教室、ミニ門松作り（266人）
- ・大坪地区 親子で手づくり教室、チェス教室、留守家庭児童クラブ交流会（281人）
- ・立花地区 リズムダンス、書き方教室、茶道教室、鬼火たき（200人）
- ・大川内地区 茶道教室（106人）
- ・黒川地区 休日図書館（85人）
- ・山代地区 バスケットボール教室、料理教室、体験教室（229人）

○参加子ども人数

延べ 1,238人



体験教室（山代）



料理教室（山代）

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	15	地域学校協働活動推進事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 生涯学習課			施 策		09	青少年の健全育成の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
537	162	106			56	375	P. 334	

【令和4年度における事務事業の概要】

地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに「学校を核とした地域づくり」を目指し、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う「地域学校協働活動」を円滑に進めるため、「地域学校協働活動推進員」を全小学校区に配置しました。

- 地域学校協働活動推進員
14名（小学校毎に1名）
- 地域学校協働活動推進員協議会
R4.7.21開催

【令和4年度における事務事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、行事が中止になるなど、地域と学校をつなぐ活動が難しいところもありましたが、活動ができた小学校区では、学校と地域が相互に連携・協働し、「地域学校協働活動」を円滑に進めることができ、「学校を核とした地域づくり」を推進することができました。

- 活動実施小学校区数
14小学校区
- 地域学校協働活動推進員活動実績
計 154時間
- 主な活動内容
 - ・大坪小学校 : 朝の読み語り活動
 - ・南波多郷学館 : 南波多子ども教室（囲碁、絵手紙、お茶、折り紙、お花）、川柳教室、総合学習補助（地域訪問等）、登下校の見守り・交通教室
 - ・大川小学校 : JR筑肥線（肥前長野駅、大川野駅、駒鳴駅）、大川亀公園、各自治公民館の清掃活動
 - ・松浦小学校 : JR筑肥線（桃川駅、金石原駅）・桃川親水公園・自治公民館の清掃活動、総合学習補助（馬ン頭・桃川親水公園・町内神社についての学習）
 - ・山代東小学校 : 職業講話補助、地域サポーター募集事業、グラウンド整備、花いっぱい運動、人形石山地すべり災害の歴史講話補助
 - ・山代西小学校 : 日本の伝統楽器体験学習

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	16	市民音楽祭開催事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施 策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
100	100					100	0	P. 334

【令和4年度における事務事業の概要】

市内を中心に活動する団体が、合唱、吹奏楽やバイオリン、箏、ハーモニカなど多彩な演奏や歌を披露する「市民音楽祭」を開催しました。

- 主催：市民音楽祭実行委員会（歌・合唱団体3人、器楽・重奏団体3人、計6人で組織）
市教育委員会
- 会場：市民センター 文化ホール

【令和4年度における事務事業の成果】

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら2年ぶりに観客を入れた市民音楽祭を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、日頃の練習の成果を発表する場がなくなる中、「市民音楽祭」を開催したことにより、地域における芸術文化の継続や活動団体のモチベーションの維持につながりました。

- 期日：12月4日（日）
- 出演団体：17団体
- 出演者数：217人
- 参観者数：約220人
- 感染対策
 - ・距離を確保するため、客席の一部を使用禁止
 - ・演奏時間の短縮（R3年度と同様）
 - ・伊万里讃歌の全員合唱は省略
 - ・距離の確保、場内の換気等

過去の出演団体・出演者数

	出演団体	出演者数
H28	16	236
H29	19	270
H30	20	280
R元	23	343
R3	13	154



令和4年度の開催の様子

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	21	史跡大川内鍋島窯跡学術調査事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策	12	文化財の保護	
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,869	1,866	1,211			600	55	3	P. 336

【令和4年度における事務事業の概要】

大川内山にある史跡大川内鍋島窯跡の将来的な保存・整備・活用を図り、地域活性化に資するため、平成26年度から国県の補助金を活用し遺構の範囲や性格、歴史の変遷を確認する発掘調査を実施しています。

発掘調査対象として、史跡内にある日峯社下窯跡について、窯跡及び物原の基礎データを確認する調査を行っています。

令和2年度からは、今までの発掘調査成果をまとめる整理作業を行っており、4年度も整理作業を行いました。

また、令和5年3月6日に調査指導委員会会議を開催しました。



遺物出土位置図 作成風景

【令和4年度における事務事業の成果】

主に4次～8次調査分の整理作業として一般製品の接合、注記遺物の選別、注記を行いました。今回の整理作業により鍋島焼は、廃棄する際に意図的に破壊し広範囲に散布していたが、一般製品は、基本的には広範囲での廃棄はなかったことが分かりました。また、遺物の出土位置を明確にするための図面を作成しました。これらの成果は今後の史跡整備の基礎資料として活用します。

調査指導委員会会議では今回の調査結果をふまえて指導委員より指導を受け、令和5年度以降の調査内容について、詳細な検討を加えることができました。

指導委員からは主に、鍋島焼の失敗品の廃棄方法について、廃棄されるまでの一連の流れを検討する必要があること。出土遺物の傾向を確認する際は、有田などの一般の民窯と藩のお手伝い窯で焼成した製品の違いを確認する視点を加える必要がある。などの指導を受けました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



調査指導会議の状況



遺物実見の状況

款	01	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	22	腰岳遺跡群学術調査事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施 策	12	文化財の保護	
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
408	408	277				131	0	P. 336

【令和4年度における事務事業の概要】

日本有数の黒曜石原産地である腰岳の文化財的な保護を目的に令和4年度は腰岳遺跡群に関する資料収集と、過去に腰岳周辺で実施した調査記録を整理しました。また、第1回の有識者らによる調査指導会議を開催しました。

過去に実施した腰岳遺跡群及び隣接遺跡での調査記録を整理し、腰岳黒曜石に関する岩石学・地質学的調査報告書などの腰岳関連資料や、研究グループによる腰岳黒曜石の調査刊行物などを収集しました。また、過去の確認調査等で出土した未整理の遺物について、整理作業員による洗浄を行いました。

令和5年2月20日～21日の2日間、学識経験者5名を調査指導委員、文化庁調査官をオブザーバーとして、オンラインを含めた第1回の調査指導会議を開催しました。日程調整がつかなかった調査指導委員の長崎大学教育学部准教授 隅田祥光氏については、令和5年3月28日に長崎大学で調査指導を受けました。

【令和4年度における事務事業の成果】

過去に実施した調査記録の整理を行い、調査内容と遺物の整理状況を把握し、今後の調査方法の確認を行いました。

調査指導委員より、腰岳産黒曜石を解明するための調査方法や、保護に向けての指導助言を受けたことで、事業の方向性を示すことができました。また、大学が実施している分析方法や試料の取扱い方法等について実地にて指導を受け、今後の事業内容の充実化を図ることができました。



第1回調査指導会議



調査指導会議（オンライン状況）



腰岳視察



長崎大学での調査指導

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	02	青少年育成費
事務事業名	02	青少年相談事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策	09		青少年の健全育成の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,786		1,785				1,785	1	P. 338

【令和4年度における事務事業の概要】

青少年相談室を設置し、青少年や保護者等からの悩み事の相談に対応しました。

- 相談業務委託先：青少年なやみ相談つくしの会（教職経験者等7人）
- 開設日時：土・日・祝日、年末年始休日を除く、月曜日から金曜日の9:00～17:00

【令和4年度における事務事業の成果】

青少年や保護者等が抱える悩みに対して、相談者が気軽に来所または電話により相談できる体制・環境を整え、青少年センターの相談機能を充実させることができました。

- 年間相談件数：157件
- 青少年相談室案内カードの配付
小学4年生から中学3年生までの全児童、生徒

過去5年の相談件数

年 度	H29	H30	R元	R2	R3
件 数	155	100	46	153	111

相談内容の内訳

	学校生活	交友	問題行動	家庭生活	その他	計
R2	112	5	0	7	29	153
R3	10	16	0	5	80	111
R4	22	17	0	29	89	157

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	02	青少年育成費	
事務事業名	03	青少年育成市民会議支援事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策	09		青少年の健全育成の推進	
予算現額 (千円)	400	決算額 (千円)	400	財 源 内 訳				不用額 (千円)	0
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 338

【令和4年度における事務事業の概要】

市民が一丸となって次代を担う青少年の健全育成を図るために組織された「伊万里市青少年育成市民会議」に対して、事業費補助を行うとともに、非行防止パトロール等の実施、青少年育成関係団体の組織強化・活動支援を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

○「伊万里市青少年育成市民会議」の事業

令和4年度も、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、例年実施している「伊万里サマーキャンプ」は中止となりましたが、引き続き各町青少年育成町民会議や関係団体の取り組みに対する支援を行い、地域の青少年育成活動を促進することができました。

また、非行防止活動については、全国強調月間にあわせ、広報誌や市ホームページに掲載し啓発するとともに、定期巡回パトロールや地域環境点検等を実施し、青少年の健全育成に努めました。

[主な支援内容]

- ・各町民会議交付金…280千円
- ・青少年団体連絡協議会交付金…120千円
- ・加盟団体等事業費支援費…40千円
(社会を明るくする運動、子ども110番のぼり旗作成費用)
- ・子ども話し方大会後援(市子ども会連合会主催)

○「伊万里市青少年団体連絡協議会」の事業

新型コロナウイルス感染拡大により例年どおりの事業ができない中、1泊2日での「チャレンジキャンプ」を計画していましたが、感染が再拡大し、やむなく中止となりました。

令和4年度 第38回
チャレンジキャンプ 参加者募集
8/19(金)まで



火起こして たいへん



おいしいご飯ができますように



カヌー体験もできるよ!



テントは1人につき1張! 寝られるかな

とき ①9/10(土)～9/11(日) 1泊2日
②9/17(土)～9/18(日) 1泊2日

ところ 黒田代野営場(山代町久原) ※①、②ともに同じ内容です

- ◎集合・解散時間 8時30分・14時00分
- ◎集合・解散場所 生涯学習センター
- ◎内 容 テント設置、火起こし体験、野外炊飯、カヌー体験、星空観察など
※当日の天候次第で内容が変更になる可能性があります。
- ◎募集人員・参加費負担金 小学校4年生から6年生まで 各団20人(先着順) 各団2,000円
- ◎申込方法 青少年センター または、各町(地区)コミュニティセンターにお申し込みください。
青少年センターにはFAX、メールでもお申し込みできます。
詳しくは市のホームページをご覧ください。

問合せ 伊万里市青少年センター(生涯学習センター内)
TEL 0955-22-1262 FAX 0955-22-7900
Email seishounen@city.imari.lg.jp
主 催 伊万里市青少年団体連絡協議会、伊万里市教育委員会

募集チラシ

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	図書館費
事務事業名	01	図書館管理運営事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 市民図書館			施策	08		生涯学習の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
116,235		112,712			841	111,871	3,523	P. 340

【令和4年度における事務事業の概要】

施設の維持管理等に32,981千円を支出しました。そのうち、第五次図書館システム・機器更新等業務図書館システム等保守点検業務委託料に2,309千円、同システム賃借料に4,912千円を支出しました。加えて、全館の照明をLEDに取り替え、その更新にかかる賃借料518千円と、新たに設置した無線LAN (Wi-Fi) の初期費用及び使用料699千円を支出しました。

また、事業4年目となる西九州させば広域都市圏連携事業では、域内の7つの公共図書館を巡回して、互いの図書館資料を運搬する配本事業と、5つの図書館で職員のスキルアップを目指した事業の負担金として、91千円を支出しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

令和4年7月に開館27周年を迎え、市民と一緒に誕生日を祝う「図書館☆(ほし)まつり」を3日間に分散して3密状態を回避しつつ、3年ぶりに開催しました。施設利用については、新型コロナウイルスの第8波による感染拡大で影響が大きかったものの、展示コーナー等の利用日数はのべ309日間、図書館が主催した行事の参加者数は1,009人、市民が主体となって行った会議や研修会などの参加者数は5,353人と多く利用されました。

西九州させば広域都市圏連携事業では、年間2回の研修会に8名の職員が参加し、他の図書館職員と共に研鑽を深めました。

※決算額は、総務課人件費等79,731千円を含みます。



▲7月7日の開館日を市民と一緒に祝う「図書館☆まつり」を開催。



▲西九州させば広域都市圏連携事業で情報収集のスキルを学ぶ研修会を実施。
 <講師：喜多あおい氏 会場：松浦市立図書館>

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	図書館費
事務事業名	02	図書館資料収集事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 市民図書館			施 策	08		生涯学習の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
17,000	16,988				16,900	88	12	P. 340

【令和4年度における事務事業の概要】

令和4年度は図書館資料として、新たに本館用図書6,736冊、自動車図書館ぶっくん用を822冊、雑誌1,522冊と視聴覚資料271点、新聞7紙を購入し、15,920千円を支出しました。

また、データベース5件と契約して使用料1,068千円を支出し、合計で16,988千円を支出しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

令和4年度における市民図書館の利用状況は、個人登録者数46,737人、団体登録1,332団体、利用人数71,854人、貸出点数337,949点となり、新型コロナウイルス感染症の第8波の影響を大きく受けて、利用人数や貸出点数は前年度より減少しました。しかし、調査相談（レファレンス）は7,666件、予約受付件数は13,508件と、それぞれ前年度に比べて増加しており、読書に対する要求の高まりを見せています。加えて、インターネットによる予約は年間10,616件の申込があり、初めて10,000件を超えて予約全体の78.6%を占めるなど、感染対策にもつながりました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

＜図書館のコスパ・サイクル＞



▲図書館で借りられた本について費用対効果を検証。

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	図書館費
事務事業名	03	家読推進事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 市民図書館			施 策	08		生涯学習の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
258		257				257	1	P. 342

【令和4年度における事務事業の概要】

令和4年度は、専修大学の野口武悟教授を招いてうちどく推進講演会を行いました。「読書から誰一人取り残さないために」という演題で、令和元年に施行された読書バリアフリー法を基にして、子ども達の見えざる貧困と読書の支援について語られました。この講演会での謝礼や旅費及び諸経費を含め、合計138千円を支出しました。

また、第7回「伊万里市民図書館・学校図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、コンクール開催に係る諸経費99千円を支出しました。

さらに、うちどく広め隊の活動として、市民図書館で開催した「コラボおはなし会」に黒川町と松浦町から読み語りボランティアが参加して、それぞれ独自のスタイルでおはなし会を実演し、その謝金として20千円を支出しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

講演会の参加者はこれまで読書活動に携わっていながらも、意識していなかった「読書の飢餓」の実態や、その課題に対する支援や様々な本の種類や形態について学び、「知ること、生かすこと、伝え・広めること」への意識を高めました。

また、図書館を使った調べる学習コンクールでは、市内の小学校から80点の応募があり、入賞作品（16点、17人）を表彰するとともに、最優秀賞の2点を全国コンクールへ推薦しました。その2点とも佳作に入賞しました。

コラボおはなし会では、市民図書館の職員だけでなく、地域で活動するボランティアグループが読み語りを披露し、お互いの様子を見学しました。また、直後に行った交流会ではそれぞれの活動や課題について意見交換を行い、参加者同士で効果的な活動について考えるきっかけができました。



▲専修大学の野口武悟教授による「うちどく推進講演会」を図書館ホールで実施。



▲各地区のボランティアが集まった「コラボおはなし会」。特色ある読み語りを披露。

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	図書館費		
事務事業名	04	ブックスタート事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり		
担当部課		教育委員会 市民図書館			施 策	08		生涯学習の推進		
予算現額 (千円)	76	決算額 (千円)	65	財 源 内 訳				不用額 (千円)	11	決算書
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源			P. 342
						65	0			

【令和4年度における事務事業の概要】

ブックスタート事業は3か月児健診の際、事業の趣旨を保護者に説明した上で、4冊の絵本の中から1冊を選んでもらい、その絵本を手渡して、赤ちゃんと保護者にボランティアや図書館職員が読み語りを行って、絵本を介したコミュニケーションを保護者に勧めるものです。

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に3か月児健診が集団検診から個別健診に変更となったため、ブックスタートを実施せず、絵本の受け渡しのみ行いました。

令和3年度からは他の利用者がいない館内整理休館日を活用して、市民図書館のホールでブックスタートを再開し、令和4年度も感染対策を講じながら月に1回実施しました。

この絵本の購入経費等として65千円を支出しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

令和4年度は市民図書館のホールを会場として9回開催し、125人の赤ちゃんに読み語りを実施しました。また、都合が合わなかった方には別の日に来館してもらい、59人の赤ちゃんにそれぞれ絵本1冊とアドバイスブックを渡しました。

絵本を手渡すことで、保護者が赤ちゃんとのコミュニケーションを持つきっかけを作り、家族で読書や絵本に親しむ環境整備を支援することができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金（ガバメントクラウドファンディング）



▲市民図書館ホールでブックスタートを実施。



▲絵本は4冊の中から1冊を選んでもらい、赤ちゃんにプレゼントする。

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	歴史民俗資料館費
事務事業名	01	歴史民俗資料館管理運営事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策	12		文化財の保護
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財源内訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,751		1,678			1,612	66	73	P. 342

【令和4年度における事務事業の概要】

歴史民俗資料館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、伊万里市の歴史や文化、自然を紹介する常設展と企画展を行いました。

- ・2月11日～4月10日「日峯社窯跡の成果と初期鍋島」のコーナー展示
- ・8月1日～8月31日「伊万里のいきもの展」の開催
- ・出前講座や見学講座



【令和4年度における事務事業の成果】

コロナ禍の中、令和4年度の入館者数は1,686人を数え、伊万里市民を中心に郷土に対する理解を深めることができました。

※財源内訳の「その他」のうち1,600千円は、ふるさと応援基金繰入金



「伊万里のいきもの展」の様子

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	歴史民俗資料館費
事務事業名	02	陶器商家資料館管理運営事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策	12		文化財の保護
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財源内訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,779	1,743				1,700	43	36	P. 342

【令和4年度における事務事業の概要】

陶器商家資料館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、市重要文化財の旧犬塚家住宅である建物の公開と併せて「古伊万里」などの古陶磁器や商家に関する文書、調度品などの展示を行いました。



【令和4年度における事務事業の成果】

コロナ禍の中、令和4年度の入館者数は2,363人を数え、市内外からの来訪者へ、本市のやきもの文化や商人文化に関する理解を深め、市街地観光に貢献しました。

また、トイレの改修工事を行い、観光客の皆様に快適な環境を提供しました。

※財源内訳の「その他」の1,700千円は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	歴史民俗資料館費	
事務事業名	03	鍋島ギャラリー管理運営事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策	12		文化財の保護	
予算現額 (千円)	2,264	決算額 (千円)	2,003	財 源 内 訳				不用額 (千円)	261
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
						1,947	56		
									P. 344

【令和4年度における事務事業の概要】

伊万里・鍋島ギャラリーでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、市内外からの来訪者へ、鍋島焼や古伊万里の歴史、伝統文化に対する理解を深めてもらうとともに観光にも活用するため、所蔵する優品の常設企画展を開催しました。また、より多くの皆様が来館されるよう7月から入場料を無料とし、希望者には特製のしおりを配布するようになりました。

- 「鍋島焼十傑と輸出古伊万里の美展」 2月5日～5月29日
- 「静謐なうつわ 涼感ある鍋島焼と古伊万里展」 6月5日～11月6日
- 「宴のうつわ 大皿と組み皿の美」 11月13日～1月10日
- 「綺麗なうつわ 色鍋島と金襴手古伊万里展」 2月4日～7月30日

このほかに、大川内山の秋の窯元市に協賛して、伊万里・有田焼伝統産業会館においても本市が所蔵する古陶磁器を広く一般に展示公開しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

入場料の無料化やしおりの配布が功を奏し、入館者は前年の1,148人から4,652人と大幅に増えました。市内外からの来訪者へ鍋島焼や古伊万里の歴史、伝統文化に対する理解を深めてもらうとともに、市街地観光に貢献しました。

※財源内訳の「その他」のうち1,800千円は、ふるさと応援基金繰入金



【無料で配布している「しおり」】

款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	01	保健体育総務事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 スポーツ課			施策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
2,797		2,665				2,665	132	P. 344

【令和4年度における事務事業の概要】

スポーツ基本法に基づき市内各町、地区にスポーツ推進委員を配置するとともに、各町でのニュースポーツ講習会を支援する体力増進指導員を配置し、市民の更なるスポーツへの関心や参加意欲の高揚を図りました。

また、佐賀県のプロサッカーチームであるサガン鳥栖と連携協定を結び、サッカー教室を開催し、競技力向上を図りました。

【令和4年度における事務事業の成果】

①スポーツ推進委員

各町3名ずつ計39名に委嘱しているスポーツ推進委員に対して、毎月の研修会を行うなど各種スポーツの見識を深め、指導技術を向上させることができました。

②伊万里市スポーツ推進審議会

関係団体の代表者や学識経験者により組織される「伊万里市スポーツ推進審議会」において、令和4年度事業報告や令和5年度社会体育についての計画、予算等について審議しました。

③サガン鳥栖サッカー教室

サガン鳥栖の元選手やスクールコーチを講師として、保育園児から小学校6年生までを対象にサッカー教室を開催し、競技力向上を図りました。



款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費	
事務事業名	02	ニュースポーツ大会開催事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課		教育委員会 スポーツ課			施策	10		文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	76	決算額 (千円)	72	財 源 内 訳				不用額 (千円)	4
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
							72	P. 346	

【令和4年度における事務事業の概要】

市民が気軽にスポーツを楽しみ、心身の健康を維持する機会を創出するため、ニュースポーツ大会を開催しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

市民がスポーツの楽しさを味わいながら仲間意識を醸成し、健康を維持する生涯スポーツを推進することができました。

大会名	参加チーム数等	参加者数
第25回市民グラウンド・ゴルフ大会	64チーム	417人
第16回市民ソフトバレーボール大会	10チーム	52人
第35回市長杯争奪市民ゲートボール大会	12チーム	77人
伊万里スポーツデイ (第11回市民ペタンク大会)	10チーム	35人
(第4回市民アジャタ大会)	5チーム	35人
(第27回伊万里っ子・キッズスポーツフェスティバル)	野球 ホッケー ソフトテニス	47人
伊万里スプリングスポーツデイ (第28回伊万里っ子・キッズスポーツフェスティバル)	サッカー	121人



款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	03	競技スポーツ大会開催事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 スポーツ課			施 策		10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
462	460				460	2	P. 346	

【令和4年度における事務事業の概要】

競技スポーツの普及と競技力向上を図るため各競技団体と連携し、野球やソフトボールの競技スポーツ大会を開催しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる大会があったものの、各種大会の開催により、競技人口の拡大と競技力の向上を図ることができました。

大会名	参加チーム数等	優勝チーム
第50回伊万里市民軟式野球大会	14チーム	ミックス ティーエム物流
	新型コロナウイルス感染症の影響により決勝戦中止	
第45回市長旗争奪高等学校野球大会	3校（春季）	敬徳高校
	4校（秋季）	有田工業高校
第58回国見台陸上競技選手権大会	延べ1,480人	
第49回市民早朝ソフトボール大会	一部 6チーム	立花クラブ
	二部 12チーム	T・farm
市長旗争奪第44回中学生野球大会	8校	東陵中学校
市長旗争奪第49回少年野球大会	10チーム	波多津少年野球クラブ
第45回市長旗争奪 ママさんナイターバレーボール大会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	

款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	04	競技スポーツ全国大会等出場支援事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 スポーツ課			施 策		10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 346	
2,151	2,151				2,151	0		

【令和4年度における事務事業の概要】

スポーツの全国大会等に出場する個人や団体の負担軽減を目的に、出場に要する経費の一部を助成しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

競技スポーツの全国・九州レベルの大会に出場した団体・個人（48件162人）に対し、出場に要した経費の一部を助成し、参加者の負担軽減を図るとともに、競技力の向上を図ることができました。

大会区分	区分	件数	対象人員	補助金額
全国大会	団体	4件	21人	384,000円
	個人	24件	38人	837,000円
西日本大会	団体	2件	27人	148,000円
九州大会	団体	7件	63人	562,000円
	個人	11件	13人	220,000円
合計	団体	13件	111人	1,094,000円
	個人	35件	51人	1,057,000円

款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	05	スポーツ団体支援事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 スポーツ課			施策	10	文化芸術・スポーツの振興		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 346	
2,762	2,762				2,762	0		

【令和4年度における事務事業の概要】

市民へ広くスポーツの普及及び振興を図るため、伊万里スポーツフェスティバル開催のほか、各種目団体や各町スポーツ協会などへ、その活動に要する経費の一部を支援しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

スポーツ団体への支援を行ったことで、子どもから大人までスポーツに親しむ環境づくりを推進することができました。

また、「第4回伊万里スポーツフェスティバル」では、市民総参加型のスポーツイベントとして、スポーツの普及と健康増進を図ることができました。

【令和4年度成績】

●優勝：二里町 ●準優勝：南波多町 ●第3位：黒川町

(伊万里スポーツフェスティバル対象大会成績表)

種 目	大 会 名	種 別	開 催 日	会 場	第1位	第2位	第3位	
グラウンド・ゴルフ	市民グラウンド・ゴルフ大会	団体戦	6月4日	国見台球技場	二里町	伊万里地区	伊万里地区	東山代町
ソフトボール	県民スポーツ大会予選会	一般A	6月19日 ～	国見台球技場 伊万里湾大橋球技場	大川町	大坪地区	二里町	波多津町
		一般B	7月3日		立花地区	南波多町	東山代町	山代町
軟式野球	県民スポーツ大会予選会	一般A	6月12日 ～	国見台野球場 伊万里松浦球技場	波多津町	黒川町	立花地区	南波多町
		一般B	7月24日		立花地区	大川町	山代町	東山代町
ドッジビー	市子ども会連合会球技大会	—	8月7日	国見台体育館	山代町	立花地区	大坪地区	
ミニバレー	市子ども会連合会球技大会	—	8月7日	国見台武道館	参加チーム不足のため中止			
ゲートボール	市長杯争奪市民ゲートボール大会	—	9月8日	伊万里松浦球技場	東山代町	波多津町	南波多町	
相撲	市長旗争奪青年相撲大会	団体戦	7月10日	国見台相撲場	二里町	黒川町	—	—
ベタンク	伊万里スポーツデイ(秋)	—	10月1日	国見台球技場	黒川町	二里町	南波多町	
アジャタ	伊万里スポーツデイ(秋)	—	10月1日	国見台体育館	大坪地区	二里町	南波多町	
バレーボール	市民バレーボール大会	一般男子 一般女子	10月9日	国見台体育館 国見中学校体育館	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
ゴルフ	市民ゴルフ大会	—	11月16日	佐世保国際カントリー倶楽部	南波多町	立花地区	大坪地区	
陸上	市内一周駅伝競走大会	—	11月27日	浦ノ崎駅前～市内一円	二里町	黒川町	伊万里地区	
卓球	市長杯争奪各町対抗卓球大会	男・女混成団体戦	3月5日	国見台体育館	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			

款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務事業
事務事業名	06	県民スポーツ大会出場支援事業	6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり			
担当部課	教育委員会 スポーツ課		施策	10	文化芸術・スポーツの振興			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
964	960				960	4	P. 346	

【令和4年度における事務事業の概要】

県内4地区の持ち回りで毎年開催される県民スポーツ大会に出場する選手及びチームに対し、出場経費を支援するための補助金を交付しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

10月15日、16日に武雄市、大町町、江北町、白石町を中心に開催された「第75回県民スポーツ大会」において、市民の参加促進及び伊万里市チームの活躍に貢献することができました。

<市の部>

優勝：佐賀市 準優勝：唐津市 第3位：鳥栖市 第4位：小城市 第5位：伊万里市

<伊万里市チーム出場種目数>

18種目

水泳、陸上競技、サッカー、テニス、バレーボール、バスケットボール、卓球、ソフトテニス、軟式野球、相撲、ソフトボール、バドミントン、弓道、剣道、ボウリング、ゲートボール、ゴルフ、グラウンド・ゴルフ



款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	07	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 国スポ・全障スポ推進課			施策		10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
11,060	9,905	2,053		2,205	5,647	1,155	P. 346	

【令和4年度における事務事業の概要】

令和6年度開催の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会佐賀大会に向け、開催準備を行うSAGA2024伊万里市実行委員会に対する負担金等を支出しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

民間団体の補助事業を活用して、障がい者スポーツ用具（フライングディスク競技、ボッチャ競技）を購入し、市内の特別支援学校等に対して貸出しを行うなど、障がい者スポーツに対する理解を深めました。

また、SAGA2024伊万里市実行委員会において、栃木県で開催された第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」・第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」の競技会場を視察したほか、広報啓発活動として啓発用のぼり旗や公用車用PRマグネット等の設置に取り組むとともに、県との共同プロジェクト「学校訪問2024」を実施し、市内の14小中学校及び特別支援学校高等部の児童生徒(延べ948人)に対して、講話やホッケー競技等の体験会を通じ大会をPRしました。

<SAGA2024伊万里市実行委員会 令和4年度決算（支出）の状況>

- 総務費 計 280,448円
 - ・会議費 42,712円 (会議時お茶代 外)
 - ・事務局費 237,736円 (撮影機材(ビデオカメラ)購入 外)
- 開催推進費 計 7,074,121円
 - ・調査研究費 1,762,563円 (栃木国体競技会場視察 外)
 - ・広報啓発費 3,040,094円 (のぼり旗作製、公用車用PRマグネット作製 外)
 - ・市民協働推進費 1,710,464円 (子ども向け室内ホッケー用具購入 外)
 - ・開催準備費 561,000円 (競技会場等実施設計業務委託)

(啓発用のぼり旗の設置：国見台公園内)

(ホッケー競技体験会)



SAGA 2024 国スポ 全障スポ

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	08	市内一周駅伝競走大会開催事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 スポーツ課			施策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
255		252				252	3	P. 346

【令和4年度における事務事業の概要】

各町におけるスポーツの普及、振興はもとより市内の長距離選手の発掘、育成につなげるため、市内一周駅伝競走大会を開催しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

11月27日に、市内全地区・町の参加により市内一周（全12区間60.3km）をコースとする「第69回市内一周駅伝競走大会」を開催し、競技力の向上とともに、各地区の融和と団結力の向上を図ることができました。

【令和4年度成績】

優勝：二里町 準優勝：黒川町 第3位：伊万里地区 躍進賞：山代町



款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	09	ウォーキング大会開催事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 スポーツ課			施 策		10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 348	
300	300				300	0		

【令和4年度における事務事業の概要】

市民の健康づくりと自然豊かな伊万里を市内外にPRするため伊万里ウォークを開催しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

11月23日に「魅力あふれる夢のまち伊万里ウォーク2022」を開催したところ、市内外から689名の参加をいただき、市民が気軽に参加できる健康づくりの場を創出するとともに、市外の方に本市の魅力発信を行うことができました。

【コース別参加者数】

●伊万里湾岸・はちがめコース (約20km)	…	150名
●秘窯の里・鍋島コース (約12km)	…	319名
●古伊万里コース (約6km)	…	220名
	計	689名

【地域別参加者数】

●佐賀県内	…	490名
うち伊万里市内		(370名)
うち伊万里市外		(120名)
●福岡県	…	36名
●長崎県	…	153名
●その他	…	10名
	計	689名



款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務事業
事務事業名	10	スポーツ合宿誘致事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 スポーツ課			施 策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
899		724			700	24	175	P. 348

【令和4年度における事務事業の概要】

市民と市外の高校生等との合同練習などによる競技力の向上を図るとともに、スポーツの振興と宿泊に伴う経済の振興を目的にスポーツ団体の合宿に対し、宿泊費の一部を助成しました。

助成要件：2泊以上の宿泊で、延べ宿泊者数が20人以上の場合
 助成内容：1名あたり1,000円/泊（1団体上限100,000円）

【令和4年度における事務事業の成果】

高校生の陸上合宿「伊万里アスリート・アカデミー」において、11団体延べ738人を誘致し、競技力の向上及び市外の方へ伊万里の魅力発信を図ることができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

	団体数	延べ人数	補助額
平成30年度	25	1,516人	2,208,000円
令和元年度	31	2,072人	3,016,500円
令和2年度	2	149人	149,000円
令和3年度	10	755人	717,000円
令和4年度	11	738人	724,000円

款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	11	ハーフマラソン大会開催事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 スポーツ課			施策		10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
2,000	2,000			2,000	0	0	P. 348	

【令和4年度における事務事業の概要】

スポーツの振興に加え、交流人口の拡大や観光情報の発信を目的として、伊万里ハーフマラソンを開催しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

平成27年度から開催し9回目となる2023年大会は、3年ぶりの現地開催とし、コロナ禍において参加人数を制限しての開催となりましたが、全国各地から2,057人のエントリーがあり、県内外の参加者に対し、伊万里の魅力発信を図ることができました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

伊万里ハーフマラソン2023(IMARI HALF-MARATHON2023) エントリー集計

種目別エントリー数		【最終】									
種目 No.	種目・種別	2023	2022 オンライン	2021 オンライン	2020	2019	2018	2017	2016	2015	
1	ハーフ 男子18~39歳	459	107	219	945	914	849	922	726	595	
2	男子40~49歳	490	193	343	850	795	708	734	554	465	
3	男子50~59歳	478	186	281	657	623	520	496	395	314	
4	男子60歳以上	261	60	106	331	313	276	256	175	119	
5	女子18~39歳	111	32	50	274	257	215	250	221	135	
6	女子40~49歳	108	65	123	223	214	193	191	154	111	
7	女子50~59歳	107	60	90	168	134	112	110	65	54	
8	女子60歳以上	43	27	32	57	50	46	29	18	19	
9	セルフ男子18歳以上	-	307	393	-	-	-	-	-	-	
10	セルフ女子18歳以上	-	269	323	-	-	-	-	-	-	
	小 計	2,057	1,306	1,960	3,505	3,300	2,919	2,988	2,308	1,812	

款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	12	全国高等学校野球選手権大会出場支援事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 スポーツ課			施策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,105	1,099					1,099	6	P. 348

【令和4年度における事務事業の概要】

第104回全国高等学校野球選手権大会に出場を果たした有田工業高等学校に対し、出場及び応援に要する経費の負担軽減を図るため、補助金を交付しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

伊西地区高校野球で常に切磋琢磨し競技力の向上を図る有田工業高等学校へ補助金を交付することで、全国に焼き物など伊万里市・有田町の情報発信を行うことができました。



款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育施設費
事務事業名	01	体育施設管理運営事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 スポーツ課			施 策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
32,509		29,578				29,578	2,931	P. 348

【令和4年度における事務事業の概要】

本市スポーツ施設の核となる国見台公園体育施設をはじめ、令和4年度より供用を開始した伊万里松浦球技場や伊万里松浦グラウンド・ゴルフ場等市内の体育施設の維持管理を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

台風によって被害を受けた国見台陸上競技場フェンスをはじめ、大川ゲートボール場電力引込ポールの修繕などの維持補修を行うとともに、水はけが悪かった南波多運動広場の排水路工事を行うなど、利用者が使いやすい環境づくりに努めることができました。

【主な支出額の内訳】

- ・大川ゲートボール場電力引込改修・電力引込ポール修繕 373 千円
- ・大川内小学校夜間照明操作盤開閉器修繕 124 千円
- ・国見台陸上競技場フェンス修繕 248 千円
- ・南波多運動広場排水路工事 270 千円
- ・運動広場管理清掃業務委託 4,575 千円
- ・SAGA2024ホッケー競技用備品購入 1,034 千円
- ・その他各体育施設光熱水費等 22,954 千円

※国見台陸上競技場フェンス修繕

修繕前



修繕後



款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育施設費
事務事業名	02	散弾銃射撃場環境調査事業	6つのまちづくり			05	住みよい環境づくり	
担当部課	教育委員会 スポーツ課			施策		21	生活環境の保全	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書 P. 350
4,208	3,269		国・県支出金	地方債	その他	一般財源	939	
					3,200	69		

【令和4年度における事務事業の概要】

伊万里市散弾銃射撃場環境対策検討委員会で策定されたアクションプランに基づき、散弾銃射撃場内および場外の水質（表流水・地下水）調査を継続して行いました。

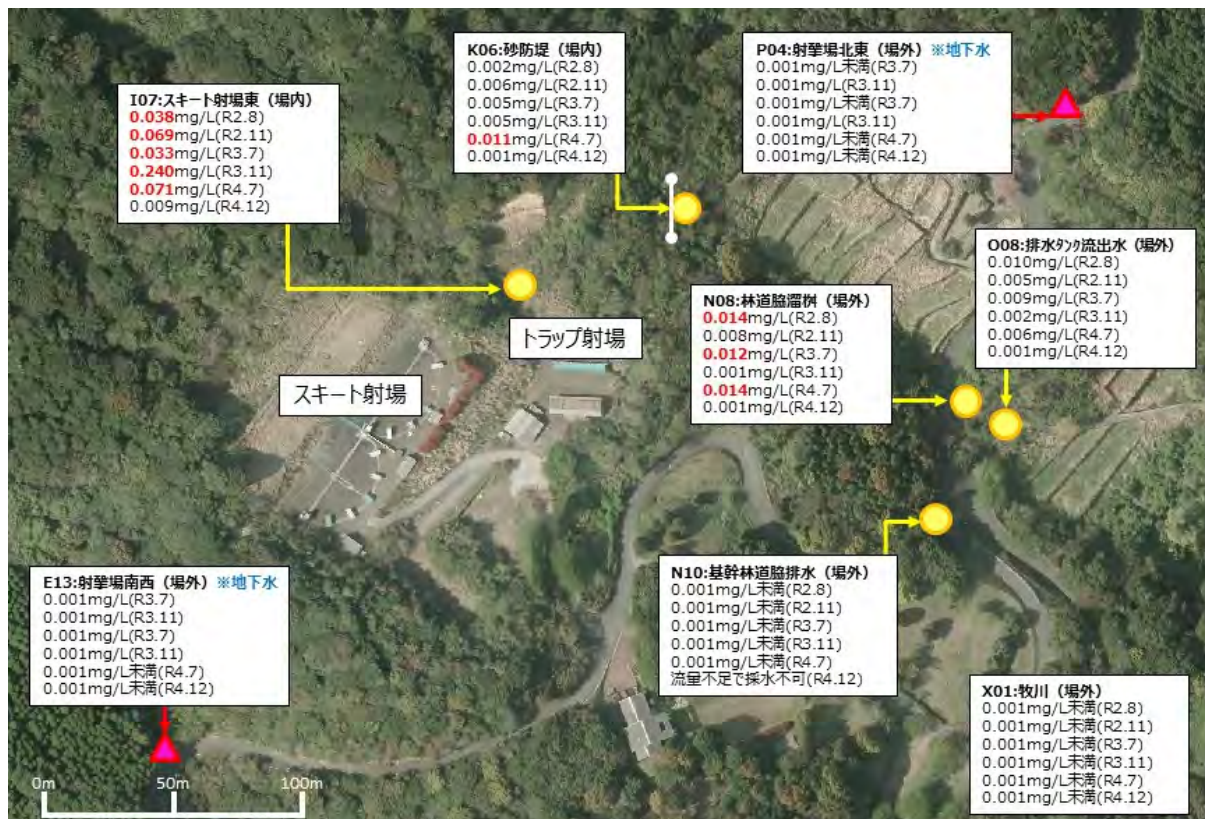
また、令和5年2月20日に第10回の検討委員会を開催し、高濃度汚染土壌の撤去・対策方針を決定しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

アクションプランに基づき水質調査を実施するとともに、検討委員会において、汚染土壌の撤去工法や処分方法を決定しました。

また、大型沈砂池設置のための隣接用地の取得を行いました。

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



<環境基本法>

鉛の環境基準：0.01mg/L以下

款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育施設費
事務事業名	03	国見台体育施設改修事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 スポーツ課			施 策	10	文化芸術・スポーツの振興		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
44,727	43,334			43,179	155	1,393	P. 350	

【令和4年度における事務事業の概要】

令和4年9月に第3種公認期間が満了する国見台陸上競技場の第3種公認を維持するため、トラック等の施設整備を行うとともに、公認備品の購入を行いました。

【主な改修内容】

- ・トラックの補修
- ・レーン幅変更によるトラックレーンの引き直し
- ・棒高跳びBOXの交換
- ・水濠の埋め込み

【主な購入備品】

- ・機動掃除機
- ・スターティングブロック
- ・吸水ローラー
- ・マット運搬車

【令和4年度における事務事業の成果】

国見台陸上競技場において、レーン規則変更に伴うトラックレーンの引き直し、競技場全体の標石のタイルの変更、棒高跳びBOXの検定品への交換、トラックのウレタン剥離舗装、使用しない水濠の埋め込みを行い、劣化・破損しているスターティングブロック、機動掃除機、吸水ローラー、マット運搬車、ヤリ、走高跳用バー等第3種公認に必要な備品を購入し、第3種公認競技場の認定を受けました。

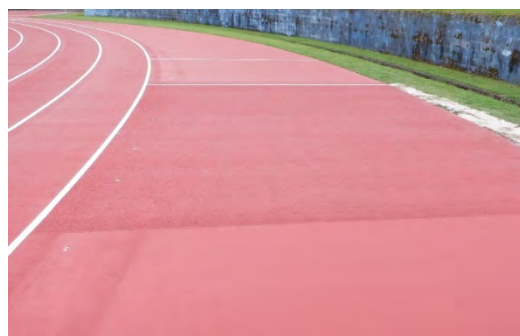
また、国見台庭球場等の夜間照明をLEDに交換しました。

※財源内訳の「その他」のうち42,800千円は、ふるさと応援基金繰入金

【陸上競技場レーン引き直し後（検定中）】



【陸上競技場水濠埋め込み跡】



【陸上競技場棒高跳びBOX】



【国見台庭球場夜間照明】



款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	02 体育施設費		
事務事業名	04 散弾銃射撃場環境調査事業 (繰越明許)	6つの まちづくり		05	住みよい環境づくり		
担当部課	教育委員会 スポーツ課		施 策	21	生活環境の保全		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
15,500	14,570			14,500	70	930	P. 350

【令和4年度における事務事業の概要】

伊万里市散弾銃射撃場の鉛による高濃度汚染土壌の撤去に向けた実施設計業務を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

汚染土壌を除去するための工法検討や処理施設への運搬方法等についての実実施設計を行いました。

【実施設計期間】

令和4年1月28日 ～ 令和5年2月28日

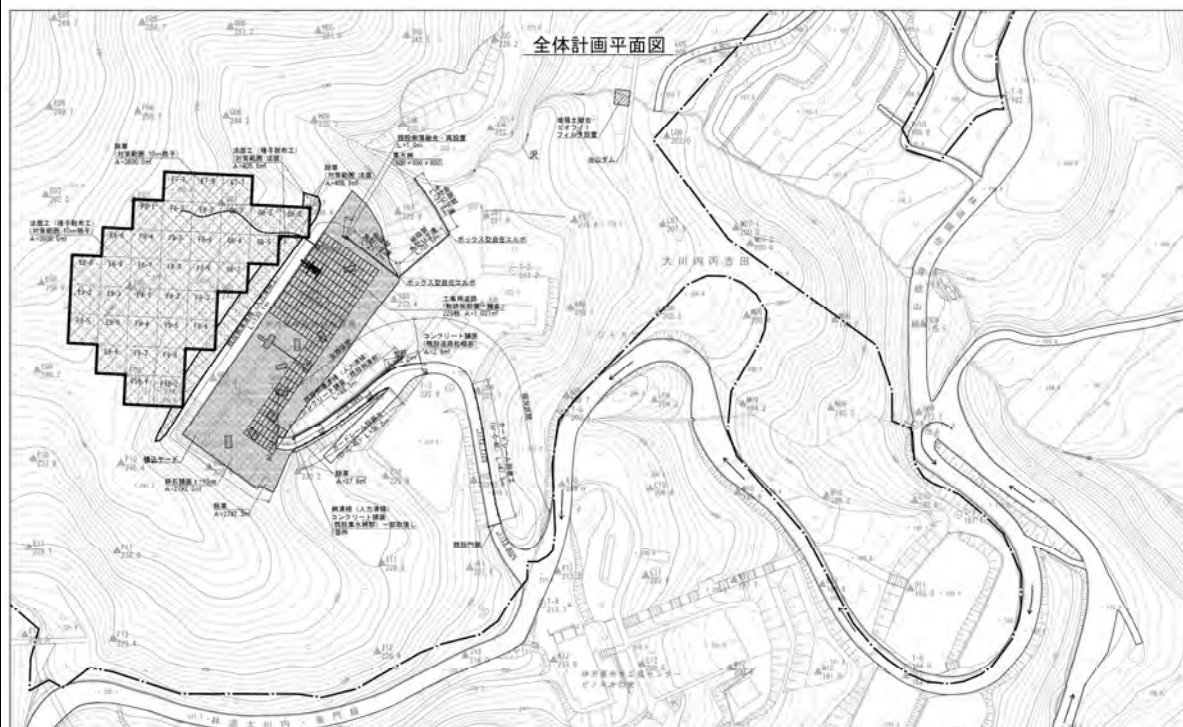
【汚染土壌対策工法】

エア圧力による掘削除去工法

【積込・運搬方法】

現場 → 伊万里港 → (船) → 船川港 (秋田県) → 処理施設 (秋田県)

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育施設費
事務事業名	05	国見台体育施設改修事業 (繰越明許)			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 スポーツ課			施 策	10	文化芸術・スポーツの振興		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 350	
178,346	154,588	73,530	80,800	200	58	23,758		

【令和4年度における事務事業の概要】

令和6年度に佐賀県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向け、伊万里市における競技会場である国見台球技場、国見台野球場の施設改修を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

令和6年度に佐賀県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の会場である国見台球技場・国見台野球場の夜間照明施設を、照度規定に適合する照度のLED照明に改修しました。(工事期間 令和4年8月30日～令和5年2月28日)

また、国見台球技場への進入路の整備を行い、管理用の車両が進入できるように改修しました。(工事期間 令和4年11月21日～令和5年3月10日)

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

【国見台野球場夜間照明】



【国見台球技場夜間照明】



款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	給食費
事務事業名	01	学校給食センター 管理運営事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 学校教育課			施 策	07		学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
279,038		272,846				272,846	6,192	P. 352

【令和4年度における事務事業の概要】

給食を安定的に提供するため、施設や設備を点検、修繕するなど適正に管理しました。
また、給食提供に必要な調理業務や配送回収業務などの各種委託料を支払い、燃料費、光熱水費などの運営経費を支払いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

施設の維持管理と運営を適正に行うことで、悪天候による一斉休校を除き計画通り給食を提供することができました。
年間の給食提供回数は193回になりました。

※決算額は総務課人件費等18,956千円を含みます。



款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	給食費
事務事業名	02	学校給食運営委員会支援事業	6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり			
担当部課	教育委員会 学校教育課		施 策	07	学校教育の推進			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
15,310	14,094	12,500			1,594	1,216	P. 354	

【令和4年度における事務事業の概要】

学校給食運営委員会支援事業では、活動費補助として100,000円、食材の物価高騰の影響による保護者等の負担を軽減するための事業費（給食費・食材費会計）補助として13,993,605円を交付しました。



【令和4年度における事務事業の成果】

令和4年度は、運営委員会が4回開催され、平成27年度以来運用している給食費の改定について審議され、令和5年度から改定することが決定されました。

〔給食費改定〕 小学校4,100円⇒4,500円 中学校4,800円⇒5,300円

また、食材費の高騰により、計画通りの給食提供が懸念されていましたが、1人1食あたり15円を補助することで、年間を通じて適正な食材を使用した献立で安定的に給食を提供することができました。



款	11	災害復旧費	項	01	農林水産施設災害復旧費	目	01	農業用施設災害復旧費
事務事業名	02	農業用施設災害復旧事業 (補助、現年) (繰越明許)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施 策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 354	
70,664	58,873	56,472	300	1,229	872	11,791		

【令和4年度における事務事業の概要】

令和3年度及び令和4年度に豪雨により被災した農業用施設の復旧工事を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

国の農業用施設災害復旧事業で採択された3年災について復旧工事を行い、農家等の生産活動の維持と経営の安定を図ることができました。

区分	内容	事業費 (円)
工 事 請 負 費	3年災 (16箇所完了)	57,693,200
公有財産購入費	土地購入	509,600
事 務 費	旅費、消耗品費、通信運搬費、使用料及び賃借料	669,800
計		58,872,600

○補助率 国97.0%、市1.50%、地元1.50%

※不用額は、令和5年度への事故繰越費6,457千円を含みます。

款	11	災害復旧費	項	01	農林水産施設災害復旧費	目	03	農地災害復旧費
事務事業名	01	農地災害復旧事業 (補助、現年)(繰越明許)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施 策		22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 354	
22,706	18,579	16,849	200	763	767	4,127		

【令和4年度における事務事業の概要】

令和3年の豪雨により被災した農地の復旧工事を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

国の農地災害復旧事業で採択された3年災について復旧工事を行い、農家等の生産活動の維持と経営の安定を図ることができました。

区分	内容	事業費(円)
工事請負費	3年災(23箇所完了)	18,294,100
事務費	消耗品費、通信運搬費、使用料及び賃借料	284,900
計		18,579,000

○補助率 国92.1%、市3.95%、地元3.95%

款	11	災害復旧費	項	01	農林水産施設災害復旧費	目	04	林道災害復旧費
事務事業名	02	林道災害復旧事業（補助、現年）（繰越明許）			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施 策		22	防災体制の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
9,271	8,561	8,201	300		60	710	P. 356	

【令和4年度における事務事業の概要】

令和3年8月の豪雨により被災を受けた林道大川眉山線の復旧工事を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

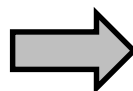
林業従事者等を含む市民が、安全に林道を利用することができるようになりました。

工 事 名	令和3年度 林道災害復旧事業 林道大川眉山線災害復旧工事
工 事 場 所	松浦町桃川地内
工 事 請 負 費	12,643,400円（税込）
受 注 者	石堂建設(株)

工事着工前



工事完了後



決算額内訳

費 目	事業費（円）	摘 要
需 用 費	17,110	消耗品費
工 事 請 負 費	12,643,400	大川眉山線災害復旧工事
合 計	12,660,510	

※工事請負費は、令和3年度執行額4,100,000円（前払金）を含みます。

款	11	災害復旧費	項	02	公共土木施設災害復旧費	目	01	土木施設災害復旧費
事務事業名	01	土木施設災害復旧事業 (単独、現年)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
13,863	6,103		6,500		△ 397	7,760	P. 356	

【令和4年度における事務事業の概要】

令和4年4月29日及び令和4年8月16日～18日の豪雨により被災した公共土木施設のうち、国庫補助の対象とならない小規模な災害について復旧工事を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

被災した公共土木施設20箇所のうち、6箇所（河川5箇所、道路1箇所）の復旧工事を実施し、施設の機能を回復することができました。

残りの14箇所（河川10箇所、道路4箇所）は、令和5年度に繰越して復旧工事を行います。

普通河川 永山川

着工前



成 工



市道 立花台8号線

着工前



成 工



※不用額は、令和5年度への繰越明許費7,760千円です。

款	11	災害復旧費	項	02	公共土木施設災害復旧費	目	01	土木施設災害復旧費
事務事業名	02	急傾斜地整備事業			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課		建設農林水産部 道路河川課			施策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
22,772	22,712	11,299	5,900	5,960	△ 447	60	P. 356	

【令和4年度における事務事業の概要】

県の急傾斜地整備事業を活用し、整備要望があった急傾斜地崩壊危険区域内の斜面崩壊防止工事を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

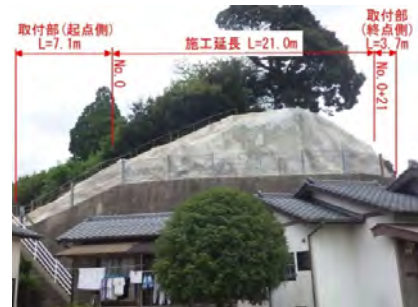
要望があった3地区で崩壊防止工事を実施し、周辺住民の安全を確保することができました。

(事業内容)

- 1) 白野第一地区 (大坪町白野地内)
着工前



- 延長 L=21.0m モルタル吹付工
成 工



- 2) 東大久保1地区 (東山代町東大久保地内)
着工前



- 延長 L=34.0m 重力式擁壁工
成 工



- 3) 戸ノ須地区 (木須町木須東地内)
着工前



- 延長 L=12.0m コンクリートブロック積工
成 工



款	11	災害復旧費	項	02	公共土木施設災害復旧費	目	01	土木施設災害復旧費
事務事業名	03	土木施設災害復旧事業 (補助、現年)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
23,029	2,634	1,757	1,500		△ 623	20,395	P. 356	

【令和4年度における事務事業の概要】

公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法に基づき、令和4年8月16日～18日の豪雨により被災した公共土木施設の復旧工事を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

被災した公共土木施設5箇所のうち、2箇所（河川2箇所）の前金払いを行いました。被災した5箇所（河川5箇所）は、令和5年度に繰越して復旧工事を行います。

普通河川 加倉川

被災状況



普通河川 新田川

被災状況



※不用額は、令和5年度への繰越明許費20,395千円です。

款	11	災害復旧費	項	02	公共土木施設災害復旧費	目	01	土木施設災害復旧費
事務事業名	04	土木施設災害復旧事業 (単独、現年) (繰越明許)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 358	
27,007	25,067		18,100		6,967	1,940		

【令和4年度における事務事業の概要】

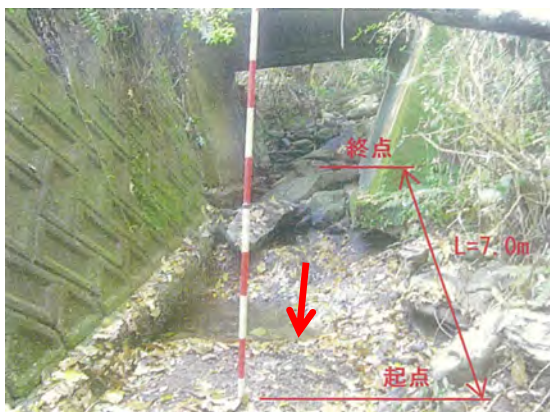
令和3年5月20日～21日及び令和3年8月11日～18日の豪雨により被災した公共土木施設のうち、国庫補助の対象とならない小規模な災害について復旧工事を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

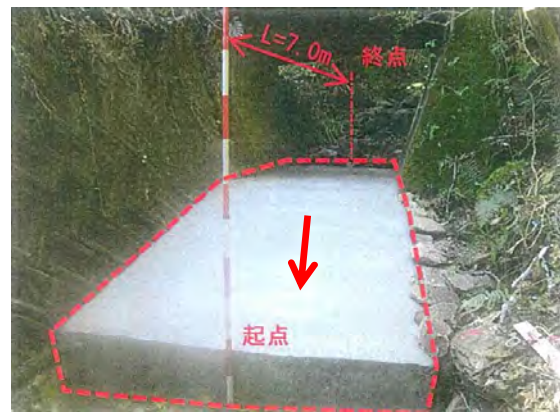
令和3年度に被災した公共土木施設44箇所のうち、令和4年度に繰越した40箇所（河川21箇所、道路19箇所）の復旧工事を実施し、施設の機能を回復することができました。

普通河川 越峠川

着工前



成 工



市道 津留主屋3号線

着工前



成 工



款	11	災害復旧費	項	02	公共土木施設災害復旧費	目	01	土木施設災害復旧費
事務事業名	05	土木施設災害復旧事業 (補助、現年) (繰越明許)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 358	
51,206	39,456	26,291	12,600		565	11,750		

【令和4年度における事務事業の概要】

公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法に基づき、令和3年5月20日～21日及び令和3年8月11日～18日の豪雨により被災した公共土木施設の復旧工事を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

令和3年度に被災した公共土木施設17箇所のうち、令和4年度に繰越した10箇所（河川3箇所、道路7箇所）の復旧工事を実施し、施設の機能を回復することができました。

普通河川 越峠川

着工前



成 工



市道 中山・井野尾線

着工前



成 工



款	11	災害復旧費	項	02	公共土木施設災害復旧費	目	01	土木施設災害復旧費
事務事業名	06	急傾斜地整備事業 (繰越明許)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 358	
1,856	1,391	649	400	342	0	465		

【令和4年度における事務事業の概要】

県の急傾斜地整備事業を活用し、整備要望があった急傾斜地崩壊危険区域内の斜面崩壊防止工事を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

要望があった1地区で崩壊防止工事を実施し、周辺住民の安全を確保することができました。

(事業内容)

1) 木場1地区 (波多津町木場地内)
着工前

延長 L=3.5m 重力式擁壁工
成 工



款	13	諸支出金	項	01	公営企業費	目	01	水道公営企業費
事務事業名	01	水道事業繰出金				6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり
担当部課		総合政策部 財政課				施策	18	上下水道の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
95,817		95,817				95,817	0	P. 360

【令和4年度における事務事業の概要】

旧簡易水道地区の整備に対する企業債償還利子補助金及び企業債償還元金出資金のほか、旧簡易水道地区の高料金対策等に係る補助金を繰出しました。

(繰出金の内訳)

・負担金、補助及び交付金	42,360 千円
・投資及び出資金	53,457 千円
計	95,817 千円

【令和4年度における事務事業の成果】

水道事業会計への繰出しにより、公営企業の健全経営に資することができました。



大川浄水場



屋敷野配水池



波多津浄水場



浦ノ崎浄水場

款	13	諸支出金	項	01	公営企業費	目	02	工業用水道公営企業費
事務事業名	01	工業用水道事業繰出金			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課		総合政策部 財政課			施 策	14	商工業の振興	
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
465,620	464,781					464,781	839	P. 360

【令和4年度における事務事業の概要】

工業用水道の整備に対する第3工業用水道事業及び第4工業用水道事業に係る企業債償還利子補助金、企業債償還元金出資金等を繰出しました。

(繰出金の内訳)

・負担金、補助及び交付金	84,207 千円
・投資及び出資金	380,574 千円
計	464,781 千円

【令和4年度における事務事業の成果】

工業用水道事業会計への繰出しにより、公営企業の持続性確保に資することができました。



長浜配水池



長浜浄水場



久原浄水場



伊万里団地と久原貯水施設

款	13	諸支出金	項	01	公営企業費	目	03	下水道公営企業費
事務事業名	01	下水道事業繰出金				6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり
担当部課		総合政策部 財政課				施 策	18	上下水道の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
744,748		741,977				741,977	2,771	P. 360

【令和4年度における事務事業の概要】

下水道の整備に対する企業債償還利子補助金及び企業債償還元金出資金のほか、分流式下水道に要する経費等に係る補助金を繰出しました。

(繰出金の内訳)

・負担金、補助及び交付金	141,392 千円
・投資及び出資金	600,585 千円
計	741,977 千円

【令和4年度における事務事業の成果】

下水道事業会計への繰出しにより、公営企業の健全経営に資することができました。



伊万里市浄化センター



伊万里市浄化センター航空写真



井手野水処理センター



宿地区農業集落排水処理センター

会計名	国民健康保険特別会計	6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課	市民交流部 市民課 健康福祉部 健康づくり課 総務部 税務課、収納管理課	施 策	06	保健医療体制の充実

【令和4年度における事務事業の概要】

国民健康保険事業の推進

国民健康保険は、地域住民の健康と福祉を保障する地域保険として、国民皆保険体制を支える大きな柱となっており、伊万里市国民健康保険においても、市民の「健康で豊かな毎日」を支えるために、必要な医療サービスを提供しながら保健事業の推進を図るとともに、保険料の収納率向上やレセプト点検、第三者求償事務などの保険給付の適正化を図り、国保財政の健全化に努めました。

令和4年度の国民健康保険の加入状況は、世帯数が6,906世帯（前年度7,119世帯）、被保険者数は10,472人（前年度11,023人）となっています。世帯数及び被保険者数ともに減少傾向にあります。

＜被保険者数調べ＞

（単位：世帯、人）

区 分	令和3年度	令和4年度	増 減	伸び率
国 保 世 帯 数	7,119	6,906	△ 213	△ 3.0%
市全世帯に占める割合	30.3	29.2	—	—
被 保 険 者 数	11,023	10,472	△ 551	△ 5.0%
市全人口に占める割合	20.8	20.0	—	—

※国保世帯数・被保険者数は年度末の数値

【令和4年度における事務事業の成果】

1. 医療費等の状況

国民健康保険法に基づく保険給付を行い、被保険者の健康保持を図るとともに、高額療養費の給付により被保険者負担の軽減を図りました。

また、出産育児一時金の給付により妊産婦及び乳幼児の健康増進を進めるとともに、葬祭費の給付を行うことで葬祭費用負担の軽減を図りました。

なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による受診控えにより、療養給付費は減少していましたが、令和3年度以降は受診が増えたこと等により、前年度より増加しました。

＜国民健康保険給付費の内訳＞

（単位：千円）

区 分	令和3年度		令和4年度		増減額 (a-b)	伸び率 (a/b-1)	歳出総額に 占める割合
	支出額(b)	件数	支出額(a)	件数			
療養給付費	4,070,590	207,533	4,107,428	208,295	36,838	0.9%	59.4%
療養費	26,272	4,453	24,653	4,093	△ 1,619	△ 6.2%	0.4%
審査支払手数料	12,972	—	12,993	—	21	0.2%	0.2%
高額療養費	670,992	10,362	668,263	10,878	△ 2,729	△ 0.4%	9.7%
移送費	0	0	0	0	0	—	0.0%
出産育児一時金	14,347	34	9,168	21	△ 5,179	△ 36.1%	0.1%
葬祭費	2,700	90	2,970	99	270	10.0%	0.0%
傷病手当金	46	1	348	11	302	656.5%	0.0%
合 計	4,797,919	222,473	4,825,823	223,397	27,904	0.6%	69.8%

2. 保健衛生普及の実施

疾病の予防、早期発見及び早期治療に役立て、被保険者の健康増進を図るため保健衛生普及について、以下の事業を行いました。

(1) 健康マイレージ事業

特定健康診査の対象となる40歳以上の被保険者のうち、健康診断の受診や運動など自主的な健康づくり活動を行った場合に、ふるさと応援寄附金の返礼品（2千円相当）を抽選により400名に交付することで健康意識の高揚を図りました。

健康マイレージ申込状況

年 度	令和3年度	令和4年度
申込者数	575名	750名

(2) 医療費通知事業

医療内容を年3回通知することで、健康や医療に対する認識を深めました。

医療費通知発送実績

年 度	令和3年度	令和4年度
通数	21,391通	21,417通

(3) ジェネリック医薬品差額通知事業

継続的に服用している医薬品のうち、自己負担を500円以上軽減できる被保険者に差額通知を年2回送付して、医療費の抑制を図りました。

差額通知送付実績及び使用率

年 度	令和3年度	令和4年度
通数	227通	188通
後発医薬品使用率	80.8%	81.0%

※使用率は各年1月の割合

(4) 国民健康保険人間ドック・脳ドック事業

国保に加入し国保税の滞納のない世帯に属する被保険者に対し、人間ドック費用のうち11,172円と脳ドック費用のうち12,198円を助成することで疾病の早期発見に努めました。

人間ドック・脳ドック費用助成実績

コース	件数	助成単価	助成金額
人間ドック	137件	11,172円	1,530千円
脳ドック	60件	12,198円	732千円
令和4年度 実績	197件	-	2,262千円
令和3年度 実績	198件	-	2,320千円

3. 保険税の収納率向上

国民健康保険税の収納率向上を目的として、滞納が累積される前に電話や文書で催告を行い、その後も納付がなければ預貯金等の差押え（滞納処分）を行うなど滞納整理を強化するとともに、対応が困難な事案については、国税局OBによる高度な滞納整理業務の指導により対応策を講じるなど、滞納整理の促進に努めました。

また、納税相談のために夜間・休日開庁や、コンビニエンスストア収納やスマートフォン決済を導入するなど納税しやすい環境を整備するとともに、国民健康保険の利用制限（長期滞納者には自己負担限度額適用認定証の交付等が制限される短期保険証の交付、催告等にも無反応で悪質な滞納者には病院等受診時の支払いが通常3割負担ではなく10割負担となる資格証明書の交付）を行うなど国民健康保険事業独自の滞納整理に取り組みました。

これにより、現年度課税分の収納率は対前年比1.0ポイント減の96.6%となりましたが、現年度課税分と滞納繰越分を合わせた保険税全体の収納率については、前年比1.0ポイント増の89.8%と収納率を向上させることができました。

4. 生活習慣病予防対策

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、生活習慣病の予防対策として、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導を実施し41,841千円を支出しました。

1) 特定健康診査

	対象者数	受診者数	受診率	備考
R3	7,943	3,074	38.7%	R4.9（確定値）
R4	7,566	3,081	40.7%	R5.6（速報値）

2) 特定保健指導

	対象者数	支援終了者数	終了率	備考
R2	268	171	63.8%	R3.9（確定値）
R3	280	215	76.8%	R4.9（確定値）

会計名	介護保険特別会計	6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課	健康福祉部 長寿社会課	施策	02	高齢者支援の充実

1. 高齢者の活動支援と介護予防の充実

【令和4年度における事務事業の概要】

生活習慣病の予防や認知症予防等の介護予防に関する知識の普及に努めるとともに、要支援や介護予防・日常生活支援総合事業の対象者への支援を行い、適切なサービス利用につなげました。また、地域の住民主体での介護予防活動を支援しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

いきいき百歳体操教室などの取組により、介護予防につながるだけでなく、高齢者が定期的に顔を合わせることで閉じこもりを予防しました。

介護予防・日常生活支援総合事業地域支え合い事業（以下「地域支え合い事業」という。）費補助金を交付することにより、地域支え合い事業を実施する団体の活動を支援しました。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護予防総務事業	22,344千円	22,739千円	23,080千円
うち総務課人件費	22,270千円	22,656千円	22,995千円
認知症予防事業	262千円	216千円	386千円
地域介護予防活動支援事業	2,499千円	1,439千円	1,838千円
新規立ち上げ指導（箇所数・実人数）	9か所・176人	6か所・140人	7か所・124人
継続指導（回数・延べ人数）	344回・4,726人	402回・5,284人	475回・5,568人
高齢者生きがいづくり講座開催事業	785千円	573千円	573千円
受講人数	550人	748人	611人
高齢者保健・介護予防連携推進事業	167千円	259千円	297千円
ハイリスクアプローチ（実・延べ人数）	15人・20人	22人・39人	23人・43人
ポピュレーションアプローチ（回数・延べ人数）	60回・941人	42回・601人	26回・644人
介護予防支援サービス事業	40,767千円	43,205千円	42,683千円
うち総務課人件費	24,228千円	26,941千円	23,876千円
地域支え合い事業（実施団体数・利用延人数）	—	—	1団体・770人
（事業対象者・要支援認定者の介護予防サービス計画作成）			
介護予防支援	4,571人	5,034人	5,400人
介護予防ケアマネジメント	3,675人	3,514人	3,671人

2. 介護サービス・生活支援の充実

【令和4年度における事務事業の概要】

高齢者の生活支援として、地域包括支援センターによる総合相談等の包括的支援や日常生活を安心して過ごせるよう各種在宅サービスの提供を図りました。

また、地域包括ケアシステムの構築に向け、在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業等を実施しました。

【令和4年度における事務事業の成果】

地域包括支援センターでは、高齢者や家族、民生委員、医療機関、介護支援専門員などからの相談に応じ、関係機関と連携し、地域の保健・福祉・医療サービスや見守りにつなげる支援を行うことができました。

また、生活支援体制整備事業を推進し、地域でいきいき百歳体操などの活動に取り組む団体が増えたほか、山代町では、地域支え合い事業の移動型サービスとして「べんりカーやましろ号」の運用が開始されました。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
・ 包括的支援総務事業	66,453千円	68,021千円	70,311千円
うち総務課人件費	60,028千円	60,871千円	61,648千円
総合相談延件数	4,278件	3,362件	3,332件
・ 在宅医療・介護連携推進事業	4,291千円	4,008千円	4,449千円
※在宅医療・介護連携支援センターに相談員を配置、普及啓発用DVD作製、運営委員会、多職種連携研修会等開催			
・ 生活支援体制整備事業	4,827千円	7,119千円	7,109千円
※コーディネーターを配置(地域包括支援センター4人、社会福祉協議会2人)し協議体会議、地区座談会、介護予防・生活支援サポーター養成講座等開催			
・ 認知症総合支援事業	4,015千円	4,020千円	4,031千円
認知症初期集中支援チーム員数	28人	30人	29人
チーム員会議回数	4回	5回	5回
訪問延件数	65件	93件	61件
・ 地域ケア会議運営事業	178千円	155千円	165千円
推進会議回数	1回	1回	1回
個別会議回数	33回	26回	9回
・ 高齢者紙おむつ給付事業	1,250千円	1,261千円	1,157千円
該当者人数	154人	151人	135人
配付総数	43,704枚	43,816枚	38,552枚
・ 高齢者成年後見制度利用支援事業	1,135千円	1,022千円	874千円
市長申立件数	10件	2件	7件
報酬助成件数	5件	6件	6件
・ 配食サービス事業	63千円	26千円	95千円
利用人数	3人	4人	6人
配食総数	147食	66食	279食
・ 介護保険住宅改修理由書作成支援事業	-	4千円	10千円
理由書作成件数	0件	2件	5件
・ 愛の一声運動推進事業	895千円	911千円	807千円
対象者人数	341人	340人	337人
訪問延回数	8,949回	8,886回	7,852回
・ 認知症高齢者見守り事業	61千円	122千円	104千円
見守りサポーター(派遣人数・延時間)	2人・64時間	3人・99時間	3人・81時間
見守りネットワーク事業(協力事業者登録数)	76か所	86か所	84か所

3. 介護保険事業の適正な運営

【令和4年度における事務事業の概要】

介護保険制度に基づく本市の介護保険事業は、「安心して健やかな暮らしづくり」を基本理念とした第8期介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)に基づき、被保険者の要介護認定をはじめ、介護保険制度の市民等への周知、介護サービス給付体制の整備、介護サービスの給付を行いました。

【令和4年度における事務事業の成果】

介護認定調査や介護認定審査会の運営により適正な要介護認定を行ったほか、介護保険活用ガイドの作製及び配布により、介護保険制度の普及・啓発につながりました。

また、介護サービス費の給付により、介護を必要とする高齢者や認知症の方などが、住み慣れた自宅や地域で生活することができました。

【令和4年度末の要介護認定者数】

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
令和2年度	412人	448人	711人	563人	439人	428人	284人	3,285人
令和3年度	469人	471人	722人	542人	427人	386人	287人	3,304人
令和4年度	482人	484人	738人	508人	377人	378人	269人	3,236人

【歳 入】

介護保険の財源として、保険給付費と地域支援事業費（介護予防・日常生活支援総合事業）に対する負担割合は、国25.0%、県12.5%、市12.5%、第1号被保険者保険料23.0%、第2号被保険者保険料27.0%となっています。また、地域支援事業費（包括的支援事業・任意事業）に対する負担割合は、国38.5%、県19.25%、市19.25%、第1号被保険者保険料23.0%となっています。

(1) 第1号被保険者保険料

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
特別徴収保険料	1,131,167千円	1,145,144千円	1,158,689千円
収納率	100.2%	100.2%	100.2%
普通徴収保険料	90,749千円	95,040千円	94,033千円
収納率	95.1%	95.3%	94.6%
全体収納率	99.8%	99.8%	99.0%
滞納繰越分	6,084千円	3,640千円	3,044千円
収納率	37.4%	29.2%	26.2%

(2) 負担金等

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
認定審査会負担金（有田町）	13,209千円	13,846千円	13,641千円
国庫負担金	1,036,731千円	1,053,957千円	1,057,414千円
国庫補助金（調整交付金）	343,963千円	373,807千円	345,763千円
国庫補助金（調整交付金以外）	102,092千円	107,510千円	118,156千円
支払基金交付金	1,601,254千円	1,566,776千円	1,560,859千円
県負担金	812,903千円	816,573千円	827,606千円
県補助金	40,323千円	42,461千円	43,158千円
一般会計繰入金	958,842千円	970,882千円	965,965千円
繰越金	192,360千円	138,910千円	315,738千円

[歳出]

(1) 被保険者の適正な要介護認定

有田町と共同設置している介護認定審査会に係る運営費用や、介護認定調査に係る主治医意見書手数料、要介護認定訪問調査業務委託料等を支出しました。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護認定審査会運営事業	16,576千円	16,534千円	16,054千円
うち総務課人件費	2,295千円	2,423千円	4,723千円
介護認定調査事業	21,983千円	29,135千円	24,998千円
うち総務課人件費	10,014千円	14,579千円	11,068千円

(2) 介護保険制度の市民等への周知

介護保険制度に関する制度の仕組みやサービスの利用方法等を記載した活用ガイドの作製費用を支出しました。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護保険制度趣旨普及事業	1,516千円	595千円	574千円

(3) 円滑な介護サービス給付体制の整備

介護保険給付及び要介護認定業務に係る一般事務経費を支出しました。また、介護保険制度の円滑な運営を行うために、医療関係者や介護保険事業者、被保険者代表等からなる介護保険運営会議の運営費、地域密着型サービス運営委員会の運営費等を支出しました。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護保険総務事業	79,165千円	80,921千円	72,276千円
うち総務課人件費	66,730千円	68,735千円	61,523千円
介護保険事業計画策定事業	2,690千円	40千円	1,198千円

(4) 介護サービスに伴う適正な給付

居宅サービス、施設サービス及び地域密着型サービスに伴う給付費をはじめ、それらのサービスに要した費用が著しく高額である場合の高額介護サービス費等の給付費、居宅介護住宅改修や居宅介護福祉用具購入などに要した費用に伴う給付費等を支出しました。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護給付事業	5,039,031千円	4,934,709千円	4,801,559千円
介護予防給付事業	189,342千円	199,267千円	211,260千円
高額介護サービス給付事業	122,607千円	116,567千円	112,071千円
高額介護予防サービス給付事業	0千円	60千円	73千円
高額医療合算介護サービス給付事業	20,657千円	19,267千円	20,901千円
特定入所者介護サービス給付事業	222,178千円	189,462千円	160,022千円
特定入所者介護予防サービス給付事業	302千円	259千円	195千円
介護給付審査支払事業	5,997千円	6,111千円	6,140千円
介護給付費点検・指導事業	1,911千円	2,007千円	2,016千円
うち総務課人件費	1,594千円	1,692千円	1,699千円
合計	5,602,025千円	5,467,709千円	5,314,237千円

(5) 介護予防・生活支援サービスの提供

介護予防・日常生活支援総合事業の対象者に、個々の状態に応じて訪問型サービスや通所型サービスなどを提供し、在宅での自立した生活を支援しました。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護予防・生活支援サービス事業	150,860千円	152,741千円	152,704千円
介護予防・生活支援サービス審査支払事業	1,102千円	1,108千円	1,166千円
事業対象者数（年度末）	125人	117人	146人

(6) 決算額

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
歳入総額	6,373,628千円	6,375,755千円	6,551,855千円
歳出総額	6,234,718千円	6,060,017千円	6,084,935千円
差引額（翌年度繰越額）	138,910千円	315,738千円	466,920千円

会計名	後期高齢者医療特別会計	6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課	市民交流部 市民課 健康福祉部 健康づくり課	施 策	06	保健医療体制の充実

【令和4年度における事務事業の概要】

後期高齢者医療制度の推進

後期高齢者医療は、平成20年度から佐賀県後期高齢者医療広域連合が保険者となって運営を行っています。高齢者が安心して医療給付が受けられるよう保険料の収納率向上など後期高齢者医療特別会計の健全運営に努めました。

令和4年度末の後期高齢者医療被保険者数は、8,658人（前年度末8,538人）となっており、団塊の世代が75歳に到達し始めたことで被保険者数は増加傾向にあります。

【令和4年度における事務事業の成果】

1. 後期高齢者健康診査事業

後期高齢者健康診査事業を次のとおり実施しました。

後期高齢者健康診査事業（事業費1,814千円）

	区分	実施回数	受診者数	対象者数	受診率
R4	集団方式	13回	138人	6,116人	17.1%
	個別方式	—	908人		
R3	集団方式	11回	73人	5,897人	11.0%
	個別方式	—	575人		

2. 後期高齢者医療滞納対策及び財政状況

市民への制度周知・理解の促進を図るため、広報紙により制度の周知を図るとともに、未納者への電話催告を行うなど、保険料の滞納防止・収納率向上に努めました。

令和4年度の歳入総額は1,523,053千円で、内訳は後期高齢者医療保険料534,802千円（35.1%）、使用料及び手数料81千円（0.0%）、一般会計繰入金951,548千円（62.5%）、繰越金2,402千円（0.2%）、諸収入34,220千円（2.2%）となっています。

現年度分保険料については、特別徴収で363,053千円（収納率100%）、普通徴収で171,364千円（収納率99.5%）の納付があり、合計収納率は99.9%でした。

一方、歳出総額は1,520,771千円で、内訳は、総務費10,032千円（0.6%）、後期高齢者医療広域連合納付金1,476,102千円（97.1%）保健事業費2,898千円（0.2%）、諸支出金31,739千円（2.1%）となっており、歳入歳出差し引き2,282千円は、翌年度に繰り越しました。

会計名	水道事業特別会計	6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり
担当部課	上下水道部 管理課・水道施設課	施 策	18	上下水道の整備

【令和4年度における事務事業の概要】

令和4年度の水道事業は、安全で安心な水道水の安定供給を念頭に、効率的で効果的な運営に努めました。

【令和4年度における事務事業の成果】

収益的収支の状況は、水道事業収益が1,402,516千円、水道事業費用が1,368,205千円で、当年度純利益34,311千円を生じる結果となり、昨年度に引き続き、安定した経営を維持することができました。

また、主な建設改良工事として、法定耐用年数の経過や耐震化されていない配水管等を更新し、安全で安心な水道水の安定供給に努めました。

(主な建設改良工事) ※事業費は税込み

工事名	事業費 (千円)	事業内容	
竜門ダム線 (県道大木有田線) 導水管布設替工事	73,620	DCIP φ500 排泥管布設工	L=320.6m L= 40.0m
川東線 (市道川東橋・伊万里駅前線) 配水管布設替 (その2) 工事	8,512	PE φ150	L=125.2m
南波多線 (市道重橋・畑川内線) 配水管布設替 (その3) 工事	9,939	PE φ150 PE φ100 PP φ20	L=182.9m L= 4.1m L= 4.3m
南波多線 (市道重橋・畑川内線) 配水管布設替 (その4) 工事	8,125	PE φ150 PE φ100 撤去または埋塞	L= 93.1m L= 5.5m L=725.0m
国道204号道路改良工事に伴う名村線 (国道204号) 配水管布設替工事	30,900	DCIP φ300 DCIP φ200 DCIP φ150 排泥管設置	L=304.8m L= 5.8m L= 2.7m 1箇所
永山配水池線 (市道栄町・永山線) 配水管布設工事	7,016	PE φ100 PE φ75 排泥管設置	L=147.3m L= 5.8m 1箇所

会計名	工業用水道事業特別会計	6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課	上下水道部 管理課・水道施設課	施 策	14	商工業の振興

【令和4年度における事務事業の概要】

令和4年度の工業用水道事業は、工業用水道事業の使命である良質で低廉豊富な工業用水の安定供給に努めました。

【令和4年度における事務事業の成果】

収益的収支の状況は、工業用水道事業収益が967,955千円、工業用水道事業費用が941,051千円で、当年度純利益26,904千円を生じる結果となり、昨年度に引き続き、黒字となりました。

また、主な建設改良工事として、第4工業用水道久原貯水池の附属設備（防塵フロート）取替工事等を実施し、安全で安心な工業用水の安定供給に努めました。

（主な建設改良工事）※事業費は税込み

工事名	事業費（千円）	事業内容
工業用水道施設 （第4工水）更新 事業 久原貯水池附属 設備（防塵フ ロート）取替工 事	12,764	防塵フロート撤去設置 500m
第3工業用水道 長浜配水池 配 水流量計 更新工事	4,138	配水流量計更新 1台
第1工業用水道 長浜浄水場 配 水流量計 更新工事	1,738	配水流量計更新 1台

会計名	下水道事業特別会計	6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり
担当部課	上下水道部 管理課・下水道施設課	施 策	18	上下水道の整備

【令和4年度における事務事業の概要】

令和4年度の下水道事業では、浸水防除、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全を目的に、安全・安心で且つ快適な生活環境・水環境の向上に努めました。

【令和4年度における事務事業の成果】

収益的収支の状況は、公共下水道事業収益が1,134,903千円、公共下水道事業費用が1,083,073千円で、当年度純利益が51,830千円となりました。

また、農業集落排水事業収益が134,882千円、農業集落排水事業費用が127,189千円で、当年度純利益が7,693千円となり、ともに黒字となりました。

主な建設改良工事として、公共下水道事業では、南ヶ丘地区の污水管新設工事や浄化センターのポンプ棟設備の更新工事などを行いました。

また、農業集落排水事業では、宿地区農業集落排水処理センターの内部防食の更新工事を行うとともに、機械設備の更新工事を行いました。

(主な建設改良工事) ※事業費は税込み

工事名	事業費 (千円)	事業内容
南ヶ丘地内污水管理設工事	24,441	VU φ150 L=308.8m 公共柵 N=25箇所
伊万里市浄化センター ポンプ棟機械設備更新工事	37,021	污水ポンプ φ250×30kW×1台 污水ポンプ φ150×15kW×1台 污水ポンプ吐出弁 φ250×0.75kW×1台 污水ポンプ吐出弁 φ150×0.4kW×1台
伊万里市浄化センター 管理棟、ポンプ棟電気設備更新工事	46,703	【管理棟】 主ポンプ設備コントロールセンタ×2面 主ポンプ設備補助継電器盤 ×1面 【ポンプ棟】 污水ポンプ現場操作盤 ×1面
宿地区農業集落排水処理センター 内部防食更新工事	31,503	防食工 (C種) A=372㎡
宿地区農業集落排水処理センター 機械設備更新工事	29,489	機械設備 (スクリーン、破砕機、脱水機、ポンプ、攪拌機) 更新

社会保障 4 経費その他社会保障施策に要する経費

消費税率（国・地方）が、平成26年4月1日から5%から8%へ、令和元年10月1日から8%から10%へ引き上げられたことに伴い、消費税収の引上げ分については、その用途を明確にし、社会保障財源化することとされており、地方団体においても、地方消費税収の引上げ分を全て社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

以上の趣旨を踏まえ、令和4年度伊万里市一般会計決算における社会保障施策経費への充当状況について、次のとおり報告します。

【歳入】・地方消費税交付金(社会保障財源化分) 709,293 千円

【歳出】・社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 10,254,346 千円

(社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費)

(単位：千円)

区 分		決算額	財 源 内 訳				
			特 定 財 源			一 般 財 源	
			国庫支出金	県支出金	その他	地方消費税 (引上分)	その他
社会福祉	障害者福祉費	1,688,497	813,964	453,646	0	63,449	357,438
	高齢者福祉費	166,509	0	0	41,329	18,872	106,308
	児童福祉総務費	653,208	133,828	96,009	58,698	54,975	309,698
	児童手当給付費	912,293	624,075	138,585	0	22,557	127,076
	児童措置費	2,408,688	1,229,337	521,606	104,826	83,353	469,566
	保育所費	459,151	4,902	4,042	28,006	63,648	358,553
	扶助費	1,011,831	769,337	23,304	0	33,043	186,147
	小 計	7,300,177	3,575,443	1,237,192	232,859	339,897	1,914,786
社会保険	国民健康保険特別会計繰出金	585,627	64,257	211,931	0	46,648	262,791
	介護保険特別会計繰出金	965,965	43,412	21,963	8	135,764	764,818
	後期高齢者医療特別会計繰出金	951,548	0	155,427	0	120,017	676,104
	小 計	2,503,140	107,669	389,321	8	302,429	1,703,713
保健衛生	保健衛生総務費	270,375	0	0	3,864	40,177	226,334
	予 防 費	145,776	1,377	194	0	21,739	122,466
	健康増進費	34,878	642	731	0	5,051	28,454
	小 計	451,029	2,019	925	3,864	66,967	377,254
合 計		10,254,346	3,685,131	1,627,438	236,731	709,293	3,995,753

